

平成 27 年度

植物防疫年報

三重県病虫害防除所

三重県内で発生が目立った病害虫

ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ

(病害虫発生予報第4号、平成27年7月23日発表、「今月のトピックス」で紹介)



写真1 ネギアザミウマ



写真2 ネギハモグリバエ
(農研機構野菜花き研究部門・
飯田氏提供)



写真3
ネギアザミウマ食害痕



写真4
ネギハモグリバエ産卵痕



写真5
ネギハモグリバエ食害痕
(食害が進んだもの)

目 次

I	病虫害防除所の組織と業務	1
1.	病虫害防除所の業務内容	1
2.	病虫害防除所の組織図	1
II	病虫害防除員の設置及び活動状況	4
1.	病虫害防除員の配置	4
2.	病虫害防除員の活動状況	5
III	病虫害発生予察に関する業務	6
1.	病虫害発生予察の対象作物及び有害動植物	6
(1)	指定有害動植物名	6
(2)	指定外有害動植物名	6
2.	病虫害発生予察の調査圃場	7
(1)	県予察圃場	7
(2)	予察灯・トラップ	7
(3)	その他の調査圃場	7
(4)	ミバエ類等侵入警戒調査圃場	10
(5)	火傷病侵入警戒調査圃場	10
(6)	調査地点図	11
3.	作物別の病虫害発生状況	12
(1)	水稻	12
(2)	麦類	22
(3)	大豆	23
(4)	果樹	25
(5)	茶	30
(6)	野菜	32
(7)	全作物一覧	33
4.	病虫害の発生面積と防除面積	37
5.	発行された予察情報	40
(1)	発生予察情報の一覧	40
(2)	予報	41
(3)	注意報	94
(4)	技術情報	96
IV	事業関係の試験成績	107
1.	診断対策	107
(1)	灰色かび病の薬剤感受性検定	107
(2)	ミカンハダニの薬剤感受性検定	114

V	農薬の指導に関する業務	115
1.	農薬危害防止対策	115
(1)	農薬危害防止運動の実施	115
(2)	農薬安全使用講習会の開催状況	115
(3)	ゴルフ場の調査点検実施状況	116
(4)	ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況	117
2.	産業用無人ヘリコプターによる防除	119
VI	各種データ	120
1.	トラップ等データ	120
(1)	予察灯	120
(2)	フェロモントラップ	133
(3)	ウメ輪紋ウイルス（PPV）に関する調査	137
(4)	キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査	138
(5)	ミバエ類等侵入警戒調査	139
(6)	火傷病侵入警戒調査	140
2.	巡回等データ	141
(1)	水稲	141
(2)	麦類	154
(3)	大豆	156
(4)	果樹	158
(5)	茶	178
(6)	野菜	187
3.	気象データ	202
(1)	気象概況	202
(2)	旬別気象表	203
(3)	気象グラフ	204

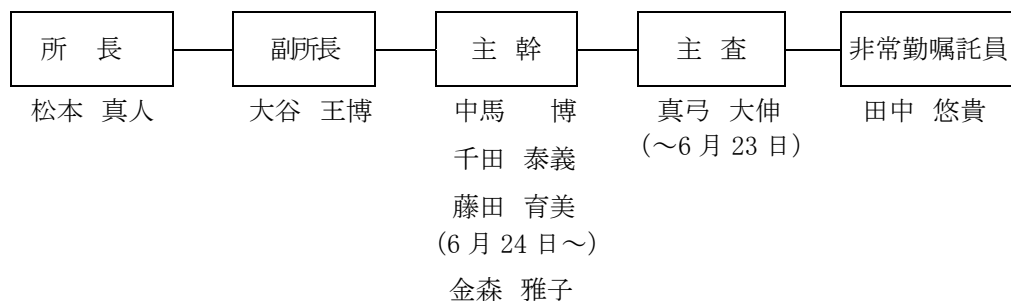
I 病虫害防除所の組織と業務

1. 病虫害防除所の業務内容

植物防疫法関係	発生予察業務	病虫害発生事業に関すること 病虫害発生予察情報の発行に関すること
	防除指導業務	病虫害防除の企画・調査・指導に関すること 病虫害防除員に関すること 航空防除に関すること
農薬取締法関係	農薬安全対策業務	農薬適正使用啓発・登録情報に関すること 農薬使用者・取扱者の指導・取締に関すること ゴルフ場の農薬安全使用指導等に関すること 農薬管理指導士に関すること

2. 病虫害防除所の組織図

(1) 事務の体制



発生予察従事職員

農業研究所	農産物安全安心研究課	主任研究員	西野 実
	茶業研究室	研究員	吉田 充希
	伊賀農業研究室	主幹研究員	近藤 宏哉
	紀南果樹研究室	研究員	橋本 真帆

(2) 発生予察の体制

所外からの情報 → 病虫害防除所

ア. 調査依頼

発生予察従事職員

・農業研究所 4人

病虫害防除員

・市町 29人

・共済 7人

・広域 8人

予察灯調査委託

・県予察灯 3人

ア. 調査・研究

・県予察圃場

・地区予察圃場

・巡回調査圃場

・侵入警戒調査圃場

イ. 検討

・所内検討会

・三重県病虫害

発生予察警報

発令検討会等

イ. 情報検討

病虫害発生予察情報会議

・農産物安全課

・病虫害防除所

・中央・地域農業改良普及センター

・農業研究所

・農業共済組合連合会・その他関係機関

ウ. 情報交換

植物防疫関係諸会議

・農林水産省関連

・日本植物防疫協会(JPP)関連

予察用の主な機器類 ()は導入年度

・自動カウントフェロモントラップ「ムシダス」 3台(H17、18)

・葉面濡れ計測システム「フィールドサーバー」 1台(H17)

・予察灯 6台(H3、16、21、22、23、24)

・人工気象器 1台(H7)

・低温恒温器 1台(S62)

・光学顕微鏡 1台(S61)

・実体顕微鏡 1台(S61)

・乾燥器 1台(S61)

→ 情報の発信

ア. 情報提供先等

	県内					県外	
	農業者	防除員	農業団体	市町	県機関	国機関	他県
予報	AD E	AB	AB	A	A	A C	C
技術情報	E	AB	AB	A	A	A C	C
報告						A C	

イ. 情報の内容

予報:発生予報、注意報、警報、特殊報

技術情報:防除に関する情報

報告:現況報告、年次報告

ウ. 発信の方法

A:eメール、ファックス

B:郵送、運搬

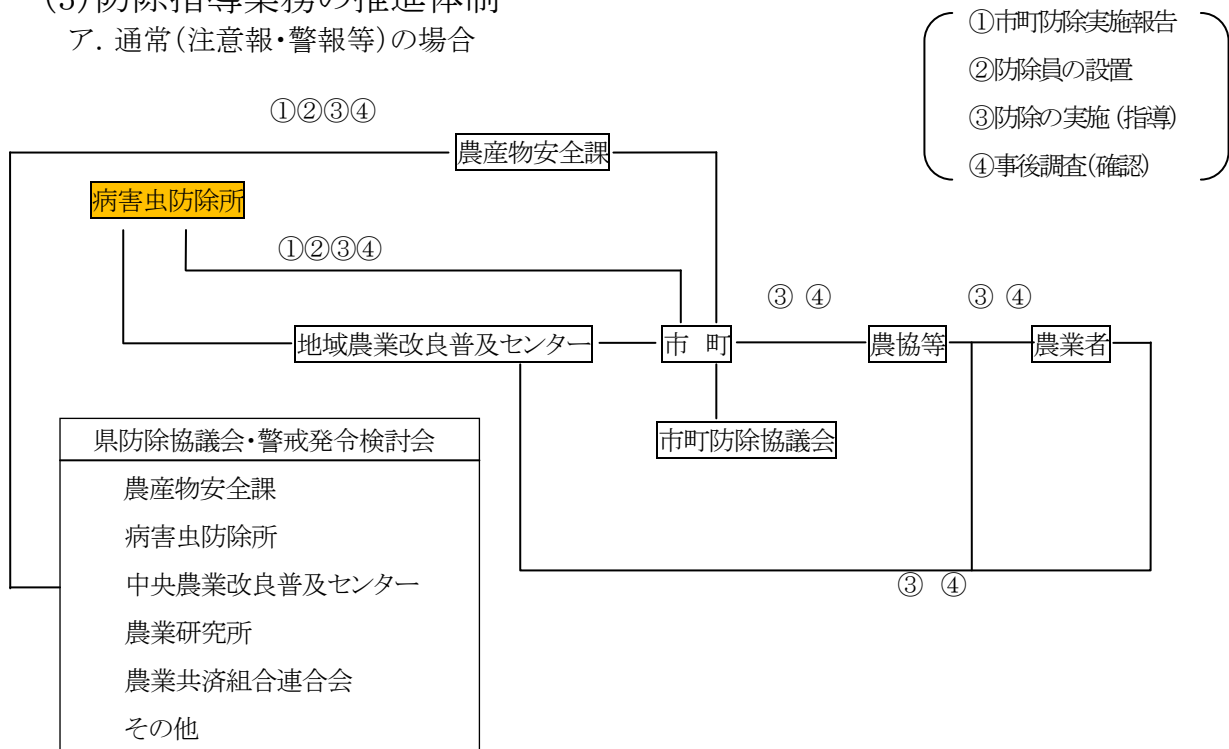
C:JPP-NET(植物防疫情報総合ネットワーク)および発生予察集計プログラム(農林水産省)

D:報道機関(農産物安全室・病虫害防除所)

E:ホームページ

(3) 防除指導業務の推進体制

ア. 通常(注意報・警報等)の場合

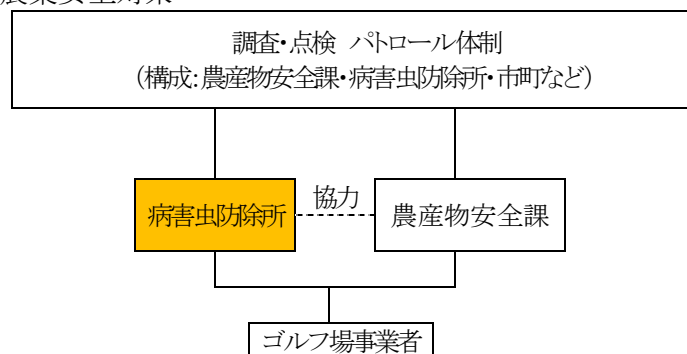


イ. 緊急(緊急防除・防除勧告)の場合

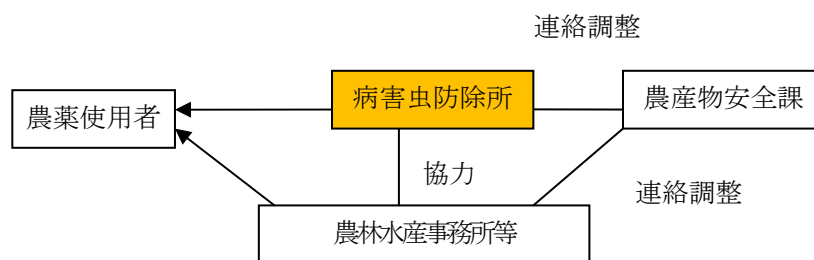
国から植物防疫法第17条による緊急防除(侵入病害虫など)や第30条による防除勧告(防除が未実施・不適切など)を受けた場合、農産物安全課は「三重県緊急防除対策会議」を組織し、速やかに防除を実施する。

(4) 農薬安全対策の推進

ア. ゴルフ場の農薬安全対策



イ. 農薬使用者の監視指導



Ⅱ 病虫害防除員の設置及び活動状況

1. 病虫害防除員の配置

(1) 配置状況(所属別地域別配置人数)

地区	市町	農業共済組合等	広域	合計
桑名	4	1	1	6
四日市鈴鹿	6	1	2	9
津	1	1	1	3
松阪	4	1	1	6
伊勢志摩	7	1	1	9
伊賀	2	1	1	4
紀州	5	1	1	7
合計	29	7	8	44

(2) 病虫害防除員名簿

①市町関係(29名)

市町名	所 属	氏 名	市町名	所 属	氏 名
桑名市	農林水産課	大橋 佑衣	伊勢市	農林水産課	杉木 剛
いなべ市	農林振興課	小林 孝明	玉城町	産業振興課	前田 和紀
木曽岬町	産業建設課	伊藤 麻美	南伊勢町	水産農林課	田中 啓介
東員町	産業課	草田 康裕	大紀町	農林課	中井 隆浩
四日市市	農水振興課	四方 克	度会町	産業振興課	奥田 浩一
菰野町	観光産業課	岩本 忠士	鳥羽市	農水商工課	清水 弘光
朝日町	産業建設課	高重 陽嗣	志摩市	農林課	里中 亮太
川越町	産業建設課	早川 隆三	伊賀市	農林振興課	今井 健次
鈴鹿市	農林水産課	米川 梨香	名張市	農林資源室	井ノ上 教昭
亀山市	農政室	生駒 浩	尾鷲市	木のまち推進課	中出 佑
津市	農林水産政策課	田内 悠介	紀北町	農林水産課	長井 裕悟
松阪市	農水振興課	西 洋平	熊野市	農業振興課	瀬古 貴志
明和町	農水商工課	丹合 信隆	御浜町	産業建設課	瀬古 勝信
多気町	農林課	吉田 拓未	紀宝町	産業建設課	下地 太一
大台町	産業課	久保 元伸			

②農業共済組合、農業共済事務組合関係(7名)

組合、事務組合名	氏名
桑員農業共済組合	伊藤 浩樹
三泗鈴亀農業共済事務組合	山際 健介
津市農林水産部農業共済室	勝谷 彩加
松阪飯多農業共済事務組合	松野 良彦
伊勢地域農業共済事務組合	田畑 訓彦
伊賀市・名張市広域行政事務組合	川瀬 聡
東紀州農業共済事務組合	田中 宏育

③広域関係(8名)

担当地域名	氏名
桑員地域	水谷 重一
三泗地域	松本 保
鈴亀地域	早川 喬
津市地域	河野 満
松阪飯多地域	小林 雅彦
伊勢地域	古崎 和義
伊賀地域	谷口 雄
東紀州地域	菊山 竜二

2. 病虫害防除員の活動状況

(1) 主な活動内容

①防除指導

水稻等の共同・空中防除の打ち合わせや薬剤散布に必要な応じて立ち会い、適切な広報活動及び防除指導を行った。また、病虫害防除所から発表された予報・注意報等の病虫害発生予察情報の広報を適宜行った。

②病虫害発生状況調査

管内の巡回調査を行い、水稻、麦、大豆、野菜等の病虫害発生状況の把握に努めた。また、広域病虫害防除員は担当地域の巡回調査で農家に対して聞き取り調査を行った。

③農薬安全使用指導

広報誌への掲載等を通じて農薬の適正使用の啓発に努めた。

④関係機関との打ち合わせ

共同防除、空中防除、防除歴作成等のため、JAや農業共済、農業改良普及センター等と適宜連携を図った。

⑤講習会・協議会

病虫害防除所が主催した植物防疫技術研修会等に参加し、最新の技術と情報の収集に努めた。

(2) 活動実績

(一人当たり平均、単位:時間)

防除指導	病虫害発生 状況調査	農薬安全 使用指導	関係機関との打 ち合わせ	講習会 協議会	その他	合計
9.3	35.5	2.0	4.4	7.4	2.6	61.2

Ⅲ 病害虫発生予察に関する業務

1. 病害虫発生予察の対象作物及び有害動植物

(1) 指定有害動植物名(植物防疫法 22 条) (延 77 種)

区分	作物名	対象病害虫名
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)、イネミズゾウムシ、ツマグロコバヤ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ニカメイガ、コブノメイガ
	ムギ	うどんこ病、赤かび病
	ダイズ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類(アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、ブチヒゲカメムシ、ホソヘリカメムシ、ミナミアオカメムシ)
果 樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ミカンハダニ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類(クサギカメムシ、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)
	カキ	カキノハタムシガ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類(クサギカメムシ、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)
	ナシ	黒星病、シンクイムシ類(ナシヒメシンクイ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、カメムシ類(クサギカメムシ、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)
	ブドウ	べと病、ハマキムシ類(チャノコカクモンハマキ、チャハマキ)
茶	チャ	炭疽病、カンザワハダニ、ハマキムシ類(チャノコカクモンハマキ、チャハマキ)
野 菜	トマト	疫病、灰色かび病、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ
	ハクサイ	アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ)、コナガ、ハスモンヨトウ
	キャベツ	黒腐病、菌核病、コナガ、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ダイコンアブラムシ)、ハスモンヨトウ
	ネギ	さび病、アブラムシ類(ネギアブラムシ)
	イチゴ	灰色かび病、アブラムシ類(ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ

(2) 指定外有害動植物名(植物防疫法第 31 条) (延 82 種)

区分	作物名	対象病害虫名
普通作物	イネ	白葉枯病、もみ枯細菌病、苗立枯病、ばか苗病、縞葉枯病、萎縮病、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、フタオビコヤガ、アワヨトウ、イナゴ類、イネシガラレセンチュウ
	ムギ	さび病類、縞萎縮病、黒穂病類、ムギアカタマバエ、アブラムシ類
	ダイズ	紫斑病、コガネムシ類(マメコガネ、ヒメコガネ、ドウガネブイブイ)、シロイチモジマダラメイガ
果樹	カンキツ	褐色腐敗病、ヤノネカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、アブラムシ類(ミカンクロアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ワタアブラムシ)、ミカンハモグリガ、アカマルカイガラムシ
	カキ	炭疽病、うどんこ病、カキクダアザミウマ、フジコナカイガラムシ
	ナシ	赤星病、うどんこ病、輪紋病、アブラムシ類(ナシノアブラムシ、ナシミドリオオアブラムシ、モモアカアブラムシ)、クワコナカイガラムシ
	ブドウ	晩腐病、黒とう病、チャノキイロアザミウマ、クワコナカイガラムシ
	ウメ	黒星病、かいよう病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ
茶	チャ	もち病、輪斑病、チャノホソガ、チャノミドリヒメコバヤ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、クワシロカイガラムシ、ヨモギエダシヤク
野菜	トマト	葉かび病、黄化葉巻病、ハモグリバエ類、タバココナジラミ、オンシツコナジラミ、オオタバコガ
	ハクサイ	軟腐病、白斑病、べと病、ヨトウガ、モンシロチョウ
	キャベツ	根こぶ病、モンシロチョウ、ヨトウガ
	ネギ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、ネギコガ、シロイチモジヨトウ
	イチゴ	うどんこ病、炭疽病、アザミウマ類、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)

2. 病虫害発生予察の調査圃場

農作物の栽培地帯における病虫害の発生及び被害を的確に予想し、その地帯の防除作業の実施に寄与するために、県予察圃場、地区予察圃場、巡回調査圃場、侵入調査圃場を設置し、調査を実施する。

(1) 県予察圃場 (3 地点 7 圃場)

作目	設置場所	設置数	備考
イネ	農業研究所	1	コシヒカリ
カンキツ	紀南果樹研究室	1	紀南果樹研究室担当
チャ	茶業研究室	1	茶業研究室担当
秋冬ハクサイ	農業研究所	1	
冬キャベツ、春キャベツ	〃	2	
ネギ	〃	1	

(2) 予察灯・トラップ (10 地点 27 箇所)

作目	設置場所	設置数	備考
予察灯	農業研究所	2	イネ、畑作物
	紀南果樹研究室	1	カンキツ
	伊賀農業研究室	1	イネ
	紀北町紀伊長島区前山	1	イネ
	御浜町上野	1	イネ
フェロモントラップ	農業研究所	13	ニカメイガ(水田)、ハスモンヨトウ(畑)、コナガ(畑)、ネギコガ(畑)、チャノコカクモンハマキ(ナシ園)、チャハマキ(ナシ園)、ナシヒメシンクイ(ナシ園)、シロイチモジヨトウ(畑)、オオタバコガ(畑)、チャバネアオカメムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイ
	林業研究所	2	チャバネアオカメムシ(場内・山林内)
	津市大里窪田町	1	チャバネアオカメムシ
	多気町矢田	1	チャバネアオカメムシ
	玉城町宮古	1	チャバネアオカメムシ
ムシダス	菰野町、津市、松阪市	3	ハスモンヨトウ

(3) その他の調査圃場 (地区予察圃場 41 地点 41 圃場、巡回圃場 167 地点 480 圃場) 地点数は重複有り

県予察圃場の他に、地区予察圃場と巡回調査圃場で調査を行っている。

地区予察圃場は、農作物の中心地帯に農作物の種類ごとに設置した。この圃場における調査は、その地帯における病虫害の発生状況を把握するとともに、病虫害の発生に関与する各種の条件がどのように影響したかを検討する資料を得るために行なう。

巡回調査圃場は、病虫害の発生が類似した地点ごとに任意に抽出した圃場、あるいは地帯区分せずに系統抽出等によって抽出した圃場について定量的観察を行うとともに、管内を巡回して定性的観察を行うために設置する。以下の表中で、地区予察圃場の地名は太字で示してある。

- ① イネ 80 地点 320 圃場(地区予察圃場 19 地点 19 圃場＝19 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 80 地点 301 圃場＝61 地点各 4 圃場＋地区予察圃場 19 地点併置の各 3 圃場)

地区	設置場所
桑名	いなべ市北勢町阿下喜 いなべ市大安町高柳、いなべ市藤原町川合、桑名市坂井、桑名市多度町戸津、桑名市多度町北猪飼、桑名市長島町平方、東員町瀬古泉、木曽岬町小林
四日市鈴鹿	菰野町竹成、亀山市山下町、四日市市下海老町、鈴鹿市矢橋町、鈴鹿市御園町 菰野町田光、四日市市高角町、四日市市山田町、四日市市水沢野田町、四日市市采女町、四日市市茂福、亀山市太森町、鈴鹿市甲斐町、鈴鹿市岸岡町、鈴鹿市石薬師町、鈴鹿市津賀町、鈴鹿市徳田町
津	津市安濃町草生、津市安東町、津市一志町井生 津市芸濃町北神山、津市雲出本郷町、津市大里窪田町、津市野田、津市美里町家所、津市戸木町、津市白山町川口、津市白山町中ノ村
松阪	松阪市美濃田町、多気町兄国、明和町坂本 松阪市嬉野下之庄町、松阪市嬉野須賀町、松阪市中ノ庄町、松阪市藤之木町、松阪市飯南町粥見、松阪市清水町、松阪市西黒部町、松阪市伊勢場町、多気町朝柄、明和町北藤原、明和町明星
伊勢志摩	伊勢市円座町、玉城町蚊野、志摩市磯部町下之郷 伊勢市上地町、伊勢市西豊浜町、伊勢市楠部町、伊勢市小俣町相合、玉城町勝田、度会町牧戸、鳥羽市松尾町、南伊勢町泉
伊賀	伊賀市大野木、伊賀市甲野 伊賀市羽根、伊賀市岡田、伊賀市小田町、伊賀市川西、伊賀市中柘植、伊賀市猪田、伊賀市馬田、名張市赤目町、名張市東田原
紀州	紀北町紀伊長島区赤羽、熊野市飛鳥町 紀北町海山区中里、紀宝町大里、熊野市有馬町、御浜町下市木、御浜町神木

- ② 27 年産コムギ 13 地点 52 圃場(巡回調査圃場 13 地点 52 圃場＝13 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町片樋、東員町六把野	松阪	松阪市藤之木町、松阪市嬉野須賀町、多気町兄国
四日市鈴鹿	四日市市北野町、菰野町池底、鈴鹿市下大久保町	伊勢志摩	伊勢市西豊浜町
津	津市殿村、津市芸濃町萩野	伊賀	伊賀市西之澤、伊賀市畑村

- ③ ダイズ 8 地点 32 圃場(巡回調査圃場 8 地点 32 圃場＝8 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町大井田	松阪	松阪市藤之木町、松阪市保津町
四日市鈴鹿	四日市市江村町、鈴鹿市下大久保町	伊賀	伊賀市木興町、伊賀市千戸
津	津市白山町川口		

④ カンキツ 12 地点 13 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場＝2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 10 地点 11 圃場)

表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	桑名市多度町小山(1)	伊勢志摩	南伊勢町船越(1)、五ヶ所浦(1)、泉(1)
津	津市大里窪田町(1)	紀州	紀北町紀伊長島区海野(1)、熊野市久生屋町(1)、御浜町下市木(1)・阿田和・中立(2)、紀宝町大里(1)
松阪	多気町五桂(1)、松阪市小阿坂町(1)		

⑤ カキ 2 地点 4 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場＝2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 2 地点 2 圃場＝地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場)

表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
松阪	松阪市嬉野川北町(2)	伊勢志摩	玉城町蚊野(2)

⑥ ナシ 6 地点 9 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場＝3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 3 地点 6 圃場＝3 地点各 2 圃場)

表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市下海老町(2)	伊勢志摩	玉城町富岡(1)
津	津市久居小野辺町(1)、津市香良洲町(1)	伊賀	伊賀市羽根(2)
松阪	松阪市笹川町(2)		

⑦ ブドウ 5 地点 8 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場＝2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 5 地点 6 圃場＝2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場)

表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市久居明神町(1)	伊賀	伊賀市森寺(2)、伊賀市上之庄(2)、名張市下小波田(2)
伊勢志摩	玉城町勝田(1)		

⑧ ウメ 4 地点 4 圃場(巡回調査圃場 4 地点 4 圃場＝4 地点各 1 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市片田田中町	紀州	御浜町中立、紀宝町大里
伊勢志摩	南伊勢町船越		

⑨ チャ 6 地点 23 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場＝3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 6 地点 20 圃場＝3 地点各 3 圃場+地区予察圃場 3 地点併置の 11 圃場)

表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市水沢町・堂ヶ山町(6)、鈴鹿市山本町(4)、亀山市太森町(3)	伊勢志摩	度会町大野木・棚橋・牧戸(3)
松阪	大台町柝原・多気町色太(4) 松阪市飯南町粥見(3)		

⑩ 野菜 46 地点 56 圃場(地区予察圃場 10 地点 10 圃場＝10 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 36 地点 46 圃場
＝32 地点 39 圃場＋地区予察圃場 4 地点併設の 7 圃場) 表中の(数字)は圃場数

野菜名	地区	設置場所	地区予察圃場	巡回調査圃場
冬春トマト	桑名 四日市鈴鹿 松阪 伊勢志摩	木曽岬町小和泉(1)、木曽岬町見入(1)、木曽岬町源緑輪中(1)、桑名市長島町(1) 四日市市貝家町(1) 松阪市嬉野一志町(1)、明和町佐田(1) 伊勢市小俣町相合(1)	1 地点 1 圃場	7 地点 7 圃場
秋冬ハクサイ	四日市鈴鹿 津 松阪	四日市市貝家町(1)、四日市市下海老町(3)、菰野町池底(1)、鈴鹿市国分町(2) 津市一志町須ヶ瀬町(3) 多気町丹生(1)、明和町志貴(1)	2 地点 2 圃場	6 地点 10 圃場
冬キャベツ	四日市鈴鹿 津 松阪 伊勢志摩	菰野町池底(1)、四日市市下海老町(1)、四日市市貝家町(1)、鈴鹿市国府町(2) 津市芸濃町棕本(3)、津市久居野口町(1)、津市新家町(1) 松阪市嬉野森本町(1) 玉城町岡出(1)	3 地点 3 圃場	12 地点 15 圃場
春キャベツ	四日市鈴鹿 津	四日市市平尾町(1)、菰野町池底(1) 津市川方町(2)、津市新家町(2)		
ネギ	松阪 伊勢	明和町川尻(2) 伊勢市東豊浜町(4)	1 地点 1 圃場	2 地点 5 圃場
冬春イチゴ	津 松阪 伊勢志摩	津市芸濃町棕本(1)、津市一志町石橋(1) 松阪市藤之木町(1)、松阪市曾原町(1)、松阪市嬉野権現前町(1)、松阪市新開町(1) 玉城町勝田(1)、玉城町岩出(1)、志摩市阿児町神明(1)、伊勢市小俣町相合(1)、鳥羽市堅神町(1)、志摩市磯部町栗木広(1)	3 地点 3 圃場	9 地点 9 圃場

(4)ミバエ類等侵入警戒調査圃場(6 地点)

果樹等に多大の被害をもたらすミバエ類の侵入警戒のために誘引トラップを設置する(4～10 月)。

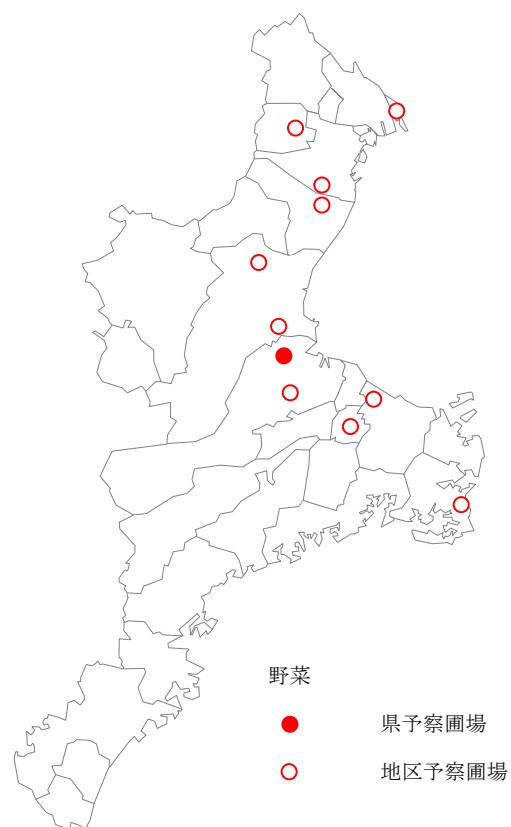
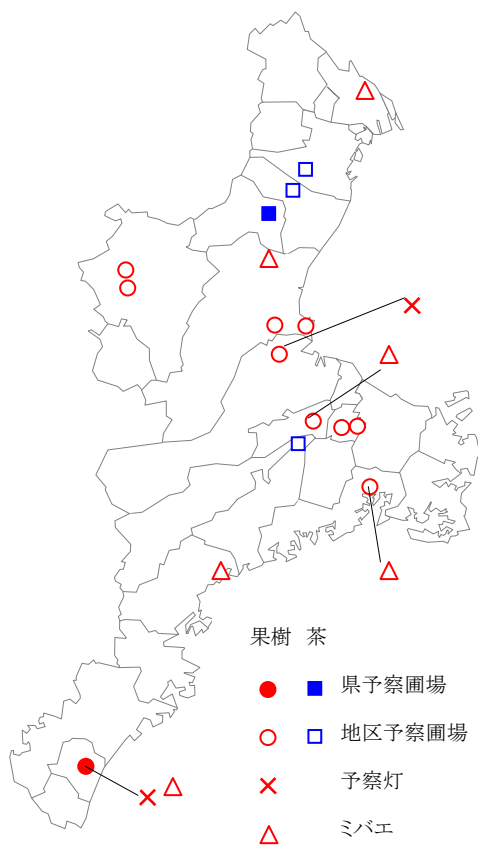
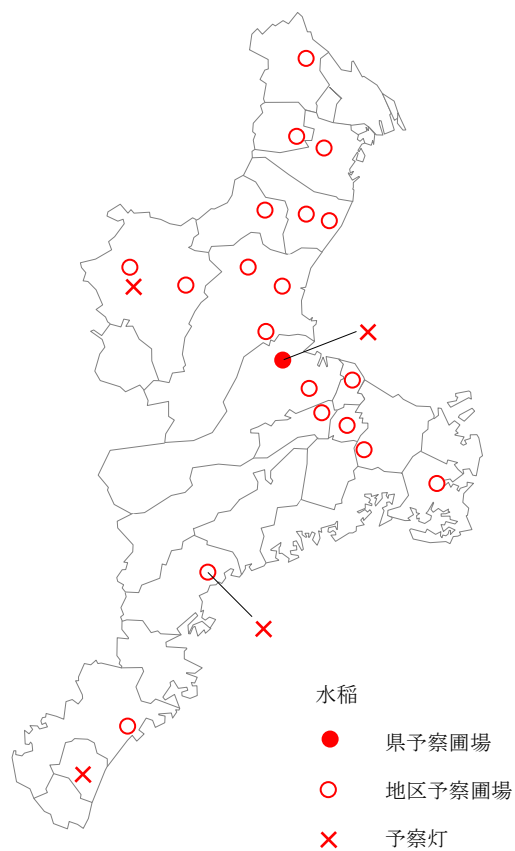
地区	設置場所	ウリミバエ・ミカンコミバエ種群 (ユーゲルア D8)	チチュウカイミバエ (メドフライコール)
桑名	桑名市多度町小山	○	○
津	津市大里窪田町	○	○
松阪	多気町五桂	○	○
伊勢志摩	南伊勢町船越	○	○
紀州	紀北町紀伊長島区海野	○	○
	御浜町志原(紀南果樹研究室)	○	○

(5)火傷病侵入警戒調査圃場(6 地点)

寒冷地のリンゴ等に多大の被害をもたらす火傷病の侵入警戒のために巡回調査を実施する(4～9 月)。

調査樹	地区	設置場所
日本ナシ	津	津市久居小野辺町、津市香良洲町
	松阪	松阪市笹川町
	伊勢	玉城町富岡
	伊賀	伊賀市羽根
カナメモチ	四日市鈴鹿	鈴鹿市高塚町

(6) 調査地点図



3. 作物別の病虫害発生状況

(1) 水稻

a 生育状況

(a) 育苗期

やや根張りが弱いものの、昼間高温にならず、徒長、高温障害、カビ等病害の発生は少なかった。

(b) 移植～活着期

移植のピークは4月第5半旬～5月第1半旬であった。4月下旬以降気温は高めで推移し、日照も多かったため、活着～初期生育は順調であった。

(c) 分けつ期

5月中の気温が高めで推移し、日照量も多かったため、水稻の初期生育が順調で、昨年と比べて草丈、一株茎数はやや上回り、葉齢の進み方もやや早くなった。葉色はほぼ同等となった。

(d) 幼穂形成期～出穂期

生育基準田の幼穂形成期における草丈・茎数・葉齢および葉色は昨年と大きな差はなかった。出穂期は7月15～20日頃と例年より3～4日早かった。このことは、入梅からの天候は、日照量は減少し、最高気温は平年より低いものの、最低気温は平年並で推移し、葉齢をみても生育速度は維持されていたによると推察される。

(e) 登熟期

生育基準田の調査結果から、成熟期の稈長、穂長は前年と大きな差はなかったが、穂数は前年より30%少なく、単位面積当たりの栄養競合が緩和されたことから、屑米率が低くなったと考えられる。また、登熟後期の日照が少なかったことから千粒重はやや小さくなった。

(f) 作柄

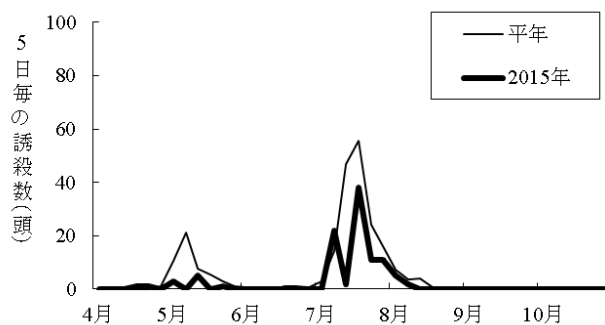
収量は490kg/10a、作況指数98とやや不良であった。コシヒカリの1等米比率は41.1%(うるち米全体43.7%)と昨年をやや上回っている。登熟後期からの日照不足による基部未熟、背・腹白粒や、カメムシ被害粒がみられた。

b 病虫害の発生状況

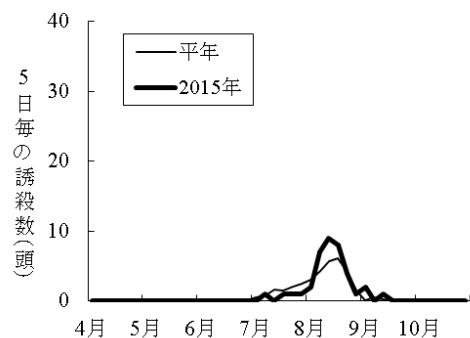
(a) 予察灯での誘殺状況(水田は60ワット白熱灯、畑地は100ワット水銀灯)

・イネミズゾウムシ

・フタオビコヤガ

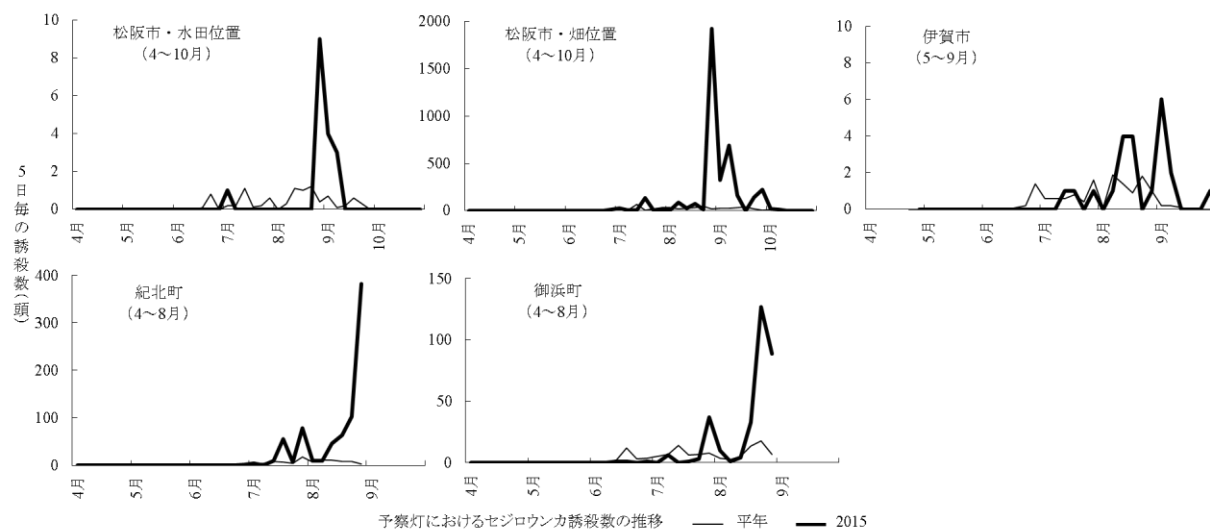


予察灯におけるイネミズゾウムシ 誘殺数の推移(松阪市)

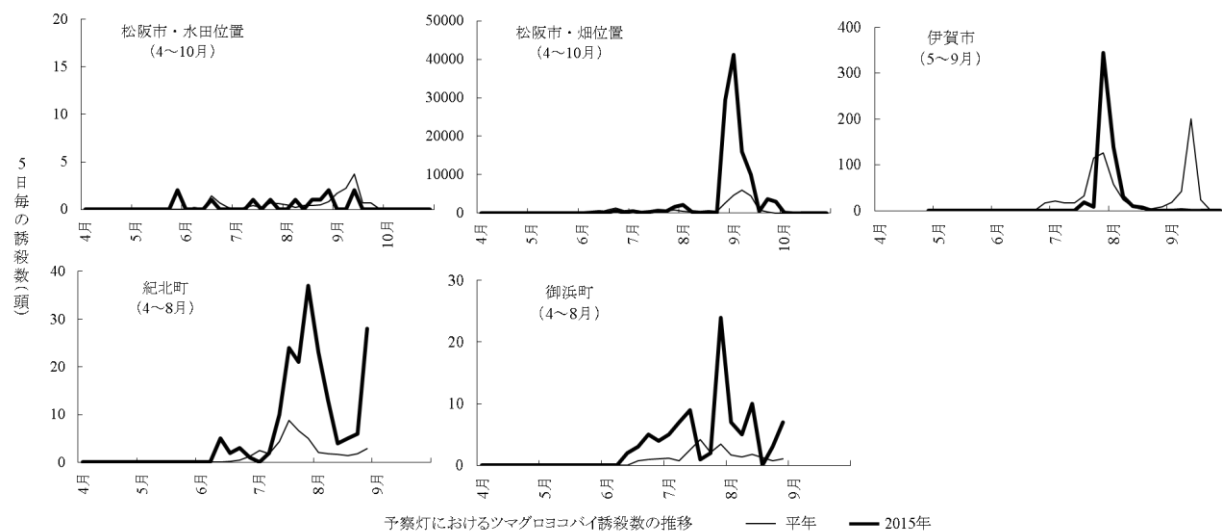


予察灯におけるフタオビコヤガ 誘殺数の推移(松阪市)

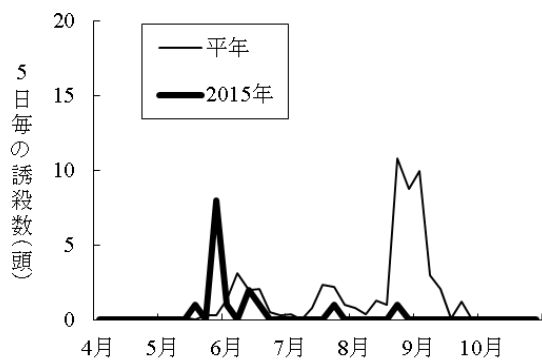
・セジロウシ



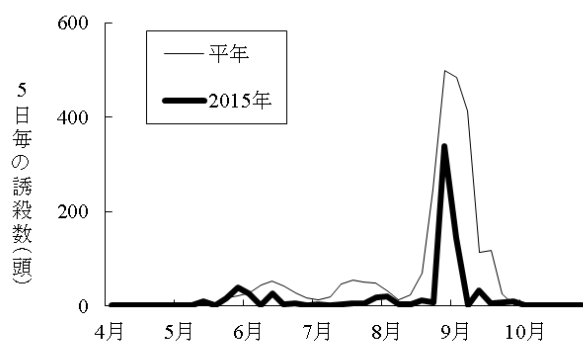
・ツマグロヨコバイ



・イネクロカメシ

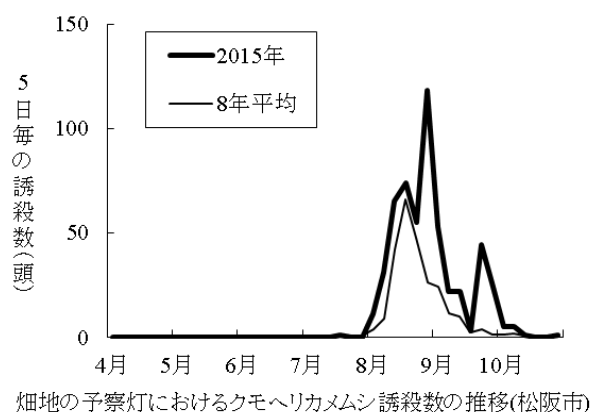


水田の予察灯におけるイネクロカメシ誘殺数の推移(松阪市)

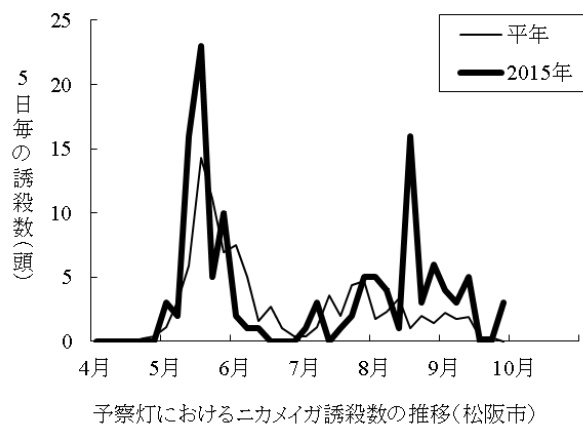


畑地の予察灯におけるイネクロカメシ誘殺数の推移(松阪市)

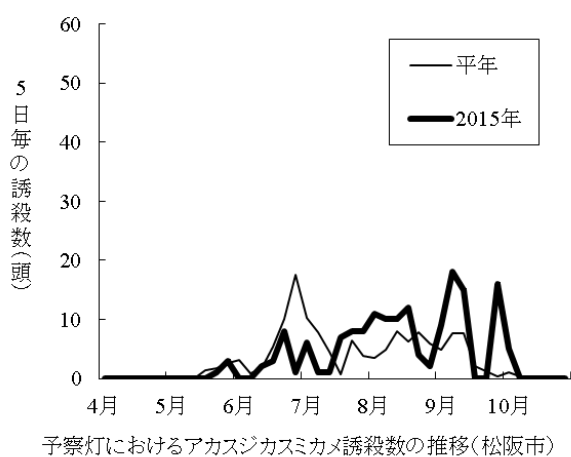
・クモヘリカメムシ



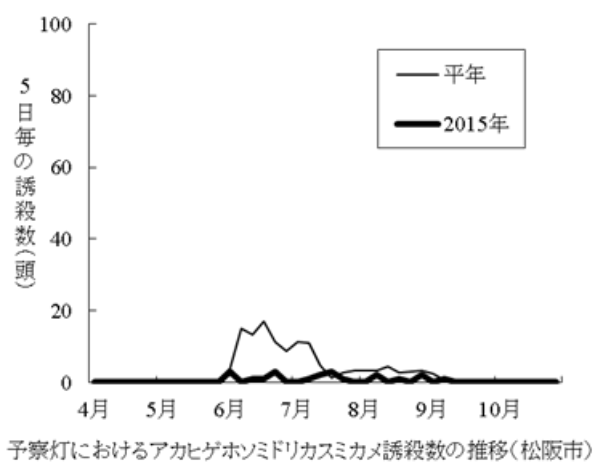
・ニカメイガ



・アカスジカスミカメ

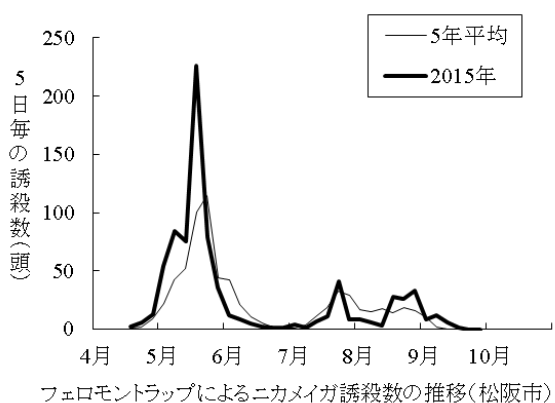


・アカヒゲホソミドリカスミカメ



(b) フェロモントラップでの誘殺状況

・ニカメイガ



2015 年の水稻、小麦およびダイズ作における病害虫の発生状況について

はじめに

三重県の 2015 年産水稻の収穫量は 10a あたり 490kg(作況指数 98・農林水産統計 12 月 4 日)、小麦の収穫量は 10a あたり 265kg(農林水産統計 11 月 17 日公表)でした。また、ダイズでは 2014 年産収穫量でみると、10a あたり 88kg(農林水産統計 4 月 17 日公表)でした。

気象条件は、目まぐるしいほどの変化がみられました。4 月は上旬の記録的な寡照、中旬の曇りや雨がちのりと下旬の晴天、5 月は記録的な高温・少雨、6 月は低温・多雨・寡照、7 月は上旬の低温・寡照と下旬の高温と台風第 11 号(16 日から 17 日にかけて)による大雨、8 月は前半の高温と後半の多雨と台風第 15 号(25 日)による大雨となりました。

そこで、年間の時系列に沿って、2015 年の作物分野における代表的な病害虫の発生状況について若干の知見が得られましたのでここに報告します。

1. 小麦における赤かび病の発生状況について

小麦の重要病害である赤かび病の発生状況は、年次による相関はみられませんが、2003・2006・2012 年は発病した圃場の割合が特に高くなりました。また、発病した穂の割合を最近 10 年間でみると、2006 年と 2012 年のそれぞれ約 7%と約 3%でした(図 1)。

本年は、4 月上旬からの記録的な寡照とその後の天候不順の影響により、赤かび病の多発生が懸念されました。そこで、病害虫防除技術情報第 1 号(4 月 16 日)と病害虫発生予察注意報第 1 号(4 月 23 日)を発表し、注意喚起を行いました。その後、天候の回復と適期での防除により、昨年よりも発病した圃場の割合、発病した穂の割合とも低くなったと考えられました。

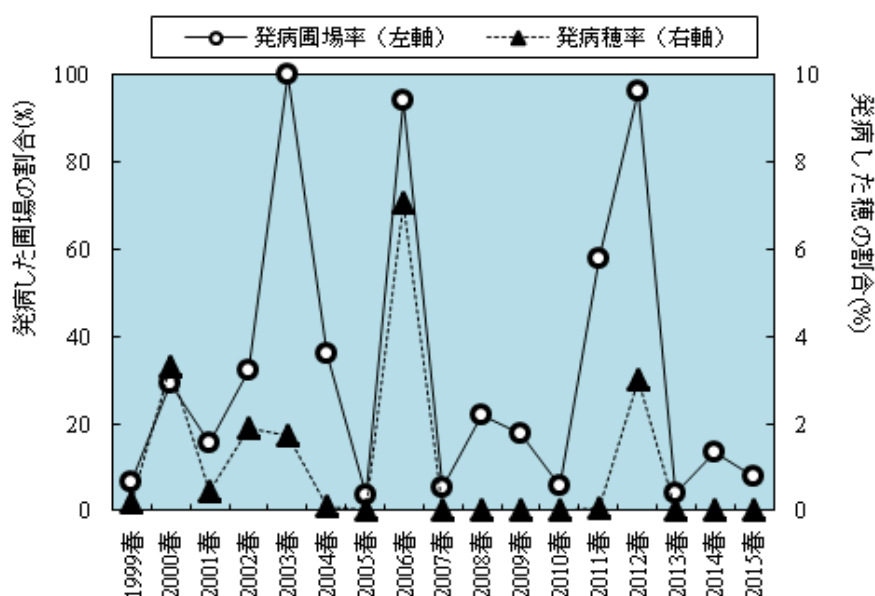


図1. 5月上旬における小麦赤かび病の発生状況の推移
(1999～2015年巡回調査結果)

2. 水稻におけるいもち病・紋枯病の発生状況について

水稻の重要病害であるいもち病の発生状況は、葉いもちにおいては、1999 年以降低減傾向にあると考えられますが、2010・2011 年に増加しました。また、穂いもちにおいても同様の傾向にあると考えられますが、2011 年に増加しました(図 2)。

2015 年は、低温・多雨・寡照が 6 月から長期間続き、いもち病の発生が懸念されました。そこで、病害虫防除

技術情報第 11 号(葉いもち・6 月 30 日)と同第 13 号(葉いもち・穂いもち・7 月 17 日) を発表し、注意喚起を行いました。7 月上旬に確認された葉いもちの多発生圃場では坪枯れ状(図 3)を示しており、顕著に病斑が現われていました(図 4)。その後、適期防除と天候の回復などにより、発病が平年よりも低く抑えられました。

また、近年、QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤)耐性イネいもち病菌(以下、耐性菌)が確認されています。そこで、病虫害防除技術情報第 16 号(11 月 19 日)を発表し、注意喚起を行いました。2014 年度は 2 地点において 2 病斑の耐性菌が、2015 年度は 3 地点において 7 病斑の耐性菌が確認された状況から、県内での耐性菌の発生は、一部の圃場、地域にとどまっており、QoI 剤のいもち病防除効果は低下していないものと判断されます。今後の対策として、耐性菌をまん延させないために QoI 剤を適切に使用するとともに、いもち病の基本的な防除対策を再度徹底することが重要です。

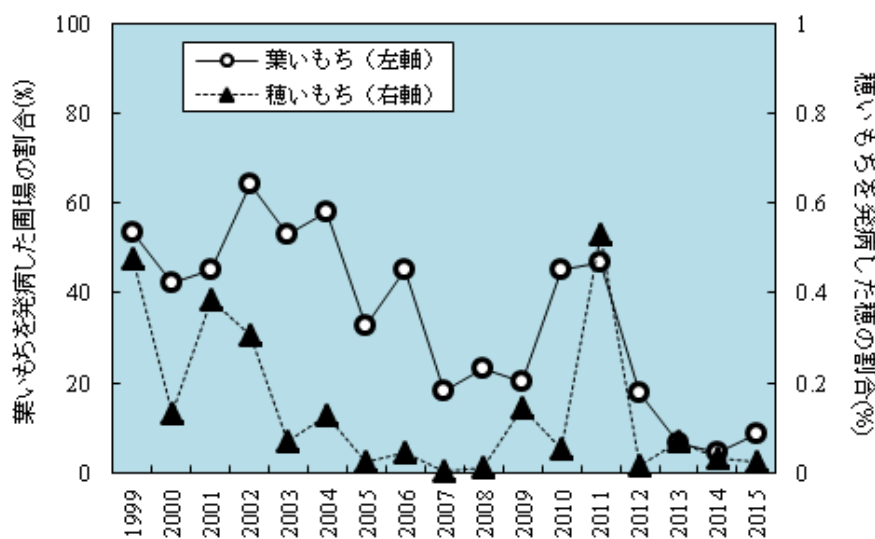


図2. 7月上旬における葉いもち発生状況の推移および8月上旬における穂いもち発生状況の推移(1999～2015年巡回調査結果)



図3. イネいもち病(葉いもち)多発圃場全景
(2015年7月8日撮影)



図4. イネいもち病(葉いもち)多発圃場における発病株の状況
(2015年7月8日撮影)

続いて、紋枯病についてみますと、1999 年以降低減傾向にあると考えられます。しかしながら、発病株率が 2002 年と 2006 年を頂点とした山型となりました。このことは、低減傾向にあった状況から増加傾向に一変する可能性を否定できないと考えられます。その後、2014 年にかけて低減してきましたが、2015 年には増加しています。寡少ではありますが増加傾向へ転じている可能性を否定できないと考えられます(図 5)。

2015 年 7 月下旬から 8 月上旬にかけての高温は、紋枯病の生育に最適な環境条件となり、発病株率が増加に転じたものと考えられます。発病が認められた圃場では、伝染源となる菌核の除去のため、畦畔雑草の除去や代かき時に水尻や畦畔沿いに集まったごみの除去を行う耕種的防除を行なうと効果が高まります。

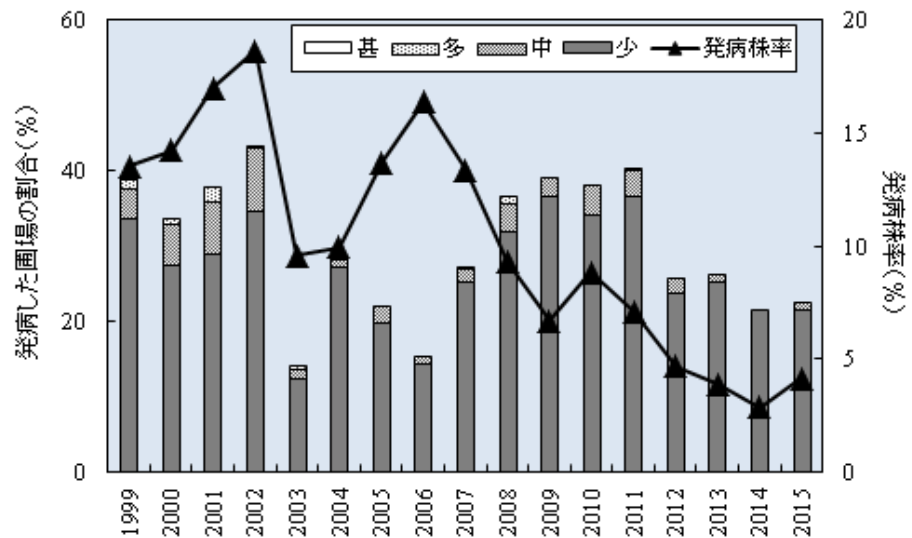


図5. 8月上旬における紋枯病発生状況の推移
(1999～2015年巡回調査結果)

3. 水稻における斑点米カメムシ類の発生状況について

水稻の重要害虫で吸汁により斑点米(図 6)を生じさせるカメムシ類は、クモヘリカメムシ(図 7)、シラホシカメムシ類、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ、アカスジカスミカメ等が挙げられます。クモヘリカメムシの県内の



図 6. 斑点米カメムシ類による被害(左:斑点米、中:黒点米、右:尻黒米)

各予察灯における 2015 年誘殺数を図示しました(図 8～図 12)。県内には、農業研究所水田地、農業研究所畑地、農業研究所伊賀農業研究室水田地、紀北町水田地、御浜町水田地に予察灯が設置されています。

農業研究所水田地における誘殺数の推移は、8 月第 4 半旬から 9 月第 2 半旬までの期間で発生が多くなり、平年値よりやや多く、また遅い時期まで発生がみられました(図 8)。同じく畑地においては、8 月第 1 半旬から 9 月第 1 半旬までの期間で発生が多く、平年値より多く発生がみられました(図 9)。農業研究所伊賀農業研究

室水田地においては、7月第4半旬から第6半旬までと、8月第2半旬から第5半旬までの2つの期間で発生が多くなり、平年値より早く、かつ多く発生がみられました(図10)。紀北町水田地においては、7月第4半旬と、7月第6半旬から8月第6半旬までの期間で発生が多くなり、平年値より遅く、かつやや多く発生がみられました(図11)。御浜町水田地においては、7月第2半旬から第4半旬と、7月第6半旬から8月第6半旬の調査終了までの期間で発生が多くなり、平年値並みに推移しつつ、その後発生が多くなりました(図12)。2015年夏季の気象の大きな変化、特に、大雨や台風などにより発生が低く抑えられた時期とその反面の生育に適した時期とが交叉し、発生時期の後退と発生数の増加となったと考えられます。



図7. 稲穂を吸汁加害するクモヘリカメムシ
(2015年8月21日撮影)

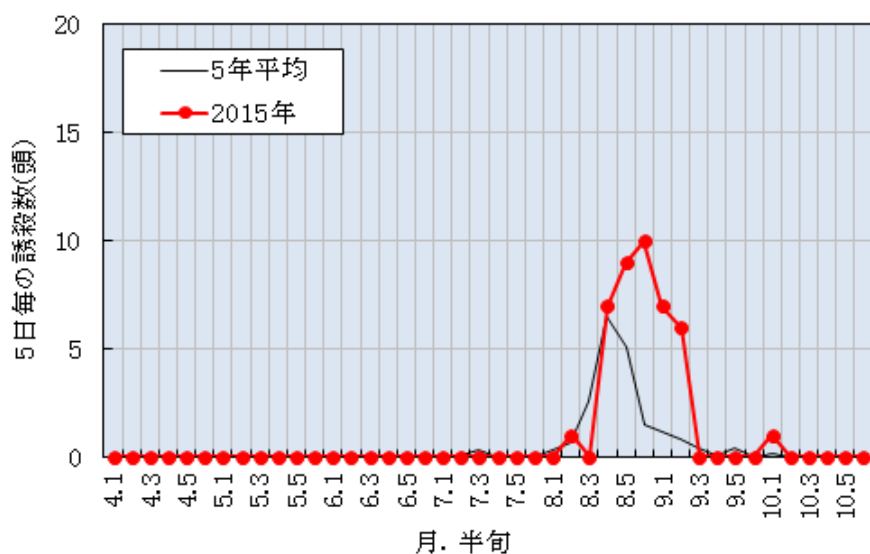


図8. 農業研究所水田地予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

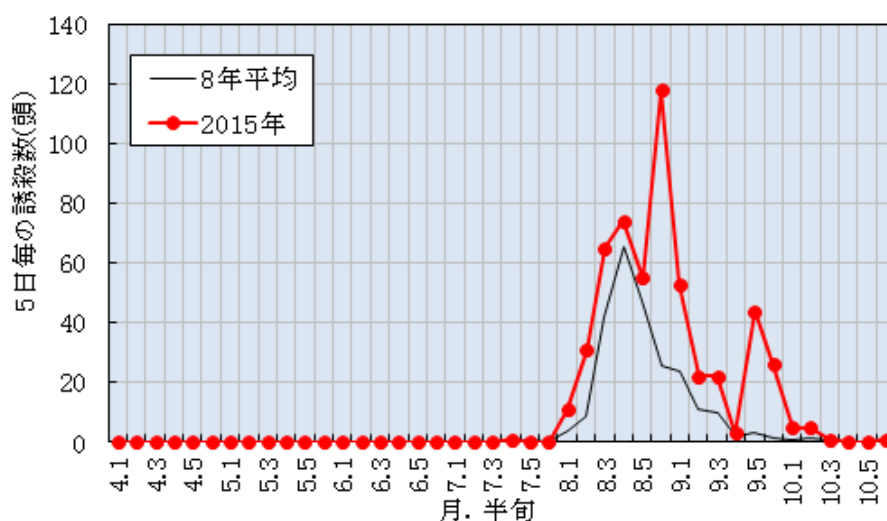


図9. 農業研究所畑地予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

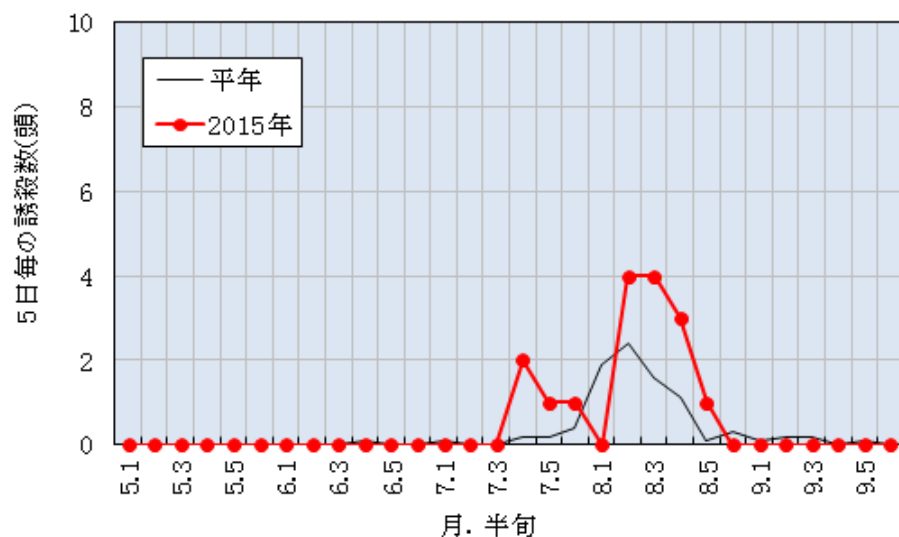


図10. 農業研究所伊賀農業研究室水田地予察灯におけるクモ
ヘリカメムシの誘殺数 (伊賀市 60W白熱灯)

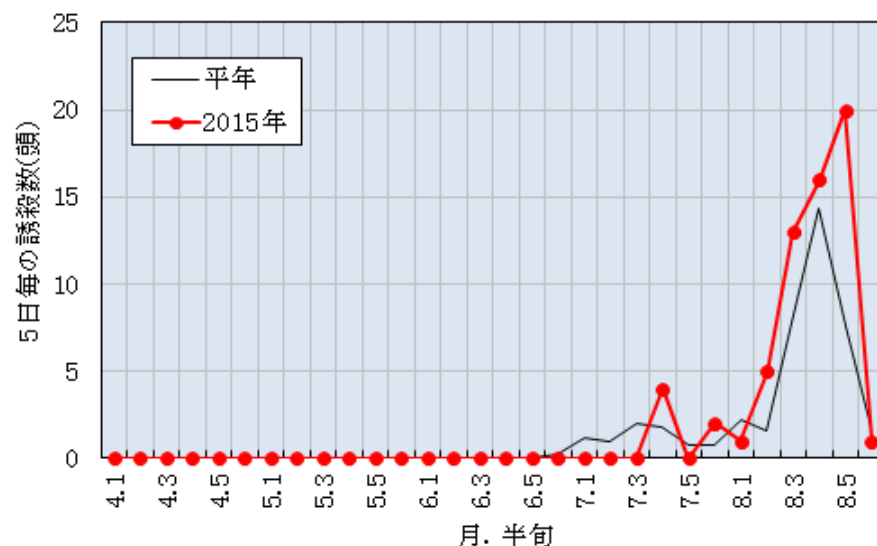


図11. 紀北町水田地予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(60W白熱灯)

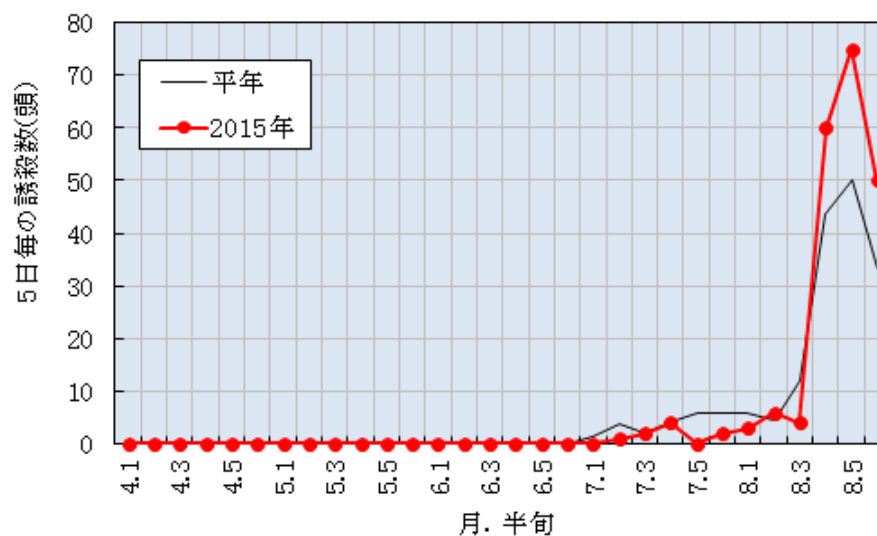


図12. 御浜町水田地予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(60W白熱灯)

4. ダイズにおける吸実性カメムシ類の発生状況について

ダイズの重要害虫で吸汁による被害(図 13)を生じさせるカメムシ類は、アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ、ミナミアオカメムシ(図 14・図 15)等が挙げられます。ミナミアオカメムシの予察灯における 2015 年誘殺数を図示しました。



図 13. 吸実性カメムシ類による被害(左:萎縮粒、中:変形粒、右:変色粒)



図 14. ミナミアオカメムシ成虫と卵塊
(2015 年 9 月 25 日撮影)



図 15. ミナミアオカメムシ中齢幼虫
(2015 年 12 月 10 日撮影)

農業研究所水田地における誘殺数の推移は、8 月第 4 半旬から 9 月第 3 半旬までの期間で発生が多くなり、平年値より多くみられました(図 16)。同じく畑地においては、8 月第 4 半旬から 9 月第 6 半旬までの期間で発生が多く、平年値よりやや早く、平年並みに発生がみられました(図 17)。2015 年夏季の気象の大きな変化により、発生時期や発生の多さに変化がみられたと考えられます。

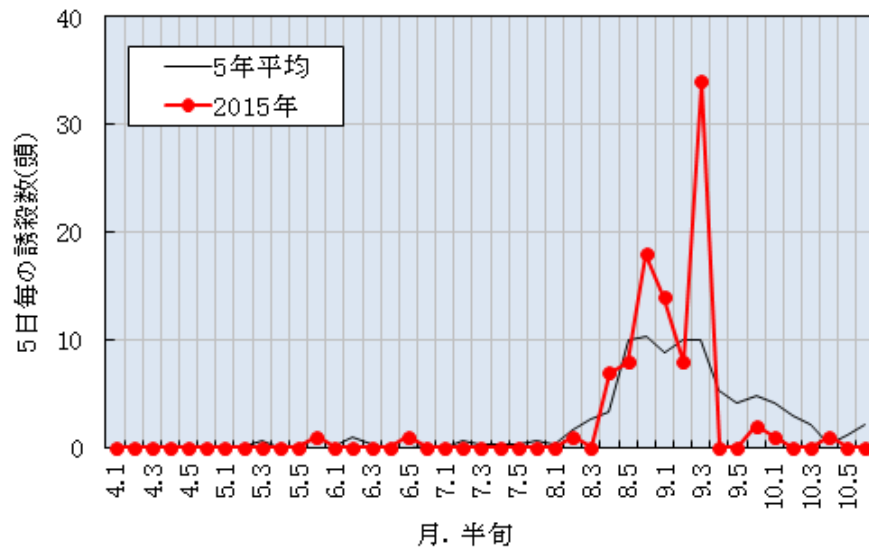


図16. 農業研究所水田地予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

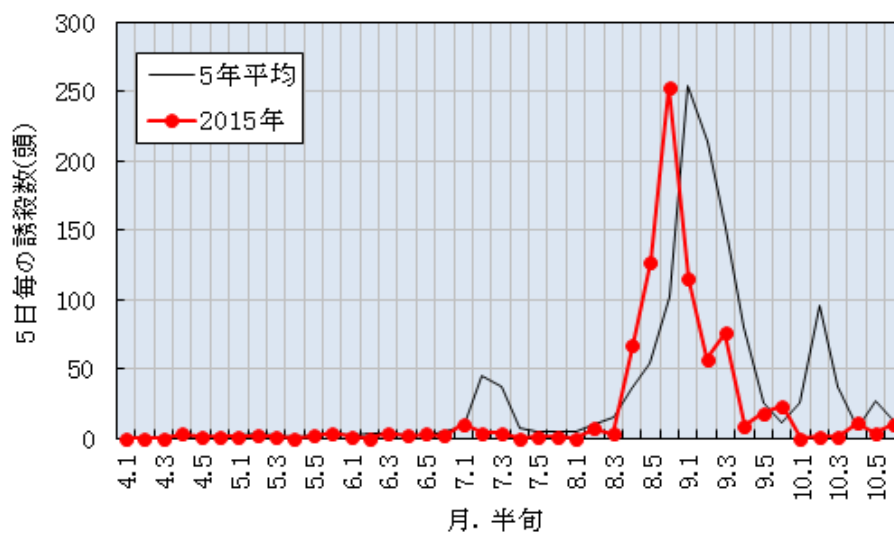


図17. 農業研究所畑地予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

おわりに

近年、気象条件が目まぐるしく変化しています。病害虫の発生状況は、品種や栽培方法の違い、地域や圃場単位で異なります。病害虫の発生動向に充分注意して、防除対策を練る必要性が高いと考えられます。

(2) 麦類(27 年産)

a 生育状況

(a) 播種期

オオムギの播種は 10 月下旬～11 月中旬に行われた。コムギの播種作業は 11 月上旬より始まった。降雨により 11 月第 1 週目の進捗は遅かったが、天候が安定したことにより第 2 週目以降順調に進み、多くの地域で年内に播種作業を終えることができた。

(b) 生育期

播種後の生育については、気温は高めで、降水もあり、麦の発芽～初期生育は順調であった。

12 月中は、低温の影響はあるものの生育は順調であった。1 月中は、上旬の低温、中旬以降の平年並～やや温暖、下旬の日照時間の少なさの影響で、例年よりも生育はやや遅かった。

1 月中旬以降、気温は平年並～高めで推移し、降雨もあり、生育は平年並となった。播種時期の違いによる生育差は、徐々に縮まった。

3 月には、オオムギの草丈は平年に比べて少し長め、茎数、生育進度は平年並となった。降水量が多いために、コムギでは平年同時期よりも葉色はやや薄めで推移しており、葉色に応じて止葉抽出期の追肥施用が行われた。

(c) 出穂期

オオムギでは、3 月の気温が高めで推移したため、出穂は平年並み～やや早かったが、4 月に入ってから日照時間が少なかったために開花期はほぼ平年並みとなった。

コムギでは、出穂期まで降雨日が多く、赤かび病や湿害の発生が懸念されたが、出穂期以降晴天が続いて防除作業は順調に行われた。栽培管理が徹底により、目立った湿害の発生は少なかった。

(d) 登熟期

オオムギの収穫作業は、6 月下旬までに終了した。外観品質は良好である。冬期に降雨が多かったこと等によりやや小粒傾向で、収量は昨年より二割程度少ない見込みとなっている。

コムギの収穫作業は、5 月末から一部で始まり、6 月下旬までに終了した。全般に外観品質は良好であるが、3～4 月に日照が少なかった影響でやや小粒傾向となっている。収量は 265kg/10a(平年 262kg/10a)と、平年並で、タンパク質含量など品質も良好であった。

b 病害虫の発生状況

コムギ縞萎縮病は「タマイズミ」の作付地域では発生したが、病徴は 4 月中にマスキングされた。耐病性品種の作付が進められたため、県全体としての発生量は少なかった。

赤かび病については、1)4 月上旬が曇雨天で日照時間はかなり少なく、気温、降水量ともに平年並みから高く推移していたこと、2)開花期に曇雨天が多いと予想されていることから、感染のしやすさや発病の多発が予想されたため注意報を発した。その後、好天となり、無人ヘリ等で適期に防除が実施されたため発生量は少なく抑えられた。

(3) 大豆

a 生育状況

(a) 播種期

播種作業は、梅雨の影響により播種時期が7月下旬～8月上旬と遅くなった。

(b) 生育期

生育初期は好天であったが、8月中旬以降の多雨、8/25、9/9の台風による冠水や湿害を受けて生育量の確保が困難であった。

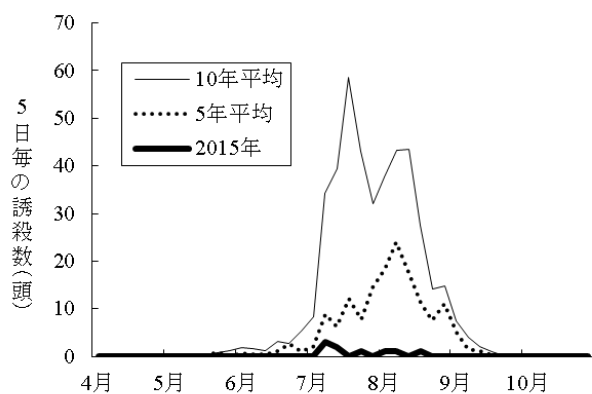
(c) 成熟期

近年被害が目立っている吸汁性カメムシの発生は平年並みであった。

10月以降温暖多照に推移したため樹勢が回復し、葉の黄化ペースは緩慢であったが、収穫作業は11月下旬から始まり、例年通り12月に終了した。収量は76kg/10a(平年124kg/10a)と、前年同様に低収であった。大粒比率は42%(平年40.1%)、一等比率は69%(平年58.7%)と平年並であり、近年下落傾向であったが回復しつつあり、上昇傾向にある。

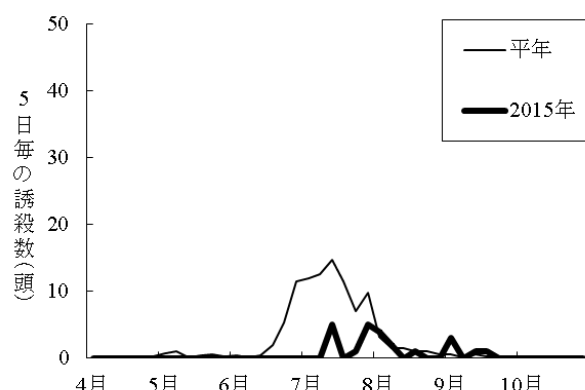
b 病害虫の発生状況

・アオクサカメムシ



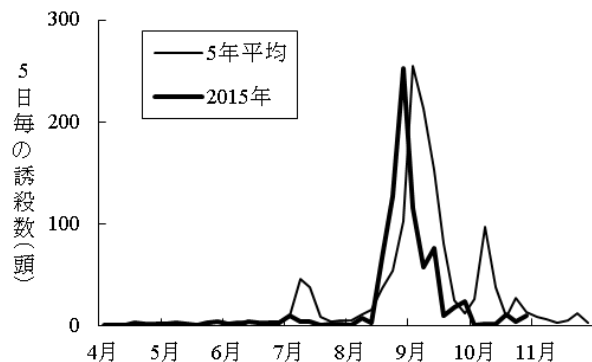
予察灯におけるアオクサカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

・イチモンジカメムシ

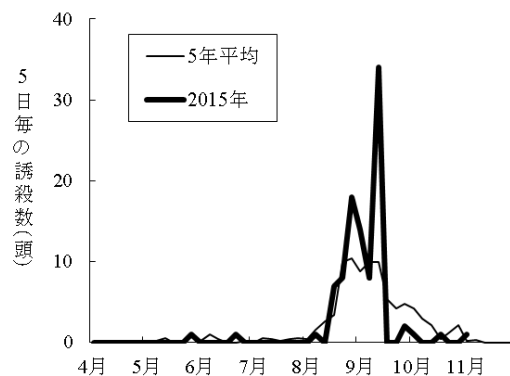


予察灯におけるイチモンジカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

・ミナミアオカメムシ

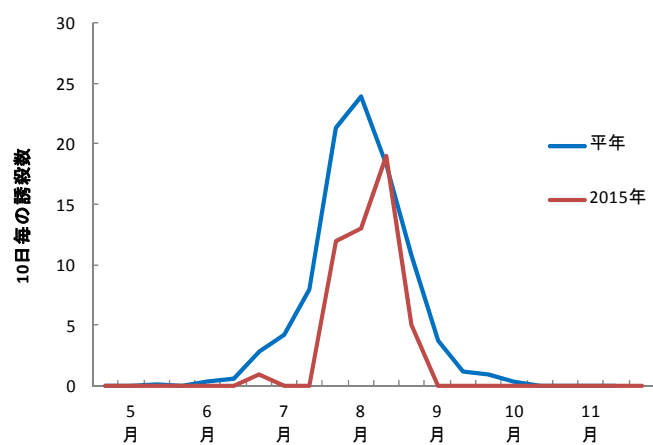


畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシ誘殺数の推移(松阪市)



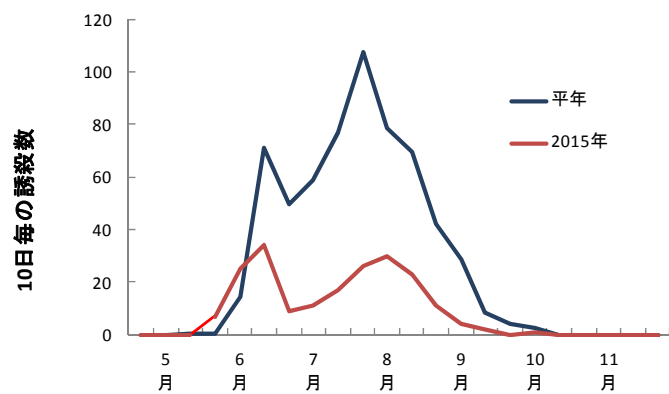
水田の予察灯におけるミナミアオカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

・ヒメコガネ



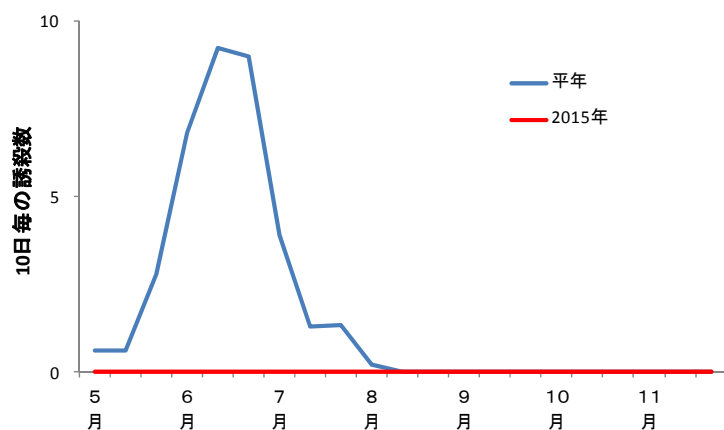
フェロモントラップによるヒメコガネの発生消長

・マメコガネ



フェロモントラップによるマメコガネの発生消長

・ドウガネブイブイ



フェロモントラップによるドウガネブイブイの発生消長

(4) 果樹

①生育状況

ア カンキツ

- ・発芽期は、平年に比べて極早生温州では2日、早生温州では3日早かった。
- ・開花盛期は、平年に比べて極早生温州では6日、早生温州では5日早かった。
- ・着花量は、極早生温州はやや多、早生温州は平年並、普通温州は平年並であった。
- ・果実発育は、横径が極早生温州は2.4mm、早生温州は5.0mm 平年より小さく、肥大が劣った。
- ・果実品質は、糖度については、平年に比べて極早生温州は0.5度低く、早生温州は0.8度高くなった。クエン酸については、極早生・早生温州ともに平年並みだった。

イ ナシ(幸水)

- ・開花期は平年より4日早かった。開花後は気温が高く、結実は良好な年であった。収穫盛期は平年より4日早くなった。
- ・果実の成長は良好であり、収穫期における果実は平年よりかなり大きくなったが、6、7月と生育期間中の降雨が平年より多く、糖度はやや低い傾向であった。

ウ カキ(前川次郎)

- ・発芽期は平年より6日程度早く、開花期も5日程度早くなった。
- ・着蕾数は平年より少なかったため、生理落果も少なかった。
- ・生育後半の気温が高く推移し、着色がやや遅れ、収穫時期は平年より6日遅くなった。
- ・果実品質は、平年と比較して糖度は高く、果実は大きかった。

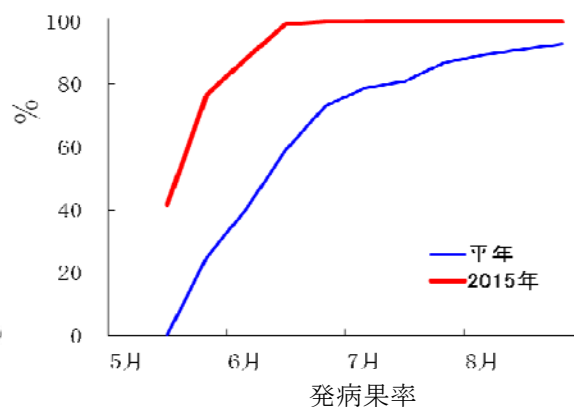
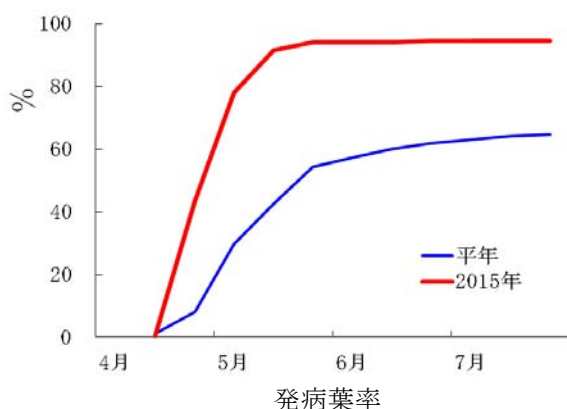
エ ブドウ(巨峰)

- ・発芽期は露地栽培で平年より12日早くなったが、その後4月中旬の低温により一部で霜害の被害が発生し、生育が遅延したため満開期では平年より3日早くなった。
- ・有核栽培ではやや結実不良であったが、摘粒後の着粒数は確保できた。
- ・収穫期は加温ハウスで平年より2日程度遅くなった。露地栽培では8月中下旬、9月上旬の天候が安定しなかったため、収穫開始、収穫盛とも平年より7日程度遅くなった。
- ・果実品質は平年と比較して糖度、果粒重とも同程度であった。

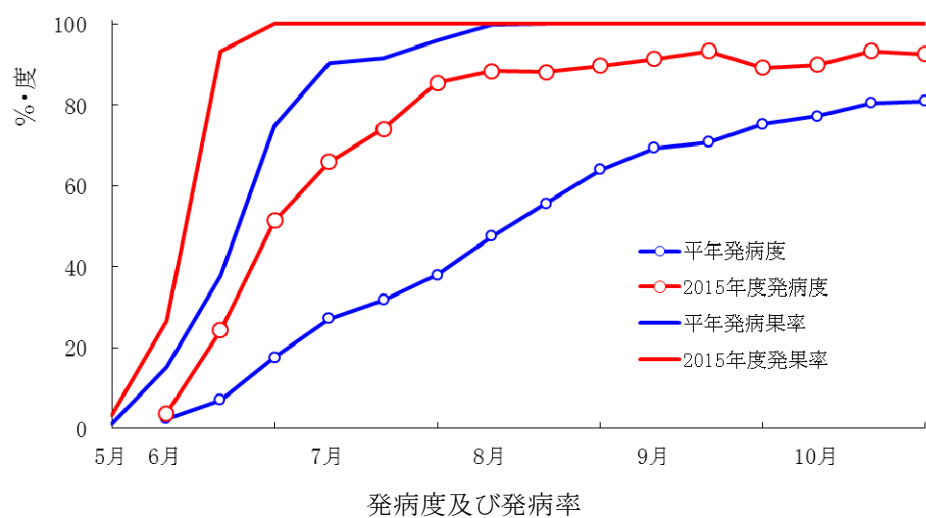
②病害虫の発生状況

ア カンキツ(御浜町 紀南果樹研究室)

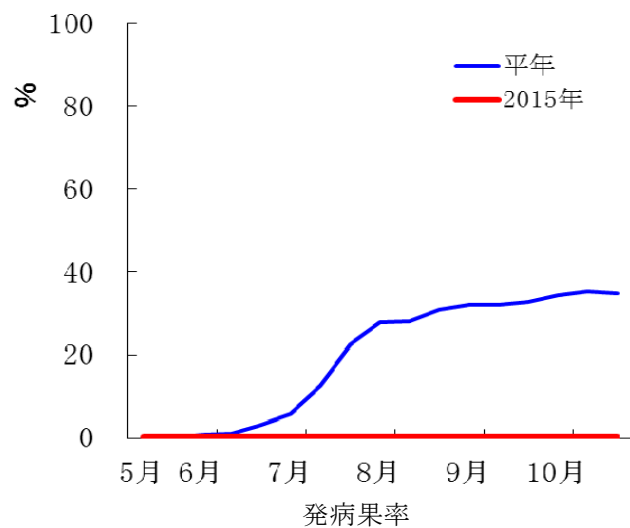
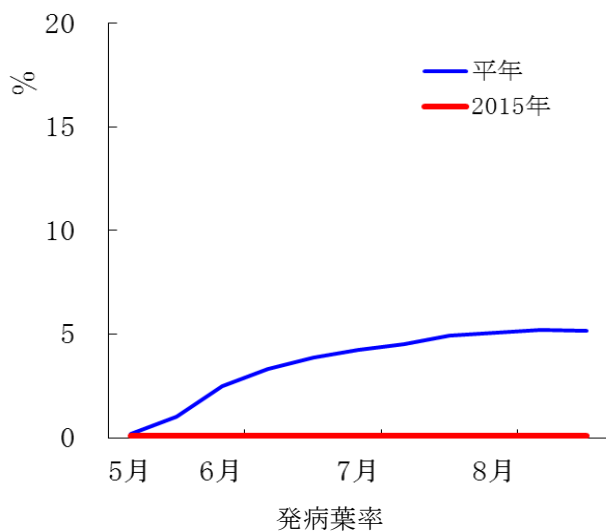
ア) そうか病



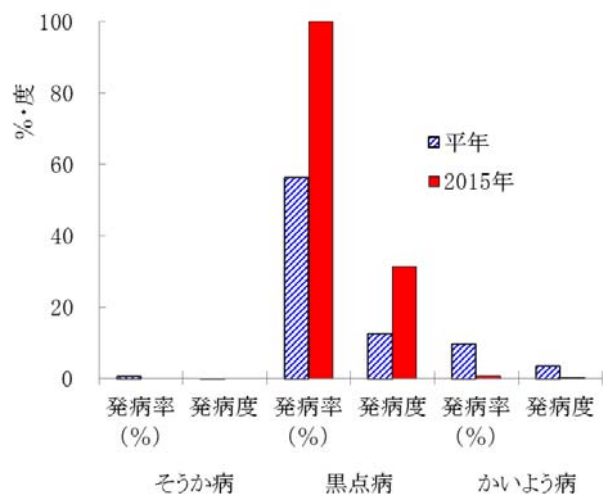
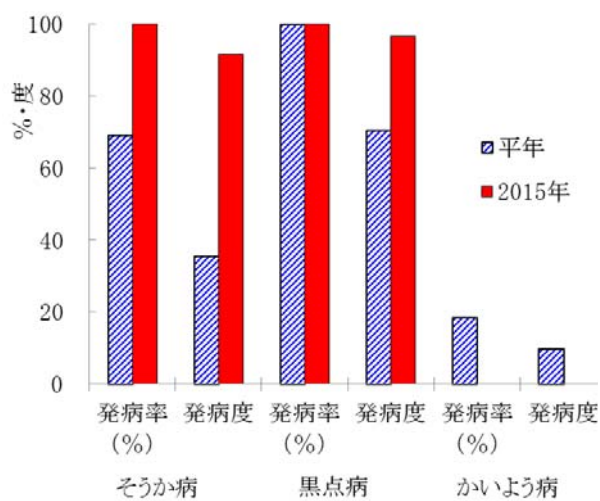
イ) 黒点病



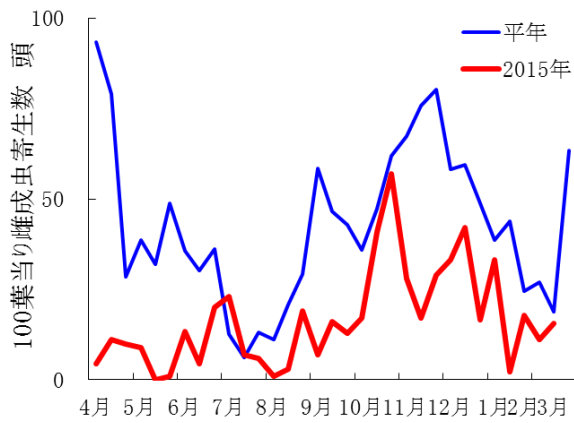
ウ) かいよう病



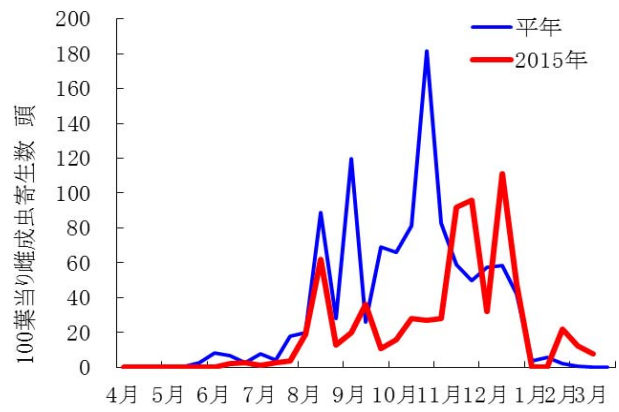
エ) 収穫果実



オ)ミカンハダニ

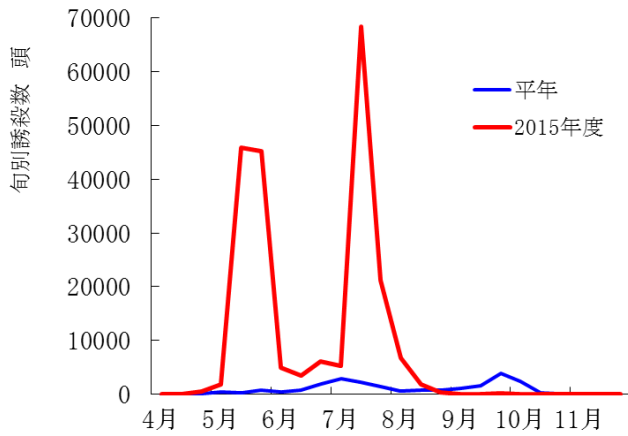


無防除区発消長

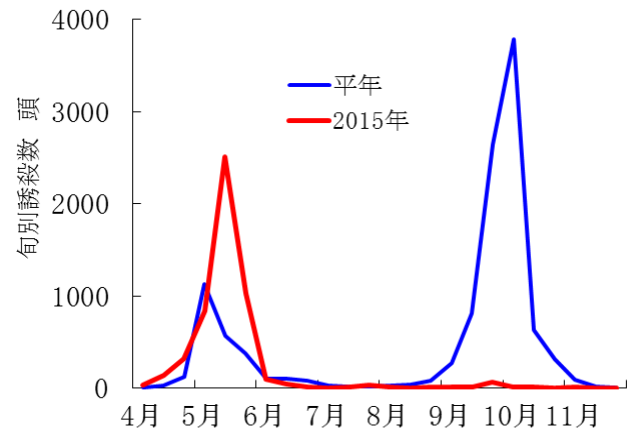


慣行防除区発消長

カ)カメムシ類の予察灯への飛来状況

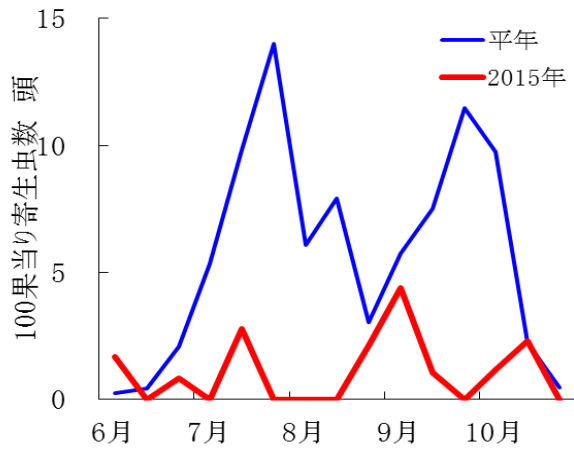


チャバネアオカメムシ誘殺数

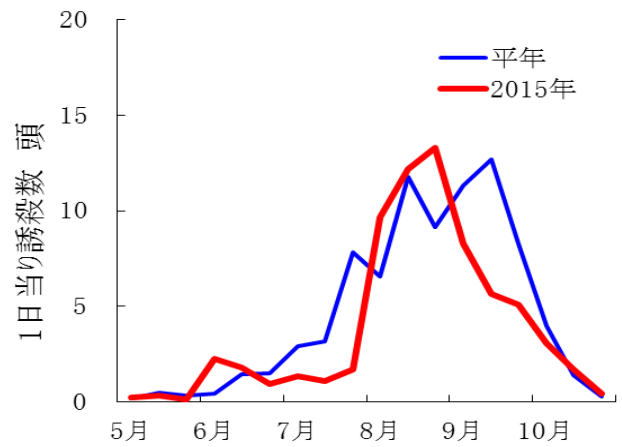


ツヤアオカメムシ誘殺数

キ)チャノキイロアザミウマ



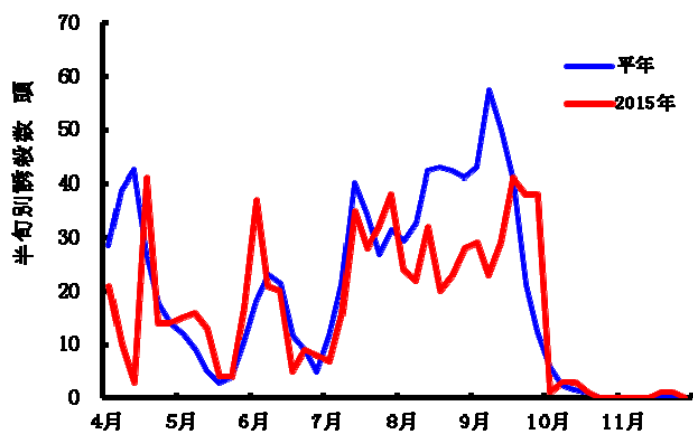
発消長



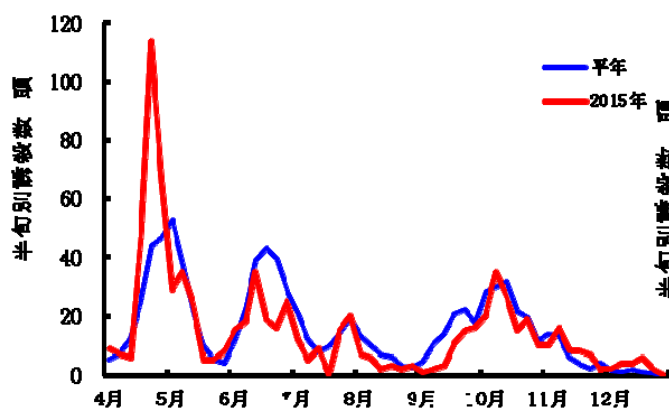
イエロートラップ誘殺数

イ ナシ

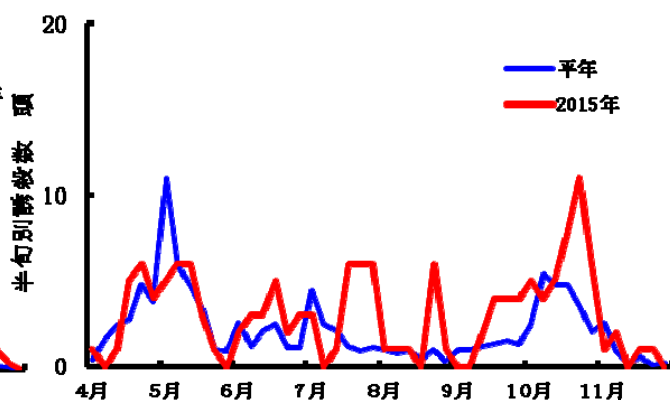
ア)フェロモントラップでの誘殺状況(松阪市嬉野川北町 病虫害防除所)



ナシヒメシンクイ発生消長

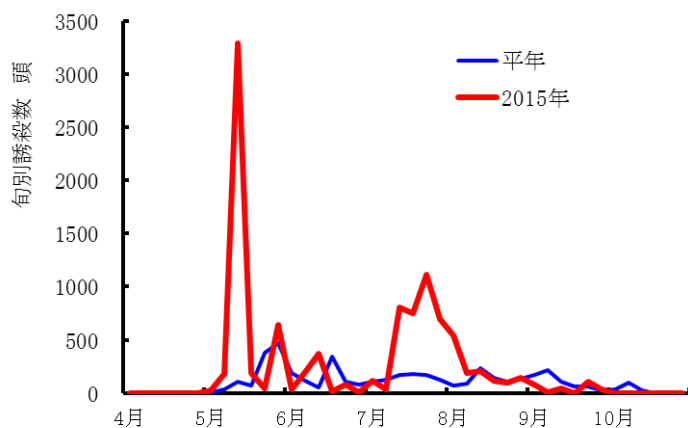


チャノコカクモンハマキ発生消長

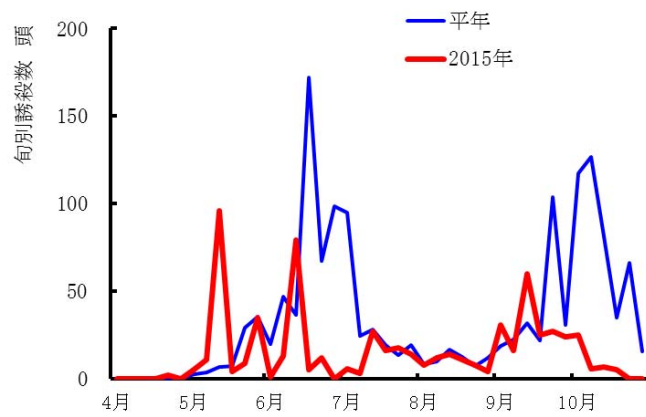


チャハマキ発生消長

イ)カメムシ類の予察灯への飛来状況(松阪市嬉野川北町 病虫害防除所)

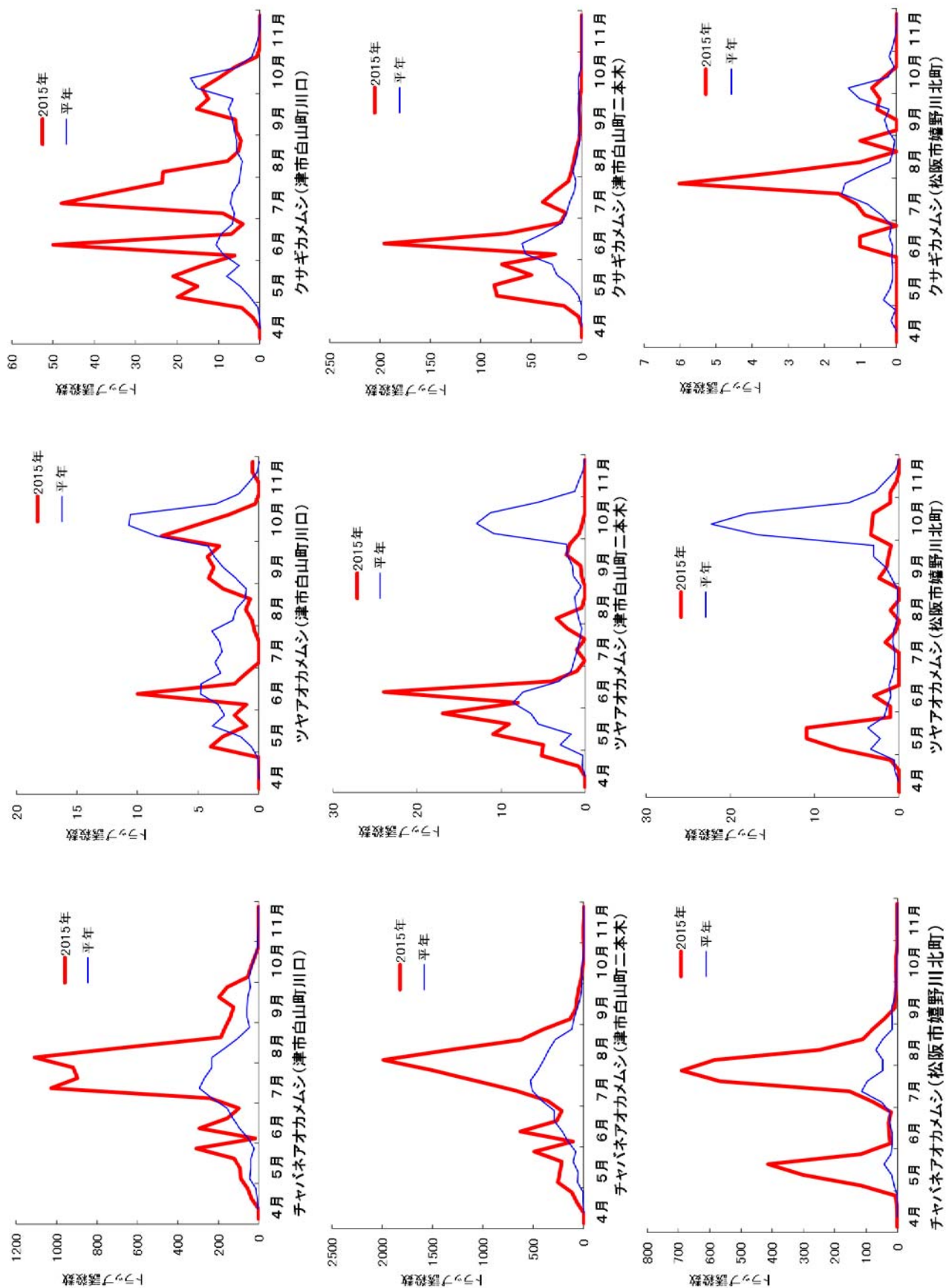


チャバネアオカメムシ誘殺数



ツヤアオカメムシ誘殺数

ウ 果樹カメムシ類フェロモントラップ



(5) 茶

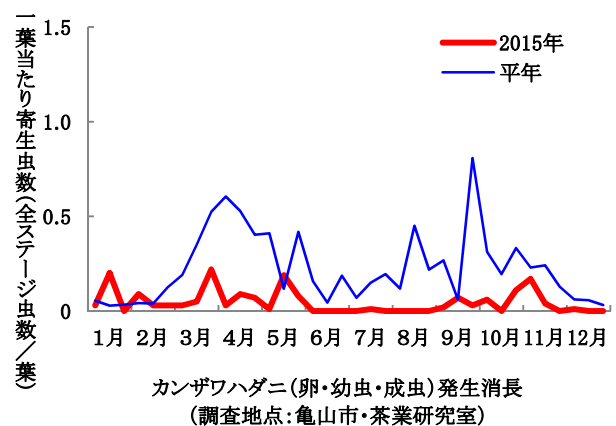
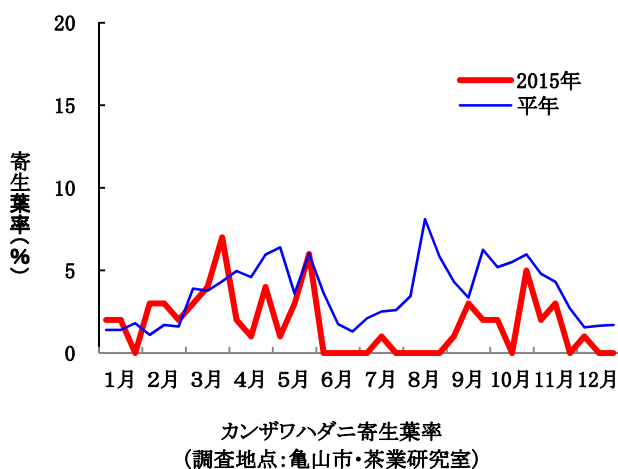
①生育状況

- 3月中旬～4月上旬の気温は平年並で推移し、一番茶芽の生育は良好であった。摘採期は5月上旬と平年並で、収量は前年比110%と増収となった。二番茶収量は、日照不足により前年比80～90%と減収となった。

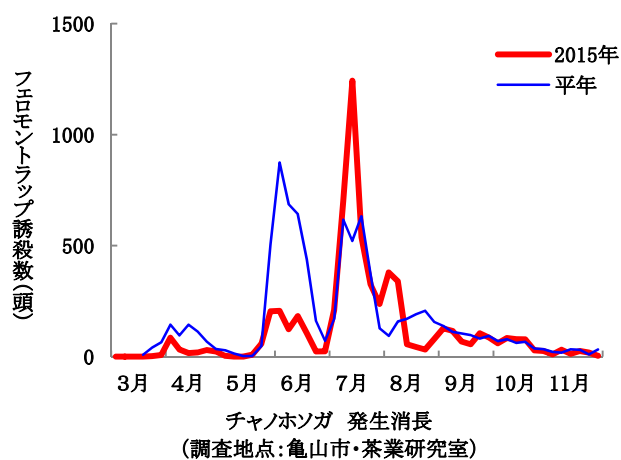
②病虫害発生状況

- 炭疽病は4月～6月の発生は平年並であったが、6月下旬および7月上旬のまとまった降雨、8月下旬の台風による降雨により7月以降はやや多で推移した。輪斑病は、前年も発生が多く菌密度は高かったと考えられ、4月中旬、7月上旬の新芽新長期のまとまった降雨により感染が助長されやや多で推移した。もち病は期間を通じて平年並に少発生で推移した。
- カンザワハダニは6月まで多発傾向で推移したが、まとまった降雨により7月以降は少～平年並で推移した。チャノコカクモンハマキは越冬世代成虫の飛来時期は早く、飛来数もやや多であった。第1～2世代成虫の飛来数は少なかったが、9月の第3世代は飛来時期が早く飛来数もやや多であった。チャノホソガは期間前半は少なく推移したが、7月～8月上旬は多かった。チャノミドリヒメコバイは期間を通じて平年並～やや多で推移した。チャノキイロアザミウマは4月の天候不順で発生量は少なかったが5月の好天でやや多となり、7月以降は平年並で推移した。クワシロカイガラムシの発生時期は、第1世代幼虫孵化最盛期は早く、第2世代幼虫孵化最盛期は平年並であった。発生量はここ数年多発傾向が続いている。

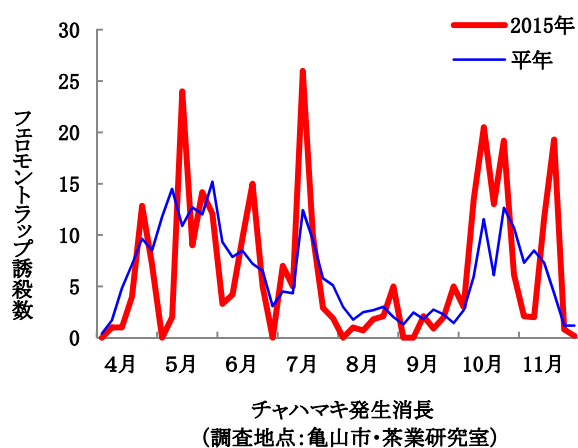
ア)カンザワハダニ



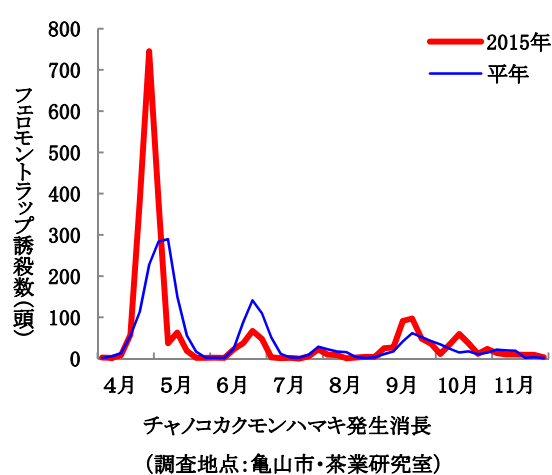
イ) チャノホソガ



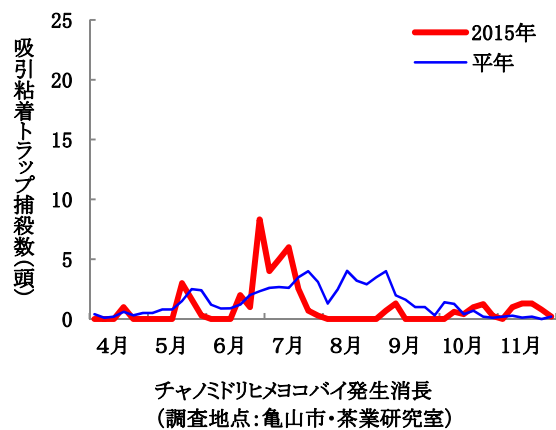
ウ) チャハマキ



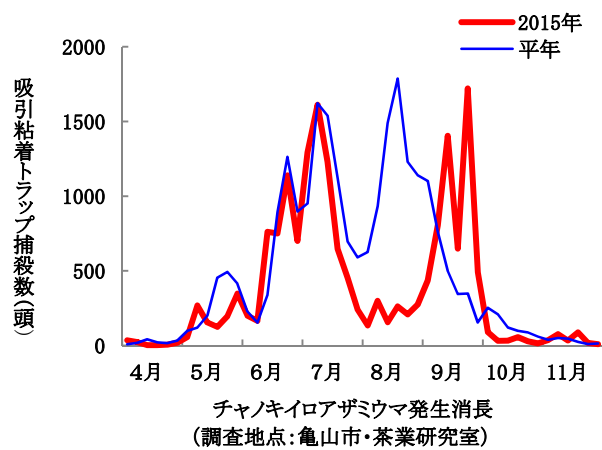
エ) チャノコカクモンハマキ



オ) チャノミドリヒメコバイ



カ) チャノキイロアザミウマ

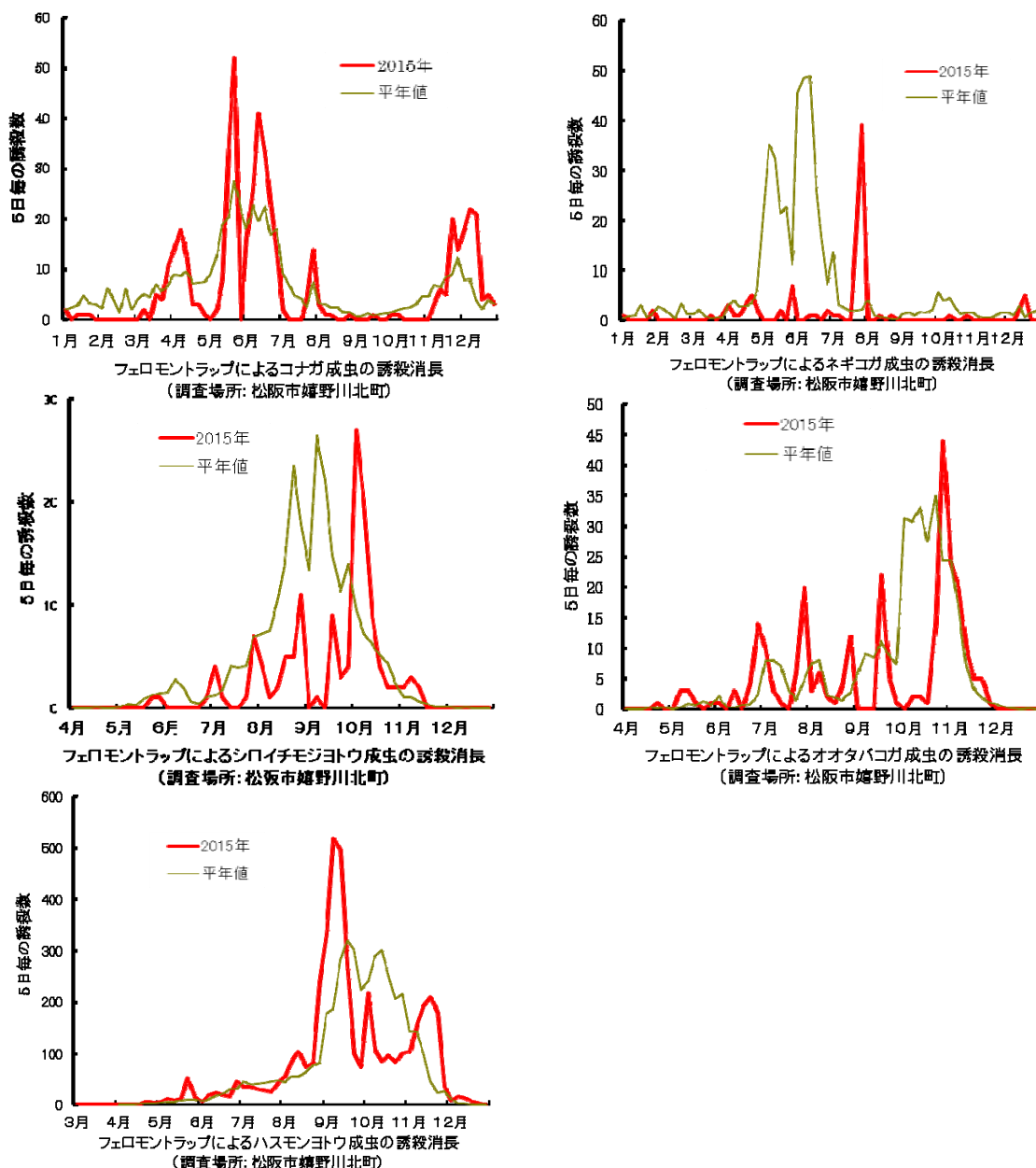


(6) 野菜

a 生育及び病害虫の発生状況

- ・トマトでは、圃場によっては葉かび病及びすすかび病の発生が見られた。近年、疫病の発生は少なかったが、一部は場で発生が見られた。
- ・キャベツ、ハクサイなどの露地野菜では、全般的に病害の発生は少なく経過したが、キャベツでは、菌核病の発生がやや多かった。
- ・ネギでは、ネギアザミウマ、ネギハモグリバエは、年間を通じて発生が認められた。また、冬期に小粒菌核病の発生が見られた。
- ・イチゴでは、12月上旬の高温により一気にハダニ類の発生が増加し、1月はいったん減少したものの、2月は再び増加し、それ以降、収穫終了期ごろまで多い状態が続いた。また、2月下旬以降、灰色かび病の発生が増加した。

b フェロモントラップ



(7) 全作物一覧

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ (早期)	葉いもち	6月中旬～8月上旬 平年：少 前年：一 前年：一	平年：少 前年：少	育苗期間中および置き苗での発生なし。7月上旬の発生面積、発病程度はともに平年より少なかった。一部地域では、激発した。	感染好適条件は6月中旬から7月上旬にかけて、広域で繰り返し出現したが、箱施用や本田防除による予防が行われたこと、前年の穂いもちの発生が少なく感染源の持ち込みが少なかったこと、感染好適条件出現後の高温多湿で推移したこと等の要因で発生が抑えられた。	箱施用もしくは本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第11、13号(6月30日、7月17日発表)による注意喚起を実施。
	穂いもち	7月下旬～8月下旬 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	発生面積、発病率ともに平年並に少ない状況であった。	葉いもちの発生量が少なく、出穂期頃は晴天が続いたため、発生量は少なく抑えられた。一部の圃場では葉いもちが上位葉へ進展し、穂いもちが発生したところもあった。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第13号(7月17日発表)による注意喚起を実施。
	紋枯病	7月～8月 平年：一 前年：一	平年：やや少 前年：やや少	7月上旬、8月上旬ともに発生面積、発病株率、発病度は平年より少なかった。	夏期に高温で推移したが、過繁茂でなかったため、高温多湿条件とならずに、病勢の進展が抑えられたと思われる。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。
	斑点カメムシ類	6月～9月 平年：一 前年：一	平年：やや多 前年：多	5月にはコムギやイネ科雑草で発生が確認され、7月まで畦畔雑草での発生が確認された。防除の行われていない圃場では、クモヘリカメムシが多発した。平年は早期水稲では発生の少ないミナミアオカメムシが散見された。	越冬量が多かったことに加え、天候が高温少雨で推移したため、活動及び増殖に好適な環境であったが、7月の台風に伴う風雨の影響で増加が抑えられたものの、8月中旬頃から発生条件が良好となったため、発生がやや多くなったと思われる。	畦畔の雑草管理は良好であった。被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。
	イネミズノウムシ	5月～6月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	移植後の5～6月における越冬世代成虫の発生量は平年並であった。8月上旬における第一世代成虫の発生量は少なかった。	昨年夏の越冬成虫量、第一世代の発生量は平年並であったが、過度の高温によって発生密度は抑制されたと考えられる。	被害の恐れのある圃場では箱施用が行われた。
	ツマグロヨコバイ	6月～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：少	6～8月にかけて発生面積、払い落とし虫数ともに平年並に推移した。	7月の台風に伴う風雨の影響で増加が抑えられた。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	セジロウンカ	6月～9月 平年：一 前年：一	平年：少 前年：少	7～8月まで発生量は少ない状態で推移した。	7月中旬まで飛来量が少なかった。	被害の恐れのある圃場では箱施用または本田防除が行われた。
	トビイロウンカ	7月～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	平年と同様に発生は確認されなかった。	飛来量が少なく、本田での発生はほとんどなかった。	本種を対象とした防除は行われていない。
	ヒメトビウンカ	6月～9月 平年：一 前年：一	平年：やや少 前年：少	6月は発生面積・発生量はやや多かったが、7月以降少なく推移した。	7月の台風に伴う風雨の影響で増加が抑えられた。	稲葉枯病の発生がなく、本種を対象とした防除は行われていない。
	ニカメイガ	6月～8月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：やや少	一部地域では被害が見えられた。	近年増加傾向にあるが、本年は発生が少なく推移した。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	コブノメイガ	7月～9月 平年：一 前年：一	平年：少 前年：少	7、8月ともに発生量は平年並に少なかった。	飛来量が少なく、本田での発生量は少なかった。	発生の多い圃場では本田防除が行われた。
	白葉枯病	8月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	白葉枯病に弱い品種では発生が確認された。	強風を伴う降雨が少なく、感染の機会は少なかった。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	もみ枯細菌病 (細菌性苗腐敗症)	4月中旬～5月上旬、8月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	育苗期間中に一部で発生があったが、ほぼ平年並に少ない状況であった。	採種圃において対策が徹底され、健全な種子が供給された。	種子消毒で防除した。
	苗立枯病	4月中旬～5月上旬 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	育苗期間中に一部でリゾプス、フザリウムが発生があったが、全体としては平年並に少ない状況であった。	育苗期間の気温は不安定であったが、適切に管理された。	床土消毒で防除した。
	ばか苗病	4月中旬～5月上旬、7月 平年：一 前年：一	平年：やや多 前年：やや多	育苗期間、本田ともに発生が確認された。	発生施設および発生圃場では、保菌種子の混入がありが、かつ温湯による種子消毒の操作に不備があったと考えられる。	種子消毒で防除した。採種圃および周辺圃場では対策を徹底し、育苗施設巡回において種子消毒や育苗管理の状況を確認した。
	稲葉枯病	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	例年発生がないので防除対応していない。
	萎縮病	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	例年発生がないので防除対応していない。
	イネドロオウムシ	5月中旬～7月上旬 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	発生量は平年並であり、例年被害は少ない。一部地域では発生が目立つ圃場があった。	例年の発生変動の範囲内である。	被害の恐れのある圃場では箱施用または本田防除が行われた。
	イネクロカメムシ	5月中旬～9月 平年：一 前年：一	平年：少 前年：やや少	一部地域では6月下旬頃から発生が確認されたが、被害は少なかった。	一時期被害が多発したが、近年は落ち着いた傾向にある。	例年被害の出る地域では、箱施用もしくは本田防除が行われた。
	イチモンジセセリ	7月～8月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	7～8月の発生量は平年並であった。	夏期に高温少雨で推移したため、広範囲で発生したが、過度の高温によって発生密度は抑制されたと考えられた。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	アワヨトウ	7月～8月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：やや多	発生はみられたが、被害はなかった。	近年増加傾向にあったが、本年は発生が少なく被害はなかった。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	フタオビコヤガ	7月～8月 平年：一 前年：一	平年：少 前年：少	6月上旬から圃場内での発生が確認されたが、7～8月の発生量は少ない状況だった。	夏期に高温少雨で推移したため、広範囲で発生したが、過度の高温によって発生密度は抑制されたと考えられた。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	イナゴ類	6月～9月 平年：一 前年：一	平年：やや多 前年：やや多	6月から圃場内、畦畔ともに発生が目立ち、8月まで多い状態で推移したが、被害はなかった。	近年増加傾向にあり、本年も発生量は多く推移した。	本種を対象とした防除は行われていない。
	イネシガレセンチュウ	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	発生はほとんどなかった。	種子更新・種子消毒が徹底された。	種子消毒で防除した。
小麦	うどんこ病	4月～5月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	発生はほとんどなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず、平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	赤かび病	5月～6月 平年：一 前年：一	平年：少 前年：並	発生量は平年並に少なく抑えられた。	開花期前の4月中旬は高温多湿に推移し、感染の機会が高く発病が懸念された。開花期の4月下旬以降、5月上旬は好天となった。注意喚起による適期防除の実施と、好天に恵まれたため発生量は少なく抑えられた。	開花期の薬剤防除を実施した。病害虫防除技術情報第1号(4月16日発表)、病害虫発生予察注意報第1号(4月23日発表)による注意喚起を実施。
	さび病類	4月～6月上旬 平年：一 前年：一	平年：並 前年：少	発生はほとんどなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず、平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	縞萎縮病	4月～5月 平年：一 前年：一	平年：少 前年：少	一部の品種では発生したが、4月中には順調にマスキングされた。	耐病性品種の作付が増えた。罹病性品種では極端な早播きを選じたほか、感染の機会があったものの健全な生育を維持することで、平年よりも発生が抑えられた。	耐病性品種・播種時期・施肥管理など耕作的に対応した。
	黒穂病類	5月～6月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	発生はほとんどなかった。	種子更新により、健全な種子が使用されているため、ほとんど発生はない。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	ムギアカタマバエ	5月～6月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	発生はほとんどなかった。	連作圃場では発生があるがわずかである。	連作回避で防除した圃場が多い。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
大豆	アブラムシ類	4月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	5月上旬の発生量は平年並であったが、実害はなかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	アブラムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	平年並に発生量は少なく推移した。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	ハスモンヨトウ	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	8月上旬から白変葉が散見されたが、9月以降の圃場内での発生量は少なかった。	薬剤防除が行われ、集団で発生する時期に強い降雨があったことで次世代の発生が抑えられた。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。病害虫防除技術情報第14号(9月18日発表)による注意喚起を実施。
	吸実性カメムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：多	8月下旬から圃場内で発生、伊勢平原地では主にミナミアオカメムシが確認された。	近年ミナミアオカメムシが分布拡大し、発生量が増加した。早期水稻の収穫に伴ってダイズへ飛来が集中した。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。病害虫防除技術情報第15号(9月18日発表)による注意喚起を行った。
	紫斑病		平年：並 前年：並	紫斑病の発生量は平年並に少なかった。	前年に紫斑病が多発した地域では、巡回を実施して薬剤散布を徹底するよう指導された。	健全種子の使用、種子消毒の実施、集団化された圃場では、無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。
	コガネムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	圃場での発生は確認されたが、平年並に少なく推移した。	フェロモントラップの状況から本年の発生量は、平年並に少なかったと思われる。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	シロイチモジマダラメイガ		平年：少 前年：少	食害による被害粒の発生量は少なかった。	薬剤防除が行われ、集団で発生する時期に台風などの強い降雨があったことで次世代の発生が抑えられた。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。
かんきつ	そうか・病	春葉 4～7月 平年：やや早い 前年：並 果実 5～9月 平年：早い 前年：早い	平年：並 前年：並	春葉での初発は4月中旬でやや早く、果実では5月中旬と早かった。 発生量は、春葉では期間を通じて平年並で推移した。果実では、一部圃場で被害果が散見される程度で、期間を通じて平年並に少ない発生であった。	3月中旬～下旬が高温で経過し降水量も3月中旬が多かったため、春葉での初発時期はやや早かった。一方、4月上旬～5月上旬は前半が多雨傾向であったため、果実での初発時期も早くなった。4月の降雨により適期防除ができなかった一部の圃場では発生が多かった。	イメベンコナゾール剤、ジチアノン剤等による発芽期防除が実施されている。
	黒点病	果実 5月～10月 平年：並 前年：やや早い	平年：やや多 前年：やや多	果実での初発は5月下旬で平年並であった。発生量は、6月～7月は平年並で推移したが、8月以降はやや多い状況であった。	6月～7月中旬の降雨、7月下旬～8月上旬の小雨による枯枝の発生および8月下旬～9月上旬が多雨により発病に適した条件となった。	初期感染時期から降水量に応じてマンゼブ剤、マンネブ剤、ポリカルバメート剤等による防除が実施された。
	かいよう病	春葉 5～9月 平年：遅い 前年：並 果実 6～9月 平年：遅い 前年：並	平年：やや少 前年：並	温州みかんでは期間を通じて発生量は平年並に少なかった。 中晩柑では平成22年から多発傾向が続いていたが、一昨年から春葉、果実とも発生量は少ない状況が続いている。巡回圃場における6月上旬の春葉発病度は0.07(平年1.4)、9月上旬の果実発病度は0.4(平年6.8)と発病程度は低く、全般に期間を通じてやや少で推移した。	中晩柑では平成22年から発生が多かったが、銅剤による防除の実施により一昨年に発生が抑制されている。	中晩柑類では定期的に銅剤による防除が実施された。また、降雨の前後は銅剤等による防除が実施された。
	ミカンハダニ	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	4月～5月は少なく、その後やや少～平年並で推移した。	6月～7月中旬の降雨、7月下旬～8月上旬の高温および8月下旬～9月上旬の多雨により、発生が抑制されたと考えられる。	マシン油乳剤を主体とした防除が実施されているが、多発時にはアセキノシル剤、シフルメトフェン剤、シェノピラフェン・ピリダベン剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	5月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	施設栽培の一部で発生した。	アラニカルブ剤等による防除が実施された。
	褐色腐敗病	8月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	8月下旬～9月上旬に平年を上回る降雨があったものの、その後の防除が的確に行われ発生が抑制された。	マンゼブ剤、シアゾファミド剤等で防除が実施された。
	ヤノネカイガラムシ	第1世代 5～7月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年全般的に発生量自体少ないが、局所的に発生が見られる圃場もある。	マシン油乳剤、DMTP剤等による防除が実施された。
	チャノキアザミウマ	5月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、クロルフェナピル剤等による防除が実施された。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並で推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメキシム剤による防除が実施された。
	ミカンハモグリガ	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じてやや少ない発生であり、9月上旬の巡回圃場における新梢被害率18.5%(平年43.8%)であった。	夏秋梢の発生が全般に少なかったが、被害を受ける割合は平年並であったことから、ミカンハモグリガの発生自体は少なかったかもしれない。例年、被害は中晩柑で夏秋梢の発生が多い圃場や、幼木園、高接樹等を中心に発生している。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメキシム剤による防除が実施された。
かき	アカマルカイガラムシ	第1世代 5～6月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並で推移した。	例年の発生変動の範囲内である。	マシン油剤、DMTP剤、プロブフェン剤、ネオニコチノイド剤等による防除が実施された。
	カキノヘタムシガ	7月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少なく、巡回圃場における被害果は見られなかった。	例年発生は少ない。	ネオニコチノイド剤、アラニカルブ剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	IGR剤、フェンプロトリン剤等による防除が実施された。
	炭疽病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	マンゼブ剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
	うどんこ病	5月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	梅雨明け後の防除により発生が抑制された。	石灰硫黄合剤、テブコナゾール剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
	カキクダアザミウマ	6月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、典型的な被害の発生は、ほとんど見られない。発生密度そのものが低いと考えられる。	本害虫を対象とした防除は通常実施されていない。
	フジコナガイガラムシ	6月～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	期間を通じて発生量は平年並に推移した。	近年多発している果樹カメムシ類の防除により、天敵の活動が低下していることが考えられる。	ジノテフラン剤、DMTP剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
	なし	黒星病	4～9月 平年：－ 前年：－	6月までは小雨の影響でやや少ない状況で推移したが、7月以降は平年並の発生量であった。	昨年の発生量は平年並であったが、4月の天候不順や6月～7月中旬の降雨など発生に適した条件であったが、防除の徹底等により発生が抑制された。	発病初期には罹病部の除去が行われた。また、ストロビルリン系剤、DMI剤、ジチアノン剤等による防除が実施された。病害虫防除技術情報第4号(4月30日発表)。
なし	ナンヒメシジミ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	フェロモントラップ(松阪市)では誘殺数が平年並に推移し、圃場における発生量は平年並であった。	5月の気温は平年並～高く、第1世代成虫の活動は活発化したものの、6月～7月中旬の降雨により発生量が少なくなったと考えられる。また、薬剤防除によっても発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、チオジカルブ剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	チャノコカクモンハマキは、フェロモントラップ（松阪市）では4～5月の誘殺数が平年より多かったが、圃場における発生量は平年並に推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	ネオニコチノイド剤、MEP剤等による防除が実施された。地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハダニ類	5月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は概ね平年並で推移した。	6月～7月中旬の降雨、7月下旬～8月上旬の高温および8月下旬～9月上旬の多雨により、発生が抑制されたと考えられる。	エトキサゾール剤、ビフェンゼート剤、ミルベメクチン剤等による防除が実施された。
	赤星病	4～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、典型的な被害の発生は、放任圃地以外ではほとんど見られず、発生密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。
	うどんこ病	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並で推移した。	6月以降梅雨明けまで発病に適した条件であったが、梅雨後の防除により発生が抑制された。	イミノクタジン剤、EBI剤等による防除が実施された。
	輪紋病	5～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少なく、病原菌密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤等の散布や休眠期のチオファネートメチルベースト剤塗布による防除が実施された。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量はやや少～平年並で推移した。	初期の発生は平年並であったが、6月～7月中旬の降雨や薬剤防除などにより抑制された。	ネオニコチノイド剤等による防除が実施された。
	クワコナガイガラムシ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、梅雨明け後に適期防除ができた。	DMTP剤、ピリフルキナゾン剤等による防除が実施された。
ぶどう	べと病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量はやや少～平年並で推移した。	6月上旬の降雨量は多く、下旬は平年並と発生に適した条件であったが、適期防除により発生は抑制された。ただし、7月上旬～中旬と8月中旬の降雨により一部圃場で発生が助長された。	シアゾファミド剤、ストロビリン系剤、銅剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	ダイアジノン剤等による防除が実施された。
	晚腐病	7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並で推移した。	近年増加傾向である。6月上旬の多雨および中旬の断続的な降雨により、発病に適した条件となったが、適期防除により発生は抑制された。	アゾキシストロビン剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。
	黒とう病	4～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	放任圃地付近で発生が見られる。発生密度そのものは低いと考えられる。	イメベンコナゾール剤、ベニル剤、トリフルミゾール剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。
	チャノキイロアザミウマ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	アセフェート剤、ベルメストリン剤等による防除が実施された。
	クワコナガイガラムシ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	DMTP剤、ダイアジノン剤による防除が実施された。
果樹共通	カメムシ類	4～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	越冬成虫の発生量は多かったが、新成虫の発生量はやや少～平年並であった。 5月上旬から6月中旬におけるチャバネアオカメムシの予察灯誘殺数は、松阪市で4,980頭（平年1,594.1頭）、御浜町で101,564頭（平年2,658.5頭）であった。南勢地域以北ではカキへの果実被害も認められた。また、8月上旬から9月下旬におけるチャバネアオカメムシの予察灯誘殺数は松阪市で1,567頭（平年1,414.7頭）、御浜町で330頭（平年9,035頭）であった。	昨秋以降の発生量が越冬量が多かったが、スギヒキ毬果着生量が少なく新世代の増殖量が抑制されたと考えられる。	飛来が確認された圃地では、ネオニコチノイド剤、合成ピレスロイド剤、MEP剤等による防除が実施された。病害虫発生予察注意報第2号（5月25日）および第3号（8月3日）発表。
茶	炭疽病	4月～10月 平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：並	病斑葉数は、4月～6月は平年並であったが、7月以降はやや多で推移した。	6月下旬および7月上旬のまとまった降雨、8月下旬の台風による降雨により感染好適となり、多発傾向で推移した。	フルアジナム剤、EBI剤による防除が行われた。
	カンザワハダニ	4月～11月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	越冬世代は高密度であった。その後、6月まで多発傾向で推移したが、まとまった降雨により7月以降は少～平年並で推移した。	越冬世代は高密度であった二番茶摘取後に刈下がおこなわれたこと、また、6月下旬～7月上旬のまとまった降雨が気温を下げたことにより以降の発生が抑制された。	エトキサゾール、ミルベメクチン剤等により防除が行われた。病害虫防除技術情報第3号（4月21日）および第9号（6月4日）発表。
	チャノコカクモンハマキ	4月～10月 平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：やや多	越冬世代の飛来時期は早く、飛来数は平年よりも多かった。8月中旬の第1世代成虫、第2世代成虫の飛来数は少なかった。。9月の第3世代成虫の飛来時期もやや早く、飛来数は多かった。	6月上旬、下旬の梅雨前線による降雨及び7月上旬の降雨、8月下旬、9月上旬の台風による降雨により成虫の平井が減ったと考えられる。	クロマフェノジド剤、メキシフェノジド剤、フルベンジアミド剤等による防除が行われた。病害虫防除技術情報第5号（5月7日）および第10号（6月4日）発表。
	チャハマキ	4月～10月 平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：並	越冬世代は平年並に推移したが第1、第2世代は多くなつた。第3世代も多発推移した。	越冬量は平年並であったが5月の高温少雨傾向が発生を促し第1世代以降が多くなつたと考えられる。	クロマフェノジド剤、メキシフェノジド剤、フルベンジアミド剤等による防除が行われた。
	もち病	4月～8月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	期間を通じて平年並に少なく推移した。	各茶期摘採後の浅刈整枝の励行が近年の少発生の要因と考えられる。	フルアジナム、EBI剤による防除が行われた。
	輪斑病	4月～9月 平年：並 前年：やや早	平年：やや多 前年：並	二番茶における発生量は多かった。	昨年も発生が多く、菌密度は高かったと考えられ、4月中旬、7月上旬の新芽新長期にまとまった降雨があり感染が助長された。	フロサイド剤で防除が行われた。
	チャノホソガ	4月～9月 平年：並 前年：やや早	平年：やや少 前年：並	越冬世代成虫の初飛来時期は3月第5半旬と平年並、誘殺ピークは4月第1半旬と早かった。6月の飛来数は6月第1半旬と平年並となった。発生量は、期間前半は少なく推移したが7月～8月上旬に多かった。	ここ数年発生が少く推移しているが、5月の高温が発生を抑えたと考えられる。	イミダクロプリド剤、フルフェノクスロン剤等による防除が行われた。
	チャノミドリヒメコバイ		平年：やや多 前年：並	期間を通して平年並～やや多で推移した。	5月中旬～6月上旬の高温少雨により発生が促された。	イミダクロプリド剤、フルフェノクスロン剤等による防除が行われた。病害虫防除技術情報第8号（6月2日）発表。
	チャノキイロアザミウマ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	4月は天候不順でやや少であったが5月の好天でやや多となり、7月以降は平年並で推移した。	6月上旬～7月中旬のまとまった降雨により発生が抑えられた。	イミダクロプリド剤、フルフェノクスロン剤等による防除が行われた。病害虫防除技術情報第8号（6月2日）発表。
	ツマグロアオカミカメ	4月～9月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	期間を通じて平年並に推移した。	隣接に雑草が多い圃場に発生がみられた。	イミダクロプリド剤等により同時防除が行われた。
	クワシロカイガラムシ	第1世代(5月) 平年：並 前年：やや早 第2世代(7月) 平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	第1世代幼虫孵化最盛期は5月第3半旬と早、第2世代幼虫は7月第4～第5半旬と平年並であった。ここ数年多発傾向が続いている。	第1世代は、被覆時期のため通常は防除は実施されない。第3世代の防除も孵化最盛日のばらつきが大きいため行われず、被覆栽培の拡大と乗用摘採機の普及が発生拡大を促していると考えられる。	第1、第2幼虫孵化期を中心にフェンプロキシメート・トリプロフェジン剤、ピリプロキナゾン剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第6号（5月12日）および第12号（7月15日）発表。
	ヨモギエダシヤク	6月～9月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少発生で推移した。	多発要因はなく、平年並に少ない発生にとどまった。	クロルフルアズロン剤等により防除が行われた。
冬春トマト	疫病	4月～5月 10月～3月	平年：並 前年：並 平年：並 前年：並	全般的に平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。
	灰色かび病	4～6月 10月～3月	平年：やや多 前年：やや少 平年：平年並 前年：やや多	発生は、4月に平年より多い発生であったが、5月になり、防除等により平年並となった。	換気等によるハウス内環境の改善などがなされた。	薬剤耐性菌発生に配慮した防除がなされた。病害虫防除技術情報第2号（4月16日）発表。
	アブラムシ類	4月～6月 9月～3月	平年：並 前年：並 平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置や薬剤防除により、同時防除された。
	ハスモンヨトウ	9月～10月	平年：並 前年：並	トマト施設内における発生は、期間を通して発生量は平年並みに少ない状況である。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいる。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。病害虫防除技術情報第14号（9月18日）発表。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	葉かび病	4月～6月 10月～3月	平年:並 前年:並 平年:並 前年:並	発生は一部圃場での発生で、発生に偏りが認められたが、期間を通しての発生は平年並であった。	近年、葉かび病抵抗性品種の導入が進んでいるため、発生は少ない状況である。しかし、葉かび病の防除圧が減っているため、逆にすすかび病の発生は増加している。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。抵抗性品種導入圃場では、抵抗性を打破する新レースの出現に注意する必要がある。
	黄化葉巻病	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:並 平年:並 前年:並	期間を通しての発生は平年並であった。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置により感染が回避され、多発する圃場は少なくなっている。	防虫ネットの設置や発病株の除去などが行われている。
	ハモグリバエ類	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:少 平年:並 前年:少	期間を通して発生量は平年並みに少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	コナジラミ類	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:やや少 平年:並 前年:やや少	一部圃場で蛹の寄生および成虫の生息が確認されたが、全体的に発生は平年並であった。一部圃場で発生が見られたが、春期(4～6月)は全般的に平年よりやや少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	防虫ネットの設置による物理的防除や薬剤による防除が行われた。
	オオタバコガ	9月～11月	平年:やや少 前年:並	場内フェロモントラップ誘殺数は、4～12月で255頭、平年375頭と平年に比べて少なかった。	コナジラミ類の侵入を阻止するネットの設置により回避されている。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月	平年:並 前年:やや多	一般圃場における発生は平年並である。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期の灌漑処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	コナガ	9月～12月	平年:やや少 前年:並	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌漑処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:並 前年:少	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、6月以降平年並に推移し、9月も1461頭(平年1318頭)と平年並であった。	フェロモントラップ誘殺数は平年より多いが、育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期灌漑処理などの薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。
	軟腐病	9月～11月	平年:少 前年:やや少	発生は平年より少なかった。	防除により発生は抑えられた。	薬剤による防除がなされた。
	白斑病	9月～12月	平年:少 前年:やや少	発生は平年より少なかった。	防除により発生は抑えられた。	薬剤による防除がなされた。
秋冬ハクサイ	べと病	9月～12月	平年:少 前年:並	発生は平年より少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除がなされた。
	ヨトウガ	9月～11月	平年:やや少 前年:並	発生は平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌漑処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年:やや少 前年:並	発生は平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌漑処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	黒腐病	10月～12月	平年:並 前年:やや多	発生は平年並に少なかった。	初期防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
	菌核病	11月～12月	平年:並 前年:並	発生は平年並に少なかった。	畑地圃場で多い傾向が見られた。	被害株の早期撤去などが行われた。
	コナガ	9月～12月	平年:やや少 前年:並	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年より少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌漑処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月	平年:並 前年:やや多	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌漑処理などの薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:並 前年:少	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、6月以降平年並に推移し、9月も1461頭(平年1318頭)と平年並であった。	フェロモントラップ誘殺数は平年より多いが、育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期灌漑処理などの薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。
	根こぶ病	11月～2月	平年:並 前年:並	目立った発生は確認されなかった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が認められる程度である。	発生圃場では定植前に薬剤による防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年:やや少 前年:並	発生は平年よりやや少なかった。	防除により発生は抑制された。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
春キャベツ	ヨトウガ	9月～11月	平年:やや少 前年:並	発生は平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌漑処理などの薬剤による防除が行われた。
	菌核病	4月～5月 3月	平年:並 前年:並 平年:やや多 前年:やや少	発生は平年並であった。 3月の発生は平年よりやや多かった。	畑地圃場で多い傾向が見られた。	被害株の早期撤去などが行われた。
	根こぶ病	4月～5月	平年:並 前年:並	全体的に発生は平年並であった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が確認される程度である。	定植前の薬剤による防除、発病株の除去等が行われた。近年、耐病性品種の導入が進んでいる。
	コナガ	4月～5月 12月～3月	平年:並 前年:並 平年:並 前年:並	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌漑処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	4月～5月	平年:並 前年:並	発生量は平年並であった。	防除により抑制されており、例年発生は少ない。	育苗期灌漑処理などの薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	4月～5月 12月～3月	平年:並 前年:やや少 平年:並 前年:やや少	期間を通して発生は平年並にやや少なかった。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	さび病	4月～5月 10月～3月	平年:並 前年:並 平年:やや少 前年:並	発生は平年より少なかった。 12月～2月の発生は平年並に少なく、3月の発生も平年より少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。 12月～2月の発生は平年並に少なく、3月の発生も平年より少なかった。	薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	5月～11月	平年:並 前年:並	期間を通して発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
	黒斑病	6月～11月	平年:並 前年:並	発生は平年並に少なかった。	葉ネギではほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
	ネギハモグリバエ	5月～11月	平年:並 前年:並	期間を通して平年並の発生となった。	ネギアザミウマは長年のネギの産地では期間を通して発生が見られている。	薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第7号(5月27日)発表。
	ネギアザミウマ	5月～11月	平年:やや少 前年:やや多	期間を通して発生はやや少なかった。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第7号(5月27日)発表。
冬ネギ	ネギコガ	8月～12月	平年:並 前年:並	発生は平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	シロイチモジヨトウ	8月～12月	平年:やや少 前年:少	期間を通して平年より少ない状況で推移した。4～12月中のフェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は132頭(平年250.7頭)と平年より少なかった。	防除効果が高い薬剤が普及し、多発する圃場は減少している。	薬剤による防除が行われた。
	灰色かび病	4月 12月～3月	平年:並 前年:並 平年:やや多 前年:並	4月の発生は平年並であった。 3月以降増加し、発生は平年よりやや多かった。果実での発病果も多くなった。	防除の遅れなどによりいったん多発生すると防除困難となり、発生が多くなった。	薬剤による防除、発病部位の除去などが行われた。病害虫防除技術情報第2号(4月16日)発表。
	アブラムシ類	6月～3月	平年:やや少 前年:並	目立った発生はなく、発生量は平年よりやや少なかった。	防除効果が高い薬剤が普及し、多発する圃場は減少している。	薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	8月～11月	平年:並 前年:少	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、6月以降平年並に推移し、9月も1461頭(平年1318頭)と平年並であった。	フェロモントラップ誘殺数は平年より多いが、育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期灌漑処理などの薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。
	うどんこ病	6月～3月	平年:並 前年:並	巡回調査では、期間を通して発生量は平年並で推移した。11月に薬剤防除で抑制されたが、その他の期間では発生量は平年並であった。	防除により発生は抑制された。	くん蒸器等による薬剤防除がなされた。
	炭疽病	6月～11月	平年:並 前年:並	育苗時に圃場によっては多発したが、定植以後は平年で推移した。	主力品種は罹病性の「華姫」であるが、近年は果育成の抵抗性品種「かおり野」の導入が進んでいる。	薬剤による予防防除、発病を軽減する育苗方法の導入(雨よけ育苗、底面給水等)、抵抗性品種(かおり野)の導入、発病株の除去等が行われた。
	アザミウマ類	4月 3月	平年:やや少 前年:多 平年:並 前年:多	4月の発生は平年よりやや少なかった。 3月の発生量は平年並の発生であった。	密度上昇による被害拡大がないよう、早期発見に努めている。	薬剤による防除が行われた。
	ハダニ類	6月～3月	平年:やや多 前年:多	定植後は平年並みの発生であったが、12月上旬の高温気象により、急増し、多い状態が続いた。2月はいったん平年並に転じたものの、3月は再び増加し、発生の多い状況となった。	12月上旬の高温気象により急増した。また、圃場によっては薬剤の効果が劣る事例が確認されている。	薬剤による防除がなされた。薬剤感受性の低下を防ぐため、天敵資材(カブリダニ)や気門封鎖剤を組み合わせた防除を実施している。病害虫防除技術情報第17号(1月14日)発表。

4. 病害虫の発生面積と防除面積

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
イネ (早期水稲)	26885	葉いもち				1176	1176	9248	9248
		穂いもち				1428	1428	10458	13543
		紋枯病				5797	5797	10458	13543
		イネミズゾウムシ		776	603	10857	12236	7985	7985
		セジロウンカ				168	168	7991	11428
		トビイロウンカ				0	0	7991	11428
		ヒメトビウンカ				4033	4033	7991	11428
		ツマグロヨコバイ				7981	7981	7991	11428
		ニカメイチュウ第1世代				1848	1848	169	169
		ニカメイチュウ第2世代				3865	3865	0	0
		斑点米カメムシ類	84	756	3361	7477	11678	12340	15919
		コブノメイガ				924	924	0	0
		苗立枯病				5	5	26885	26885
		ばか苗病				168	168	26885	26885
		籾枯細菌病				8	8		
		籾枯細菌病(種子消毒)						26885	26885
		縞葉枯病					0	0	0
		白葉枯病				125	125	0	0
		萎縮病					0		
		イネシンガレセンチュウ				3	3		
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)						26885	26885
		イネドロオイムシ				1092	1092	0	0
		イネクロカメムシ				5377	5377	132	132
		フタオビコヤガ				1848	1848	0	0
		イチモンジセセリ				336	336	0	0
		アワヨトウ				4033	4033	0	0
イネ (普通期 水稲)	1415	葉いもち				62	62	487	487
		穂いもち				0	0	550	713
		紋枯病			212	920	1132	550	713
		イネミズゾウムシ		41	32	571	644	420	420
		セジロウンカ				71	71	421	601
		トビイロウンカ				0	0	421	601
		ヒメトビウンカ				354	354	421	601
		ツマグロヨコバイ				849	849	421	601
		ニカメイチュウ第1世代				97	97	9	9
		ニカメイチュウ第2世代				283	283	0	0
		斑点米カメムシ類	71	71	283	708	1132	649	838
		コブノメイガ				49	49	0	0
		苗立枯病				0	0	1415	1415
		ばか苗病				9	9	1415	1415
		もみ枯細菌病					0		
		もみ枯細菌病(種子消毒)						1415	1415
		縞葉枯病					0	0	0
		白葉枯病				71	71	0	0
		萎縮病					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ					0		
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)						1445	1445
		イネドロオイムシ				57	57	0	0
		イネクロカメムシ				283	283	7	7
		フタオビコヤガ				97	97	0	0
		イチモンジセセリ				18	18	0	0
		アワヨトウ				212	212	0	0
コムギ 27年産	6340	さび病類				13	13	0	0
		うどんこ病					0	0	0
		赤かび病				488	488	6340	6340

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
(コムギ続き)		黒穂病類					0	0	0
		縞萎縮病				44	44	0	0
		アブラムシ類				51	51	0	0
		ムギアカタマバエ				1	1	0	0
ダイズ	4490	ハスモンヨトウ			321	1123	1443	3341	3341
		吸実性カメムシ類	281	281	561	702	1824	1253	1315
		紫斑病				14	14	4176	8351
		アブラムシ類		140	0	702	842	0	0
		コガネムシ類		0	0	321	321	0	0
		シロイチモジマダラメイガ				14	14	0	0
カンキツ	1624	そうか病			7	237	244	1462	2923
		黒点病		14	408	1170	1592	1462	6943
		かいよう病			6	205	211	1462	3654
		ヤノネカイガラムシ				49	49	1462	2558
		ミカンハダニ		3	496	475	974	1462	4750
		カメムシ類		5	143	502	650	1462	1462
		チャノキイロアザミウマ			5	726	731	1462	5846
		ミカンハモグリガ			2	160	162	1462	1462
		アブラムシ類				195	195	1462	731
ナシ	155	黒星病		1	17	52	70	147	1950
		赤星病				23	23	147	515
		うどんこ病				39	39	147	166
		輪紋病				11	11	147	884
		ハダニ類			1	25	26	147	442
		カメムシ類			10	43	53	147	147
カキ	432	炭疽病				17	17	302	1285
		うどんこ病				26	26	302	1588
		カキノヘタムシガ				30	30	302	680
		カメムシ類		3	52	101	156	302	302
ブドウ	118	べと病			2	32	34	112	897
		黒とう病				15	15	112	785
		チャノキイロアザミウマ				7	7	112	411
		晩腐病			1	29	30	112	524
チャ	2830	炭疽病			74	662	736	2463	5911
		もち病				141	141	1528	2293
		輪斑病			11	498	509	2547	2830
		チャノコカクモンハマキ		121	185	1052	1358	2482	4468
		チャハマキ			17	832	849	1698	2207
		チャノホソガ			20	1509	1529	2383	4866
		チャノミドリヒメヨコバイ			26	1785	1811	2383	4866
		カンザワハダニ		22	76	1600	1698	2463	7533
		チャノキイロアザミウマ		22	165	1370	1557	2482	8440
		ツマグロアオカスミカメ				651	651	1981	1981
		クワシロカイガラムシ		5	130	1563	1698	2264	3170
		ヨモギエダシヤク			2	564	566	1415	1698
冬春トマト	65	疫病				6	6	65	130
		灰色かび病			5	50	55	65	585
		アブラムシ類				15	15	65	130
秋冬ハクサイ	192	軟腐病				5	5	80	80
		白斑病				7	7	156	156
		べと病				4	4	157	157
		アブラムシ類				50	50	176	176
		ヨトウガ			2	25	27	60	60
		コナガ				20	20	156	156
冬キャベツ	218	黒腐病				7	7	133	264
		菌核病				6	6	133	133
		モンシロチョウ				30	30	133	264
		コナガ				18	18	133	264

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
(冬キャベツ続き)		ヨトウガ				12	12	133	264
		ハスモンヨトウ				13	13	199	199
		アブラムシ類				32	32	133	264
春キャベツ	143	菌核病		1	3	20	24	132	132
		モンシロチョウ				9	9	132	260
		コナガ				15	15	132	260
		アブラムシ類				25	25	132	260
秋冬ネギ	167	さび病				19	19	36	52
		黒斑病				16	16	20	20
		アブラムシ類				16	16	20	20
		ネギハモグリバエ		1	3	38	42	70	137
		ネギアザミウマ				40	40	70	172
		ネギコガ				11	11	36	36
冬春イチゴ	75	炭疽病				31	31	75	525
		灰色かび病				29	29	75	300
		うどんこ病				17	17	75	150
		アブラムシ類				12	12	75	300
		ハダニ類			8	29	37	75	450
		ハスモンヨトウ				5	5	75	75

5. 発行された予察情報

(1) 発生予察情報の一覧

発生予報	第1号 4月23日	第2号 5月28日	第3号 6月25日	第4号 7月23日	第5号 8月27日	第6号 10月22日	第7号 3月24日
------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------

	病害虫名	対象作物
注意報第1号 平成27年4月23日	コムギ赤かび病	コムギ
注意報第2号 平成27年5月25日	果樹カメムシ類	ナシ、カキ等
注意報第3号 平成27年8月3日	果樹カメムシ類	果樹全般 (特にナシ、カキ、カンキツ)

	病害虫名	対象作物
技術情報第1号 平成27年4月16日	コムギ赤かび病	コムギ
技術情報第2号 平成27年4月16日	灰色かび病	イチゴ(施設) トマト(施設・冬春作型)
技術情報第3号 平成27年4月21日	カンザワハダニ	チャ
技術情報第4号 平成27年4月30日	黒星病	ナシ
技術情報第5号 平成27年5月7日	チャノコカクモンハマキ	チャ
技術情報第6号 平成27年5月12日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第7号 平成27年5月27日	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ	ネギ
技術情報第8号 平成27年6月2日	チャノミドリヒメコバヤ チャノキイロアザミウマ	チャ
技術情報第9号 平成27年6月4日	カンザワハダニ	チャ
技術情報第10号 平成27年6月4日	チャノコカクモンハマキ	チャ
技術情報第11号 平成27年6月30日	イネいもち病(葉いもち)	イネ
技術情報第12号 平成27年7月15日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第13号 平成27年7月17日	イネいもち病(葉いもち・穂いもち)	イネ
技術情報第14号 平成27年9月18日	ハスモンヨトウ	ダイズ、野菜類、花き類
技術情報第15号 平成27年9月18日	吸実性カメムシ類	ダイズ
技術情報第16号 平成27年11月19日	イネいもち病(QoI 剤耐性)	イネ(飼料用水稲含む)
技術情報第17号 平成28年1月14日	ハダニ類	イチゴ

(2) 予報

平成 27 年度

病害虫発生予報第 1 号

平成 27 年 4 月 23 日

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.mate.pref.mie.lg.jp/boiyosyo/>

目 次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	10
5. 今月のトピックス(カンキツの黒点病について)	11
6. 気象のデータ	12
7. おしらせ	14

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、イネミズゾウムシの発生時期は**平年並**、発生量は**やや多**と予想されます。発生状況に応じて防除を行い、常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。

コムギでは、赤かび病の発生量は**やや多**と予想されます。開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花始めから開花盛期が防除適期です。開花前の防除は効果が劣るので注意してください。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病(温州みかん)は**平年並**、かいよう病(中晩柑)の発生量は**やや少**、ミカンハダニの発生量は**少**と予想されます。

ナシでは、黒星病の発生量は**やや多**と予想されます。降雨の情報に注意し、防除適期を逃さないようにしてください。赤星病、ハダニ類、アブラムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。越冬量が多いため、圃場内をよく見回り、早期発見に努めてください。防除は飛来を確認してから実施してください。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニ、チャノコカクモンハマキの発生量は**やや多**と予想されます。カンザワハダニは多発を認めた圃場では防除しましょう。チャノコカクモンハマキの防除適期は 5 月中旬頃です。多発を認めたら防除しましょう。クワシロカイガラムシ、チャノホソガの発生量は**平年並**、チャノキロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、ハダニ類の発生量は**やや多**と予想されます。圃場内をよく観察し、寄生密度が高くないように防除を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	平年比		程度	平年比	4 月	5 月	
		下旬			上旬			中旬	下旬	
イネ	イネミズゾウムシ	平年並	やや多	中	普通					1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。
コムギ	赤かび病	—	やや多	中	高					1) 病害虫防除技術情報第 1 号(4 月 16 日発表)。 2) 病害虫発生予察注意報第 1 号(4 月 23 日発表)。 3) 開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花最盛期が防除適期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。 4) 出穂および開花状況を把握し、適期防除を行ってください。 5) 曇雨天が続くと被害は増加するので天候の推移に注意し、曇天または降雨が続く場合は追加防除を行ってください。
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通					1) 県予察圃(御浜町)では、本年の春葉での初発は 4 月 13 日(平年 4 月 18 日)とやや早い状況です。 2) 発芽期の防除を実施することで、その後の発生を抑えることができます。 3) 新葉に病斑が見られる圃場では、その後果実へ感染しますので、幼果期の防除を計画してください。
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑やや少	温州小 中晩柑小	温州低 中晩柑普通					1) 越冬病斑が見られる圃場では、新葉や幼果へと感染していくので、初期の予防散布がポイントです。 2) 越冬病斑が多い圃場では、伝染源となる発病葉及び発病枝は除去し、圃場外で処分してください。 3) 3~4 月に防除を実施していない圃場では、5 月に防除を実施してください。
	ミカンハダニ	—	少	小	低					1) 冬期にマシン油乳剤を散布していない圃場では、新梢伸長期に急増することがあるので注意してください。 2) 発生量は圃場によるばらつきがあるので、発生状況をよく観察してください。 3) 成虫が 1 葉当たり 0.5~1.0 頭になったら防除を計画してください。

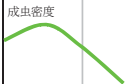
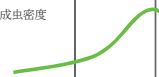
2

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		平年比	平年比	程度		平年比	4月	5月			
							下旬	上旬	中旬		下旬
ナシ	黒星病	—	やや多	中	普通					1) 昨年の発生が多かった圃場では、天気予報の降雨の情報に注意し、防除適期を逃さないようにしてください。 2) 発病が確認されたら追加防除を行ってください。	
	赤星病	—	平年並	小	普通					1) カイヅカイブキ等の枝葉に生成された病原菌が飛散して、ナシに感染します。 2) 病原菌は雨中の風によって飛散し、主に降雨中に感染します。	
	ハダニ類	—	平年並	小	普通					1) 発生が見られる圃場では、低密度のうちに防除してください。	
	アブラムシ類	—	平年並	小	普通					1) アブラムシ類は初期の寄生を見つけることが重要です。 2) 寄生葉付近はアリが活発に活動しているので、アブラムシ発見の目安になります。	
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	中	普通					1) 本年は越冬量が多いため、圃場をよく見回り、早期発見に努めてください。 2) 山林に近い圃場や過去に多数飛来があった圃場では、飛来に注意してください。 3) 果樹カメムシ類は、4 月はウメ、5 月はナシ、ビワ、モモに飛来します。 4) 防除は圃場及び圃場周辺（街灯への夜間飛来など）への果樹カメムシ類の飛来を確認して行ってください。 5) 一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。	

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		平年比	平年比	程度		平年比	4月	5月			
							下旬	上旬	中旬		下旬
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第3号(4月21日発表)。 2) 葉裏に生息していますので、葉裏に十分かかる様に薬剤をいねいに散布しましょう。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けましょう。 4) 天敵への影響の小さい薬剤を選択しましょう。	
	チャノホソガ	—	平年並	小	低					1) 新芽に産卵します。萌芽が早かったため、若齢幼虫の多発が認められた圃場では防除しましょう。 2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。	
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	低					1) 有効積算温度による予測式では、第1世代成虫の発生最盛期は5月第5半旬頃です。	
	クワシロカイガラムシ	—	平年並	中	普通					1) 有効積算温度による予測式では、孵化最盛日は平年より4日ほど早く、防除適期は5月第5半旬頃と予想されます。 2) 天敵保護のために、天敵への影響が小さい薬剤を選択しましょう。 3) 孵化時期に散水により枝幹を濡らすことで歩行型幼虫の固着を防ぐ効果があります。	
	チャノコカクモンハマキ	—	やや多	小	普通					1) 幼虫は孵化数日後に葉を2〜3枚綴るようになるので、葉が効きにくくなります。孵化直後の若齢幼虫を対象に防除しましょう。 2) 例年、越冬世代成虫の発蛾最盛期は5月第2半旬です。この7〜15日後の幼虫孵化期(5月中下旬頃)が防除適期です。 3) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載しているので参考にしてください。	

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						4月	5月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	ハダニ類	—	やや多	中	普通	成ダニ密度 				1) 圃場によって発生にばらつきがあります。こまめに圃場を観察し、発生状況を確認してください。 2) 薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 薬剤散布の際は、収穫前日数と総使用回数を守り、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	平年並	やや多	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、移植時期にあたる4月第4週から5月第1週の気温は平年並の予想(発生時期±) 2) 4月20日現在における有効積算気温(発育零点 13.8℃)は、11.2 度(平年 15.1 度)と低(発生時期+) 3) 予察灯(4月第1半旬～第4半旬)では、4月20日初飛来(平年5月2日初飛来)と早(発生時期-) 4) 予察灯(昨年7月第1半旬～9月第2半旬)では、誘殺数は191頭(平年163.5頭)とやや多(+) 5) 巡回調査圃場(昨年8月)では、発生圃場率15.3%(平年12.3%)と多、払い落とし虫数0.3頭(平年0.8頭)と少(±) 考察: 今後の気象条件を重視して、発生時期は平年並、昨年の予察灯および巡回調査結果から、越冬成虫の予想発生量はやや多と考えます。
コムギ	赤かび病	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、開花期にあたる予報期間1週目(4月18日～24日)は、曇りや雨の日が多い(+) 2) 作況試験田(11月13日播種・品種あやひかり・松阪市)では、出穂期は4月13日(平年4月13日)と平年並(±) 3) 一般圃場では、生育の進展は、一部の播種時期の遅い圃場で遅れているが、多くの圃場では平年並(±) 考察: 今後の気象条件、作況試験田、一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い予想(±) 2) 県予察圃(4月中旬)では、新葉での初発日4月13日(平年4月18日)とやや早、発病率は0.5%(平年1.1%)とやや少(±) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、全調査圃場において病斑未確認で平年並より(旧葉発病度平年0.1)(±) 4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して平年並)(±) 考察: 現状の発生量は平年並に少なく、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 やや少	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い予想(±) 2) 県予察圃(中晩柑類4月中旬)では、越冬病斑の発病率28.1%(9年平均31.2%)と平年並の傾向(±) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、温州みかんでは旧葉発病度0.1(平年0.4)と少、中晩柑類では発生圃場率83%(平年71.8%)と多いものの旧葉発病度は3.1(平年5.0)と少(-) 4) 一般圃場では、発生量は少(-) 考察: 県予察圃、巡回調査圃および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかんでは平年並、中晩柑類ではやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	少	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い予想 (±) 2) 県予察圃(4月中旬)では、100葉当り雌成虫寄生頭数は、無防除区11.1頭(平年79.1頭)とやや少、慣行防除区0頭(平年0.3頭)と少 (—) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、発生圃場率15.3%(平年40.0%)と少、旧葉寄生率2.3%(平年7.4%)と少、雌成虫寄生頭数0.06頭/葉(平年0.25頭/葉)と少 (—) 4) 一般圃場では、発生量は少 (—) 考察：現状の発生量は少と考えられ、大きな増加の要因はないことから、予想発生量は少と考えます。
ナシ	黒星病	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、発病葉率0%(平年0%)と平年並に少であったが、1圃場において花そう基部への発病を確認 (+) 3) 一般圃場では、発生量はやや多 (+) 考察：巡回調査、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。
	赤星病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、発病葉率0%(6年平均0%)と平年並に少の傾向 (±) 3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±) 考察：巡回調査、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	ハダニ類	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生葉率0%(7年平均0%)と平年並に少の傾向 (±) 3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±) 考察：現状の発生量は平年並に少ないことから、予想発生量は平年並と考えます。
	アブラムシ類	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生枝率0%(9年平均0.3%)と少の傾向 (—) 3) 一般圃場では、平年並に少 (±) 考察：現状の発生量は平年並に少ないことから、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	要因 1) 予察灯(御浜町4月1日～10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ36頭(平年1.0頭)と多、ツヤアオカメムシ31頭(平年3.4頭)と多 (+) 2) 予察灯(畑・松阪市4月1日～15日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ0頭(平年0頭)、ツヤアオカメムシ0頭(平年0頭)といずれも平年並 (±) 3) 県予察圃フェロモントラップ(4月1～16日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)2頭(平年3.2頭)とやや少、中間地(津市白山町二本木)2頭(平年0.6頭)と多、平坦地(松阪市嬉野川北町)0頭(平年0.2頭)と少 (—) 4) チャバネアオカメムシの越冬量は、1地点当り9.8頭(平年3.5頭)と多、クサギカメムシの越冬量は、1地点当り141.8頭(平年61.0頭)と多 (+) 5) 巡回調査圃場(4月第2週)では、カンキツ圃場への飛来は未確認 (±) 6) 一般圃場では、カンキツでツヤアオカメムシが散見 (+) 考察：現状の発生量は平年並ですが、越冬量が多いことから、今後の圃場への飛来数の予想発生量はやや多と考えます。
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、晴れの日が多く、気温は平年並の予想 (±) 2) 県予察圃(4月中旬、3月第6半旬防除済)では、旧葉寄生葉率1.0%(平年4.6%)と少、寄生頭数0.1頭/葉(平年0.53頭/葉)と少 (—) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、発生圃場率65.2%と多、寄生葉率9.9%(平年2.5%)と多、寄生頭数0.39頭/葉(平年0.09頭/葉)と多 (+) 4) 一般圃場では、発生量は多 (+) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、予想発生量はやや多と考えます。
	チャノホソガ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、晴れの日が多く、気温は平年並の予想 (±) 2) 県予察圃では、萌芽日は4月5日(平年4月10日)とやや早、初飛来は3月23日(平年3月19日)とやや遅、フェロモントラップ(3月第5半旬～4月第4半旬)では誘殺数161頭(平年668.9頭)と少 (—) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、萌芽への産卵は未確認 (—) 4) 一般圃場では、発生量は平年並であるが、一部地域で多 (+) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、今後の増加を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	－	やや少	要因 1)1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、晴れの日が多く、気温は平年並の予想(±) 2)県予察圃(4月第1半旬～第4半旬)では、吸引粘着トラップ捕殺数65頭(平年121.8頭)と少(－) 3)巡回調査圃場(4月第2週)では、叩き落とし虫数0.2頭(平年2.7頭)と少(－) 4)一般圃場では、発生量は平年並(±) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	クワシロカイガラムシ	－	平年並	要因 1)1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、晴れの日が多く、気温は平年並の予想(±) 2)巡回調査圃場(4月第2週)では、雌成虫寄生株率6.0%(平年17.1%)と少(－) 3)一般圃場では、発生量は平年並であるが、一部地域でやや多(＋) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	－	やや多	要因 1)1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、晴れの日が多く、気温は平年並の予想(±) 2)県予察圃フェロモントラップ(4月第1～第4半旬)では、誘殺数70頭(平年73.6頭)と平年並(±) 3)巡回調査圃場(4月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数0.2枚/m ² (平年0.4枚/m ²)とやや少(－) 4)一般圃場では、ハマキムシ類の発生量はやや多(＋) 考察：一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
イチゴ	ハダニ類	－	やや多	要因 1)1か月予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い予想(±) 2)巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生株率4.0%(平年15.5%)と少、寄生程度1.8%(平年8.3%)と少(－) 3)一般圃場では、発生量は少～やや多(概してやや多)(＋) 考察：一般圃場での状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅		遅	

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

				平年値 ↓			
度数	10%	20%	20%		20%	20%	10%
評価	少	やや少		平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (＋)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (－)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 今月のピックアップ 「カンキツの黒点病について」

◆被害の様子◆

黒点病は病原菌がカンキツに感染した際に組織の表面に黒点状の病斑をつくる病気です。通常は散在した小さな黒点状の病斑ですが、ひどい場合は涙斑状や泥塊状の病斑をつくります。葉や枝にも発生しますが、特に果実に発生した場合は著しく商品価値を下げます。(図1、図2)



図1 果実の病斑



図2 葉の病斑

(三重県農業研究所紀南果樹研究室原図)

◆伝染の経路◆

黒点病菌は枯枝で越冬します。枯枝上で形成された胞子が雨滴により若葉や新梢・果実に伝搬され、気温 20～27℃で感染します。

本病の部位別の発生時期は表1のとおりです。

表1 黒点病の発生時期

部 位	初発期	最盛期	終期
葉	5月中旬	6月中旬	7月下旬
果 実	6月上旬	7月～8月	10月下旬

また、病原菌は樹冠内や落ちている枯枝にも感染し、次の感染への温床となります。(図3)

黒点上で胞子をつくられないので、葉や果実の黒点からの二次感染はありません。



図3 樹冠内の枯枝

◆防除対策(防除のポイント)◆

- 1) 枯枝・剪定枝が主な感染源です。樹冠内や圃場内の枯枝切りを徹底し、剪定枝とともに除去してください。
- 2) 薬剤散布時期は5月中旬～6月上旬、6月下旬～7月上旬、7月中下旬、8月中下旬です。
- 3) 2回目以降の薬剤散布は、前回散布後30日または散布後の積算降水量が200mm～300mmに達した時を目安に行ってください。

11

三重県病害虫防除所

6. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成27年4月16日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1か月は、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。週別の気温は、1週目2週目とも平年並の確率50%です。

1週目 4月18日～ 24日	高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすく雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.1日・4.3日
2週目 4月25日～ 5月1日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 2.1日・4.3日
3～4週目 5月2日～ 15日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 4.7日・7.8日

東海地方週間天気予報(平成27年4月22日10時30分 名古屋地方気象台発表)

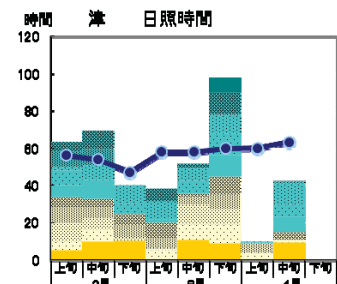
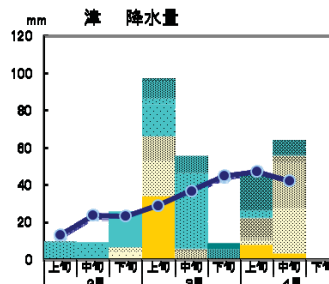
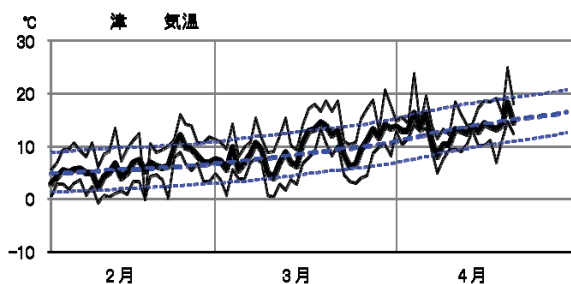
予報期間 4月23日～4月29日

向こう一週間は、期間の前半は高気圧に覆われて晴れますが、後半は気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすいでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高い見込みです。

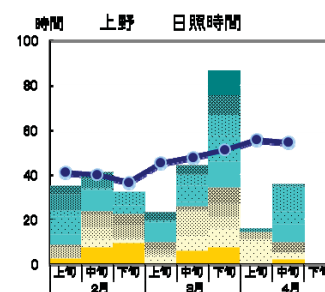
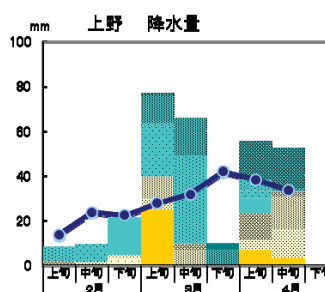
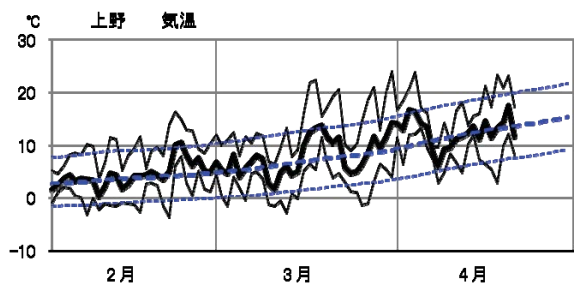
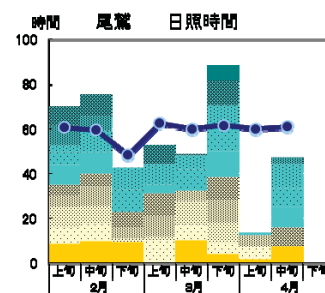
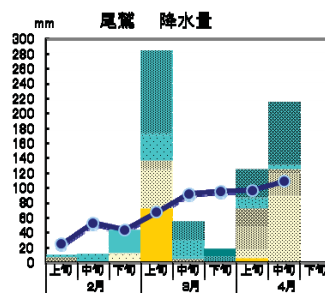
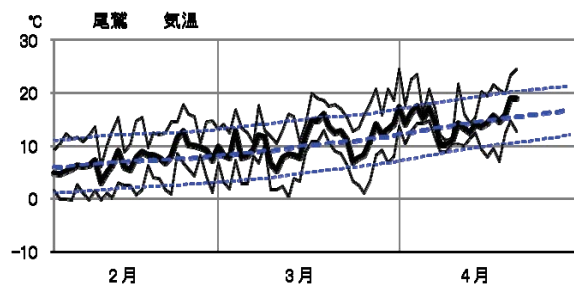
降水量は、平年より少ないでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (4月21日まで)



12

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例

凡例

13

三重県病害虫防除所

7. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しない・非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第1回 4月23日(今回)	第2回 5月28日(木)
第3回 6月25日(木)	第4回 7月23日(木)
第5回 8月27日(木)	第6回 10月22日(木)
第7回 3月24日(木)	

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書 **NEW**

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

http://www.mate.pref.mie.lg.jp/Bojyosyo/files/h26yohotebiki_.pdf

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/merumaga.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/work/ipm/main.htm>

14

三重県病害虫防除所

病害虫発生予報第 2 号

平成 27 年 5 月 28 日

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

目 次

ページ

1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	12
5. 今月のトピックス(チャノキイロアザミウマについて)	13
6. 気象のデータ	14
7. おしらせ	16

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもちの発生時期は**やや遅**、発生量は**平年並**と予想されます。イネクロカメムシの発生量は**やや少**、イネミズゾウムシの発生時期は**遅**、発生量は**やや少**と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病(温州みかん)の発生量は**平年並**と予想されます。黒点病、かいよう病(中晩柑)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

ナシでは、黒星病の発生量は**やや多**と予想されます。発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。ハダニ類の発生量は**平年並**と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。特にこの時期は、ナシ、カキ等が加害されるおそれがあるので、圃場をよく見回って飛来状況を確認してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニ、チャノミドリヒメコバエ、チャノキイロアザミウマの発生量は**多**と予想されます。カンザワハダニは多発圃場では防除しましょう。チャノミドリヒメコバエ、チャノキイロアザミウマは萌芽前～新芽生育初期に防除しましょう。炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。チャノホソガの発生量は**やや少**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、うどんこ病の発生量は**やや多**と予想されます。圃場をよく観察し、早期発見に努め、発病薬は適切に処分してください。炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。

ネギでは、ネギコガの発生量は**平年並**と予想されます。

野菜共通では、コナガの発生量は**やや少**と予想されます。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		平年比	平年比	程度		平年比	5 月	6 月			
							下旬	上旬	中旬		下旬
イネ	葉いもち	やや遅	平年並	小	普通	置苗で発生		本田で発生		1) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに除去し、枯死させてください。 2) 本田粒剤による予防は、初発前に行ってください。 3) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)において、感染好適条件の現れた 7～10 日後に初発が予測されます。 4) プラスタムの最新情報は、病害虫防除所ホームページで随時更新しています。	
	イネクロカメムシ	—	やや少	小	普通		成虫誘殺数		被害量	1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークになる 6 月下旬に実施してください。	
	イネミズゾウムシ	遅	やや少	小	低		成虫誘殺数			1) 株当たり 0.5 頭以上の成虫が発生していれば、防除してください。	
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通	葉・枝			果実	1) 梅雨明けまで幼果に感染します。 2) 6 月以降は新芽や幼果の病斑から二次感染するので、予防散布が重要です。	
	黒点病	—	やや少	小	普通		発病密度			1) 生理落果盛期～後期に予防散布を実施してください。 2) 上記薬剤散布後、積算で 200mm 以上の降雨があったら次の防除を実施してください。 3) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去して下さい。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		5月	6月			
						下旬	上旬	中旬	下旬	
カンキツ	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 やや少	温州 小 中晩柑 小	温州 低 中晩柑 普通					1) 旧葉で越冬病斑が見られる圃場では、感染を助長する降雨等の気象条件に注意し、ボルドー剤による予防防除を実施してください。 2) 越冬病斑が見られない圃場でも、本病に弱い品種(カラ、セミアールなど)では、幼果への感染防止対策として予防散布を実施してください。 3) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起こります。
	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通					1) 梅雨期は薬剤散布のタイミングが取りにくい時期です。マシン油乳剤等を有効に利用する散布を計画して下さい。 2) 発生密度が高い圃場では、散布ムラのないように十分に薬剤散布してください。 3) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	普通					1) 例年被害の多い圃場では6月上旬～中旬に防除し、その後は30日間隔を目安に次の防除を行ってください。
ナシ	黒星病	—	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第4号(4月30日発表)。 2) 圃場内をよく観察し、発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。 3) 発病葉は発見次第取り除き、圃場外へ持ち出して処分してください。 4) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため同一系統薬剤の連用を避けてください。
	ハダニ類	—	平年並	小	普通					1) 防除の目安は成虫の1葉당寄生頭数が1頭以上の時です。 2) 殺ダニ剤に対する抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の使用は年1回としてください。

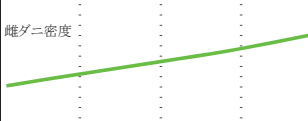
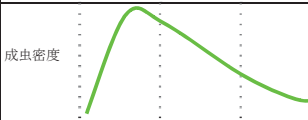
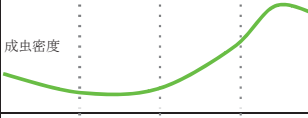
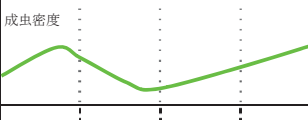
3

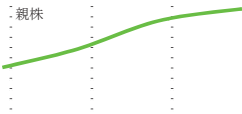
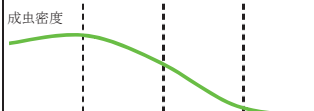
三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		平年比	平年比	程度		平年比	5月		6月		
							下旬	上旬	中旬		下旬
ブドウ	べと病	—	平年並	小	普通					1) 雨が連続すると急激に発生が広がります。降雨が予想される時は、早めに予防散布を行ってください。 2) 葉裏をよく観察し、病斑を認めたら直ちに防除を実施してください。 3) 被害葉、被害果は発見次第取り除き、圃場外に持ち出し処分してください。	
	カメムシ類	—	やや多	中	普通					1) 病害虫発生予察注意報第2号(5月25日発表)。 2) 降雨がなく気温の高い夜に飛来が多いので、夜間の街灯に注意したり、圃場を見回するなどして、早期発見に努めてください。 3) 山林に近い圃場では特に注意が必要です。 4) 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。 5) 夕刻から活発に飛翔するので朝夕の薬剤散布が効果的です。近隣圃場と調整し、広い範囲で散布日を合わせて一斉防除することにより効果が高くなります。 6) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。	
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通					1) 気温が25℃前後で降雨時間が長く湿潤であると多発します。 2) 毛茸の脱落する1葉期までに防除しましょう。 3) 6月上中旬頃の気象によっては感染が助長されるので注意しましょう。	
	もち病	—	平年並	小	低					1) 気温が低い(15～22℃)と多発します。 2) 山間の日陰などでは注意しましょう。 3) やぶきた、くらさわなどの品種は感染しやすいので注意しましょう。	

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		平年比	平年比	程度		平年比	5月	6月			
							下旬	上旬	中旬		下旬
チャ	カンザワハダニ	—	多	大	高	雌ダニ密度					1) 病害虫防除技術情報第3号(4月21日発表)。 2) 気温が高く少雨が続き多発しますので注意しましょう。 3) 有効積算温度による予測式では年間15世代(平年14世代)発生し、発生時期は10日ほど早いと思われます。 4) 葉裏に生息していますので丁寧に散布しましょう。 5) 天敵への影響の小さい薬剤を使いましょう。 6) 1世代が短く薬剤抵抗性を獲得しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けましょう。
	チャノホソガ	—	やや少	小	普通	成虫密度					1) 防除適期は孵化直後の潜葉期(幼虫による絵描き状態)です。 2) 今年の発生時期は早いと考えられ、防除適期は6月第1半旬～第2半旬頃と思われます。 3) 葉裏の水溜りの卵を発見して初期防除に努めましょう。
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	多	大	高	成虫密度					1) 有効積算温度による予測式(5月26日予測)では第2世代成虫の発生最盛期は6月15日頃(平年6月21日頃)と早くなっています。 2) 二番茶の萌芽期～開葉初期に防除しましょう。
	チャノキイロアザミウマ	—	多	中～大	普通	成虫密度					1) 有効積算温度による予測式(5月26日予測)では第2世代成虫の発生最盛期は6月15日頃(平年6月23日頃)と早くなっています。 2) 二番茶の萌芽前～開葉初期に防除しましょう。
イチゴ	うどんこ病	—	やや多	大	普通	親株					1) 今後1か月は感染しやすい時期です。圃場をよく観察し、早期発見に努め、発病葉は適切に処分してください。 2) 育苗圃場で発生が多いと本圃でも多発するため、親株の時期から薬剤防除を徹底し、健全苗を育成してください。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
		平年比	平年比	程度	平年比	5月	6月			
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 高温・多湿条件で発生しやすいため、今後の梅雨・高温期にかけては注意が必要です。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。 3) 罹病株は感染源となります。見つけ次第速やかに除去し、圃場外に持ち出して処分してください。 4) 水滴の跳ね返りによって病原菌が広がります。灌水時は、跳ね返った水滴が茎葉に当たらないよう注意してください(やさしく手灌水、チューブ灌水)。
ネギ	ネギコガ	—	平年並	小	普通	成虫密度				1) 春から秋にかけて4～5回発生します。 2) 幼虫が葉の内部に潜り、表皮を残して食害するため、潜入防止のための早期防除が重要です。
野菜共通	コナガ	—	やや少	小	普通	成虫密度				1) 近年、大きな被害は見られませんが、繁殖力が旺盛なアブラナ科野菜の重要害虫です。 2) 中・老齢幼虫は殺虫効果が低くなるので、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	やや遅	平年並	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想（発生時期＋、発生量－） 2)巡回調査圃場(5月第3週)では、置き苗での発生率0%(5年平均0%)、本田での発生圃場率0%(5年平均0%)と、平年並に少ない傾向（±） 3)一般圃場では、発生量は平年並に少（±） 考察：今後の気象条件から予想発生時期はやや遅、巡回調査結果および一般圃場での発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	イネクロカメムシ	－	やや少	要因 1)予察灯(松阪市・昨年8月第2半旬～10月第6半旬)では、誘殺数は水田位置10頭(平年65.2頭)と少、畑位置325頭(平年2,669.3頭)と少（－） 考察：予察灯の状況から越冬成虫数は少ないと考えられるため、予想発生量はやや少と考えます。
	イネミズゾウムシ	遅	やや少	要因 1)予察灯(松阪市・4月第1半旬～5月第4半旬)では、越冬成虫の最盛日は5月15日(平年5月7日)と遅、誘殺数は10頭(平年49.9頭)と少（発生時期＋、発生量－） 2)巡回調査圃場(5月第3週)では、発生圃場率55.5%(平年63.7%)と少、被害株率14.6%(平年25.7%)と少、株当たり虫数0.04頭(平年0.05頭)と少（－） 3)一般圃場では、発生量は少～やや多(概してやや少)（－） 考察：予察灯の状況から幼虫の予想発生時期は遅、予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
カンキツ	そうか病	－	平年並	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想（－） 2)県予察圃(5月中旬、無防除)では、新葉発病率91.5%(平年42.5%)と多、発病果率41.7%(平年0.2%)と多（＋） 3)巡回調査圃場(5月第3週)では、旧葉発病度0(平年0.04)と平年並（±） 4)一般圃場では、発生量は平年並（±） 考察：巡回調査結果および一般圃場の発生状況を重視して予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	黒点病	－	やや少	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想（－） 2)県予察圃では、昨年10月下旬の果実発病度は80.2(平年81.7)でやや少（－） 3)巡回調査圃場では、昨年10月上旬の果実発病度8.8(平年19.8)と少（－） 4)感染源となる枯枝は平年並の状況（±） 考察：平年と比べて大きな増減の要因はなく、予想発生量はやや少と考えます。
	かいよう病	－	温州 平年並 中晩柑 やや少	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想（－） 2)県予察圃(新甘夏、無防除)における新葉での初発は、5月18日現在未確認(平年5月13日)と遅（－） 3)県予察圃(5月中旬、新甘夏、無防除)では、新葉発病率0%(平年0.2%)と平年並（±） 4)巡回調査圃場(5月第3週)では、旧葉発病率は温州みかんでは0.3%(平年0.3%)と平年並、中晩柑類では2.0%(平年9.3%)と少（温州±、中晩柑－） 5)一般圃場では、発生量は平年並（±） 考察：温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ミカンハダニ	－	やや少	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想（＋） 2)県予察圃(5月中旬)では、100葉当り寄生頭数は、無防除区0頭(平年31.9頭)と少、慣行防除区0頭(平年0.8頭)と少（－） 3)巡回調査圃場(5月第3週)では、発生圃場率30.8%(平年40.8%)と少、旧葉寄生率5.9%(平年12.0%)と少、寄生頭数0.25頭/葉(平年1.25頭/葉)と少（－） 4)一般圃場では、発生量はやや少（－） 考察：現在の発生量は少と考えられますが、今後の気象を考慮して、予想発生量はやや少と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	－	やや少	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想（＋） 2)一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)（－） 考察：一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。
ナシ	黒星病	－	やや多	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想（－） 2)巡回調査圃場(5月第3週)では、発病葉率1.3%(平年0.3%)と多（＋） 3)一般圃場では、発生量はやや多（＋） 考察：一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ナシ	ハダニ類	－	平年並	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想 (＋) 2)巡回調査圃場(5月第3週)では、寄生葉率0%(平年0.04%)と平年並 (±) 3)一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ブドウ	べと病	－	平年並	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想 (－) 2)巡回調査圃場(5月第3週)では、発病葉率は0%(平年0%)と平年並 (±) 3)一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
果樹共通	カメムシ類	－	やや多	要因 1)予察灯(御浜町・5月1日～20日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ47,840頭(平年667.5頭)と多、ツヤアオカメムシ3,348頭(平年1,689.0頭)と多 (＋) 2)予察灯(畑・松阪市:5月1日～20日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ3,674頭(平年198.9頭)と多、ツヤアオカメムシ116頭(平年18.9頭)と多 (＋) 3)フェロモントラップ(5月1日～24日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で302頭(平年119.8頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で708頭(平年225.6頭)と多、平坦地(松阪市嬉野川北町)で835頭(平年70.8頭)と多 (＋) 4)巡回調査圃場(5月第3週、カンキツ圃場)では、叩き落とし虫数0.2頭(平年0.2頭)と平年並 (±) 5)一般圃場では、発生量はやや多 (＋) 考察：一般圃場の状況を重視して予想発生量はやや多と考えます。
チャ	炭疽病	－	平年並	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (－) 2)県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認 (－) 3)巡回調査圃場(5月第3週)では、新葉発病葉数0.11葉/㎡(平年0.11葉/㎡)と平年並であるが、過去10年で2番目に多い状況 (＋) 4)一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	もち病	－	平年並	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (－) 2)県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認 (±) 3)巡回調査圃場(5月第3週)では、発生は未確認であるが区外で病斑葉確認 (＋) 4)一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	－	多	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (＋) 2)県予察圃(5月中旬)では、寄生葉率3.0%(平年3.6%)と平年並、寄生頭数0.2頭/葉(平年0.12頭/葉)と多 (＋) 3)巡回調査圃場(5月第3週)では、発生圃場率38.0%(平年28.4%)と多、寄生葉率9.6%(平年4.5%)と多、寄生頭数0.25頭/葉(平年0.1頭/葉)と多 (＋) 4)一般圃場では、発生量は多 (＋) 考察：現状の発生量は多と考えられ、引き続き予想発生量は多と考えます。
	チャノホソガ	－	やや少	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (＋) 2)県予察圃(4月第4半旬～5月第4半旬)では、フェロモントラップ誘殺数85頭(平年278.2頭)とやや少 (－) 3)巡回調査圃場(5月第3週)では、巻葉数0枚/㎡(4年平均0.03枚/㎡)と少の傾向 (－) 4)一般圃場では、発生量は少 (－) 考察：現状の発生量は少と考えられ、今後の増加を考慮して予想発生量はやや少と考えます。
	チャノミドリヒメコバエ	－	多	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (＋) 2)県予察圃(4月第4半旬～5月第4半旬)では、吸引粘着トラップ捕殺数4頭(平年5.0頭)と平年並 (±) 3)巡回調査圃場(5月第3週)では、叩き落とし虫数0.70頭(平年0.73頭)と平年並 (±) 4)一般圃場では、発生量は多 (＋) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、今後の増加を考慮して予想発生量は多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	－	多	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (＋) 2)県予察圃(4月第4半旬～5月第4半旬)では、吸引粘着トラップ捕殺数630頭(平年1,010.7頭)とやや少 (－) 3)巡回調査圃場(5月第3週)では、叩き落とし虫数5.1頭(平年4.2頭)とやや多 (＋) 4)一般圃場では、発生量はやや多 (＋) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、今後の増加を考慮して予想発生量は多と考えます。
イチゴ	うどんこ病	－	やや多	要因 1)一般圃場では、本圃での発生量は平年並～やや多(概してやや多)、親株床でも同様の傾向 (＋) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
	炭疽病	－	平年並	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想 (－) 2)一般圃場では、現在、親株床で目立った発生はなし (±) 考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ネギ	ネギコガ	－	平年並	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想 (＋) 2)県予察圃フェロモントラップ(4月第6半旬～5月第5半旬)では、誘殺数4頭(平年138.4頭)と少 (－) 3)巡回調査圃場(5月第3週)では、被害葉率0%(平年0.1%)と平年並に少 (±) 4)一般圃場では、発生量は平年並に少 (±) 考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
野菜共通	コナガ	－	やや少	要因 1)1か月予報(5月21日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並か少ない予想 (＋) 2)県予察圃フェロモントラップ(4月第6半旬～5月第5半旬)では、誘殺数99頭(平年96.2頭)と平年並 (±) 3)一般圃場では、発生量は微～やや少(概してやや少) (－) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅		遅	

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

				平年値 ↓			
度数	10%	20%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少		平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (＋)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (－)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 今月のトピックス「チャノキイロアザミウマについて」

1. どんな虫？

茶の新芽を加害する微小な害虫です。雌成虫の体長は 0.8～0.9mm、幼虫は淡黄色です。一般に「スリップス」と呼ばれることもあります(図 1)。



図 1 チャノキイロアザミウマ成虫(左)と幼虫(右) (茶業研究室原図)

2. 生態と被害

年間 7～8 世代発生します。越冬は主に成虫でおこなわれ、枝幹部の割れ目や包葉の中、落葉の裏、地表などで越冬します。1 月ごろから活動を始め 4 月中旬頃から新葉に産卵します。幼虫は新芽や若葉の表層を吸汁加害し、葉柄の基部、若芽の葉の主脈に沿って褐変します。加害された葉は硬く小型化し、ひどくなると落葉して萌芽なくなります。(図 2)。

3. 防除

新芽の開葉初期に防除することが重要です。成虫密度の高くなる 5 月下旬頃が防除適期です。有効積算温度による予測式では、今年の発生時期は平年よりも 10 日ほど早いと予想されます。(表)

農業研究所茶業研究室(亀山市)における発生消長のグラフを、病害虫防除所ホームページで提供していますので参考してください。

(<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>)



図 2 被害葉、茶園の被害状況(茶業研究室原図)

表 有効積算温度によるチャノキイロアザミウマ成虫発生最盛日の予測結果(5月26日予測)

地点	世代	H27	平年	平年比(日)
四日市	第1世代	5月17日	5月28日	-11
	第2世代	6月15日	6月23日	-8
亀山	第1世代	5月16日	5月27日	-11
	第2世代	6月15日	6月23日	-8
粥見	第1世代	5月18日	5月26日	-8
	第2世代	6月16日	6月23日	-7

農業はラベルを確認して正しく使用してください。

13

三重県病害虫防除所

6. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報(平成 27 年 5 月 21 日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1か月の平均気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込みです。日照時間は平年並または多い見込みです。

1 週目 5 月 23 日～ 29 日	期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れますが、中頃は気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすく雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.0 日・4.2 日
2 週目 5 月 30 日～ 6 月 5 日	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。	同 1.8 日・4.0 日
3～4 週目 6 月 6 日～ 19 日	例年では低気圧や前線の影響を受ける時期となりますが、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。	同 5.2 日・6.3 日

東海地方週間天気予報(平成 27 年 5 月 27 日 10 時 30 分 名古屋地方気象台発表)

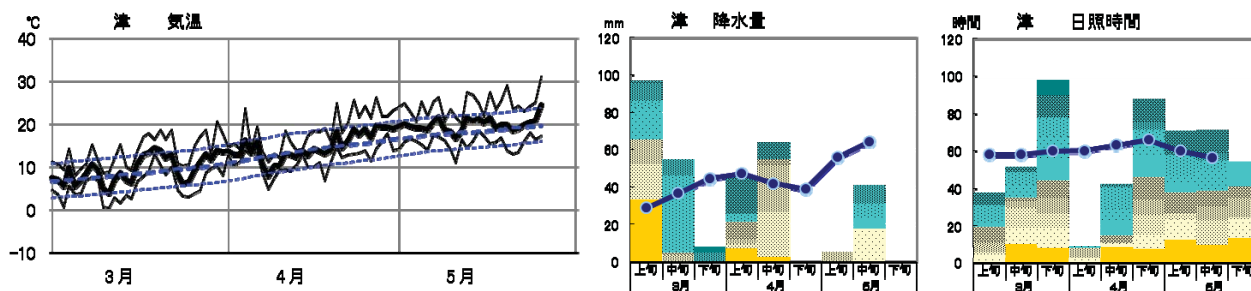
予報期間 5 月 28 日～6 月 3 日

向こう一週間は、期間のはじめと終わりには高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や気圧の谷の影響で雲が広がりやすく、期間の中頃には雨の降る日があるでしょう。

最高気温は平年並か平年より高く、最低気温は平年より高いでしょう。

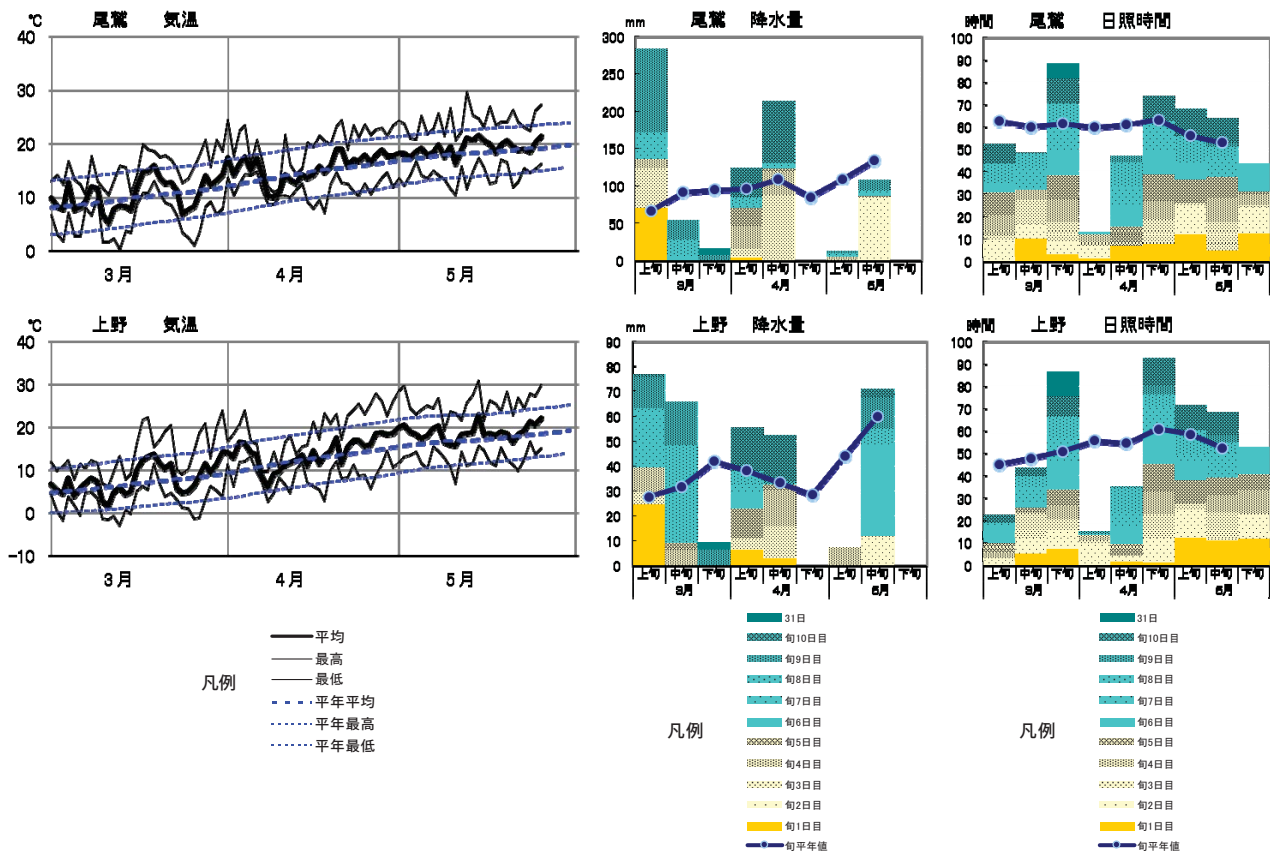
降水量は平年並か平年より多い見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (5 月 26 日まで)



14

三重県病害虫防除所



15

三重県病害虫防除所

7. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のない・非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第1回 4月23日(木)	第2回 5月28日(木)(今回)
第3回 6月25日(木)	第4回 7月23日(木)
第5回 8月27日(木)	第6回 10月22日(木)
第7回 3月24日(木)	

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

http://www.mate.pref.mie.lg.jp/Bojyosyo/files/h26yohotebiki_.pdf

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/merumaga.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご利用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/work/ipm/main.htm>

16

三重県病害虫防除所

病害虫発生予報第 3 号

平成 27 年 6 月 25 日

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

目 次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	8
4. 予察項目の見方	15
5. 今月のトピックス(イネ・紋枯病について)	16
6. 気象のデータ	17
7. おしらせ	19

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもち、白葉枯病、斑点米カメムシ類、イネクロカメムシ、ツマグロヨコバイの発生量は**平年並**と予想されます。穂いもちの発生時期は**やや早**、発生量は**平年並**と予想されます。セジロウカの発生時期および発生量は**平年並**と予想されます。紋枯病の発生時期は**やや早**、発生量は**やや少**と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、黒点病、かいよう病(温州)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。かいよう病(中晩柑)の発生量は**やや少**と予想されます。

ナシでは、黒星病の発生量は**やや多**と予想されます。発病が確認された圃場ではすみやかに防除を実施してください。ハダニ類の発生量は**平年並**と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。特にこの時期は、ナシ(無袋栽培)とカキが加害されるおそれがあるので、圃場をよく見回

って飛来を確認してください。

3) 茶

チャでは、炭疽病、カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマ、クワシロカイガラムシ、チャノコカクモンハマキの発生量は**やや多**と予想されます。炭疽病は降雨が続く場合は防除しましょう。カンザワハダニは多発圃場では防除しましょう。チャノキイロアザミウマは 7 月第 2 半月頃に防除しましょう。クワシロカイガラムシの幼虫孵化時期は 1 週間ほど早く 7 月 14 日～7 月 17 日頃と予想されます。この期間を挟んで 2 週間程度断続的に散水するか、7 月 16～20 日頃に薬剤防除しましょう。チャノコカクモンハマキは若齢幼虫を対象に 7 月第 1～3 半月頃に防除しましょう。チャノミドリヒメヨコバイの発生量は**平年並**と予想されます。チャノホソガの発生量は**やや少**と予想されます。

4) 野菜

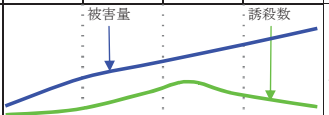
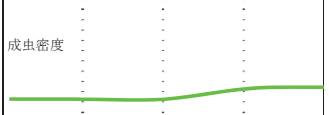
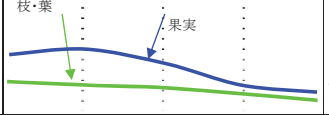
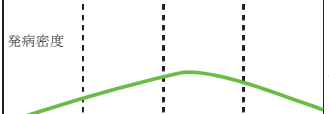
イチゴでは、炭疽病、ハダニ類の発生量は**平年並**と予想されます。うどんこ病の発生量は**やや少**と予想されます。

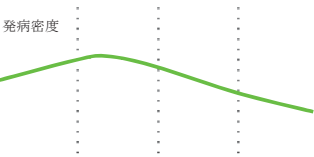
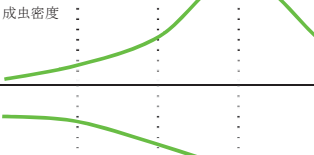
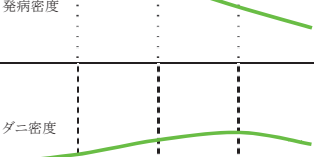
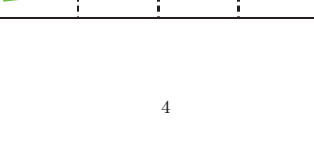
ネギでは、ネギコガの発生量は**平年並**と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		平年比	平年比	程度		平年比	6 月	7 月			
							下旬	上旬	中旬		下旬
イネ	葉いもち	—	平年並	中	普通					1) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。 3) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)によると、6 月下旬以降、本田で発病が確認され始めると予想されます。 4) 雨天が続く可能性があるため、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除してください。	
	穂いもち	やや早	平年並	中	普通					1) 上位葉の葉いもち病斑が伝染源となります。 2) 圃場および周辺圃場での葉いもちの発生状況に注意してください。 3) 薬剤散布は出穂始めから穂揃い期に予防的に行ってください。	
	紋枯病	やや早	やや少	小	普通					1) 幼穂形成期頃(穂肥時期)から発生が目立つようになります。 2) 水面に近い茎から茎へ感染します。薬剤散布によって病斑の上位葉への進展を阻止してください。	
	白葉枯病	—	平年並	小	低					1) 深水、冠水、台風によって感染や発病が助長されます。 2) 常発地では台風直後に薬剤散布をしましょう。予防的な薬剤散布は効果が高いです。 3) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意してください。	
	斑点米カメムシ類	—	平年並	小	普通					1) 畦畔などのイネ科雑草で増殖します。草刈りをこまめに行い、イネ科雑草の穂がつかないように管理してください。 2) 水田内で雑草が多発すると、水田への侵入を助長するため、早めに除去しましょう。 3) 草刈りは出穂 10 日前までに行いましょう。出穂直前および出穂後の草刈りは、水田への侵入を助長するおそれがあります。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	平年比		程度	平年比	6月	7月	
		下旬			上旬			中旬	下旬	
イネ	イネクロカメムシ	—	平年並	小	普通					1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークとなる6月下旬に実施してください。 2) 日中は株元に潜んでいるので、夕方や曇天の日に薬剤散布を行うと効果的です。
	ツマグロヨコバイ	—	平年並	中	低					1) 当面、防除が必要な密度には達しないと思われます。
	セジロウンカ	平年並	平年並	小	低					1) 例年、被害の発生はごく局所的であるため、多飛来が認められた場合は、病害虫防除技術情報で臨時発表します。
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通					1) 常発圃場や昨年多発した圃場、幼木園、高接ぎ更新園の温州みかんでは、発生に注意してください。 2) 果実への感染は梅雨末期頃までといわれています。
	黒点病	—	平年並	小	普通					1) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。 2) 薬剤散布は前回の散布後に積算降水量が200～300mmに達した時を目安に実施してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		6月	7月			
		平年比		平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	
カンキツ	かいよう病	—	温州 平年並	温州 小	温州 低					1) 降雨があると急速に感染が広がるので、発生圃場では雨の合間に防除してください。 2) 発病枝葉、果実は、見つけ次第剪除し処分してください。 3) 幼木や高接樹ではミカンハモグリガの被害部に発病しやすいので、ミカンハモグリガの防除を実施してください。 4) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起こります。
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通					1) 発生密度が高くなると防除が困難になります。1 葉当りの雌成虫発生数が0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 薬剤は葉裏にもかかるように散布してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 寄生果率10%を目安に防除してください。 2) 7月になり果実肥大が進むと果頂部で加害します。 3) 圃場周辺のイヌマキ・サングジュ等が発生源となります。
ナシ	黒星病	—	やや多	中	普通					1) 発病果及び発病葉は除去して、圃場外に持ち出し処分してください。 2) 発病が確認される圃場では、すみやかに防除を計画してください。 3) 薬剤散布を実施するときは薬剤をていねいに散布し、同一系統薬剤の連用を避けてください。
	ハダニ類	—	平年並	中	普通					1) 1 葉当り寄生数が1～2頭で防除を実施してください。 2) 7～8月に密度が高くなります。徒長枝での発生にも注意してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		6月		7月			
				発生時期		発生量	発生時期	発生量			
ブドウ	べと病	—	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	
果樹共通	カメムシ類	—	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	
チャ	炭疽病	—	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	
	カンザワハダニ	—	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	
	チャノホソガ	—	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	発生時期	発生量	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		発生消長の一例				
				6月		7月				
		発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	発生量	発生量	発生時期	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	1)病害虫防除技術情報第8号(6月2日発表) 2)有効積算温度による予測式(6月22日予測)では、第4世代の発生日は7月4～6日(平年7月10～11日)、第5世代の発生日は7月21～23日(平年7月27～28日)と早いことが予想されます。 3)萌芽期～開葉初期に防除しましょう。
	チャノキイロアザミウマ	—	発生量	発生量	発生時期	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	1)病害虫防除技術情報第8号(6月2日発表) 2)有効積算温度による予測式(6月22日予測)では、第3世代の発生日は7月7～8日(平年7月13～14日)、第4世代の発生日は7月25～27日(平年8月1日)と早いことが予想されます。 3)萌芽前～開葉初期に防除しましょう。
	クワシロカイガラムシ	早	発生量	発生量	発生時期	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	1)病害虫防除技術情報第6号(5月12日発表) 2)有効積算温度による予測式(6月22日予測)では第2世代幼虫孵化最盛日は四日市市では7月15日頃(平年7月21日頃)、亀山市では7月14日頃(平年7月21日頃)、松阪市では7月17日頃(平年7月21日頃)と早いことが予想されます。 3)孵化最盛日を挟んだ2週間程度の断続的な散水により幼虫の固着を防ぐことができます。 4)天敵に影響の少ない薬剤を選択しましょう。
	チャノコカクモンハマキ	—	発生量	発生量	発生時期	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	発生消長の一例	1)病害虫防除技術情報第5号(5月7日発表) 2)第1世代成虫のフェロモントラップ誘殺ピークは6月第5半旬頃と考えられ第2世代若齢幼虫の防除適期は7月第1半旬～第3半旬頃と考えられます。 3)交信かく乱剤をまとまった面積に実施することにより、次世代以降の密度を下げるすることができます。 4)薬剤抵抗性の発達を防ぐため同一系統の薬剤の連用は避けましょう。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						6月	7月			
			平年比	平年比		程度	平年比	下旬	上旬	
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	中	普通	発病密度 				1) 育苗期の防除を徹底してください。 2) 薬剤防除は予防散布に努めます。葉裏から発生しやすいので、薬液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布してください。 3) 発病を認めたときは、集中的に散布して感染拡大を防いでください。
	炭疽病	—	平年並	中	普通	発病密度 				1) 病原菌は高温多湿条件を好み、梅雨時期以降に発生が多くなるため、十分な注意が必要です。 2) 病原菌(胞子)を含む水の跳ね返りで感染が拡大します。頭上灌水は避け、株を濡らさないようにしてください。 3) 発病株は感染源となるため、周辺株を含めて直ちに除去し、処分してください。 4) 薬剤防除は、薬液が株元まで十分かかるよう丁寧に散布してください。
	ハダニ類	—	平年並	小	普通	雌ダニ密度 				1) 作物残渣から歩行によって移動します。葉かき後の残渣は圃場外に持ち出し、速やかに処分してください。 2) 多発すると防除が困難になります。早期発見に努め、発生初期に防除を行ってください。 3) 散布は葉裏を中心に丁寧に行ってください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ	ネギコガ	—	平年並	小	普通	成虫密度 				1) 春から秋にかけて4～5回発生します。 2) 幼虫は葉の内部に潜り、表皮を残して食害します。潜入防止のため、発生初期から防除を行うことが重要です。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	—	平年並	要因 1) 1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または低い予想(±) 2) プラスタム(6月19日現在)によると、感染好適条件は6月14～15日、17～18日に、南部地域を中心に出現(+) 3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、本田における発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少ない傾向(±) 4) 一般圃場では、発生量は無～少であり、一部地域のもち品種で確認(±) 考察: プラスタムによる判定結果および今後の気象条件を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	穂いもち	やや早	平年並	要因 1) 農業研究所作況試験田(4月25日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並(発生時期±) 2) 水稻生育予測システム(津アメダスデータ、4月25日移植コシヒカリ、6月17日現在)によると、予想出穂期は7月17日頃(平年7月20日頃)と2.9日早い予想(発生時期－) 3) 一般圃場では、葉齢の進展はやや早い傾向(発生時期－) 4) 葉いもち発生量は平年並の予想(±) 考察: 水稻の生育状況を考慮して、予想発生時期はやや早、葉いもちの予想発生量を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
	紋枯病	やや早	やや少	要因 1) 農業研究所作況試験田(4月25日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並、茎数はやや少の傾向(発生時期±、発生量－) 2) 昨年8月の巡回調査圃場では、発生圃場率21.6%(平年29.9%)とやや少、発病度0.9(平年2.1)と少(－) 3) 一般圃場では、葉齢の進展はやや早、茎数はやや多(発生時期－、発生量＋) 考察: 水稻の生育状況から予想発生時期はやや早、感染源となる越冬菌核量はやや少と考えられ、予想発生量はやや少と考えます。
	白葉枯病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または低い予想(±) 2) 県内では4月以降、激しい風を伴う大雨はなし(－) 考察: これまでのところ、激しい風雨による冠水の機会は少ないため、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	斑点米カメムシ類	—	平年並	要因 1) 予察灯(4月第1半旬～6月第3半旬)では、誘殺数はアカスジカスミカメ6頭(平年11.4頭)と少、アカヒゲホソミドリカスミカメ4頭(平年35.0頭)と少 (—) 2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる発生地点率および成幼虫数は、ホソハリカメムシで8.8%(平年9.3%)と平年並に少、0.2頭(平年0.2頭)と平年並に少、クモヘリカメムシで0%(平年0.2%)と平年並に少、0頭(平年0.01頭)と平年並に少、シラホシカメムシ類で8.8%(平年6.1%)とやや多、0.1頭(平年0.1頭)と平年並に少、アカスジカスミカメで37.5%(平年32.7%)と平年並、2.1頭(平年1.9頭)と平年並 (十) 考察: 予察灯、巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。
	イネクロカメムシ	—	平年並	要因 1) 予察灯(4月第1半旬～6月第3半旬)では、誘殺数は水田位置12頭(平年7.0頭)と多、畑位置120頭(平年165.3頭)とやや少 (土) 2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率7.2%(平年4.4%)と多、25株当たり成虫数0頭(平年0.02頭)と少 (土) 3) 一般圃場では、発生量は無～やや少(概して平年並に少) (土) 考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	ツマグロヨコバイ	—	平年並	要因 1) 予察灯(4月第1半旬～6月第3半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置2頭(平年0.4頭)、伊賀市0頭(平年0頭)、紀北町0頭(平年0頭)、御浜町0頭(平年0頭)とそれぞれ平年並に少ない傾向、松阪市・畑位置255頭(8年平均107.6頭)と多い傾向 (土) 2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成幼虫数0.3頭(平年0.3頭)と平年並 (土) 3) 一般圃場では、発生量は無(概して平年並に少) (土) 考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	セジロウンカ	平年並	平年並	要因 1) 予察灯(県内4か所)では、6月10日現在、未飛来(松阪市・平年初飛来7月9日) (発生時期土) 2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成虫数は0頭(平年0.006頭)と平年並に少ない傾向 (土) 3) 一般圃場では、発生量は無 (土) 4) ウンカ飛来状況(JPP-NET)によると、九州では6月中旬まで多飛来は無 (—) 考察: これまでの飛来状況から発生時期は平年並、現在の飛来状況から当面は密度が大きく上昇することはないと予想されるため、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または高い予想 (土) 2) 県予察圃(6月中旬、無防除)では、春葉発病率94.0%(平年60.0%)と多、発病果率99.2%(平年59.1%)と多 (十) 3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0(平年0.1)と平年並 (土) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (土) 考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	黒点病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または高い予想 (土) 2) 県予察圃(6月中旬、無防除)では、果実発病率93.3%(平年37.7%)と多 (十) 3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0.1(平年1.3)と少 (—) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (土) 5) 感染源となる枯枝量は平年並 (土) 考察: 一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 やや少	要因 1) 1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または高い予想 (土) 2) 県予察圃(中晩柑)における果実での初発は、6月16日現在未確認(平年6月7日)と遅 (—) 3) 県予察圃(6月中旬、新甘夏、無防除)では、春葉発病率0%(平年3.3%)と少、発病果率0%(平年1.0%)と少 (—) 4) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病率は温州みかんでは0%(平年0.3%)と平年並、中晩柑では0.3%(平年3.6%)と少 (—) 5) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概してやや少) (—) 考察: 温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ミカンハダニ	—	平年並	要因 1) 県予察圃(6月中旬)では、100葉当たり寄生頭数は無防除区4.4頭(平年30.3頭)と少、慣行防除区2.2頭(平年6.7頭)とやや少 (—) 2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率61.5%(平年52.3%)と多、春葉寄生率11.2%(平年11.4%)と平年並、寄生頭数0.42頭/葉(平年0.66頭/葉)とやや少 (土) 3) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並) (土) 考察: 巡回調査結果および一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	－	平年並	要因 1) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月中旬、無防除)では、誘殺数 1.8 頭／日(平年 1.46 頭／日)とやや多 (＋) 2) 県予察圃(6月中旬、無防除)では、100 果当り寄生虫数 0 頭(平年 0.42 頭)と少 (－) 3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害果率 0.6%(平年 0.5%)と平年並 (±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並～やや多(概して平年並) (±) 考察：巡回調査結果および一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ナシ	黒星病	－	やや多	要因 1) 1 か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または高い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病葉率 2.7%(平年 2.0%)とやや多 (＋) 3) 一般圃場では、発生量はやや多 (＋) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
	ハダニ類	－	平年並	要因 1) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生葉率 0%(平年 1.0%、ただし 8 か年は 0%)と平年並、寄生頭数 0 頭／葉(平年 0.05 頭／葉、ただし 8 か年は 0%)と平年並 (±) 2) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ブドウ	べと病	－	平年並	要因 1) 1 か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または高い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病葉率 0%(平年 0.1%)と平年並 (±) 3) 一般圃場では、発生量はやや少 (－) 考察：一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象要因を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	－	やや多	要因 1) 予察灯(御浜町:6月11日～20日)では、誘殺数はツヤアオカメムシは 39 頭(平年 97.7 頭)と少、チャバネアオカメムシは 3,551 頭(平年 790.6 頭)と多 (＋) 2) 予察灯(畑・松阪市:5月21日～6月20日)では、誘殺数はツヤアオカメムシ 142 頭(平年 306.3 頭)とやや少、チャバネアオカメムシ 1,306 頭(平年 1,395.2 頭)と平年並 (±) 3) フェロモントラップ(5月17日～6月16日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で 741 頭(平年 208.2 頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で 1,446 頭(平年 559 頭)と多、平坦地(松阪市嬉野川北町)で 580 頭(平年 96.7 頭)と多 (＋) 4) 巡回調査圃場(6月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落としまたは見取り調査による飛来は 0.15 頭(平年 0.06)と多 (＋) 5) 一般圃場では、発生量はやや多 (＋) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
チャ	炭疽病	－	やや多	要因 1) 1 か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または低い予想 (±) 2) 県予察圃(一番茶期)では、発病葉数 0 枚／㎡(平年 0 枚／㎡)と平年並 (±) 3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率 35.0%(平年 6.3%)と多、新葉発病葉数 1.2 枚／㎡(平年 0.2 枚／㎡)と多 (＋) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
	カンザワハダニ	－	やや多	要因 1) 1 か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または低い予想 (±) 2) 県予察圃(6月中旬)では、寄生葉率 0%(平年 1.9%)と少、寄生頭数 0 頭／葉(平年 0.03 頭／葉)と少 (－) 3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率 50.0%(平年 31.6%)と多、寄生葉率 4.6%(平年 5.1%)と平年並、寄生頭数 0.11 頭／葉(平年 0.18 頭／葉)とやや少 (±) 4) 一般圃場では、発生量はやや多 (＋) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノホソガ	—	やや少	要因 1)1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または低い予想(±) 2)県予察圃フェロモントラップ(5月第5半旬～6月第4半旬)では、誘殺数880頭(平年3,689.4頭)と少(－) 3)巡回調査圃場(6月第2週)では、巻葉数0.1枚/m ² (平年0.3枚/m ²)と少(－) 4)一般圃場では、発生量は平年並(±) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	要因 1)1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または低い予想(±) 2)県予察圃吸引粘着トラップ(5月第5半旬～6月第4半旬)では、捕殺数4頭(平年8.6頭)と少(－) 3)巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数0.9頭(平年1.5頭)と少(－) 4)一般圃場では、発生量は平年並(±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや多	要因 1)1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または低い予想(±) 2)県予察圃吸引粘着トラップ(5月第5半旬～6月第4半旬)では、捕殺数2,419頭(平年2,660.7頭)とやや少(－) 3)巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数1.5頭(平年11.5頭)と少(－) 4)一般圃場では、発生量はやや多(+) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
	クワシロカイガラムシ	早	やや多	要因 1)1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または低い予想(±) 2)有効積算温度による予測式では、第2世代幼虫孵化最盛日は7月15日頃(平年7月21日頃)(発生時期－) 3)巡回調査圃場(6月第2週)では、雄繭寄生株率8.3%(平年9.0%)と平年並、雄繭発生度3.1(平年2.6)と平年並(±) 4)一般圃場では、発生量は平年並(±) 考察：発生時期：早、現状の発生量は平年並と考えられ、今後の増加を考慮して、予想発生量はやや多と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	—	やや多	要因 1)1か月予報(6月18日発表)によると、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または低い予想(±) 2)県予察圃フェロモントラップ(5月第5半旬～6月第4半旬)では、誘殺数67頭(平年138.7頭)と少(－) 3)巡回調査圃場(6月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数0.4枚/m ² (平年0.4枚/m ²)と平年並(±) 4)一般圃場では、ハマキムシ類の発生量はやや多(+) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	要因 1)1か月予報(6月18日発表)によると、平年と同様に曇りや雨の日が多い予想(±) 2)巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率8.4%(平年10.0%)とやや少(－) 3)一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(－) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	炭疽病	—	平年並	要因 1)1か月予報(6月18日発表)によると、平年と同様に曇りや雨の日が多い予想(±) 2)巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少(±) 3)一般圃場では、発生量は平年並に少(±) 考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ハダニ類	—	平年並	要因 1)1か月予報(6月18日発表)によると、平年と同様に曇りや雨の日が多い予想(±) 2)巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生株率4.5%(平年8.3%)と少(－) 3)一般圃場では、発生量は平年並～やや多(概して平年並)(±) 考察：一般圃場での発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ネギ	ネギコガ	—	平年並	要因 1)1か月予報(6月18日発表)によると、平年と同様に曇りや雨の日が多い予想(±) 2)県予察圃フェロモントラップ(5月第5半旬～6月第4半旬)では、誘殺数は9頭(平年203.7頭)と少(－) 3)巡回調査圃場(6月第2週)では、被害葉率0%(平年0.3%)と平年並に少(±) 4)一般圃場では、発生量は平年並に少(±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅		遅	

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	平年値	20%	20%	10%
評価	少	やや少		平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
(+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
(-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 今月のトピックス「イネ紋枯病について」

◆イネ紋枯病を引き起こす病原菌◆

カビの仲間である糸状菌(担子菌類)(学名: *Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk) が引き起こす病害です。イネ以外では、トウモロコシ、ダイズ、トマト、ナス、イネ科雑草やカヤツリグサ科雑草等に感染し、土中に数年間残ることがあります。

◆病徴と被害◆



図. 発病状況

水際に近い部位で発生し、進行すると図のように枯れ上がります。その際、直径 2mm 程度の小さな菌の固まり(菌核)を作ります。この菌核が翌年の感染源になります。

空気伝染はしないので、劇的にまん延することはありません。

◆病原菌の生態と感染経路◆

形成された菌核が、圃場内に落ちて越冬し、感染準備を整えます。代かきによって菌核が水面に浮上し、田植えが始まると茎に付着することで感染します。気温 22℃以上、株間湿度 96%以上で発病します。

◆生育適温と発生しやすい条件◆

この菌の生育好適条件は、28～32℃の高温と多湿です。以下に発生しやすい条件をまとめました。

- 1) 早生、短稈、分げつが多い品種
- 2) 早期、早植え、密植、窒素施用過多、倒伏
- 3) 梅雨期の高温、高温条件の長期化、生育適温は 28～32℃
- 4) 前年の発生が多い時(菌核が多く存在)

◆防除対策◆

耕種的防除法

- 1) 畦畔雑草を除去しましょう。
- 2) 密植を避けましょう。
- 3) 窒素施用過多を避けましょう。
- 4) 倒伏させないような肥培管理を徹底しましょう。

化学的防除法

- 1) 水際の茎に初期発生を確認したら、早めに薬剤散布をしましょう。

東海地方 1 か月予報 (平成 27 年 6 月 18 日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう 1 ヶ月間の平均気温は平年並または低く、降水量は平年並または少ない見込みです。期間の前半は気温がかなり低くなる可能性があります。

1 週目 6 月 20 日～ 26 日	梅雨前線や上空の寒気の影響で、曇りや雨の日が多いでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 3.2 日・2.5 日
2 週目 6 月 27 日～ 7 月 3 日	梅雨前線の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。	同 3.0 日・2.6 日
3～4 週目 7 月 4 日～ 17 日	梅雨前線の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。	同 5.5 日・6.0 日

東海地方週間天気予報 (平成 27 年 6 月 24 日 10 時 30 分 名古屋地方気象台発表)

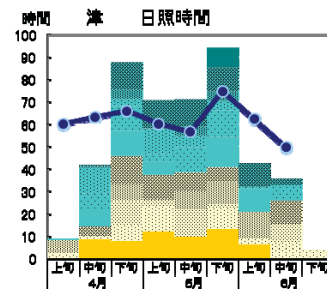
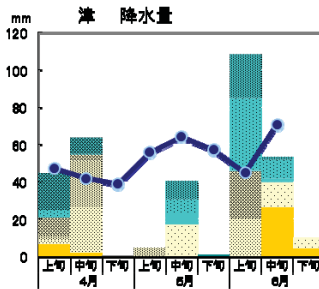
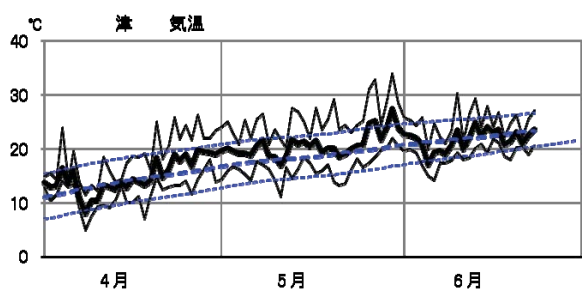
予報期間 6 月 25 日～7 月 1 日

向こう 1 週間は、梅雨前線や上空の寒気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より低い見込みです。

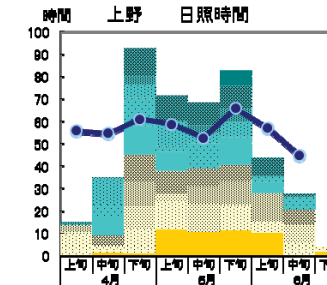
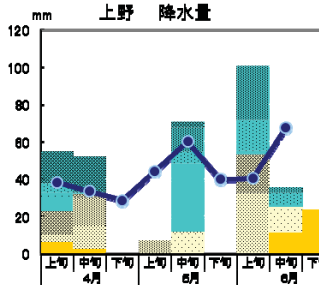
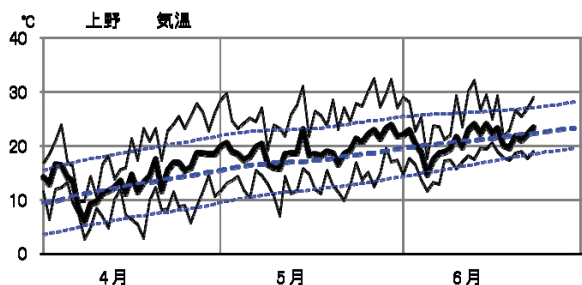
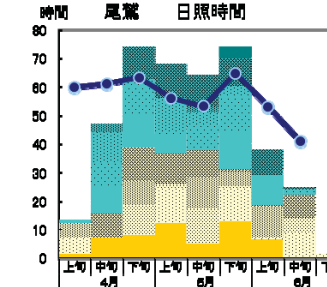
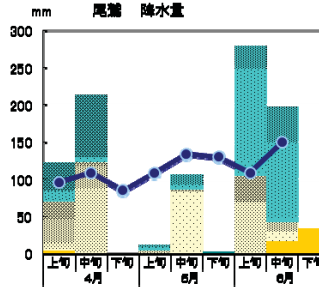
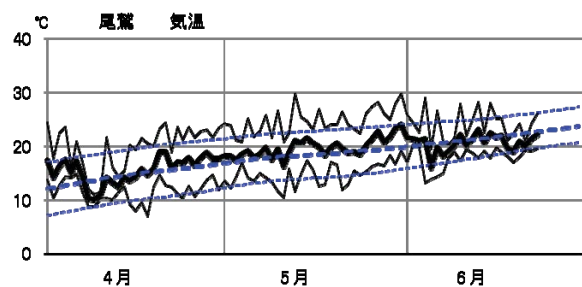
降水量は、平年より多いでしょう。

気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (6 月 23 日まで)



17

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 平年最高
 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 30日
 ■ 29日
 ■ 28日
 ■ 27日
 ■ 26日
 ■ 25日
 ■ 24日
 ■ 23日
 ■ 22日
 ■ 21日
 ■ 20日
 ■ 19日
 ■ 18日
 ■ 17日
 ■ 16日
 ■ 15日
 ■ 14日
 ■ 13日
 ■ 12日
 ■ 11日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 30日
 ■ 29日
 ■ 28日
 ■ 27日
 ■ 26日
 ■ 25日
 ■ 24日
 ■ 23日
 ■ 22日
 ■ 21日
 ■ 20日
 ■ 19日
 ■ 18日
 ■ 17日
 ■ 16日
 ■ 15日
 ■ 14日
 ■ 13日
 ■ 12日
 ■ 11日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 平年値

18

三重県病害虫防除所

7. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第1回 4月23日(木)(済み) 第2回 5月28日(木)(済み)
第3回 6月25日(木)(今回) 第4回 7月23日(木)
第5回 8月27日(木) 第6回 10月22日(木)
第7回 3月24日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

http://www.mate.pref.mie.lg.jp/Bojyosyo/files/h26yohotebiki_.pdf

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/merumaga.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/work/ipm/main.htm>

19

三重県病害虫防除所

平成 27 年度

病害虫発生予報第 4 号

平成 27 年 7 月 23 日

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

目次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	13
5. 今月のトピックス(ネギアザミウマとネギハモグリバエについて)	14
6. 気象のデータ	15
7. おしらせ	17

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、穂いもち、白葉枯病、斑点米カメムシ類、トビイロウンカの発生量は**平年並**、紋枯病、イネクロカメムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカの発生量は**やや少**と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウ、吸蜜性カメムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。紫斑病、コガネムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病(温州、中晩柑)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。カンキツ、ナシ、カキ等での被害発生に注意し、圃場への飛来が認められたら直ちに防除してください。

3) 茶

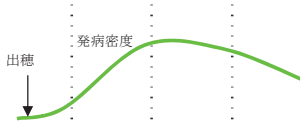
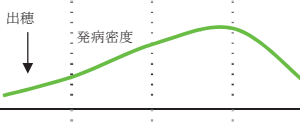
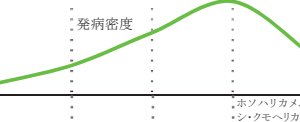
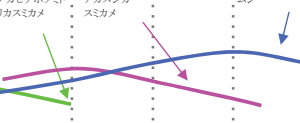
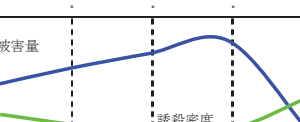
チャでは、チャノミドリヒメヨコバイの発生量は**やや多**と予想されます。開葉初期に防除してください。炭疽病、チャノキイロアザミウマ、チャノコカクモンハマキの発生量は**平年並**、カンザワハダニの発生量は**少**と予想されます。

4) 野菜

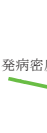
イチゴでは、炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。

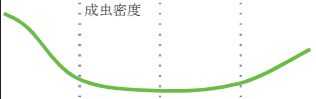
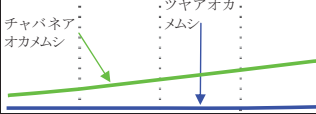
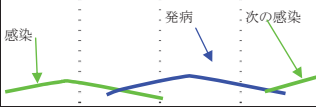
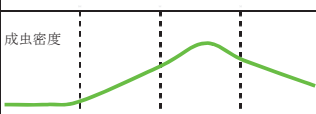
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

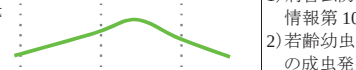
2. 作物別の状況

作物 名	病害虫名	発生 時期	発生量		要防除 圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		平年比	平年比	程度		平年比	7月	8月			
							下旬	上旬	中旬		下旬
イネ	穂いもち	—	平年並	中	普通		1) 病害虫防除技術情報第13号(7月17日発表)。 2) 葉いもちが上位葉で発生している圃場では、感染の恐れがあります。発生状況に注意してください。 3) これから出穂期となる圃場において、薬剤散布する場合は、出穂始めから穂揃い期に実施してください。				
	紋枯病	—	やや少	中	低		1) 高温多湿条件で発病が助長されます。 2) 多肥、過繁茂の圃場では発生しやすくなります。 3) 薬剤散布は出穂7～10日前に実施してください。				
	白葉枯病	—	平年並	小	低		1) 常発地では、台風や集中豪雨の遭遇直後に薬剤散布してください。 2) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意が必要です。				
	斑点米カメムシ類	—	平年並	中	普通		1) 薬剤散布は穂揃い期に実施してください。広域での一斉防除が効果的です。 2) 中山間など山沿いの地域では、穂揃い期防除の7～10日後に2回目の防除をしてください。 3) 平坦地域においても、防除後に発生が確認された場合は、2回目の防除を実施してください。 4) 周囲よりも出穂の早い水田および遅い水田では、被害が集中するので防除を徹底してください。				
	イネクロカメムシ	—	やや少	小	低		1) 発生圃場では、今後出すくみ穂や白穂被害が目立つようになります。 2) 常発地で薬剤散布する場合は、株元までかかるように行ってください。				

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
		発生時期	発生量	程度		発生時期	発生消長の一例			
							7月	8月		
		発生時期	発生量	程度	発生時期	7月	8月	発生消長の一例		
イネ	ツマグロヨコバイ	—	やや少	中	低	成虫密度				1) 9月上旬までに収穫する圃場では、実害はほとんどありません
	セジロウンカ	—	やや少	小	低	成虫密度				1) 本年は多飛来がありません。
	トビイロウンカ	—	平年並	小	低	成虫密度				1) 本年は多飛来がありません。
ダイズ	紫斑病	—	やや少	小	普通	発病密度				1)これから播種する圃場では、種子消毒を徹底してください。 2) 莢が形成され始めたら、薬剤散布をしてください。
	コガネムシ類	—	やや少	中	普通	成虫密度				1) 通常は防除の必要はありませんが、多発する場合は加害初期に防除してください。 2) ヒメコガネとドウガネブイブイは夜行性の種のため、夕方に薬剤散布すると効果的です。
	ハスモンヨトウ	—	平年並	小	普通	被害量				1) 白変葉を目印に早期発見に努め、若齢幼虫期に防除して下さい。 2) 発生量が急増することがありますので、防除所ホームページにおいて、フェロモントラップでの誘殺状況に注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			平年比	平年比		7月		8月			
				平年比		平年比	程度	平年比	下旬		上旬
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	平年並	中	普通			開花 ↓		1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花 20 日後・莢伸長期)と 10 月上旬(開花 40 日後・子実肥大中期)の 2 回散布が効果的です。 3) 遅くとも、9 月下旬(開花 30 日後・子実肥大初期)までに 1 回目の薬剤散布をしてください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。	
カンキツ	黒点病	—	平年並	小	普通					1) 薬剤散布を定期的の実施し、8 月下旬まで感染防止に努めてください。 2) 梅雨明け後は感染源となる枯枝が増加するので、切除に努めてください。 3) 薬剤散布後、積算で 200mm 以上の降雨があれば次の防除を実施してください。	
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通					1) 果実・夏枝に病斑が見られる圃場では、発病した枝・葉・果実を除去し、薬剤防除を行ってください。 2) 防風対策に努め、台風の接近が予想される場合には、直前に防除してください。 3) 高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も徹底してください。	
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通			成ダニ密度		1) 1 葉当りの雌成虫寄生数が 0.5～1.0 頭程度を目安に防除してください。 2) 高温により活動が停滞する時期ですが、圃場での発生状況をよく確認し、多発している場合は防除してください。 3) 薬剤散布は葉裏にかかるよう、丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	7月			8月	
								下旬	上旬		中旬	下旬
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通						1) 寄生果率 10%になった時を防除の目安にしてください。 2) 7月以降は寄生部位が果頂部に移ります。	
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	中	普通						1) 圃場内を観察し、飛来が認められたら防除を実施してください。 2) 圃場(特にナシ、カキ)によっては局所的に飛来してくることがあります。過去に発生が多かった圃場周辺では注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると袋の上から加害されることがあります。	
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通						1) 1 葉期頃に葉の毛茸がとれた傷から感染します。 2) 感染好適温度は 25℃～27℃です。 3) 降雨が続くと病斑葉から感染します。 4) 耐性菌が出現しやすいため同一系統の薬剤の連用は避けてください。	
	カンザワハダニ	—	少	小	低						1) 病害虫防除技術情報第 3 号(4 月 2 日発表)。 2) 年間 10 世代程発生します。 3) 夏季の 30℃以上の高温条件下では、発生が抑制されます。 4) 抵抗性の発達を避けるため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。	
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや多	中	普通						1) 病害虫防除技術情報第 8 号(6 月 1 日発表)。 2) 年間 8 世代程発生します。新芽の先が褐変し、ひどいときは落葉します。 3) 晴天が続くと発生が多くなります。予測式(7 月 17 日)では、発生ピークは 8 月第 2 半旬、第 5 半旬頃です。 4) 新芽の開葉初期に防除してください。 5) 幼虫は葉裏に生息するので丁寧に防除してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	7月		8月				
				下旬		上旬	中旬	下旬		
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第8号(6月1日発表)。 2) 年間8世代程発生します。新芽の先が褐変し、ひどいときは落葉します。 3) 晴天が続くと発生が多くなります。予測式(7月17日)では、発生ピークは7月第6半旬、8月第3半旬頃です。 4) 新芽の開葉前～開葉初期に防除してください。 5) 幼虫は葉裏に生息するので丁寧に防除してください。
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第5号(5月7日発表)。病害虫防除技術情報第10号(6月4日発表)。 2) 若齢幼虫期に防除してください。防除適期は例年7月第6半旬の成虫発生ピークから7日～10日後頃です。 3) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考になしてください。
イチゴ	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。葉かき作業後や降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 3) 耐性菌の発生を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう、丁寧に灌水を行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イネ	穂いもち	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多い予想 (—) 2) 台風11号の影響により、7月15～17日に大雨に遭遇 (+) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、葉いもちの発生圃場率8.8%(平年26.0%)と少、発病度0.4(平年2.6)と少、発病株における上位葉への進展率6.0%(平年1.1%)と多 (—) 4) 一般圃場では、葉いもちの発生量は少～やや多(概して平年並)。一部地域では多発を確認 (+) 考察: 今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	紋枯病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、気温は平年並か高い予想 (+) 2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率1.6%(平年9.8%)と少、発病株率0.1%(平年1.6%)と少 (—) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して少) (—) 考察: 現状の発生量は少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して、予想発生量はやや少と考えます。
	白葉枯病	—	平年並	要因 1) 台風11号の影響により、7月15～17日に大雨に遭遇 (+) 2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少 (±) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して少) (—) 考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	斑点米カメムシ類	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2) 予察灯(松阪市・6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数はアカスジカメムシ14頭(平年38.6頭)と少、アカヒゲホソミドリカメムシ8頭(平年67.5頭)と少、クモヘリカメムシ0頭(平年0.1頭)とやや少 (—) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、圃場内および畦畔イネ科雑草すくい取りによる、中型種(ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類)の発生地点率25.0%(平年33.8%)と少、すくい取り成幼虫数0.5頭(平年1.3頭)と少、微小種(アカスジカメムシ)の発生地点率37.5%(平年27.4%)と多、すくい取り成虫数3.0頭(平年3.3頭)と平年並。ミナミアオカメムシ成幼虫の発生を県北中部で確認 (±) 4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して平年並) (±) 考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネクロカメムシ	－	やや少	要因 1) 予察灯(松阪市・4月第1半旬～7月第1半旬)では、誘殺数は水田位置13頭(平年10.3頭)とやや多、畑位置124頭(平年262.9頭)と少(±) 2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率5.9%(平年22.9%)と少、被害株率0.5%(平年3.2%)と少(－) 3) 一般圃場では、発生量は無～並(概して平年並)(±) 考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	ツマグロヨコバイ	－	やや少	要因 1) 予察灯(6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年0.9頭)と少、松阪市・畑位置466頭(8年平均2753.9頭)と少の傾向、伊賀市1頭(平年20.7頭)と少、紀北町7頭(平年2.0頭)と多、御浜町14頭(平年2.7頭)と多(－) 2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率31.3%(平年29.8%)と平年並、払い落とし成虫数1.1頭(平年3.0頭)と少(－) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して平年並)(±) 考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	セジロウンカ	－	やや少	要因 1) 予察灯(5月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年0.9頭)と少、松阪市・畑位置11頭(8年平均17.6頭)と平年並の傾向、伊賀市0頭(平年1.7頭)と少、紀北町0頭(平年6.4頭)と少、御浜町3頭(平年20.4頭)とやや少(－) 2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、紀州地域では、発生圃場率3.6%(平年34.4%)と少、払い落とし成虫数0.04頭(平年1.6頭)と少、県全体では、発生圃場率1.6%(平年6.0%)と少、払い落とし成虫数0.02頭(平年0.8頭)と少(－) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して平年並に少)(±) 4) 九州各県の病害虫防除所情報では、7月上旬まで多飛来の報告はなし(－) 考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	トビイロウンカ	－	平年並	要因 1) 予察灯(5月第1半旬～6月第6半旬)では、御浜町に5月第6半旬に初飛来し、その他3か所は未飛来(平年7月上旬まで未飛来)(+) 2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率0%(平年0.1%)と平年並に少、払い落とし成虫数0頭(平年0.2頭)と平年並に少(±) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して平年並に少)(±) 4) 九州各県の病害虫防除所情報では、7月上旬まで多飛来の報告はなし(－) 考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	紫斑病	－	やや少	要因 1) 巡回調査圃場(昨年11月)では、紫斑粒の発生率0.1%(平年0.4%)と少(－) 考察: 昨年の紫斑粒発生状況から、本圃への感染源の持ち込みがやや少ないと考えられ、予想発生量はやや少と考えます。
	コガネムシ類	－	やや少	要因 1) 予察灯(松阪市・4月第1半旬～7月第2半旬)では、誘殺数はドウガネブイブイ126頭(平年214.5頭)と少、ヒメコガネ87頭(平年55.7頭)と多(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(5月上旬～7月上旬)では、誘殺数はマメコガネ75頭(平年193.7頭)と少、ドウガネブイブイ0頭(平年32.9頭)と少、ヒメコガネ1頭(平年8.2頭)と少(－) 3) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±) 考察: 予察灯およびフェロモントラップの誘殺状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	－	平年並	要因 1) 県予察圃フェロモントラップ(6月第4半旬～7月第2半旬)では、誘殺数は菰野町33頭(9年平均173.0頭)と少の傾向、津市285頭(9年平均250.1頭)と平年並の傾向、松阪市嬉野川北町153頭(平年167.7頭)平年並(±) 2) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±) 考察: フェロモントラップの誘殺状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	吸実性カメムシ類	－	平年並	要因 1) 予察灯(松阪市・6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数はイチモンジカメムシ0頭(平年19.5頭)と少、ミナミアオカメムシ水田位置1頭(5年平均1.8頭)と平年並の傾向、畑位置12頭(5年平均18.4頭)と平年並の傾向、クサギカメムシ43頭(平年25.5頭)と多(±) 考察: 予察灯の誘殺状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	黒点病	－	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想(－) 2) 県予察圃(7月中旬)では、果実発病度74.0(平年31.7)と多(+) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、果実発病度0.5(平年1.5)と少(－) 4) 一般圃場では、発生量は平年並(±) 5) 感染源となる枯枝は平年並(±) 考察: 一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (—) 2) 台風11号の影響により、7月15～17日に風雨に遭遇 (+) 3) 県予察圃(7月中旬、新甘夏)では、発病葉率0%(平年4.5%)と少、発病果率0%(平年12.4%)と少 (—) 4) 巡回調査圃場(7月第2週)では、温州みかんは発病葉率0%(平年0.7%)と平年並、発病果率0%(平年0.09%)と平年並、中晩柑は発病葉率2.7%(平年9.7%)と少、発病果率0%(平年2.5%)と少 (温州土、中晩柑—) 5) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概してやや少) (—) 考察：温州みかんでは現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では現状の発生量はやや少と考えられますが、気象要因による今後の増加を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	ミカンハダニ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (—) 2) 県予察圃(7月中旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区で7頭(平年6.1頭)と平年並、慣行防除区で3頭(平年4.5頭)とやや少 (±) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率46.2%(平年40.8%)とやや多、新葉における寄生葉率7.5%(平年8.7%)とやや少、寄生頭数0.16頭/葉(平年0.35頭/葉)と少 (±) 4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並) (±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	要因 1) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月下旬)では、誘殺数0.9頭/日(平年1.5頭/日)と少 (—) 2) 県予察圃(7月中旬)では、100果当り寄生虫数2.8頭(平年9.8頭)と少 (—) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、被害果率5.2%(平年0.8%)と多 (+) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：一般圃場での発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	要因 1) 予察灯(御浜町:7月1日～7月10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ5,206頭(平年2,938.7頭)と多、ツヤアオカメムシ3頭(平年22.1頭)と少 (+) 2) 予察灯(畑・松阪市:6月21日～7月10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ244頭(平年385.4頭)とやや少、ツヤアオカメムシ21頭(平年258.0頭)と少、クサギカメムシ68頭(平年58.9頭)と平年並 (—) 3) フェロモントラップ(6月17日～7月16日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で1,524頭(平年811.2頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で1,523頭(平年1,511.0頭)と平年並、平田地(松阪市嬉野川北町)で279頭(平年321.2頭)と平年並 (+) 4) 巡回調査圃場(7月第2週)では、カンキツ圃場での叩き落とし虫数0頭(平年0.03頭)と平年並、カキ圃場での被害果率0%(平年0.9%)と平年並 (±) 5) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：巡回調査結果及び一般圃場での発生状況から現状の発生量は平年並と考えられますが、予察灯とフェロモントラップの誘殺数が増加していることから予想発生量はやや多と考えます。
	炭疽病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (—) 2) 県予察圃では、二番茶期の病葉数0枚/㎡(9年平均0.6枚/㎡)と少の傾向 (—) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発病葉数0.5枚/㎡(平年3.1枚/㎡)と少 (—) 4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	—	少	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (—) 2) 県予察圃(7月上旬)では、寄生葉率0%(平年2.1%)と少、寄生頭数0.003頭/葉(平年0.07頭/葉)とやや少 (—) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、寄生葉率0.2%(平年0.3%)と少、寄生頭数0.003頭/葉(平年0.01頭/葉)と少 (—) 4) 一般圃場では、発生量は少 (—) 考察：現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。
チャ	チャノミドリヒメコバエ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (+) 2) 県予察圃吸引粘着トラップ(6月第4半旬～7月第3半旬)では、捕殺数26頭(平年14.2頭)と多 (+) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、叩き落とし虫数3.5頭(平年2.2頭)と多 (+) 4) 一般圃場では、発生量は多 (+) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想(+) 2) 県予察圃吸引粘着トラップ(6月第4半旬～7月第3半旬)では、捕殺数 6,725 頭(平年 7,607.3 頭)とやや少(－) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、叩き落とし虫数 2.9 頭(平年 29.9 頭)と少(－) 4) 一般圃場では、発生量はやや多(+) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想(+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(6月第4半旬～7月第3半旬)では、誘殺数 158 頭(平年 456.9 頭)と少(－) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数 0 枚/㎡(平年 0.4 枚/㎡)と少(－) 4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並(±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	炭疽病	—	平年並	要因 1) 1ヶ月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想(±) 2) 台風 11 号の影響により、7月 15～17 日に大雨に遭遇(+) 3) 巡回調査圃場(7月第2週、親株)では、発病株率 0%(平年 0.4%)と少(－) 4) 一般圃場では、発生量は少であるが、一部で発病を確認(±) 考察：現状の発生量は少と考えられるが、気象要因による今後の増加を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅		遅	

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

				平年値			
度数	10%	20%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少		平年並		多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (－)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 今月のトピックス「ネギアザミウマとネギハモグリバエ」について

三重県のネギでは最近、ネギアザミウマ(写真1)やネギハモグリバエ(写真2)の発生が多く問題となっています。商品価値を著しく低下させる被害を発生させ、多発すると防除が難しい害虫です。(図1)

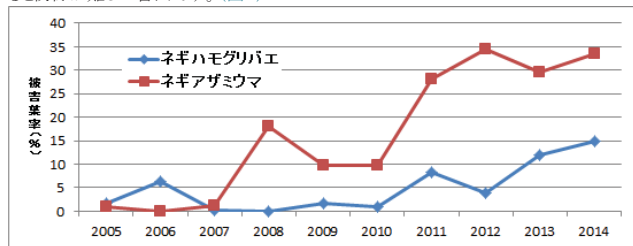


図1 過去10年間の7月のネギハモグリバエとネギアザミウマの被害率の推移



写真1 ネギアザミウマ



写真2 ネギハモグリバエ
(野菜茶業研究所・飯田氏提供)

ネギアザミウマ

◆生態◆

- ネギの露地栽培では早春から晩秋にかけて、施設栽培では周年で発生します。
- ネギ以外にも多くの作物を加害します。また、加害による被害のほか、ネギえそ条斑病の病原ウイルス(IYSV)を媒介します。

◆被害の様子◆

- ネギアザミウマは成幼虫が葉の表面を吸汁するため、細い針金でひつかいたようなカスリ状の白い吸汁痕(写真3)が残ります。
- ネギアザミウマは育苗時に多発すると新葉がよじれ、生育不良になることがあります。

ネギハモグリバエ

◆生態◆

- 成虫は、ネギの葉組織内に卵を産み付けます。
- 幼虫はネギの葉内に潜り、内側から加害し、老熟すると地中に入って蛹になります。

◆被害の様子◆

- ネギハモグリバエは、針先でつついたような細かい点が一列に並んだ産卵痕(写真4)と、幼虫が葉の内部を絵描き状に食害しながら進んだ食害痕(写真5)が特徴です。
- ネギハモグリバエは幼虫が葉の内部に潜ることから、幼虫時の防除が困難です。



写真3
ネギアザミウマ食害痕



写真4
ネギハモグリバエ産卵痕



写真5
ネギハモグリバエ食害痕
(食害が進んだもの)

ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ両種共通

◆発生しやすい条件◆

露地栽培では高温乾燥が続くと発生しやすくなります。また、雑草を住処とするので、ハウスや圃場の周りに雑草が生い茂っている場合は、成虫の飛び込みで増殖する可能性があります。

◆防除対策◆

- 圃場内や周辺の雑草が発生源です。普段から除草に努めましょう。
- 多発すると防除が困難になるので、発見したら早めに防除してください。
- 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

14

三重県病害虫防除所

6. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成27年7月16日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1ヶ月間は平年に比べ晴れの日が多いでしょう。平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並が多い見込みです。

1週目 7月18日～ 24日	期間のはじめは湿った気流の影響で雨の降る日がありますが、その後は高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.4日・4.0日
2週目 7月25日～ 31日	太平洋高気圧の張り出しは平年より強く、平年に比べ晴れる日が多い見込みです。	同 2.0日・4.6日
3～4週目 8月1日～14日	太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れる日が多い見込みです。	同 3.9日・9.5日

東海地方週間天気予報(平成27年7月22日10時30分 名古屋地方気象台発表)

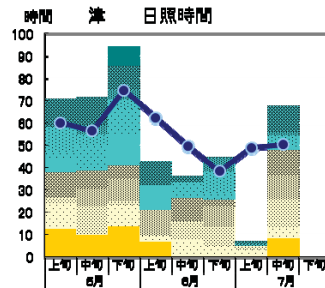
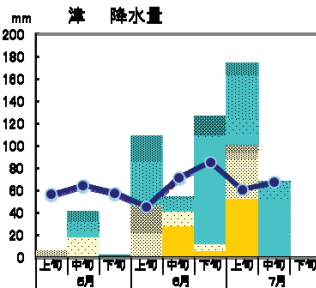
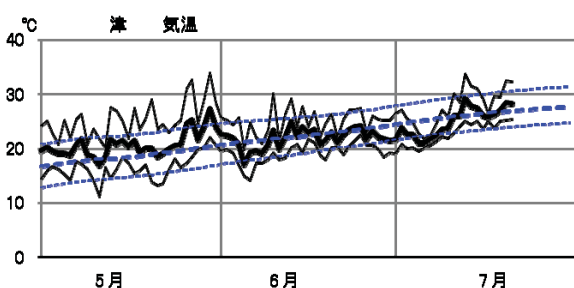
予報期間 7月23日～7月29日

向こう1週間は、期間の前半は湿った気流の影響で雲が広がりやすく、雨の日があるでしょう。後半は高気圧に覆われて晴れる見込みです。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高いでしょう。

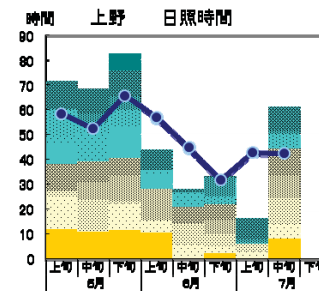
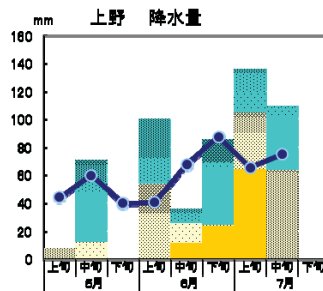
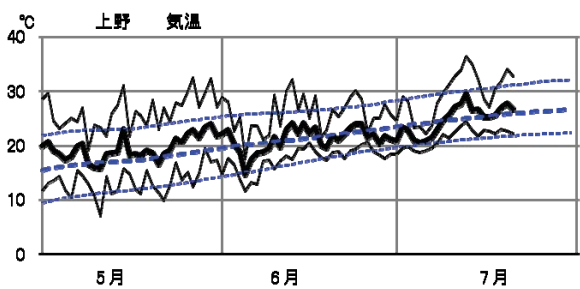
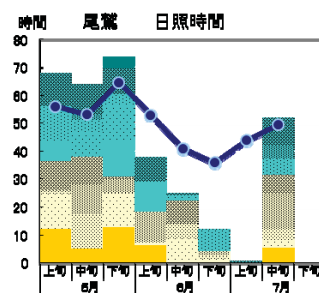
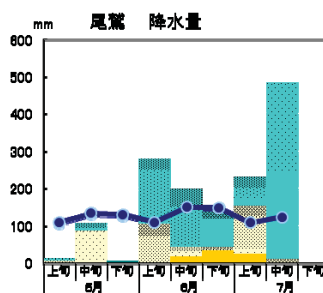
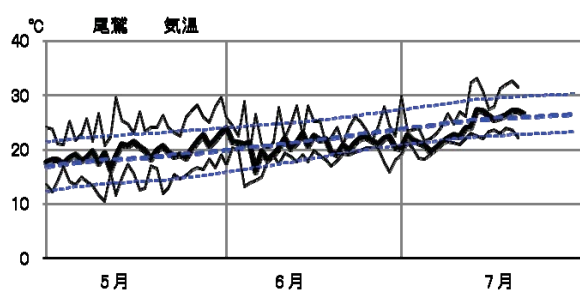
降水量は、平年並の見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (7月21日まで)



15

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 年平均
 - - - 年最高
 - - - 年最低

凡例

31日
 旬10日目
 旬9日目
 旬8日目
 旬7日目
 旬6日目
 旬5日目
 旬4日目
 旬3日目
 旬2日目
 旬1日目
 旬平均値

凡例

31日
 旬10日目
 旬9日目
 旬8日目
 旬7日目
 旬6日目
 旬5日目
 旬4日目
 旬3日目
 旬2日目
 旬1日目
 旬平均値

三重県病害虫防除所

16

7. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予測は次の予定で発表します。

第1回 4月23日(木)(済み) 第2回 5月28日(木)(済み)
 第3回 6月25日(木)(済み) 第4回 7月23日(木)(今回)
 第5回 8月27日(木) 第6回 10月22日(木)
 第7回 3月24日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予測をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予測利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

http://www.mate.pref.mie.lg.jp/Bojyosyo/files/h26yohotobiki_.pdf

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/merumaga.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/work/ipm/main.htm>

17

三重県病害虫防除所

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

目 次

ページ

1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	11
5. 今月のトピックス(ダイズの吸実性カメムシについて)	12
6. 気象のデータ	13
7. おしらせ	15

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネ(普通期)では、斑点米カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。周辺圃場の収穫状況に注意しながら、薬剤散布を行ってください。ツマグロヨコバイの発生量は**やや多**、トビイロウンカの発生量は**平年並**と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。ハスモンヨトウは、若齢幼虫期に薬剤散布を行ってください。吸実性カメムシ類は、今後増加する可能性もありますので圃場周辺の状況に注意してください。薬剤散布は莢伸長期および子実肥大中期の 2 回散布を行うとより効果的です。

2) 果樹

カンキツでは、黒点病の発生量は**やや多**と予想されます。果実への感染防止に努めるとともに感染源となる枯枝の除去も行ってください。かいよう病(温州、中晩柑)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**多**と予想されます。カンキツ、カキ等で

の被害発生に注意し、圃場への飛来を認めたら直ちに防除してください。

3) 茶

チャでは、チャノホソガの発生時期は**早**、発生量は**平年並**、炭疽病、チャノミドリメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**、クワシロカイガラムシの発生時期は**平年並～遅**、発生量は**平年並**と予想されます。カンザワハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

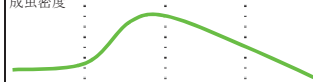
4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は**やや少**と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

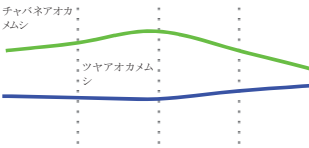
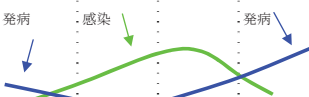
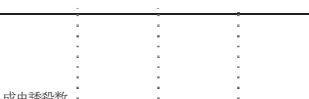
2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
		平年比	平年比	程度		平年比	8 月	9 月		
					下旬		上旬	中旬	下旬	
イネ（普通期）	斑点米カメムシ類	－	やや多	中	普通	被害量 				1) 周辺圃場で収穫作業がある時は、侵入に注意してください。 2) 薬剤散布は穂揃い期に実施してください。 3) 防除後も水田への侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の7～10 日後に 2 回目の防除をしてください。 4) 薬剤散布する場合は、周辺圃場の収穫状況を考慮してください。
	ツマグロヨコバイ	－	やや多	大	低	成虫密度 				1) 発生量はやや多ですが、実害は少ないと思われます。
	トビイロウンカ	－	平年並	小	低	成虫密度 				1) 多飛来が確認されていないので、防除の必要はありません。
ダイズ	ハスモンヨトウ	－	やや多	中	普通	被害量 				1) 一部の圃場では、既に発生が確認されています。圃場を見回り、白変葉を目印として、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 薬剤散布は若齢幼虫期に行ってください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	8月	9月			
								下旬	上旬		中旬	下旬
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	やや多	中	普通					1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花 20 日後・実伸長期)と 10 月上旬(開花 40 日後・子実肥大中期)の 2 回散布が効果的です。 3) 1 回散布の場合は、9 月下旬頃(開花 30 日後・子実肥大初期)に散布してください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。		
カンキツ	黒点病	—	やや多	中	普通					1) 乾燥が続くと樹勢の衰弱により枯枝が増加します。感染源となる枯枝の除去に努めてください。 2) 9 月は後期感染の時期なので、果実への感染防止に努めてください。		
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通					1) 発病した夏秋梢や果実等の除去に努めてください。 2) 防風対策を行うとともに、台風の接近が予想される場合は防除をしてください。 3) 高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も実施してください。		
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通					1) 秋になって急増することがあるので、発生状況をよく観察してください。 2) 1 葉当りの雌成虫寄生数が 0.5～1.0 頭程度を目安に防除してください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。		
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) この時期の被害発生部位は果頂部で、果実肥大が緩慢になり被害が判りにくくなるため、丁寧な観察が必要です。 2) イヌマキ、サンゴジュ等の防風垣に隣接した樹で、被害が多くなることがあります。		

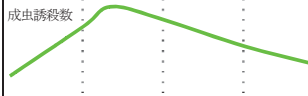
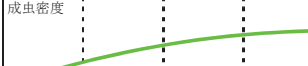
3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		平年比	平年比	程度		平年比	8月	9月			
							下旬	上旬	中旬		下旬
果樹共通	カメムシ類	—	多	大	高					1) 病害虫発生予察注意報第3号(8月3日発表)。 2) 例年飛来が多く見られる圃場では、圃場内の観察をきめ細かく行ってください。 3) 大雨、強風などの後に、急に圃場へ多数飛来することがあります。カンキツやカキ圃場等では、発生状況に十分に注意してください。 4) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると、袋の上から加害されることがあるので注意してください。	
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通					1) 1 葉期までに葉の毛茸がとれた傷から感染します。 2) 感染好適温度は 25℃～27℃です。 3) 三番茶期から秋番茶期にかけて増加します。 4) 治療剤 (EBI 剤など) は耐性菌が出現しやすいため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。	
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通					1) 年間 10 世代程発生します。現状は、旧葉裏に生息しています。 2) 夏季の 30℃以上の高温条件下では、発生が抑制されます。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。	
	チャノホソガ (第4世代幼虫)	早	平年並	小	普通					1) 新芽開葉初期の孵化幼虫 (潜葉期、絵描き状態) を対象に防除してください。 2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップによる誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) 発生時期が早くなっていますので注意してください。	
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	小	普通					1) 本年は 10 世代程の発生が予測されます。次の発生盛期は 9 月第 2～第 3 半旬頃と予想されます。 2) 新芽の先が褐変し、ひどいときは落葉します。 3) 晴天が続くと発生が多くなります。 4) 秋芽の開葉初期に防除してください。 5) 幼虫は葉裏に生息するので丁寧に防除してください。	

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						8 月	9 月			
			平年比	平年比		程度	平年比	下旬	上旬	
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	小	普通					1) 本年は北勢地域では 8 世代程発生が予測されます。次の第 6 世代の発生盛期は 9 月第 1～第 2 半旬頃と予想されます。 2) 萌芽初期に新芽の基部から加害し、条痕となります。 3) 晴天が続くと発生が多くなります。 4) 秋芽の萌芽期～開葉初期に防除してください。
	クワシロカイガラムシ	平年並～遅	平年並	小	普通					1) 有効積算温度による予測式(8月 24 日予測)では幼虫孵化最盛日は平年並～遅(予測日は予報根拠を参照)と予想されます。 2) 防除適期は孵化最盛日から 2～4 日後頃です。 3) この時期はばらつきが大きくなるため圃場で幼虫の孵化を確認してから防除してください。 4) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
イチゴ	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。葉かき作業後や降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 3) 耐性菌の発生を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう丁寧に灌水を行ってください。
ネギ	シロイチモジヨトウ	—	やや少	小	普通					1) 幼虫の発生は 8～10 月に多くなります。 2) 幼虫は老齢になるに従って薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。

3. 発生時期・発生量(年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期年比	発生量年比	予察根拠
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	やや多	要因 1) 予察灯(8月第1半旬～第3半旬・松阪市)では、クモヘリカメムシ誘殺数は水田位置で1頭(平年3.6頭)と少、畑位置で107頭(8年平均54.0頭)と多の傾向、ミナミアオカメムシ誘殺数は水田位置で1頭(5年平均4.6頭)とやや少の傾向、畑位置で10頭(4年平均30.6頭)とやや少の傾向 (—) 2) 巡回調査圃場(8月第2週)では、発生圃場率47.2%(平年35.6%)と多、すくい取り虫数6.0頭(平年1.2頭)と多 (+) 3) 一般圃場では、発生量は少～多(概して平年並) (±) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。
	ツマグロヨコバイ	—	やや多	要因 1) 予察灯(7月第3半旬～8月第2半旬・松阪市)では、誘殺数は水田位置で3頭(平年2.6頭)とやや多、畑位置で5,367頭(8年平均2,676.5頭)と多の傾向 (+) 2) 巡回調査圃場(8月第2週)では、発生圃場率36.3%(平年34.2%)とやや多、払い落とし成虫数4.1頭(平年7.1頭)と少、すくい取り虫数5.3頭(平年20.9頭)と少 (—) 3) 一般圃場では、発生量は無～やや多(概して平年並) (±) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。
	トビイロウンカ	—	平年並	要因 1) 予察灯(5月第1半旬～8月第3半旬)では、松阪市で0頭(平年0.03頭)と平年並に少 (±) 2) 巡回調査圃場(8月第2週)では、発生圃場率0%(平年0.2%)と平年並に少、払い落とし成虫数0頭(平年0.1頭)と平年並に少 (±) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して平年並に少) (±) 考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	要因 1) フェロモントラップ(7月第5半旬～8月第4半旬)では、松阪市嬉野川北町で386頭(平年313.7頭)と多 (+) 2) 巡回調査圃場(8月第2週)では、葉食害度0.6(9年平均0.1)と多の傾向、1a 当り白変か所数1.3か所(平年0.5か所)と多 (+) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して平年並に少) (±) 考察: フェロモントラップ、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	吸実性カメムシ類	－	やや多	要因 1) 予察灯(8月第1半旬～第3半旬・松阪市)では、誘殺数はミナミアオカメムシ水田位置1頭(5年平均4.6頭)とやや少の傾向、畑位置10頭(4年平均30.6頭)とやや少の傾向、イチモンジカメムシ6頭(平年6.0頭)と平年並、ホソヘリカメムシ3頭(7年平均42.7頭)と少の傾向 (－) 2) 巡回調査圃場(8月第2週)では、25株当たり寄生虫数0頭(平年0.1頭)とやや少 (－) 3) 水稻巡回調査圃場(8月第2週)では、発生圃場率4.7%(5年平均1.3%)と多の傾向、すくい取り虫数0.12頭(5年平均0.03頭)と多の傾向 (＋) 4) 一般圃場では、発生量は無～多(概して平年並) (±) 考察: 水稻巡回調査結果を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	黒点病	－	やや多	要因 1) 県予察圃(8月中旬、無防除)では、果実発病度88.1(平年55.7)と多 (＋) 2) 巡回調査圃場(8月第2週)では、果実発病度3.7(平年6.4)と平年並 (±) 3) 一般圃場では、発生量は平年並～やや多(概してやや多) (＋) 考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
	かいよう病	－	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 県予察圃(8月中旬、新甘夏、無防除)では、発病率率0%(平均5.2%)と少、発病率率0%(平年28.2%)と少 (－) 2) 巡回調査圃場(8月第2週)のうち、温州みかんでは春葉発病度0(平年0.2)と平年並、果実発病度0(平年0.5)と平年並 (±) 3) 巡回調査圃場(8月第2週)のうち、中晩柑では春葉発病度0.7(平年3.0)とやや少、果実発病度1.0(平年4.3)と平年並 (±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、予想発生量は平年並と考えます。中晩柑では、現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。
	ミカンハダニ	－	平年並	要因 1) 県予察圃(8月中旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区3.0頭(平年20.8頭)と少、慣行防除区62頭(平年89.0頭)と平年並 (±) 2) 巡回調査圃場(8月第2週)では、発生圃場率23.1%(平年39.4%)とやや少、春葉における寄生率率1.1%(平年7.6%)と少、寄生頭数0.02頭/葉(平年0.34頭/葉)と少 (－) 3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	－	平年並	要因 1) 県予察圃黄色粘着トラップ(8月上旬)では、誘殺数9.6頭(平年6.7頭)と多 (＋) 2) 県予察圃(8月中旬、無防除)では、100果当り寄生虫数0頭(平年7.9頭)と少 (－) 3) 巡回調査圃場(8月第2週)では、被害果率0.3%(平年1.4%)と少 (－) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
果樹共通	カメムシ類	－	多	要因 1) 予察灯(御浜町:8月11日～20日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ1,778頭(平年669.1頭)と多、ツヤアオカメムシ5頭(平年40.9頭)と少 (＋) 2) 予察灯(松阪市:7月21日～8月15日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ2,743頭(平年614.7頭)と多、ツヤアオカメムシ66頭(平年69.5頭)と平年並、クサギカメムシ1,784頭(平年185.3頭)と多 (＋) 3) フェロモントラップ(7月17日～8月16日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で3,583頭(平年890.9頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で5,914頭(平年1,616.3頭)と多、平坦地(松阪市嬉野川北町)で2,088頭(平年258.6頭)と多 (＋) 4) 巡回調査圃場(8月第2週)では、ナシ(無袋栽培)での被害果率1.0%(平年1.4%)と平年並、カキでの被害果率1.5%(平年0.6%)と多 (＋) 5) 一般圃場では、発生量はやや少～やや多(概してやや多) (＋) 考察: 予察灯、フェロモントラップ、巡回調査の結果を重視して、予想発生量は多と考えます。
チャ	炭疽病	－	平年並	要因 1) 1か月予報(8月20日発表)によると、向こう1か月の気温は第1週目、第2週目では高い予想 (－) 2) 県予察圃では、二番茶期の病葉数0枚/㎡(9年平均0.5枚/㎡)と少の傾向 (－) 3) 巡回調査圃場(8月第2週)では、発病葉数5.7枚/㎡(平年1.0枚/㎡)と多 (＋) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	－	やや少	要因 1) 1か月予報(8月20日発表)によると、向こう1か月の気温は第1週目、第2週目では高い予想 (－) 2) 県予察圃(8月中旬)では、寄生率率0%(平年8.4%)と少、寄生頭数0頭/葉(平年0.45頭/葉)と少 (－) 3) 巡回調査圃場(8月第2週)では、寄生率率0%(平年1.6%)と少、寄生頭数0頭/葉(平年0.03頭/葉)と少 (－) 4) 一般圃場では、発生量はやや少 (－) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノホソガ (第4世代幼虫)	早	平年並	要因 1)1か月予報(8月20日発表)によると、向こう1か月の気温は第1週目、第2週目では高い予想 (－) 2)県予察圃では、第3世代成虫のフェロモントラップ誘殺ピークは8月第1半旬(平年8月第5半旬)と早 (発生時期－) 3)予察圃フェロモントラップ(7月第5半旬～8月第4半旬)では、誘殺数 1,380 頭(平年 1,077.4 頭)とやや多 (+) 4)巡回調査圃場(8月第2週)では、巻葉数 0.04 枚/㎡(平年 1.5 枚/㎡)と少 (－) 5)一般圃場では、発生量は少 (－) 考察：発生時期は早、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノミドリヒメコバ イ	－	平年並	要因 1)1か月予報(8月20日発表)によると、向こう1か月の気温は第1週目、第2週目では高い予想 (+) 2)県予察圃吸引粘着トラップ(7月第5半旬～8月第4半旬)では、捕殺数 1 頭(平年 17.8 頭)と少 (－) 3)巡回調査圃場(8月第2週)では、叩き落とし虫数 0.6 頭(平年 1.1 頭)と少 (－) 4)一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、今後の増加を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	チャノキイロアザミウ マ	－	平年並	要因 1)1か月予報(8月20日発表)によると、向こう1か月の気温は第1週目、第2週目では高い予想 (+) 2)県予察圃吸引粘着トラップ(7月第5半旬～8月第4半旬)では、捕殺数 1,548 頭(平年 6,133.6 頭)と少 (－) 3)巡回調査圃場(8月第2週)では、叩き落とし虫数 3.6 頭(平年 8.6 頭)と少 (－) 4)一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、今後の増加を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	クワシロカイガラムシ	平年並 ～遅	平年並	要因 1)1か月予報(8月20日発表)によると、向こう1か月の気温は第1週目、第2週目では高い予想 (+) 2)有効積算温度による発生消長予測式(8月24日予測)では、第3世代幼虫孵化最盛予測日は四日市市9月11日(平年9月10日)と平年並、亀山市9月12日(平年9月12日)と平年並、松阪市粥見では9月18日(平年9月13日)と遅(発生時期+) 3)巡回調査圃場(8月第2週)では、雄繭寄生株率 0.3%(平年 5.9%)と少、雌成虫寄生株率 0%(平年 8.8%)と少 (－) 4)一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：発生消長予測式から、予想発生時期は平年並～遅と考えます。現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	炭疽病	－	平年並	要因 1)1か月予報(8月20日発表)によると、向こう1か月の気温は第1週目、第2週目では高い予想、降水量は平年並と予想 (±) 2)巡回調査ほ場(8月第2週、苗床)では、発病株率 0%(平年 0.6%)と少 (－) 3)一般圃場では、地域差があり、中勢地域での発生量はやや多いが、南勢地域では発生量は少 (±) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件の変化を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	シロイチモジヨトウ	－	やや少	要因 1)1か月予報(8月20日発表)によると、向こう1か月の気温は第1週目、第2週目では高い予想 (+) 2)フェロモントラップ(松阪市・7月第6半旬～8月第4半旬)では成虫の誘殺数 19 頭(平年 46.5 頭)とやや少 (－) 3)巡回調査ほ場(8月第2週)では、被害葉率 0%(平年 1.2%)と少 (－) 4)一般圃場では、発生量は少 (－) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅		遅	

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(+)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 今月のトピックス 「ダイズの吸実性カメムシ類について」

◆加害するカメムシ類◆

カメムシ類は、さまざまな作物を加害します。ダイズでの被害は、種子の被害と葉の被害とに大別できます。種子の被害は、種子を吸害することによっておこります。外見上は莢に傷がないため被害は目立ちませんが、種子が直接吸害されるため、著しく減収します。葉や茎の被害は、吸汁することによっておこります。

種子を加害する代表的なカメムシ類は、アオクサカメムシ(図 1)、イチモンジカメムシ(図 2)、ホソヘリカメムシ(図 3)、ミナミアオカメムシ(図 4)です。



図 1. アオクサカメムシ (左:全体、右:腹部背板)



図 2. イチモンジカメムシ



図 3. ホソヘリカメムシ



図 4. ミナミアオカメムシ (左:全体、右:腹部背板)

◆被害の様子◆

若い莢を吸害すると莢が黄変して落下します。種子が大きくなった莢を吸害すると莢は落ちないものの種子が被害粒となります。被害の程度は、種子が小さいほど著しくなります。

被害粒は、萎縮粒(しばみ粒)、変形粒(へこみ粒)、変色粒(しみ粒)(図 5)となり、品質を低下させます。



図 5. 被害粒 (左:萎縮粒、中:変形粒、右:変色粒)

◆防除対策◆

耕種的防除法

1) 畦畔雑草を除去しましょう。

化学的防除法

- 1) 薬剤散布による防除を行いましょう。
- 2) 結実期から子実肥大期の防除が効果的です。
- 3) 発生が続く場合は、追加防除が必要です。

6. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報 (平成 27 年 8 月 22 日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう 1 か月は、期間の前半は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は高く、降水量および日照時間はほぼ平年並の見込みです。

1 週目 8 月 22 日～ 28 日	高気圧に覆われて晴れる所もありますが、 気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広が りやすいでしょう。	津の降水日数・晴 れ日数の平年値 1.9 日・4.5 日
2 週目 8 月 29 日～ 9 月 4 日	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧 に覆われやすく、平年に比べ曇りや雨の日 が少ないでしょう。	同 2.0 日・4.4 日
3～4 週目 9 月 5 日～18 日	低気圧と高気圧が交互に通り天気は数日 の周期で変わるでしょう。	同 4.9 日・7.6 日

東海地方週間天気予報 (平成 27 年 8 月 26 日 10 時 30 分 名古屋地方気象台
発表)

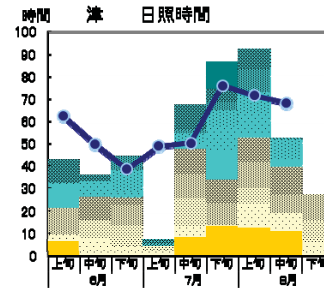
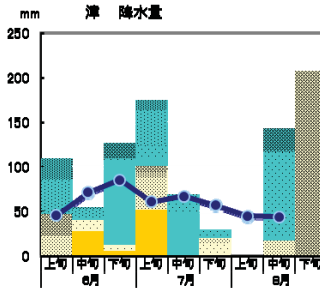
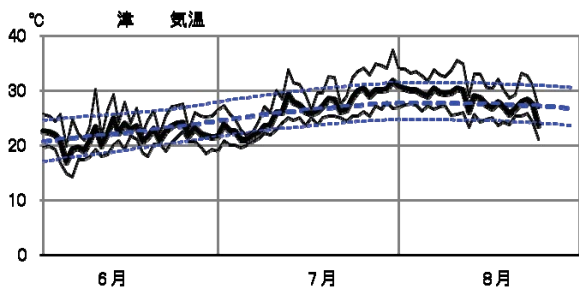
予報期間 8 月 27 日～9 月 2 日

向こう一週間は、前線や湿った気流の影響で曇りや雨の降る日が多いでしょう。

最高気温はと最低気温は平年並か平年より低い見込みです。

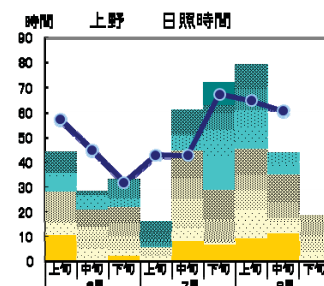
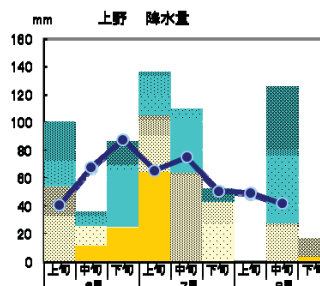
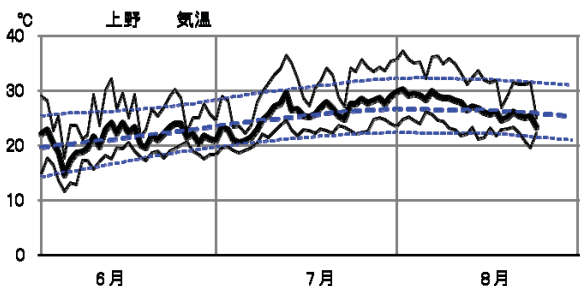
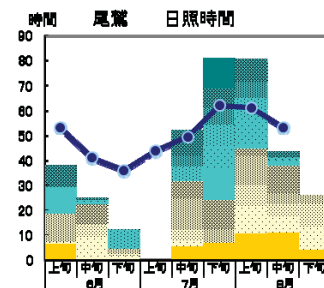
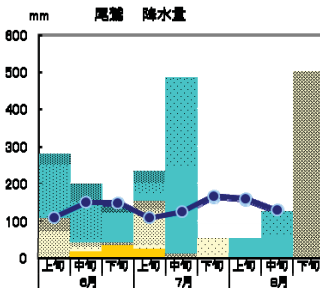
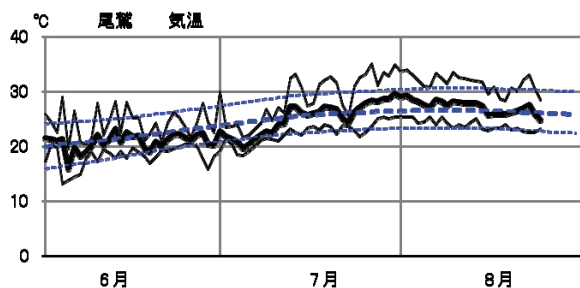
降水量は、平年並か平年より多いでしょう。

気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (8 月 25 日まで)



13

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31 日
 ■ 10 日
 ■ 9 日
 ■ 8 日
 ■ 7 日
 ■ 6 日
 ■ 5 日
 ■ 4 日
 ■ 3 日
 ■ 2 日
 ■ 1 日
 — 平年値

凡例
 ■ 31 日
 ■ 10 日
 ■ 9 日
 ■ 8 日
 ■ 7 日
 ■ 6 日
 ■ 5 日
 ■ 4 日
 ■ 3 日
 ■ 2 日
 ■ 1 日
 — 平年値

14

三重県病害虫防除所

7. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月23日(木)(済み) 第2回 5月28日(木)(済み)
第3回 6月25日(木)(済み) 第4回 7月23日(木)(済み)
第5回 8月27日(木)(今回) 第6回 10月22日(木)
第7回 3月24日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

http://www.mate.pref.mie.lg.jp/Bojyosyo/files/h26yohotebiki_.pdf

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/merumaga.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/work/ipm/main.htm>

15

三重県病害虫防除所

平成 27 年度

病害虫発生予報第 6 号

平成 27 年 10 月 22 日

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

目 次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 今月のトピックス(イチゴ・ハダニ類について)	9
6. 気象のデータ	10
7. おしらせ	12

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量は**平年並**と予想されます。

2) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

3) 野菜

トマトでは、疫病の発生量は**平年並**と予想されます。

イチゴでは、うどんこ病、炭疽病、ハダニ類の発生量は**平年並**と予想されます。

ハクサイでは、白斑病の発生量は**少**と予想されます。

キャベツでは、黒腐病の発生量は**やや少**と予想されます。

ネギでは、シロイチモジトウの発生量は**平年並**、ネギコガの発生量は**やや少**と予想されます。

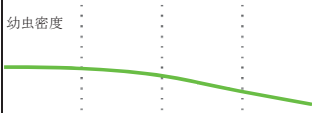
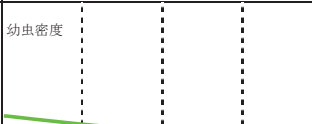
野菜共通では、コナガの発生量は**平年並**、ハスモンヨトウの発生量は**やや少**と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
		発生時期	発生量			10月	11月			
			発生時期	発生量		発生量	発生時期	発生量	発生量	
		発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	発生量	
カンキツ	ミカンハダニ	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	1) 1葉当りのハダニ成虫数が、0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 中晩柑類で袋かけをする品種では、作業前に必ず発生状況を確認し、必要に応じて防除を行ってください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
チャ	カンザワハダニ	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しているので、丁寧に薬剤散布してください。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
トマト	疫病	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	1) 発病後の病徴の進展が非常に早いので、初発生を確認した場合には集中的に薬剤散布をしてください。 2) 20℃ぐらいの温度で多湿条件の時に発生が多くなります。 3) 病原菌は被害植物の残渣とともに土中に残り、伝染源となります。発病株は圃場外に持ち出し処分してください。
イチゴ	うどんこ病	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	1) ビニールの被覆後、発生が増加します。 2) 予防防除に重点をおいて薬剤散布をしてください。 3) 発病を認めたときは、葉裏に葉液がかかるよう、下葉を除去して丁寧に防除してください。
	炭疽病	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	1) 感染した苗は、本圃定植後に発病します。 2) 発病株は除去し、圃場外へ持ち出して適切に処分してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		発生時期	発生量			要防除圃場率	10月	11月			
			発生時期	発生量			発生量	要防除圃場率	発生時期		発生量
		発生時期	発生量	発生量	要防除圃場率	発生時期	発生量	発生量	発生量	発生量	
イチゴ	ハダニ類	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	発生量	
ハクサイ	白斑病	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	発生量	
キャベツ	黒腐病	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	発生量	
ネギ	ネギコガ	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	発生量	
	シロイチモジヨトウ	—	発生時期	発生量	発生量	発生時期	発生量	発生量	発生量	発生量	

作物 名	病害虫名	発生 時期	発生量		要防除 圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	平年比		程度	平年比	10月	11月	
		下旬			上旬			中旬	下旬	
野菜 共通	コナガ	—	平年並	小	普通					1) 冬でも生育を続けて加害します。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハスモンヨトウ	—	やや少	中	普通					1) 老齢幼虫は防除効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除を行ってください。 2) 新芽部を食害されると、生育や収量への影響が大きいため、適期防除に努めてください。 3) 施設ではハウスのパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (＋) 2) 県予察圃(10月中旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区 41頭(平年 47.4頭)と平年並、慣行防除区 28頭(平年 81.3頭)と少 (－) 3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、発生圃場率 46.2%(平年 33.9%)と多、寄生葉率 7.4%(平年 4.4%)と多、寄生頭数 0.29頭/葉(平年 0.09頭/葉)と多 (＋) 4) 一般圃場では、発生量はやや少 (－) 考察：現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (＋) 2) 県予察圃(10月上旬)では、寄生葉率 2.0%(平年 5.2%)とやや少、寄生頭数 0.06頭/m²(平年 0.31頭/m²)とやや少 (－) 3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、寄生葉率 0.3%(平年 1.1%)と少、寄生頭数 0.014頭/葉(平年 0.017頭/葉)と平年並 (－) 4) 一般圃場では、発生量は少 (－) 考察：現状の発生量は少と考えますが、今後の気象条件を考慮して、予想発生量はやや少と考えます。
トマト	疫病	—	平年並	要因 1) 巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率 0%(平年 0%)と平年並に少 (±) 2) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±) 考察：現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、大きな増加要因がないので、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	うどんこ病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率 0%(平年 0.3%)と平年並 (±) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して平年並) (±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	炭疽病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率 0%(平年 0.4%)と少 (－) 3) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概して平年並) (±) 考察：一般圃場での現状の発生量を重視し、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	要因 1)1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (十) 2)巡回調査圃場(10月第2週)では、寄生株率4.3%(平年7.5%)と少、発生程度1.2(平年2.7)と少 (一) 3)一般圃場では、発生量は無～平年並(概して平年並) (土) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ハクサイ	白斑病	—	少	要因 1)1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (一) 2)巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率0%(平年6.3%)、発病度0(平年1.6)と少 (一) 3)一般圃場では、発生量は少 (一) 考察：現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。
キャベツ	黒腐病	—	やや少	要因 1)1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (一) 2)巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率0.0%(平年0.3%)、発病度0.0(平年0.1)と少 (一) 3)一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (一) 考察：現状の発生量は少と考えられますが、昨年の発生が多かったことを考慮して、予想発生量はやや少と考えます。
ネギ	ネギコガ	—	やや少	要因 1)1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (十) 2)県予察圃フェロモントラップ(9月第5半旬～10月第2半旬)では、誘殺数0頭(平年13.2頭)と少 (一) 3)巡回調査圃場(10月第2週)では、被害葉率0%(平年0.07%)と少 (一) 4)一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (一) 考察：現状の発生量は少と考えられ、気象要因による今後の増加を考慮して、予想発生量はやや少と考えます。
	シロイチモジヨトウ	—	平年並	要因 1)1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (十) 2)県予察圃フェロモントラップ(9月第5半旬～10月第2半旬)では、誘殺数54頭(平年42.0頭)とやや多 (十) 3)巡回調査圃場(10月第2週)では、新葉での被害葉率0%(平年2.9%)と少 (一) 4)一般圃場では、発生量は平年並～やや少(概してやや少) (一) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、気象要因による今後の増加を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
野菜共通	コナガ	—	平年並	要因 1)1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (十) 2)県予察圃フェロモントラップ(9月第5半旬～10月第2半旬)では、誘殺数2頭(平年5.9頭)と少 (一) 3)巡回調査圃場(10月第2週)では、ハクサイの寄生株率0%(平年0.2%)と平年並、株当たり虫数0頭/株(平年0.01頭/株)と平年並、キャベツの寄生株率0.5%(平年1.5%)と少、株当たり虫数0頭/株(平年0頭/株)と平年並 (土) 4)一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (一) 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、気象要因による今後の増加を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	やや少	要因 1)1か月予報(10月15日発表)によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想 (十) 2)県予察圃フェロモントラップ(9月第5半旬～10月第2半旬)では、誘殺数500頭(平年1,057.7頭)と少 (一) 3)巡回調査圃場(10月第2週)では、イチゴの寄生株率0.3%(平年2.2%)と少、ハクサイの寄生株率0%(平年0.7%)と少、キャベツの寄生株率0%(平年0.5%)と少 (一) 4)一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (一) 考察：現状の発生量は少と考えられ、気象要因による今後の増加を考慮して、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅		遅	

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(+)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 今月のトピックス「イチゴ・ハダニ類」について

三重県でのイチゴのハダニ類は、年によって発生の多少はあるものの、毎年発生が見られます。近年では薬剤感受性の低下が認められるので、防除が難しく、密度が低いうちに対策が必要な害虫です。

イチゴでは、ナミハダニ黄緑型とカンザワハダニが発生しますが、現在ではナミハダニ黄緑型の発生が増加しています。

ハダニの寄生株率は、過去 10 年間の調査結果と 2014 年調査結果から 9 月以降に増加する傾向が見られています。(図1)

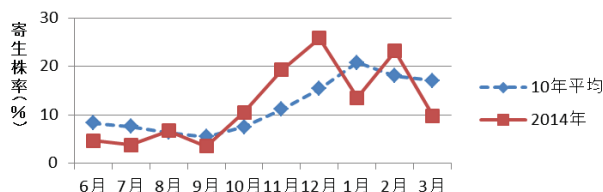


図1 イチゴに寄生するハダニ類の寄生株率の推移

◆生態◆

- ・体長は 0.5mm 程度と非常に小さく、葉裏に寄生するため発見が難しく、幅広い作物に寄生し、吸汁加害します(写真1)。
- ・施設内では周年発生します。
- ・生育適温は 18～28℃です。気温が 25℃の場合、7 日間で卵から成虫になります。
- ・1 頭の雌成虫は 100 個程度の卵を産卵し、短期間で急激に増殖します。

◆被害の様子◆

- ・発生初期は、下葉から現れ、葉がこわばったように見えてきます。
- ・多発すると新展開葉はわい化して、大きな減収要因となります(写真2)。
- ・株がハダニの吐き出す糸で覆われるようになると、枯死することもあります。
- ・果実に寄生すると着色不良となり、商品価値がなくなります。



写真1 ナミハダニ(黄緑型)

写真2 ハダニ多発時の被害葉

(写真 1,2：三重県農業研究所提供)

◆防除対策◆

- (1) 薬剤がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去して丁寧に散布してください。
- (2) 除去した下葉(特に被害葉)に寄生していることがあるので、施設外に持ち出し、処分してください。
- (3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一薬剤や同一系統薬剤の連用は避けてください。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を避けるには天敵の導入や気門封鎖型の薬剤も有効です。
- (5) 天敵を導入する場合は、薬剤防除(天敵に影響の少ない剤)で密度を下げた後に導入してください。
- (6) 気門封鎖剤は天敵への影響を考慮し、導入直後の使用は避けてください。
- (7) 薬剤散布にあたっては、ミツバチや天敵に対する影響に十分注意してください。
- (8) 農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

6. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報 (平成 27 年 10 月 15 日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう 1 か月は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。平均気温は高く、降水量は平年並または少ない見込みです。

1 週目 10 月 17 日～ 23 日	高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や湿った気流の影響で雲が広がりやすく雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 1.8 日・4.3 日
2 週目 10 月 24 日～ 30 日	移動性の高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れる日が多いでしょう。	同 1.6 日・4.3 日
3～4 週目 10 月 31 日～ 11 月 13 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 3.1 日・8.7 日

東海地方週間天気予報 (平成 27 年 10 月 21 日 10 時 30 分 名古屋地方気象台発表)

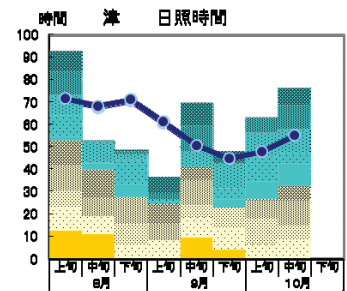
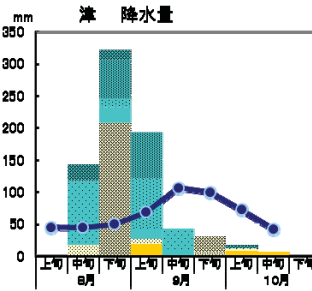
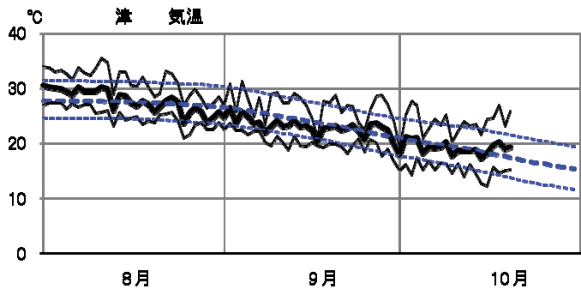
予報期間 10 月 22 日～10 月 28 日

向こう 1 週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間の終わりは気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高い見込みです。

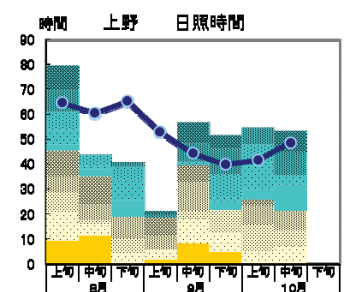
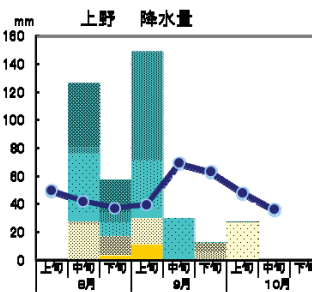
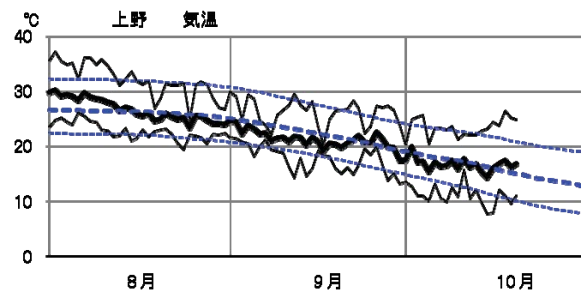
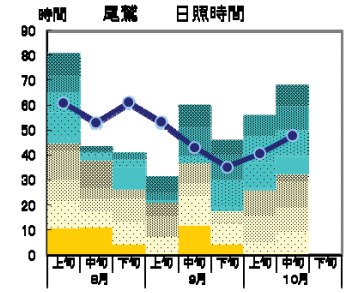
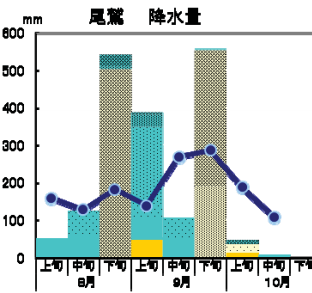
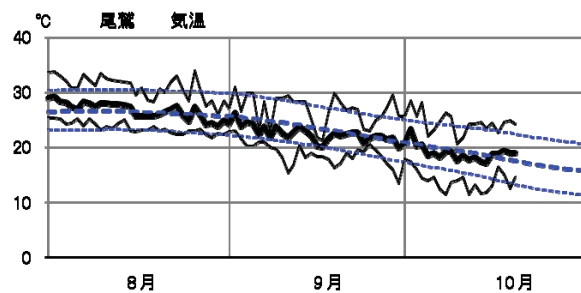
降水量は、平年並でしょう。

気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (10 月 20 日まで)



10

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 10月10日
 ■ 10月9日
 ■ 10月8日
 ■ 10月7日
 ■ 10月6日
 ■ 10月5日
 ■ 10月4日
 ■ 10月3日
 ■ 10月2日
 ■ 10月1日
 ● 平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 10月10日
 ■ 10月9日
 ■ 10月8日
 ■ 10月7日
 ■ 10月6日
 ■ 10月5日
 ■ 10月4日
 ■ 10月3日
 ■ 10月2日
 ■ 10月1日
 ● 平年値

11

三重県病害虫防除所

7. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月23日(木)(済み) 第2回 5月28日(木)(済み)
第3回 6月25日(木)(済み) 第4回 7月23日(木)(済み)
第5回 8月27日(木)(済み) 第6回 10月22日(木)(今回)
第7回 3月24日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

http://www.mate.pref.mie.lg.jp/Bojyosyo/files/h26yohotebiki_.pdf

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/merumaga.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/work/ipm/main.htm>

12

三重県病害虫防除所

平成 27 年度

病害虫発生予報第 7 号

平成 28 年 3 月 24 日

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

目次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 今月のピックアップ(ナシの黒星病について)	9
6. 気象のデータ	10
7. おしらせ	12

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネ(注 1)では、イネミズゾウムシの発生量は**平年並**と予想されます。

コムギ(注 2)では、赤かび病の発生量は**平年並**と予想されます。

(注 1:4 月中旬までに移植する圃場を対象。注 2:11 月上旬までに播種した圃場を対象。)

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病(温州みかん)の発生量は**平年並**、かいよう病(中晩柑)の発生量は**やや少**、ミカンハダニの発生量は**少**と予想されます。

ナシでは、黒星病、赤星病の発生量は**平年並**と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意して下さい。チャノホソガの発生時期は**やや早**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、灰色かび病、ハダニ類の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に努めてください。

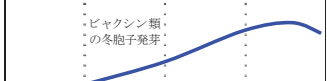
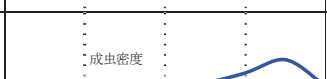
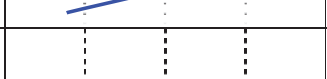
うどんこ病の発生量は**平年並**と予想されます。

キャベツでは、菌核病の発生量は**やや多**と予想されます。発病株が発見されたら早急に抜き取り、ほ場外で適切に処分してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
		平年比	平年比	程度	平年比	3月	4月			
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	イネミズゾウムシ	—	平年並	小	普通		1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。			
コムギ	赤かび病	—	平年並	小	普通		1) 圃場ごとに出土及び開花状況を把握し、開花始めから開花盛期に予防散布してください。 2) 防除所ホームページの「コムギ赤かび病・防除情報」において、出土期および防除適期の予測(随時更新)を公開しています。			
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通		1) 昨年に果実での発病がみられた圃場では、発芽期防除を実施してください。 2) 春葉が感染する期間は発芽直後から伸長停止期までです。 3) 越冬病斑の見られる枝葉は剪除して、圃場より持ち出して処分してください。			
	かいよう病	—	温州 平年並	温州 小	温州 低		1) 越冬病斑が認められる中晩柑圃場では、発芽前防除を実施してください。 2) 夏秋梢等の発病枝葉は早く剪除し、圃場より持ち出してください。 3) ボルドー液とマシン油乳剤の近接散布による薬害に注意してください。			
	ミカンハダニ	—	少	小	低		1) 成虫が1葉当たり1頭前後になったら防除してください。 2) マシン油乳剤を散布していない圃場や現在発生が認められる圃場では、今後の増加に注意してください。			

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除 圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
		平年比	平年比	程度		平年比	3月	4月			
							下旬	上旬	中旬		下旬
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通		1) りん片や新梢基部に発病が確認されたら、すぐに防除を実施してください。なお、発病したりん片は、基部から切除して圃場外で処分してください。 2) 例年発生が多い圃場では、早くから樹体の観察を怠らないようにしてください。				
	赤星病	—	平年並	小	普通		1) 赤星病の防除時期は、黒星病の防除適期と重なります。 2) 特に開花期前後の防除が重要なので、各薬剤の特性を理解して両方に登録のある薬剤を使用してください。				
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通		1) 2月下旬～3月上旬に産卵します。 2) 裾葉裏に生息しているので、薬剤が付着するよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性を獲得しやすいため、同一系統の薬剤使用は年1回に止めてください。				
	チャノホソガ	やや早	—	—	—		1) 新芽の葉裏に産卵します。 2) 萌芽は例年4月上旬です。萌芽後は新芽への産卵や幼虫発生に注意してください。				
イチゴ	灰色かび病	—	やや多	中	普通		1) 病勢が進行すると防除が困難になります。圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めてください。 2) 20℃前後の温度と多湿条件で発生が多くなります。ハウス内の温度・湿度管理に注意してください。 3) 発病部位は伝染源となるため、こまめに取り除いて圃場外に持ち出し適切に処分してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。				

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						3月	4月			
						平年比	平年比	程度	平年比	
イチゴ	うどんこ病	—	平年並	中	普通					1) 軟弱徒長すると発生が多くなります。適切な温湿度管理、灌水管理に努めてください。 2) 発病部位は伝染源となるため、見つけ次第速やかに取り除いてください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハダニ類	—	やや多	中	高					1) 葉液がかかりやすくなるよう下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 2) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。また、抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用してください。 3) 薬剤散布では、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して薬剤の選択を行ってください。
キャベツ	菌核病	—	やや多	中	普通					1) 発病株は伝染源となるため、菌核が形成される前に抜き取って圃場外へ持ち出し、処分してください。 2) 葉の傷口や生育の衰えた下葉から病原菌が感染し、結球期頃から発生が目立ち始めます。結球始期の予防散布を基本としてください。 3) 薬剤散布は、初発部位である株元を中心に丁寧に行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	—	平年並	要因 1) 3か月予報(2月24日発表)によると、4月の気温は高い予想(+) 2) 予察灯(昨年7月第1半旬～9月第2半旬)では、誘殺数は91頭(平年170.2頭)とやや少(—) 3) 巡回調査圃場(昨年8月)では、発生圃場率9.1%(平年12.1%)と平年並、払い落とし虫数0.1頭(平年0.7頭)とやや少(±) 考察: 今後の気象条件、昨年の予察灯および巡回調査結果から、越冬成虫の予想発生量は平年並と考えます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想(—) 2) 農業研究所作況試験田(11月13日播種・あやひかり)によると、葉齢の進展は進んでいる(+) 3) 生育予測システム(11月10日播種・あやひかり・津。気温の設定3月やや高い、4月やや高い。3月17日現在)によると、予想出穂期は4月10日頃(平年4月13日)と平年並(±) 考察: 今後の気象条件および現在の生育状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想(±) 2) 県予察圃(無防除圃場)では、昨年7月下旬の春葉発病率94.5%(平年64.6%)と多(+) 3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、旧葉(昨年の春葉)における発病度は0(平年0.0)と平年並に少(±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±) 考察: 巡回調査圃場および一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 やや少	要因 1) 1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想(±) 2) 県予察圃(無防除圃場、中晩柑、2月28日調査)では、越冬病斑の発病率28.7%(平年30.3%)とやや少、発病度7.6(平年6.5)とやや多(±) 3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、温州みかん旧葉での発病率0%(平年0.3%)と平年並に少、発病度0(平年0.05)と平年並に少、中晩柑類旧葉での発病率4.0%(平年9.7%)と少、発病度2.9(平年4.5)と少(—) 4) 一般圃場では、発生量は温州みかんで平年並に少、中晩柑類で平年並(±) 考察: 県予察圃、巡回調査圃場および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかんでは平年並、中晩柑類ではやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	－	少	要因 1)1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2)県予察圃(3月上旬)では、寄生頭数は無防除区 0.16 頭／葉(平年 0.19 頭／葉)と平年並、慣行防除区 0.08 頭／葉(平年 0.00 頭／葉)とやや多 (＋) 3)巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生葉率 1.2%(平年 5.6%)と少、寄生頭数 0.02 頭／葉(平年 0.19 頭／葉)と少 (－) 4)一般圃場では、発生量は少～平年並(概して少) (－) 考察：現状の発生量は少と考えられ、大きな増加要因はないことから、予想発生量は少と考えます。
ナシ	黒星病	－	平年並	要因 1)1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2)巡回調査圃場では、昨年8月の発病葉率 0.9%(平年 2.0%)と少 (－) 3)一般圃場では、昨年秋の発生量は平年並 (±) 考察：昨年の一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	赤星病	－	平年並	要因 1)1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2)一般圃場では、昨年春の発生量は平年並 (±) 考察：昨年の一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
チャ	カンザワハダニ	－	やや多	要因 1)1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2)県予察圃(3月上旬)では、寄生葉率 2.0%(平年 3.5%)と平年並、寄生頭数 0.05 頭／葉(平年 0.16 頭／葉)と平年並(±) 3)巡回調査圃場(3月第2週)では、発生圃場率 61.1%(平年 29.3%)と多、寄生葉率 2.6%(平年 1.2%)と多、寄生頭数 0.07 頭／葉(平年 0.02 頭／葉)と多 (＋) 4)一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察：現状の発生量は平年並と考えられますが、巡回圃場の発生状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
	チャノホソガ	やや早	－	要因 1)県予察圃フェロモントラップでは、初飛来は3月7日(平年は3月19日)と早 (発生時期－) 2)巡回調査圃場(3月第2週)では、成虫は未確認 (発生時期±) 考察：フェロモントラップ及び巡回調査結果を考慮して予想発生時期はやや早いと考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	灰色かび病	－	やや多	要因 1)1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2)巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 1.2%(平年 3.0%)と少、発病果率 0.4%(平年 0.6%)とやや少 (－) 3)一般圃場では、発生量は平年並～やや多(概してやや多) (＋) 考察：一般圃場での状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
	うどんこ病	－	平年並	要因 1)1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2)巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 0.0%(平年 0.3%)と平年並、発病果率 0.0%(平年 0.03%)と平年並 (±) 3)一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少) (－) 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ハダニ類	－	やや多	要因 1)1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (＋) 2)巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生株率 11.7%(平年 17.1%)とやや少、発生程度 4.8%(平年 8.2%)と少 (－) 3)一般圃場では、発生量はやや多～多(概してやや多) (＋) 考察：一般圃場での状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
キャベツ	菌核病	－	やや多	要因 1)1か月予報(3月17日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±) 2)巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 5.3%(平年 0.6%)と多 (＋) 3)一般圃場では、発生量はやや多(概してやや多) (＋) 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅		遅	

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

平年値 ↓						
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(+)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

平成 27 年度予報第 7 号(2016/03/24)

5. 今月のピックアップ「ナシの黒星病について」

◆被害の様子◆

葉、葉柄、りん片、花そう基部、果実、新梢に発生します。

多発すると早期落葉を起こし、樹体の衰弱、果実肥大の抑制、商品性の低下など収量および品質に影響を与えます。



図1 花そう基部での発生



図2 葉での発生



図3 果実の裂果
(三重県中央農業改良普及センター原図)

花そう基部には、開花期頃に発生します。(図 1)

葉は、開花2週間後頃以降に葉裏の葉脈に沿って黒いすすが盛り上がったようについた春型病斑(図 2)と夏から秋にかけて葉裏にうつすらとすすをつけた病斑を点々と生じる秋型病斑があります。他にも葉脈上でない部分に角張った小さな病斑を生じる場合もあります。

果実は、幼果時に感染すると黒いすすのついた病斑を作ります。

病果が肥大すると病斑部がかさぶた状になり裂果の原因になります。(図 3)

◆伝染の経路◆

病原菌は、前年の芽のりん片や被害落葉で越冬します。

翌年、芽のりん片の病斑は芽基部に侵入拡大し、分生子を形成します。また、被害落葉では落葉上に子のう胞子を形成します。

子のう胞子や分生子は 3 月中旬頃頃から形成され、5 月下旬頃まで降雨で飛散して第一次伝染源となります。その後、病斑上に形成された分生子は、降雨時に分散して二次伝染を繰り返します。

10～11 月にはりん片感染が盛んになり、被害落葉とともに翌年の伝染源となります。

◆防除対策(防除のポイント)◆

- 1) 防除適期は開花期(4 月中旬)～7 月上旬です。特に重要な防除時期は、4 月中旬(開花期)～5 月上旬(開花 20 日後頃)と 6 月下旬(同 65 日後)～7 月上旬(同 85 日後)です。
- 2) 同一系統の薬剤を連用すると耐性菌を生ずる恐れがあるので、作用特性の異なる薬剤をローテーション散布してください。
- 3) 落葉は、休眠期に集めて土中に埋設する等処分してください。
- 4) りん片発病芽は開花始めまでに基部から切除してください。
- 5) 秋期の徒長枝への防除は、第一次伝染源を少なくすることになり、翌春の発病を抑制します。
- 6) 窒素肥料過多の園は発病が多くなります。

6. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報(平成 28 年 3 月 17 日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう 1 ヶ月は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。平均気温は平年並で日照時間は平年並または多い見込みです。

1 週目 3 月 19 日～ 25 日	期間のはじめは低気圧の影響で雨が降るでしょう。その後は晴れる日もありますが、雲が広がりがやすい見込みです。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.5 日・4.1 日
2 週目 3 月 26 日～ 4 月 1 日	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	同 2.4 日・4.0 日
3～4 週目 4 月 2 日～ 15 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 4.3 日・8.5 日

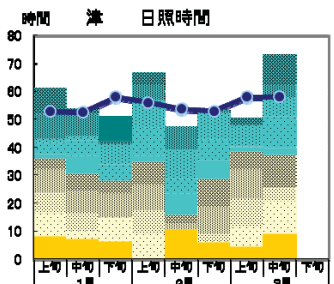
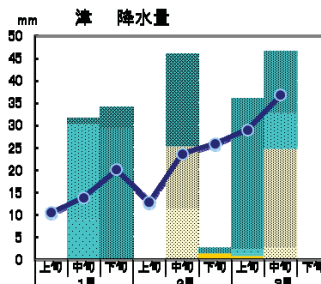
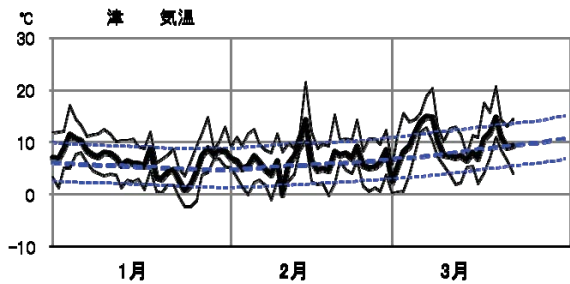
東海地方週間天気予報(平成 28 年 3 月 23 日 10 時 30 分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 3 月 24 日～3 月 30 日

向こう 1 週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。期間の中頃は気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく雨の降る所がある見込みです。

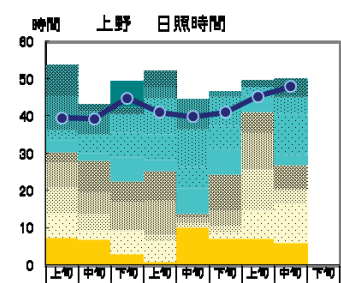
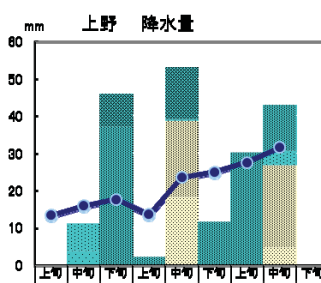
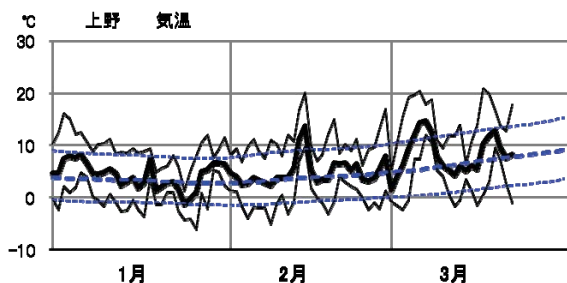
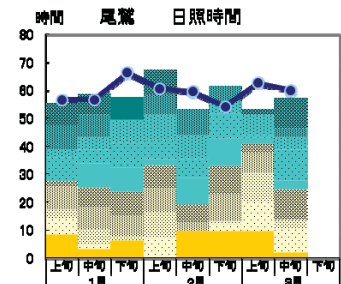
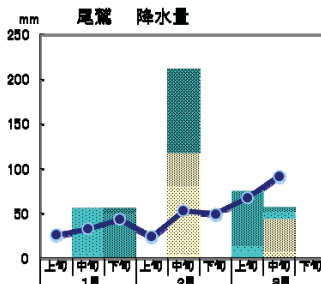
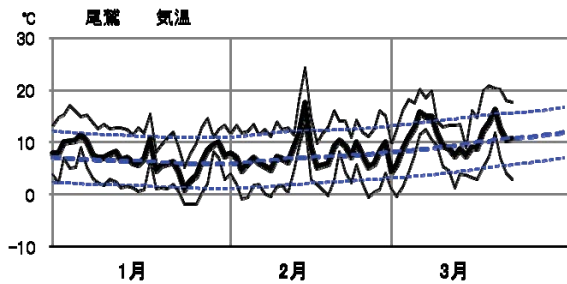
最高気温と最低気温はともに、期間の前半は平年並か平年より低く、後半は平年並か平年より高いでしょう。降水量は、平年より少ない見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (3 月 22 日まで)



10

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例

凡例

11

三重県病害虫防除所

7. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第 1 回 4 月 23 日(木)(済み) 第 2 回 5 月 28 日(木)(済み)
第 3 回 6 月 25 日(木)(済み) 第 4 回 7 月 23 日(木)(済み)
第 5 回 8 月 27 日(木)(済み) 第 6 回 10 月 22 日(木)(済み)
第 7 回 3 月 24 日(木)(今回)

3) 利用方法 **NEW**

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書 **NEW**

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000393078.pdf>

5) メール配信サービス **NEW**

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

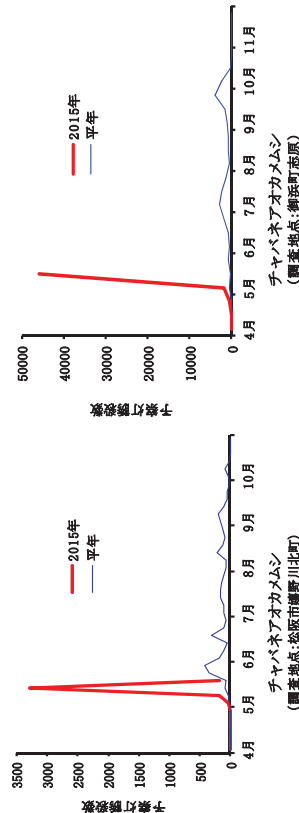
三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/work/ipm/main.htm>

病害虫発生予察注意報第2号

平成27年5月25日
三重県病害虫防除所

- 1. 対象作物: ナシ、カキ等
- 2. 対象病害虫名: 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
- 3. 発生地域: 県内全域
- 4. 発生時期: 5月下旬～6月下旬
- 5. 発生量: 多い
- 6. 注意報発令の根拠
 - 1) 予察灯(松阪市磯野川北町)への5月第1半旬～第4半旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシが3,674頭(平年198.9頭)(図左)、ツヤアオカメムシが116頭(平年18.9頭)と多くなっています。
 - 2) 東紀州地域では、予察灯(御浜町志原)への5月第1半旬～第4半旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシが47,840頭(平年667.5頭)(図右)、ツヤアオカメムシが3,348頭(平年1,689.0頭)と多くなっています。
 - 3) フェロモントラップ(松阪市磯野川北町)への5月1日～16日のチャバネアオカメムシ誘殺数は、421頭(平年27.4頭)と多くなっています。
 - 4) 一般圃場では、ナシ園、カンキツ園などで圃場への飛来が確認されています。



図、予察灯への果樹カメムシ類の誘殺数
※平年値は過去10年間(2005～2014年)の平均値

- 7. 防除上の注意事項
 - 1) 気温の上昇に伴って活発に飛翔するようになるので、夜温が高く、風が弱い日に飛来が多くなります。夜間の照明等への飛来を参考にしたリ、圃場を見回って、飛来を確認したら防除を実施してください。
 - 2) 飛来数は圃場による差が大きく、山林に近いところが多い傾向があります。過去に飛来が多かった圃場では特に注意してください。
 - 3) 果樹カメムシ類は夕刻から活発に飛翔するので、朝夕の薬剤散布が効果的です。また、近隣圃場と調整し、なるべく広い範囲で散布日を合わせて一斉防除することにより効果が高くなります。
 - 4) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫発生予察注意報第1号

平成27年4月23日
三重県病害虫防除所

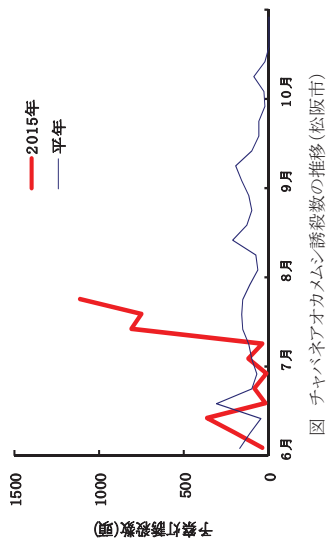
- 1. 対象作物 : コムギ
- 2. 対象病害虫名 : 赤かび病
- 3. 発生地域 : 県内全域
- 4. 発生時期 : 5月上旬以降
- 5. 発生量 : やや多
- 6. 注意報発令の根拠
 - 1) 本年のコムギの生育は冬季と春先の低温によりやや遅れ気味であったものの、ほぼ平年並で推移し、また、出穂期もほぼ平年並と推定されており、開花始めは伊勢平垣部で4月中下旬以降となる見込みです。
 - 2) 4月上旬の天候は、期間を通じて曇雨天で日照時間はかなり少なく、気温、降水量ともに平年から高く推移しました。
 - 3) コムギの開花始めに当たる4月中旬は、曇雨天が続きました。
 - 4) 1か月予報(4月16日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1ヶ月の平均気温は平年並、降水量は平年並または多い見込みなどとなっています。
 - 5) このような気象状況は、赤かび病発生的好適条件となることから、多発することが予想されるため注意が必要です。
- 7. 防除上の注意事項
 - 1) 開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花盛期が防除適期です。
 - 2) 開花前の防除は効果が劣るので注意してください。
 - 3) 同じ品種でも栽培管理状況によって、出穂や開花のバリエーションが大きいので、各圃場ごとの生育状況に応じた防除を行ってください。
 - 4) 曇雨天が続くと被害は増加するので天候の推移に注意し、曇天または降雨が続く場合は追加防除を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫発生予察注意報第3号

平成 27 年 8 月 3 日
三重県病害虫防除所

1. 対象作物: 果樹全般(特にナシ、カキ、カンキツ)
2. 対象病害虫名: 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
3. 発生地域: 県内全域
4. 発生時期: 10 月中旬まで
5. 発生量: 多い
6. 注意報発令の根拠
 - (1) 予察灯(松阪市)でのチャバネアオカメムシの誘殺数は、7 月 11 日～25 日では 2,677 頭(平年 461.5 頭)と平年より多くなっています(図)。また、クサギカメムシも 1,617 頭(平年 162.8 頭)と平年より多い状況です。
 - (2) 予察灯(御浜町)でのチャバネアオカメムシの誘殺数は、7 月中旬では 68,455 頭(平年 2,239.0 頭)と平年より多くなっています。
 - (3) フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は、7 月 17 日～24 日では津市白山町川口で 897 頭(平年 267.5 頭)、津市白山町二本木で 1,078 頭(平年 527.1 頭)、松阪市嬉野川北町で 566 頭(平年 96.9 頭)といずれも平年より多い状況です。
 - (4) ナシ、カキおよびカンキツの一部の生産園地で飛来が確認されており、果実への吸汁加害が懸念されます。



7. 防除上の注意事項

- (1) 果樹カメムシ類は降雨がない日には夕刻から活発に飛翔し、圃場に飛来します。夜間の照明等への飛来を参考にして圃場をよく見回り、早期発見に努めてください。特に、山林に近い圃場や過去に飛来が多かった圃場では注意してください。
- (2) 防除は果樹カメムシ類の飛来を確認してから実施してください。なお、一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意が必要です。
- (3) 薬剤散布は、果樹カメムシ類は夕刻から活発に飛翔することから、朝夕に実施すると効果的です。また、周辺圃場と散布日を合わせて一斉防除することにより、効果が高くなります。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

平成 27 年 4 月 16 日
三重県病害虫防除所

イチゴ・トマトの灰色かび病が増加しています！
圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。

- 対象作物:イチゴ(施設)、トマト(施設・冬春作型)
- 病害虫名:灰色かび病
- 発生状況:多
(1)4月第2週の巡回調査では、イチゴにおける発病果率 3.2%(平年 0.5%)、トマトにおける発病果率 2.3%(平年 1.1%)と平年より多くなっています(図)。
(2)一般圃場での発生量は、平年より多い状況です。
(3)1か月予報(4月9日・名古屋地方気象台発表)によると、平年に比べ晴れの日が少ない予想であり、今後も灰色かび病の発生に好適な条件が続くと考えられるため、注意が必要です。

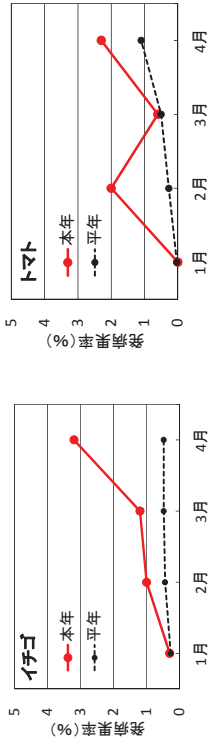


図 イチゴおよびトマトにおける灰色かび病発病果率の推移
※イチゴは県内 12 圃場、各圃場 200 果調査。トマトは県内 8 圃場、各圃場 50 株調査。
※平年は過去 10 年間の平均値。

- 防除上の注意事項
(1)本病は 20℃前後の温度と多湿条件で発生しやすいため、ハウス内の温度及び湿度管理に注意してください。特に、曇雨天が続く場合には循環扇や暖房機を稼働して、ハウス内の湿度を下げるようしてください。
(2)発病した茎葉や果実は伝染源となるため、こまめに取り除いて圃場外に持ち出し、適切に処分してください。
(3)トマト果実では、胞子が発生しなくても果実表面に黄白色の小斑点(ゴーストスポット)が生じることがあります。商品価値を著しく落とすので注意が必要です。
(4)発病前の予防的薬剤防除が基本です。また、病勢が進行すると防除が困難になります。圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めてください。
(5)薬剤防除では、薬剤耐性菌を生じる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用を避け、作用機構の異なる薬剤でローテーション散布を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

平成 27 年 4 月 16 日
三重県病害虫防除所

コムギ赤かび病の防除は、開花始めから開花盛期に行いましょう！
出穂および開花状況とともに、今後の天候に注意してください！

- 対象作物: コムギ
- 対象病害虫名: コムギ赤かび病
- 生育状況と出穂期の予測
本年のコムギの生育は冬場や春先の低温により遅れがみられ、出穂期は平年に比べてやや遅く、開花始めは伊勢平垣部で4月中下旬以降となる見込みです。
1か月予報(4月9日・名古屋地方気象台発表)によると、開花期頃(4月11日から5月10日)の天気は、数日の周期で変わる予想です。出穂および開花状況とともに、今後の天候にも注意してください。
赤かび病は、開花期に気温が高く、降雨日数が多いと感染し発生しやすくなります。
- 防除対策
(1)防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。
(2)下表の予測を目安として、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。
コムギの開花は出穂期の約7～10日後ですが、播種時期の遅い圃場では、開花までの日数が短くなる場合があります。
(3)薬剤散布後も、開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は追加防除を行います。

表 コムギの出穂期予測および防除適期予測

播種日 H26 年	伊勢平垣部				伊賀地域	
	あやひかり・さとのそら		ニシノカオリ		タマイズミ	
	出穂期	防除適期	出穂期	防除適期	出穂期	防除適期
11/10	4/15	4/22～5/1	4/10	4/18～4/27	4/23	4/30～5/9
11/20	4/18	4/25～5/4	4/15	4/21～4/30	4/29	5/4～5/13
11/30	4/22	4/28～5/7	4/19	4/25～5/4	5/3	5/8～5/17
12/10	4/25	4/30～5/9	4/21	4/26～5/5	5/6	5/12～5/21

生育予測システム ver.2.2(三重県農業研究所)により出穂期および開花盛期を推定(4/12 現在)。
開花盛期の3日前を開花始期、開花始期から10日間を防除適期とした。
伊勢平垣部は津、伊賀地域は上野アダス気温データから算出。気温データ入力最終日以降は、平年値(’01～’10)による予測。気温設定:4～5月「平年並」。
伊勢平垣部 ニシノカオリでは農林 61 号の予測値を基に、奨励品種特性表に準じて算出。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第4号

平成 27 年 4 月 30 日
三重県病害虫防除所

ナシ黒星病の発生に注意してください！

- 1 対象作物 ナシ
- 2 対象病害虫名 黒星病
- 3 発生状況 やや多い
- (1) 4月第2週の巡回調査において、1圃場で芽基部(花ぞう基部)に黒星病の病斑が確認され(平年 0%)、一般圃場でも一部の圃場で発生が確認されています。
- (2) 本年のナシの開花期前後にあたる 4 月上旬の降雨が多かったことから、本病の発病及び発病後の広がりが増加が心配されます。
- (3) 本病の発育適温は 20℃前後ですが、1ヶ月予報(4月23日・名古屋地方気象台発表)では、向こう1ヶ月の平均気温は高いと予想されています。



図 1 黒星病の芽基部病斑

- 4 防除上の注意事項
- (1) 発生が認められている圃場では、直ちに防除を行ってください。発生が認められていない圃場でも、予防防除を徹底してください。
- (2) 薬剤防除では、薬剤耐性菌を生じる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用を避け、作用機構の異なる薬剤でローテーション散布を行ってください。
- (3) 発病した葉や果実などは伝染源となります。見つけ次第取り除き、できるだけ早く圃場外へ持ち出して適切に処分してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第3号

平成 27 年 4 月 21 日
三重県病害虫防除所

茶園においてカンザワハダニが増えています。

- 1 対象作物: チャ
- 2 対象病害虫名: カンザワハダニ
- 3 発生状況
- (1) 1か月予報(4月16日発表)によると、平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年並の予想です。
- (2) 果予察圃(亀山市:4月上旬)では、寄生葉率 2.0%(平年 5.0%)と少、寄生頭数 0.03 頭/葉(平年 0.60 頭/葉)と少ない状況です。
- (3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、旧葉における発生圃場率 65.2%(平年 33.0%)と多、寄生葉率 9.9%(平年 2.5%)と多、寄生頭数 0.39 頭/葉(平年 0.09 頭/葉)と多の状況です(表)。
- (4) 一般圃場(4月)では、発生量は多い状況です。

表 巡回調査圃場(4月第2週)におけるカンザワハダニ発生状況

調査年	発生圃場率(%)	寄生葉率(%)	寄生頭数(頭/葉)
本年	65.2	9.9	0.39
平年(10年平均)	33.0	2.5	0.09

県全体平均。旧葉 50 葉調査。

- 4 防除対策
- (1) 一番茶摘採後に防除するのが基本です。圃場を確認して、多発状況であれば防除しましょう。
- (2) 葉裏に生息しているため、薬剤は丁寧に丁寧に散布してください。
- (3) 世代交代が早く、薬剤抵抗性を獲得しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
- (4) ケナガカブリダニやハダニアザミウマなどの土着天敵が活動している圃場では、これらに影響の小さい薬剤で防除して下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第 6 号

平成 27 年 5 月 12 日
三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシの発生時期が早くなっています。

- 1 対象作物：チャ
 - 2 対象病害虫名：クワシロカイガラムシ
 - 3 発生時期：早い
 - 4 発生状況：平年並
- 1) 1 か月 予報 (5 月 7 日 発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平均気温は高い見込みです。
 - 2) 有効積算温度による予測式 (5 月 11 日)では、発生時期は平年より早いと予想されます (表)。
 - 3) 本年 4 月の巡回調査圃場では、雌成虫寄生株率 6.0% (平年 17.1%)と少ない状況でした。
 - 4) 一般圃場 (4 月)では、発生量は平年並であるが、一部地域ではやや多い状況でした。
- 5 防除対策
- 1) 防除適期は幼虫孵化最盛日の 2 日後から 3 日程度です。歩行型幼虫が固着して白色のロウ物質に覆われると薬剤の効果が著しく低下します。
 - 2) 実際の孵化状況に関する情報や、自園の孵化状況をルーペ等で確認して適期に防除しましょう。
 - 3) 葉液を十分用意して、樹冠内の枝幹にかかるよう丁寧に散布してください。
 - 4) 孵化最盛日の前後 2 週間程度、断続的な灌水により常時枝幹を濡らすことで幼虫の固着を防ぐ効果があります。

表 有効積算温度による第一世代幼虫孵化最盛予測日
(計算日: 5月11日)

年 度	地 点	予 測 日	亀 山 実 測	防 除 適 期
H26	亀 山	—	5 月 18 日	—
H27	四 日 市	5 月 15 日	—	5 月 17～19 日
	亀 山	5 月 14 日	—	5 月 16～18 日
	粥 見	5 月 16 日	—	5 月 18～20 日
平 年 (8 年 平均)		5 月 19 日		

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第 5 号

平成 27 年 5 月 7 日
三重県病害虫防除所

チャノコカクモンハマキの発生が多くなっています。
一番茶摘採終了後に防除しましょう。

1. 対象作物：チャ
 2. 対象病害虫名：チャノコカクモンハマキ
 3. 発生地域：全域
 4. 発生量：多い
 5. 発生状況
- 1) 1 か月 予報 (4 月 30 日 発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れた日が多く、気温は高い予想です。
 - 2) 県予察圃 (亀山市: 4 月第 1 半旬～第 6 半旬)では、フェロモントラップ誘殺数 1201 頭 (平年 321.9 頭)と平年よりかなり多くなっています。
 - 3) 一般圃場 (4 月)におけるハマキムシ類の越冬世代は、平年より多くなっています。
 6. 防除上の注意事項
- 1) 若齢幼虫を対象に防除しましょう。防除適期は 5 月中下旬頃と考えられます。病害虫防除所のホームページ (<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>) にフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考してください。
 - 2) 農薬飛散 (ドリフト)に注意して、防除してください。
 - 3) 同一系統の薬剤の連用は、薬剤抵抗性を発達させる可能性がありますので、次世代幼虫の防除では異なる系統の薬剤を使用しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

平成 27 年 6 月 2 日
三重県病害虫防除所

チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生が多
く、発生時期は早くなっています。

- 1 対象作物: チャ
- 2 対象病害虫名: チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ
- 3 発生時期: 早い
- 4 発生状況: 多い
- 1) 1 か月予報 (5 月 28 日・名古屋地方気象台発表)によると、平年に比べて曇りや雨の日が少なく、平均気温は高い見込みです。
- 2) 有効積算温度による予測式 (5 月 29 日)では、発生時期はチャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマともに平年より早いと予想されます (表1、2)。
- 3) 果予察圃 (4 月第 4 半旬～5 月第 4 半旬)では、チャノミドリヒメヨコバイ吸引粘着トラップ捕殺数 4.0 頭 (平年 5.0 頭)と平年並、チャノキイロアザミウマ吸引粘着トラップ捕殺数 630 頭 (平年 1,010.7 頭)とやや少
の状況でした。
- 4) 巡回調査圃場 (5 月第 3 週)では、チャノミドリヒメヨコバイの叩き落とし虫数 1.7 頭 (平年 0.7 頭)、チャノキイロアザミウマの叩き落とし虫数 5.1 頭 (平年 4.2 頭)とやや多の状況でした。
- 5) 一般圃場 (5 月)では、チャノミドリヒメヨコバイの発生量は多、チャノキイロアザミウマの発生量はやや多の状況でした。
- 5 防除対策
- 1) 発生時期は早く増加が予想されます。二番茶の防除適期は萌芽期～新芽生育初期です。チャノミドリヒメヨコバイは萌芽後でも良いですが、チャノキイロアザミウマは萌芽直前の防除が必要です。

表1 有効積算温度によるチャノミドリヒメヨコバイ第

3世代発生最盛期予測結果 (5/29 予測)		
	平27	平年比 (日)
四日市	6月14日	-8
亀山	6月14日	-7
柘見	6月16日	-5

表2 有効積算温度によるチャノキイロアザミウマ第

2世代発生最盛期予測結果 (5/29 予測)		
	平27	平年比 (日)
四日市	6月14日	-9
亀山	6月14日	-9
柘見	6月16日	-8

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

平成 27 年 5 月 27 日
三重県病害虫防除所

ネギのネギハモグリバエ、ネギアザミウマの
発生が多くなっています

- 1 対象作物: ネギ
- 2 病害虫名: ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ
- 3 発生状況: やや多い
- (1) 巡回調査圃場では、4 月に比べて5 月の発生が増加しており、5 月中旬におけるネギハモグリバエに
よる被害率 20.0% (平年 4.7%)、ネギアザミウマによる被害率 25.7% (平年 17.6%)と、いずれも
平年に比べて多くなっています (表)。
- (2) 一般圃場での 5 月中旬の発生量は、ネギハモグリバエでは平年に比べてやや多、ネギアザミウマで
は平年並の状況です。
- (3) 1 か月予報 (5 月 21 日・名古屋地方気象台発表)によると、平年に比べ晴れの日が多い予想であり、
ネギハモグリバエおよびネギアザミウマの発生に好適な条件になると考えられるため、注意が必要で
す。
- 表. 巡回調査圃場におけるネギハモグリバエ、ネギアザミウマによる被害率
- | | ネギハモグリバエ | | ネギアザミウマ | |
|-----|----------|-------|---------|-------|
| | 4 月 | 5 月 | 4 月 | 5 月 |
| 本年 | 0% | 20.0% | 0.2% | 25.7% |
| 平年 | 0.1% | 4.7% | 6.6% | 17.6% |
| 平年比 | 平年並 | | やや少 | |
- ・伊勢市内 4 圃場、各圃場 150 葉 (50 株×3 葉)を調査。
・平年値は過去 10 年間 (平成 17～26 年)の平均。

4 防除上の注意事項

- (1) ネギハモグリバエによる被害は、成虫では一列に並んだ白い点 (食害痕および産卵痕)となり、幼虫
では葉の内部から食害するため白く細長い線状になります。
- (2) ネギアザミウマによる被害は、成幼虫が葉の表面を食害するためカスリ状に白くなります。多発すると
葉全体が白くなり、生育不良となることがあります。
- (3) 圃場内や周辺の雑草は発生源となるため、除草に努めましょう。
- (4) いずれの害虫も多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

チャノコカクモンハマキの発生が多くなっています。
6 月第 2 半旬頃までに防除しましょう。

1. 対象作物：チャ
2. 対象病害虫名：チャノコカクモンハマキ（第 1 世代幼虫）
3. 発生地域：県内全域
4. 発生時期：早い
5. 発生量：多い
6. 発生状況
 - 1) 1 か月予報（5 月 28 日・名古屋地方気象台発表）によると、平年に比べ雨の日が少なく、気温は高い予想です。
 - 2) 県予察圃（亀山市：4 月第 4 半旬～5 月第 4 半旬）では、越冬世代成虫のフェロモントラップ誘殺ピークは 4 月第 6 半旬（平成 5 月第 2 半旬）と 10 日程早く、誘殺数 1,687 頭（平成 1,060.7 頭）と平年よりも多くなっています。
 - 3) 一般圃場（5 月）では、ハマキムシ類の発生は多くなっています。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 有効積算温度による予測式では第 1 世代の幼虫期間は 5 月第 2 半旬～6 月第 2 半旬頃までと考えられるので、なるべく 6 月第 2 半旬頃までに防除しましょう。
 - 2) 病害虫防除所のホームページ（<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>）にフェロモントラップ誘殺状況を掲載しているので、参考にしてください。
 - 3) 防除する際は、農薬飛散（ドリフト）に注意して、防除してください。
 - 4) 同一系統の薬剤の連用は薬剤抵抗性を発達させる可能性があるため、次世代幼虫の防除（7 月）では異なる系統の薬剤を使用しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

茶園においてカンザワハダニが多い状況です。

1. 対象作物：チャ
2. 対象病害虫名：カンザワハダニ
3. 発生状況：多い
 - (1) 1 か月予報（5 月 28 日・名古屋気象台発表）によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想です。
 - (2) 県予察圃（亀山市：5 月下旬）では、寄生葉率 6.0%（平成 6.0%）と平年並、寄生頭数 0.1 頭／葉（平成 0.42 頭／葉）と少ない状況です。
 - (3) 巡回調査圃場（5 月第 3 週）では、旧葉における発生圃場率 38.0%（平成 28.4%）と多、寄生葉率 9.6%（平成 4.5%）と多、寄生頭数 0.25 頭／葉（平成 0.10 頭／葉）と多い状況です。
 - (4) 一般圃場（5 月）では、発生量は多い状況です。
4. 防除対策
 - (1) 高温少雨が続き増加します。35℃以上の高温で増殖が抑えられます。
 - (2) 圃場で葉裏を確認し、多発が認められれば防除しましょう。葉裏に生息しているため、薬剤は丁寧に散布してください。
 - (3) 世代交代が早く、薬剤抵抗性を獲得しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けて下さい。
 - (4) ケナガカブリダニやハダニアザミウマなどの土着天敵が活動している圃場では、これらに影響の小さい薬剤で防除して下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第11号

平成 27 年 6 月 30 日
三重県病害虫防除所

葉いもちの早期発見・早期防除に努めましょう

- 1. 対象作物： イネ
- 2. 対象病害虫名： いもち病（葉いもち）
- 3. 発生状況と今後の予測

巡回調査圃場（6月第2週）では、発生圃場率0%（平年0.0%）と平年並に少ない傾向でした。
いもち病発生予測支援システム（プラスタム）によると、南勢・東紀州地域では6月17～19日、21～24日では県内の広い範囲で感染好適条件が現れました（表）。6月下旬以降、本田での発病が確認されるものと予想されます。特に南勢・東紀州地域では、感染好適条件が繰り返し現れて
いるため、注意が必要です。

1か月予報（6月25日・名古屋地方気象台発表）によると、平年に比べ曇りや雨の日が多く、
期間の前半は気温が平年並または低くなる予想です。また、3か月予報（6月24日・名古屋地方気
象台発表）によると、7月は平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は平年並が多い予想であり、
感染および流行に好適な気象条件が今後も続くと予想されます。

表. いもち病発生予測支援システム（プラスタム）による葉いもち発生時期の予測

2015年	桑名	四日市	亀山	津	上野	羽見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊 長島	尾鷲	熊野 新鹿
6/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
6/15	—	—	—	—	—	●	○	●	●	●	—	—
6/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/17	—	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●
6/18	—	—	—	—	—	○	—	●	●	—	—	—
6/19	—	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—
6/20	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
6/22	—	—	—	—	●	—	—	—	○	●	—	●
6/23	—	●	●	●	—	●	—	—	—	—	—	—
6/24	●	—	—	●	—	—	—	◎	●	—	●	●

●：好適条件（葉いもち病の発生条件が全て満たされた。）
○：準好適条件（葉いもち病の条件が一部満たされた。）
—：好適条件・準好適条件は満たされなかった。

4. 防除対策

- (1) 補植用の置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。
- (2) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。
- (3) 葉いもち対象予防剤の散布適期です。感染好適条件の現れた7～10日後に病斑が現れます。
- (4) Qol剤（ストロビルリン系殺菌剤）を使用したにもかかわらず、ずり込み症状などの重篤な発病の場合は、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや、関係団体へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第13号

平成 27 年 7 月 17 日
三重県病害虫防除所

いもち病の発生が確認されています。圃場の点検を行い、発生を確認した場合早急に防除を行いましょ。

- 1. 対象作物： イネ
- 2. 対象病害虫名： いもち病（稈いもち・穂いもち）
- 3. 発生状況
 - いもち病発生予測支援システム（プラスタム）によると、6月中旬以降、県内の広い範囲で感染好適条件が現れ、病害虫防除技術情報第11号（6月30日）を発表しました。
 - 7月上旬以降、繰り返し県内の広い範囲で感染好適条件が現れ（表）、一部で多発生圃場がみられ（図1・図2）、引き続き注意が必要な状況です。

表、いもち病発生予測支援システム(プラスタム)による稈いもち発生時期の予測

2015年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿
7/05	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
7/06	○	●	○	●	—	●	○	—	●	●	●	●
7/07	●	●	●	●	—	●	—	●	●	●	●	—
7/08	●	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—
7/09	●	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—
7/10	—	—	●	—	—	—	●	—	●	—	●	●

● :好適条件（稈いもち発生的好条件が全て満たされた。）
○ :良好適条件（稈いもち発生好条件が一部満たされた。）
— :好適条件・良好適条件は満たされなかった。



図1．多発生圃場における発病株の状況（2015年7月8日撮影）

病害虫防除技術情報第12号

平成 27 年 7 月 15 日
三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシ第2世代幼虫を防除しましょ

- 1. 対象作物： チャ
- 2. 対象病害虫名： クワシロカイガラムシ第2世代幼虫
- 3. 発生状況
 - 有効積算温度による第2世代幼虫孵化最盛予測日（7月14日予測）は、四日市では7月18日（平成7月21日）、亀山市では7月18日（平成7月21日）、松阪市飯南町粥見では7月21日（平成7月21日）と予想されます（表）。
 - 県予察圃（亀山市7月14日）では、産卵雌率66%、孵化卵塊率2%程度の状況です。
 - 巡回調査圃場（7月第2週）では、雌成虫寄生採率24.1%（平成18.1%）と多い状況です。
- 4. 防除対策
 - (1) 孵化最盛日から2日～4日後頃が防除適期です。枝幹につく歩行型幼虫を確認して防除しましょ。
 - (2) この時期は上着天敵の活動が盛んになる時期ですので、天敵に影響の小さい薬剤を選択しましょ。

表 クワシロカイガラムシ第2世代幼虫孵化最盛予測日と防除適期（7月14日予測）

	孵化最盛予測日	平年比（日）	防除適期
四日市	7月18日	-3	7月20～22日
亀山	7月18日	-3	7月20～22日
粥見	7月21日	0	7月23～25日

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第14号

平成 27 年 9 月 18 日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウの発生に注意しましょう！

1. 対象作物：ダイズ、野菜類（イチゴ、トマト、アブラナ科野菜など）、花き類（キクなど）
2. 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
3. 発生状況と今後の予測
県庁菜園（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、8月第4半旬～9月第3半旬では1,743頭（平年871.7頭）と多い状況です（図）。
1か月予報（9月17日・名古屋地方気象台発表）によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みですが、日照時間は平年並または少ない傾向であり、気温は低い傾向から平年並に推移する見込みです。
このような状況から、ハスモンヨトウの発生に好適な条件であると考えられるため、注意が必要です。

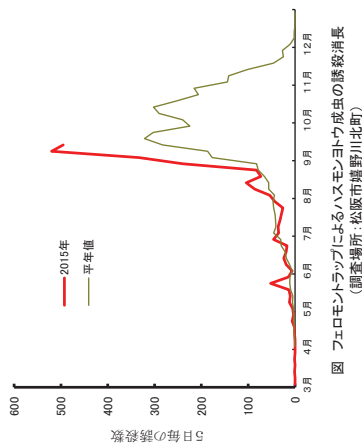


図 フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所: 松阪市嬉野川北町)

4. 防除対策
(1) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
(2) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
(3) 施設では、開口部に防虫ネットを張って、成虫の侵入や産卵を防止してください。
(4) ダイズでは、圃場をこまめに見回り、白変葉等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
(5) 野菜類では、育苗期や定植直後に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
(6) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、登録のある農薬で防除してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。



図2. 多発生圃場全景（2015年7月8日撮影）

4. 防除対策
(1) 圃場の点検を行い、発生を確認した場合は早急に防除して、病勢の進展および拡大を防ぎましょう。圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。
(2) 育苗箱施用を行った圃場でも、残効の低下を考慮して、発生状況を確認しましょう。
(3) 穂いもち防除は、出穂始めから穂揃い期に薬剤散布しましょう。
(4) 飼料用米などの普通期水稻は、これから最も葉色が濃くなり、発病しやすい時期となるので注意しましょう。
(5) Qol剤（ストロビルリン系殺菌剤）の使用は最大年1回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。
(6) Qol剤を使用したにもかかわらず、ずり込み症状などの発病があれば、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや、関係団体へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

(5) エチプロロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第15号

平成27年9月18日
三重県病害虫防除所

ダイズにおける吸害性カメムシ類の発生に注意しましょう！

- 1. 対象作物：ダイズ
- 2. 対象病害虫名：吸害性カメムシ類
(ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ)
- 3. 発生状況と今後の予測

近年、伊勢平垣地域ではミナミアオカメムシの発生が急増しており、ダイズの被害粒（子実の萎縮、変形、変色）や、青立ち症状の発生が著しく増加しています。

巡回調査（9月第2～3週）では、発生圃場率15.0%（平年23.8%）、寄生株率0.9%（平年1.9%）、寄生虫数0.9頭/25株（平年1.3頭/25株）と平年より少なくなっていますが、降雨等の影響で播種時期が遅れたことによる生育の遅れが一つの要因であると考えられます（表）。

1か月予報（9月17日・名古屋地方気象台発表）によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みですが、日照時間は平年並または少ない傾向であり、気温は低い傾向から平年並に推移する見込みです。

また、別報にて、ハスモンヨトウの発生が多い状況である旨お知らせしたところです。

このような状況から、吸害性カメムシ類とハスモンヨトウの両種について注意が必要です。

表 巡回調査圃場における吸害性カメムシ類の発生状況(2015年9月7日～15日調査)

地区	調査地点	調査月日	吸害性カメムシ類	
			寄生株率(%)	寄生虫数(頭/25株)
桑名	いなべ市大安町大井田	—	—	—
	四日市市江村町	9/10	1.0	0.3
	鈴鹿市下大久保	9/8	0.0	0.0
津	津市白山町川口	9/7	0.0	0.0
	松阪市藤之木町	9/11	1.0	1.3
	松阪市保津町	9/15	4.0	4.8
伊賀	伊賀市木興	9/15	0.0	0.0
	伊賀市千戸	9/15	0.0	0.0
	県全体	—	0.9	0.9
10年平均		—	1.9	1.3

- 4. 防除対策
 - (1) 薬剤散布は、①莢伸長期（開花20日後）と、②子実肥大中期（開花40日後）の2回散布を基本としてください。
 - (2) 莢伸長期から子実肥大中期に生育している圃場では、吸害性カメムシ類が集中するおそれがあり、注意が必要です。
 - (3) 2回散布ができない場合は、子実肥大初期（開花30日後）に薬剤散布してください。
 - (4) 吸害性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除が効果的です。

平成 27 年 11 月 19 日
三重県病害虫防除所

Qol剤(ストロビリン系殺菌剤)耐性イネいもち病菌が本年も確認されました。Qol剤を適切に使用するとともに、いもち病の基本的な防除対策を徹底しましょう。

1. 対象作物： 水稻（飼料用水稲を含む）
2. 対象病害虫名： イネいもち病
3. 三重県におけるQol剤耐性イネいもち病菌のモニタリング調査結果と発生状況
三重県農業研究所では、平成27年6月から8月に県内の17市町から採取したイネいもち病菌・603菌株に対して、薬剤添加培養地での感受性検定によるモニタリング調査を行いました。その結果、13菌株でQol剤耐性イネいもち病菌（以下、耐性菌）が確認されました。
昨年度は2地点において2病斑の耐性菌が、本年度は3地点において7病斑の耐性菌が確認された状況から、県内での耐性菌の発生は、一部の圃場、地域にとどまっており、Qol剤（表1）のいもち病防除効果は低下していないものと判断されます。
耐性菌は三重県以外ではこれまでに、九州地方から東海地方にかけての14府県（山口県、島根県、愛媛県、福岡県、佐賀県、大分県、宮崎県、熊本県、岡山県、兵庫県、京都府、滋賀県、岐阜県）と東北地方2県（秋田県、宮城県）で発生が確認されています。
今後の対策として、耐性菌をまん延させないためにQol剤を適切に使用するとともに、いもち病の基本的な防除対策を再度徹底しましょう。
4. イネいもち病防除におけるQol剤耐性イネいもち病菌の発生を防ぐための注意点
(1) Qol剤（表1）の使用は最大年1回までとし、採種圃場での使用禁止を再度徹底しましょう。
(2) 長期持続型Qol剤の育苗箱処理は、耐性菌の選抜を高める要因の一つとして考えられています。作用機構の異なる薬剤とのローテーションで使用するか、耐性菌の発生リスクが低い薬剤を選択しましょう（表2）。
(3) Qol剤を本田で使用する場合、多剤時の使用を避け、葉いもちに対しては初発前あるいは発生初期に、穂いもちに対しては薬剤の使用適期に散布しましょう。
(4) いもち病防除の基本となる防除対策を再度徹底しましょう（種子更新を行ひ、健全な種子を使用する、塩水選や種子消毒を確実に行う、伝染源となるわらや籾を育苗ハウス内に放置しない、補植用の置き苗は早めに処分する、など）。
(5) 以上の取り組みを地域一体となって実施しましょう。
(6) Qol剤で防除したにもかかわらず、効果が著しく低かった場合は、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや関係団体へ御連絡ください。

表1 イネいもち病を対象としたQol剤
※最大年1回の使用としましょう。

殺菌剤の グループ	耐性菌の 発生リスク	有効成分名		商品名の例
		高	アゾキシストロビン	
			オリサストロビン	
			メトミノストロビン	
菌11 (Qol剤)				アミスター 嵐 イモチエース、イモチミン、オリブライト、オリザトップ

表2 イネいもち病を対象としたQol剤以外の農薬

※耐性菌の発生を防ぐため、作用機構の異なるグループでのローテーションで使用しましょう。

殺菌剤の グループ	耐性菌の 発生リスク	有効成分名	商品名の例
菌P (抵抗性 誘導剤)	耐性菌 未発生	プロベンゾノール	オリゼメート、Dr.オリゼ、ピルダール、ジャッジ
		チアジニール	ブイダット、アブライ
		インチアニル	ルーチン、スタウト、ツインターボ
		トリシクラゾノール	ビーム、ラテラ
菌16.1	耐性菌 未発生	ピロキロン	コラトップ
		フサライド	ラブサイド
菌U14	耐性菌 未発生	フェリムゲン	(フサライドとの混合剤) ブラシン、 (トリシクラゾノールとの混合剤) ノンプラス
		IBP	キタジンP
菌6	低～中	インプロチオラン	アジワン、(ピロキロンとの混合剤) ピカピカ、フジトップ
菌24	中	カスガマイシン	カスミン、(トリシクラゾノールとの混合剤) ダブルカット
菌1	高	チオファネートメチル	トップジンM
		ベノミル	ペンレート

FRAC Code List(2012年2月現在) による分類。平成27年版 三重県病害虫防除の手引きを参照。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第17号

平成 28 年 1 月 14 日
三重県病害虫防除所

イチゴのハダニ類が増加しています！
発生密度が高くないうちに薬剤散布を行ってください。

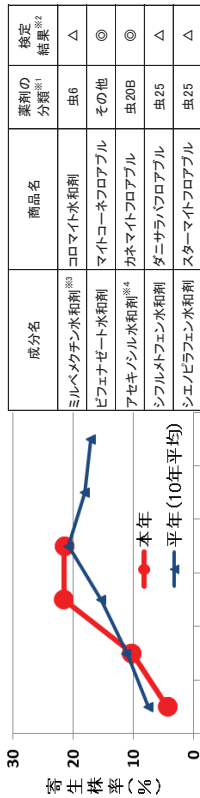
- 1. 対象作物：イチゴ
- 2. 病害虫名：ハダニ類
- 3. 発生状況：例年より早くから密度の高い状況が続いています。

(1)巡回調査時点における定点は場では、防除の実施や天敵の放飼により、発生状況は平年並となりましたが(図)、生存虫が少なからず認められ、今後さらに増加の恐れがあります。

(2)一般圃場においては、発生量は平年より多い状況です。

(3)1 か月予報(1 月 7 日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう 1 ヶ月の平均気温の高い確率は 50%と予想されており、ハダニ類の発生に好適な条件が続くと考えられるため、引き続き注意が必要で

表 イチゴのナミハダニに対する薬剤感受性検定試験結果
(三重県農業研究所)



※1 平成 26 年版 三重県病害虫防除の手引きを参照。
※2 圃成虫の捕正死亡率が 65% 以上の検定事例数の割合(%)を算出し、その割合が 75% 以上: ◎、50% 以上 75% 未満: △、25% 未満: × とした。
※3 ミルベメクタンは天敵(チリカブリダニ、ミヤコカブリダニ)への影響に注意する。
※4 アセキジフル水和剤は葉裏(葉裏の黄色)に注意する。

4. 防除上の注意事項

- (1)現在発生が少ない場合でも、多発すると防除が難しくなります。圃場全体をよく観察し、発生密度の低いうちに薬剤散布を行ってください。
- (2)薬剤散布前には下葉を整理し、葉裏にもかかるよう丁寧に散布してください。
- (3)ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすく、同一系統薬剤の連用により薬剤感受性が低下する恐れがあります。県内においても、薬剤に対して感受性が低下した個体群が確認されています(表)。
- (4)薬剤の防除効果が低い場合は、薬剤に対して感受性が低下していることが考えられるので、気門封鎖剤や天敵(カブリダニ類)を活用してください。
- (5)ハダニ類の密度が高い状況で天敵を導入する場合は、薬剤防除(気門封鎖剤または天敵に影響が小さい薬剤)で一旦ハダニ類の密度を下げた後で導入してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

Ⅳ 事業関係の試験成績

1. 診断対策

(1) 灰色かび病の薬剤感受性検定

担 当: 三重県農業研究所農産物安全安心研究課
調査作物: トマト、イチゴ、キュウリ、ナス

FRAC コード	農薬名	検定結果	検定方法	防除効果	備考
11	アゾキシストロビン剤 (Qol殺菌剤)	耐性菌 33.1% 感受性菌 61.1%	100ppmの薬剤とSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃72時間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑の大きさが60%以上の菌株を耐性菌として判定した。	感受性菌が多いものの耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	8地域46地点における 果実・茎・葉の標微部か ら分離した175菌株の 検定結果
11	ピリベンカルブ剤 (Qol殺菌剤)	弱耐性菌 33.1% 感受性菌 61.1%	アゾキシストロビン剤耐性菌であり、かつピリベンカルブ100ppmとSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃72時間培養後の菌糸生育抑制率80%以上の菌株を弱耐性菌として判定した。	感受性菌が多いものの弱耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	
9	メバニピリム剤 (アニリノピリミジン系)	耐性菌 6.3% 感受性菌 92.6%	3ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が50%以下のものを耐性菌、実用濃度で50%より高いが1/10濃度で抑制率が80%未満の菌株を感受性低下菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	8地域46地点における 果実・茎・葉の標微部か ら分離した176菌株の 検定結果
17	フェンヘキサミド剤 (ヒドロキシアニリド系)	再検定 11.4% 感受性菌 88.1%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育の有無により判定した。	感受性菌が多いことから、防除効果は高いと考えられる。	
17	フェンピラザミン剤 (ヒドロキシアニリド系)	再検定 11.4% 感受性菌 88.1%	2ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育の有無により判定した。	感受性菌が多いことから、防除効果は高いと考えられる。	8地域46地点における 果実・茎・葉の標微部か ら分離した177菌株の 検定結果
7	ボスカリド剤 (SDHI系)	感受性低下菌 14.1% 感受性菌 79.7%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を感受性低下菌と判定した。	わずかに感受性低下菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
7	ペンチオピラド剤 (SDHI系)	感受性低下菌 7.3% 感受性菌 86.4%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を感受性低下菌と判定した。	わずかに感受性低下菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
防除対策 前提条件					
①換気、暖房、循環扇等を利用し、湿度を高めないことで、感染に適した環境にしない ②着果後の花卉の除去、わき芽かきの傷跡を大きくしない、葉先枯れする管理をしない等、感染場所をつくらない ③被害茎葉や果実を施設外に出すことで、施設内の伝染源を徹底除去する(多発後困難、初発前に行なう)					
薬剤防除					
①耐性菌の確認されていない薬剤を使用する ②耐性菌の出現を避けるため、薬剤の選定にあたっては、系統の異なるものをローテーション散布する ③灰色かび病の発生前から予防的に散布する ④初発がみられたら直ちに散布する ⑤葉かび、すすかび病発生の予測される場合は、葉かび、すすかび病に登録のある薬剤を散布する ⑥生物農薬(バチルスズブチリス)のダクト散布は発病予防を期待するものであり、発病時は化学農薬を散布する					

表 1 供試薬剤別採取地域ごとの感受性検定の結果

FRAC コード	供試薬剤	判定	木曽岬	長島	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	全体	(2014年)
1	チオファネートメチル剤	HR	100%	33.3%	57.1%	50%	100%	50%	100%	65.3%	－
		MR	0%	1.9%	0%	0%	0%	0%	0%	0.6%	－
		S	0%	64.8%	42.9%	50%	0%	50%	0%	34.1%	－
10	ジエトフェンカルブ剤	HR	0%	5.6%	42.9%	50%	0%	50%	0%	15.9%	－
		WR	100%	88.9%	0%	47.5%	100%	50%	75%	77.3%	－
		S	0%	5.6%	57.1%	2.5%	0%	0%	25%	6.8%	－
2	イプロジオン剤	MR	6.8%	22.2%	42.9%	12.5%	9.1%	0%	37.5%	17.0%	(23.6%)
		S	93.2%	77.8%	57.1%	87.5%	90.9%	100%	62.5%	83.0%	(76.4%)
12	フルジオキシニル剤	LS	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	(2.2%)
		再検定	2.3%	0%	57.1%	7.5%	9.1%	0%	0%	5.1%	(.0%)
		S	97.7%	100%	42.9%	92.5%	90.9%	100%	100%	94.9%	(97.8%)
検定菌株数			44	54	7	40	11	4	16	176	182
11	アゾキシストロビン剤	R	29.5%	26.4%	28.6%	32.5%	45.5%	50%	56.3%	33.1%	(27.6%)
		再検定	2.3%	0%	0%	0%	36.4%	0%	31.3%	5.7%	(1.7%)
		S	68.2%	73.6%	71.4%	67.5%	18.2%	50%	12.5%	61.1%	(70.7%)
11	ピリベンカルブ剤	WR	29.5%	26.4%	28.6%	32.5%	45.5%	50%	56.3%	33.1%	(28.2%)
		再検定	2.3%	0%	0%	2.5%	36.4%	0%	31.3%	6.3%	(1.1%)
		S	68.2%	73.6%	71.4%	65.0%	18.2%	50%	12.5%	60.6%	(70.7%)
検定菌株数			44	53	7	40	11	4	16	175	181
9	メバニピリム剤	R	0%	0%	28.6%	17.5%	9.1%	25.0%	0%	6.3%	(8.3%)
		再検定	0%	0%	14.3%	2.5%	0%	0%	0%	1.1%	(1.1%)
		S	100%	100%	57.1%	80%	90.9%	75.0%	100.0%	92.6%	(89.4%)
17	フェンヘキサミド剤	再検定	2.3%	1.8%	71.4%	30%	0%	25.0%	0%	11.4%	(19.4%)
		S	97.7%	98.2%	28.6%	67.5%	100%	75.0%	100%	88.1%	(80.6%)
17	フェンピラザミン剤	再検定	2.3%	1.8%	71.4%	30%	0%	25.0%	0%	11.4%	－
		S	97.7%	98.2%	28.6%	67.5%	100%	75.0%	100%	88.1%	－
検定菌株数			43	55	7	40	11	4	16	176	180
7	ボスカリド剤	LS	34.1%	7.3%	28.6%	5%	0%	0%	12.5%	14.1%	(12.2%)
		再検定	13.6%	5.5%	0%	0%	0%	0%	12.5%	6.2%	(.6%)
		S	52.3%	87.3%	71.4%	95%	100%	100%	75%	79.7%	(87.3%)
7	ベンチオピラド剤	LS	18.2%	5.5%	0%	5.0%	0%	0%	0%	7.3%	(5.5%)
		再検定	15.9%	5.5%	0%	0%	0%	0%	6.3%	6.2%	(.6%)
		S	65.9%	89.1%	100%	95%	100%	100%	93.8%	86.4%	(93.9%)
検定菌株数			44	55	7	40	11	4	16	177	181

※R: 耐性菌 MR: 中程度耐性菌 WR: 弱耐性菌 LS: 感受性低下菌 S: 感受性菌
R、MRは防除効果が劣る恐れあり、WR、LSは実用上問題ないが注意が必要、Sは問題なし
※再検定: 薬剤添加培地で生育した菌

表2 供試薬剤別作目毎の感受性検定の結果

FRAC コード	供試薬剤	判定	トマト	イチゴ	キュウリ	ナス	全体	(2014年)
1	チオファネートメチル剤	HR	67.8%	48.8%	100%	100%	65.3%	－
		MR	0.8%	0%	0%	0%	0.6%	－
		S	31.4%	51.2%	0%	0%	34.1%	－
10	ジエトフェンカルブ剤	HR	5.0%	51.2%	0%	0%	15.9%	－
		WR	89.3%	37.2%	100%	100%	77.3%	－
		S	5.8%	11.6%	0%	0%	6.8%	－
2	イプロジオン剤	MR	17.4%	18.6%	0%	12.5%	17.0%	(23.6%)
		S	82.6%	81.4%	100%	87.5%	83.0%	(76.4%)
12	フルジオキシニル剤	LS	0%	0%	0%	0%	0%	(2.2%)
		再検定	3.3%	11.6%	0%	0%	5.1%	(.0%)
		S	96.7%	88.4%	100%	100%	94.9%	(97.8%)
検定菌株数			121	43	4	8	176	182
11	アゾキシストロビン剤	R	33.3%	37.2%	25%	12.5%	33.1%	(27.6%)
		再検定	4.2%	2.3%	75%	12.5%	5.7%	(1.7%)
		S	62.5%	60.5%	0%	75.0%	61.1%	(70.7%)
11	ピリベンカルブ剤	WR	33.3%	37.2%	25%	12.5%	33.1%	(28.2%)
		再検定	4.2%	4.7%	75%	12.5%	6.3%	(1.1%)
		S	62.5%	58.1%	0%	75%	60.6%	(70.7%)
検定菌株数			120	43	4	8	175	181
9	メパニピリム剤	R	0%	25.6%	0%	0%	6.3%	(8.3%)
		再検定	0%	4.7%	0%	0%	1.1%	(1.1%)
		S	100%	69.8%	100%	100%	92.6%	(89.4%)
17	フェンヘキサミド剤	再検定	4.1%	34.9%	0%	0%	11.4%	(19.4%)
		S	95.9%	62.8%	100%	100%	88.1%	(80.6%)
17	フェンピラザミン剤	再検定	4.1%	34.9%	0%	0%	11.4%	(19.4%)
		S	95.9%	62.8%	100%	100%	88.1%	(80.6%)
検定菌株数			121	43	4	8	176	180
7	ボスカリド剤	LS	17.2%	9.3%	0%	0%	14.1%	(12.2%)
		再検定	8.2%	0%	0%	12.5%	6.2%	(.6%)
		S	74.6%	90.7%	100%	87.5%	79.7%	(87.3%)
7	ペンチオピラド剤	LS	9%	4.7%	0%	0%	7.3%	(5.5%)
		再検定	9%	0%	0%	0%	6.2%	(.6%)
		S	82%	95.3%	100%	100%	86.4%	(93.9%)
検定菌株数			122	43	4	8	177	181

※R: 耐性菌 HR: 高度耐性菌 MR: 中程度耐性菌 WR: 弱耐性菌 LS: 感受性低下菌 S: 感受性菌
R、HR、MRは防除効果が劣る恐れあり、WR、LSは実用上問題ないが注意が必要、Sは問題なし

※再検定: 薬剤添加培地で生育した菌

灰色かび病菌に対する各種殺菌剤の感受性検定結果

2015年4月菌株採集、6月検定
農業研究所農産物安全安心研究課

FRAC コード	検定薬剤	該当する薬剤
1	チオファネートメチル剤(メチルベンゾイミダゾールカーバメート系)	トップジンM水和剤、ゲッター水和剤
10	ジエトフェンカルブ剤(N-フェニルカーバメート系)	ゲッター水和剤
2	イプロジオン剤(ジカルボキシイミド系)	ロブラール水和剤、スミレックス水和剤
12	フルジオキシニル剤(フェニルピロール系)	セイビアーフロアブル20
11	アゾキシストロビン(QoI殺菌剤)	アミスター20フロアブル
11	ピリベンカルブ(QoI殺菌剤)	ファンタジスタ顆粒水和剤
9	メパニピリム剤(アニリノピリミジン系)	フルピカフロアブル
17	フェンヘキサミド剤(ヒドロキシアニリド系)	ダイヤモンド水和剤、ジャストミート顆粒水和剤
17	フェンピラザミン剤(ヒドロキシアニリド系)	ピクシオDF
7	ボスカリド剤(SDHI剤)	カンタスドライフロアブル
7	ペンチオピラド剤(SDHI剤)	アフエットフロアブル

R: 耐性菌、薬剤の防除効果が劣る菌
 HR: 高度耐性菌、薬剤の防除効果が劣る菌
 MR: 中程度耐性菌、薬剤の防除効果がやや劣る菌
 WR: 弱耐性菌、実際の防除場面で効果あり
 LS: 低感受性菌、感受性菌より高濃度で防除効果有り
 S: 感受性菌、薬剤の防除効果が認められる菌
 再検定: 薬剤添加培地で生育した菌

津市

地域	FRAC コード	1	10	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
	殺菌剤 作物	チオファ ネートメチル	ジエトフェン カルブ	イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロビン	ピリベン カルブ	メパニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ボスカリド	ペンチオ ピラド	
津1	イチゴ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	胞子形成不良
		HR	S	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	再	S	S	S	再	再	S	S	
津2	イチゴ	HR	S	MR	再	R	WR	R	S	S	LS	S	
		HR	S	MR	再	R	WR	R	S	S	LS	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		HR	S	MR	再	S	S	再	再	再	S	S	

木曽岬町

地域	FRAC コード	1	10	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
	殺菌剤 作物	チオファ ネートメチル	ジエトフェン カルブ	イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロビン	ピリベン カルブ	メパニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ボスカリド	ペンチオ ピラド	
木曽岬10	トマト	HR	WR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
木曽岬11	トマト	HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	LS	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	再	再	
		HR	WR	S	S	S	S	-	-	-	S	S	
		HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	

桑名市

地域	FRAC コード 殺菌剤 作物	1	10	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
		チオファ ネートメチル	ジエトフェン カルブ	イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロビン	ピリベン カルブ	メパニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ボスカリド	ベンチオ ピラド	
長島1	トマト	HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	再	S	
		HR	HR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	HR	MR	S	R	WR	S	再	再	LS	LS	
長島2	トマト	HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	LS	再	
		HR	S	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
長島3	トマト	HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
長島4	トマト	HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	S	S	再	再	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
長島5	トマト	S	WR	S	S	S	S	S	S	S	再	再	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
長島6	トマト	S	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
長島7	トマト	S	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	-	-	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
長島8	トマト	S	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	胞子形成不良
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		-	-	-	-	-	-	S	S	S	S	S	菌糸生育不良
長島9	トマト	S	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
長島10	トマト	S	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
長島11	トマト	S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
長島12	トマト	S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	HR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
長島13	トマト	S	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
長島14	トマト	HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	LS	LS	
		HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	LS	LS	

松阪市

地域	FRAC コード	1	10	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
	殺菌剤 作物	チオファ ネートメチル	ジエトフェン カルブ	イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロビン	ピリベン カルブ	メパニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ボスカリド	ペンチオ ピラド	
松阪1	イチゴ	S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
松阪2	トマト	HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	再	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	再	R	WR	S	S	S	S	S	
松阪3	イチゴ	HR	WR	S	S	R	WR	R	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	再	S	S	S	S	S	
松阪4	イチゴ	HR	WR	MR	S	R	WR	R	S	S	LS	LS	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		HR	WR	S	S	R	WR	R	-	-	S	S	
		HR	WR	S	S	R	WR	再	S	S	S	S	
松阪5	トマト	S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		HR	WR	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
松阪6	イチゴ	S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		HR	WR	S	再	R	WR	S	S	S	S	S	
松阪7	トマト	HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
松阪8	イチゴ	S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	MR	S	R	WR	R	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
松阪9	イチゴ	S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	LS	LS	
		S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
松阪10	イチゴ	S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	MR	S	R	WR	R	S	S	S	S	
		HR	S	S	S	R	WR	R	S	S	S	S	
		HR	WR	MR	S	R	WR	R	S	S	S	S	

伊賀市

地域	FRAC コード	1	10	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
	殺菌剤 作物	チオファ ネートメチル	ジエトフェン カルブ	イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロビン	ピリベン カルブ	メパニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ボスカリド	ペンチオ ピラド	
伊賀1	イチゴ	HR	WR	S	S	R	WR	R	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	

伊勢市

地域	FRAC コード	1	10	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
	殺菌剤 作物	チオファ ネートメチル	ジエトフェン カルブ	イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロビン	ピリベン カルブ	メパニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ボスカリド	ベンチオ ピラド	
伊勢1	トマト	HR	WR	S	再	R	WR	S	S	S	S	S	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	-	-	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
伊勢2	イチゴ	HR	WR	MR	S	R	WR	R	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	再	再	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
伊勢3	キュウリ	HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	再	再	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	再	再	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	再	再	S	S	S	S	S	
伊勢4	イチゴ	S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	HR	S	S	S	S	S	再	再	S	S	

紀州

地域	FRAC コード	1	10	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
	殺菌剤 作物	チオファ ネートメチル	ジエトフェン カルブ	イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロビン	ピリベン カルブ	メパニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ボスカリド	ベンチオ ピラド	
紀州1	トマト	HR	WR	MR	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	MR	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	MR	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	MR	S	再	再	S	S	S	S	S	
紀州2	トマト	未発生											
紀州3	トマト	HR	S	S	S	R	WR	S	S	S	再	S	
		HR	S	S	S	R	WR	S	S	S	再	再	
		HR	S	S	S	R	WR	S	S	S	LS	S	
		HR	S	S	S	R	WR	S	S	S	LS	S	
紀州4	トマト	HR	WR	MR	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		HR	WR	MR	S	再	再	S	S	S	S	S	
紀州5	トマト	HR	WR	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	再	再	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	再	再	S	S	S	S	S	
		HR	WR	S	S	再	再	S	S	S	S	S	

(2)ミカンハダニの薬剤感受性検定

担 当: 三重県農業研究所紀南果樹研究室

供試薬剤名	商品名	希釈倍率	補正死虫率(%)	補正死卵率(%)
ミルベメクチン水和剤	コロマイト水和剤	× 2,000	100.0	93.1
アセキノシル水和剤	カネマイトフロアブル	× 1,000	100.0	81.0
ピリダベン水和剤	サンマイト水和剤	× 2,000	81.7	72.9
スピロジクロフェン水和剤	ダニエモンフロアブル	× 4,000	41.9	54.0
シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	スターマイトプラスフロアブル	× 1,000	82.1	96.1
エトキサゾール水和剤	バロックフロアブル	× 2,000	16.1	93.8
BPPS水和剤	オマイト水和剤	× 750	88.1	45.3
ヘキシチアゾクス水和剤	ニッソラン水和剤	× 2,000	49.2	78.0
ビフェナゼート水和剤	マイトコーネフロアブル	× 1,000	75.4	87.1
スピロメシフェン水和剤	ダニゲッターフロアブル	× 2,000	31.3	100.0
ピフルブミド水和剤	ダニコングフロアブル	× 2,000	100.0	97.0

※補正死虫率＝(蒸留水区の生存虫率-処理区の生存虫率)/蒸留水区の生存虫率×100

補正死卵率＝(蒸留水区のふ化卵率-処理区のふ化卵率)/蒸留水区のふ化卵率×100

※調査日

実用濃度;10/8(薬剤処理24時間後)

殺卵試験;10/23(10/15に産卵された卵に10/16に薬剤処理し、7日後)

<試験方法概要>

サンプル採取場所	三重県紀南果樹研究室圃場 24号圃(セミノール、慣行)
方 法	成虫感受性 寒天培地の上に、約3cm角に切ったカンキツの葉(無防除区)を乗せ、周囲に逃亡防止の蒸留水を薄く撒いた。そこに、露地慣行区から採取した雌成虫を20頭接種して薬剤を散布し、25℃、16時間明期・8時間暗期(高温長日条件)で飼育した。24時間後に生存・苦悶・死亡虫数を調査した。 卵感受性 成虫感受性試験と同様にディスクを作り、露地慣行区から採取した雌成虫を20匹接種して高温長日条件で飼育し産卵させた。24時間後に雌成虫を取り除いて薬剤を散布し、同様の条件下で飼育した。7日後に幼虫数と死卵数を調査した。

V 農薬の指導に関する業務

1. 農薬危害防止対策

農薬の適正な使用を促すとともに使用に係る事故を防止するため、農薬危害防止運動の実施と農薬取締法に基づきゴルフ場等農薬使用者に対して農薬安全使用パトロール等を実施し、農薬の適正使用と使用簿、施錠、保管管理の徹底等について指導した。

農薬取扱業者に対しては、農薬管理指導士の育成と資質向上を図るため、農薬管理指導士特別研修会を開催し農薬を取り巻く法律、情勢、安全使用の基本的事項について解説した。また、県内外農薬関係者、農業者等を対象として、植物防疫技術研修会を開催し三重県農業における病虫害発生に関するトピックスを講演し、農薬使用を含めた効率防除について啓発を行った。

農薬の危害防止、農薬使用の適正指導、総合防除の推進を図るため、正確かつ適正な情報を、農薬使用の指導者向けに提供するため、指導機関向けに「三重県病虫害防除の手引き」を作成配布提供した。農水省植物防疫課、日本植物防疫協会から提供される使用制限のある変更登録情報は、電子メール、FAXにより県内の農薬流通業者へ提供するとともに、県庁内関係者には、病虫害防除所イントラネットホームページに掲載し、最新の登録情報とともに情報共有を図った。

(1) 農薬危害防止運動の実施

①実施期間 平成 27 年 6 月 1 日～8 月 31 日までの 3 か月間

②実施内容 「三重県農薬適正使用啓発強化運動」として、各市町等の関係機関に「農薬の適正使用」についてのパンフレット等を配布し、本運動の啓発宣伝を行った。農薬取扱者へは農薬の保管管理方法及びポジティブリスト制度に伴う危被害防止について、研修会、講習会で啓発した。

(2) 農薬安全使用講習会の開催状況

項 目	時期 開催場所	内 容	対象者
農薬管理指導士特別研修(新規)	12/21～22 津市	関係法令、農薬安全使用、危害防止等	農薬販売者、農薬使用者、農薬管理責任者
植物防疫技術研修会	2/2 松阪市	農薬適正使用の推進について キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統について	病虫害防除員等
農薬安全使用等講習会	11/27 津市	本年度の病虫害発生概況について	農薬販売者等

(3) ゴルフ場の調査点検実施状況

ゴルフ場の維持管理に関する指導要綱及びゴルフ場の調査・点検・パトロール実施要領に基づき、下記ゴルフ場における農薬使用状況や保管管理状況等について、調査・点検を行った。

調査・点検年月日	ゴルフ場名	所在地
平成27年10月23日	榊原温泉ゴルフ倶楽部 CRC 三重フェニックスゴルフコース 伊勢湾カントリークラブ	津市榊原町ソヤ谷 1538 松阪市嬉野滝之川町 354 津市白山町川口 5652
平成27年10月27日	富士 OGM エクセレントクラブ伊勢二見コース 松阪カントリークラブ	伊勢市朝熊町字鴨谷 4383-82 松阪市下村町 2160
平成27年10月29日	メナードカントリークラブ青山コース ザ・サードプレースカントリークラブ CRC 三重白山ゴルフコース 伊勢中川カントリークラブ	伊賀市霧生 2356 津市美杉町竹原 4095 津市白山町川口 4907 津市一志町井生 1743-2

(調査・点検項目)

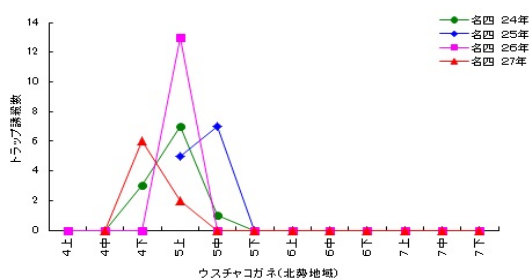
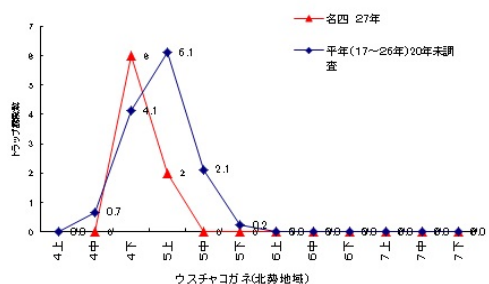
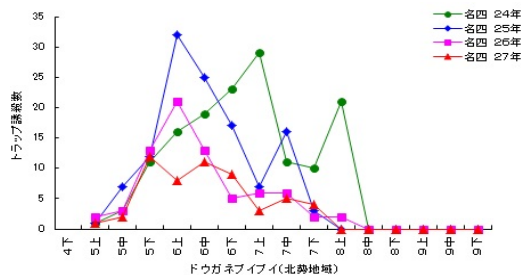
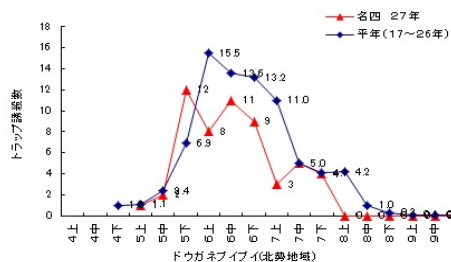
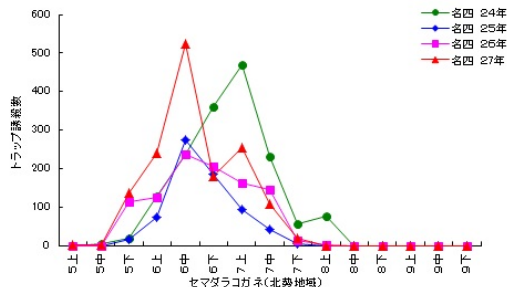
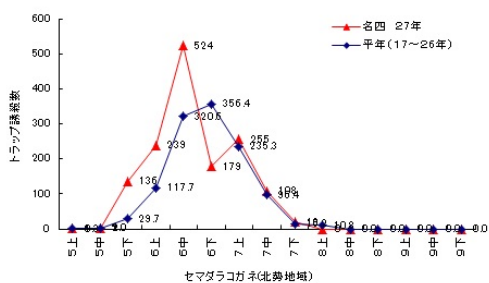
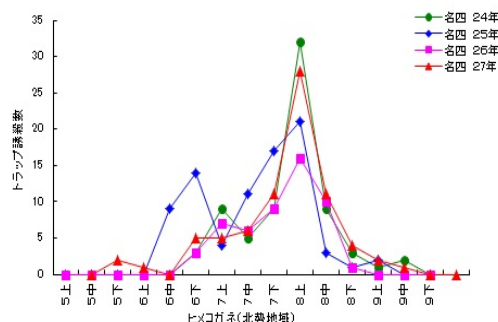
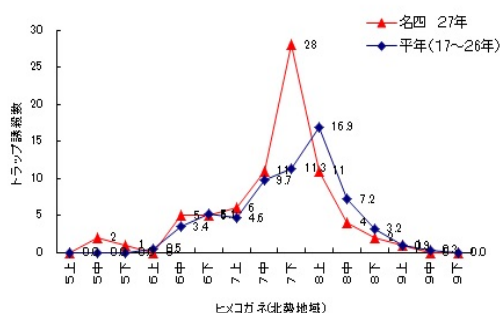
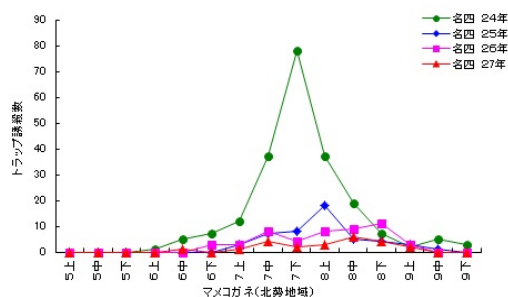
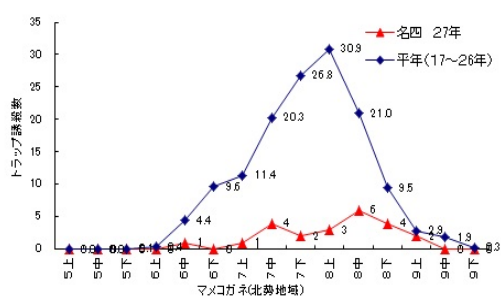
- 1.帳簿(作業日報、農薬台帳等)の整理状況
- 2.農薬の使用状況
- 3.危害防止対策、
- 4.病虫害雑草安全防除指針の遵守状況
- 5.農薬の保管管理の状況

(調査・点検結果の概要)

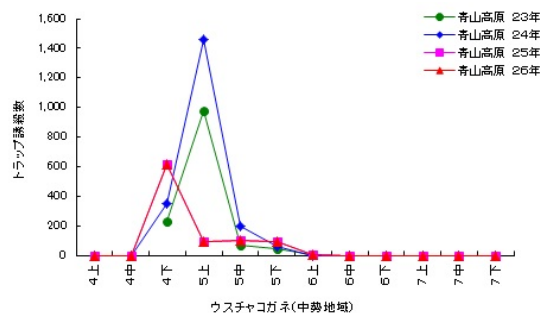
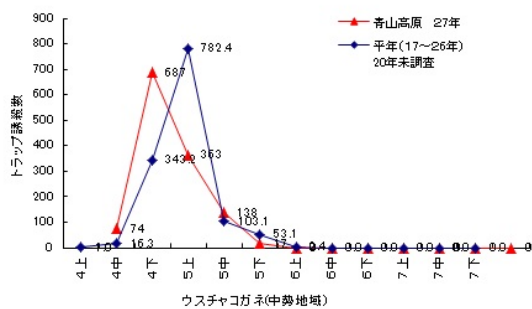
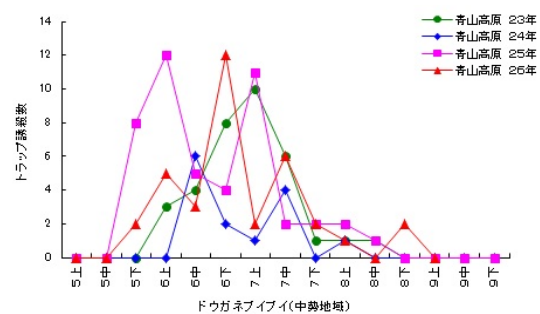
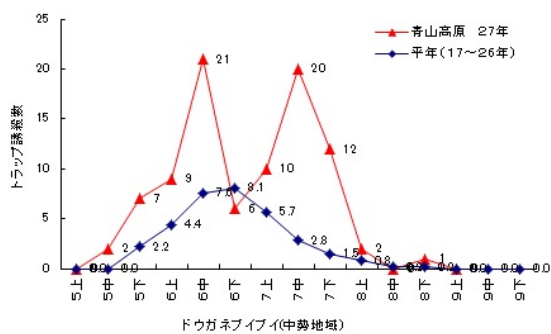
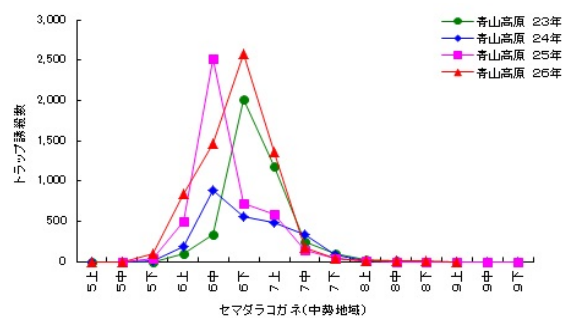
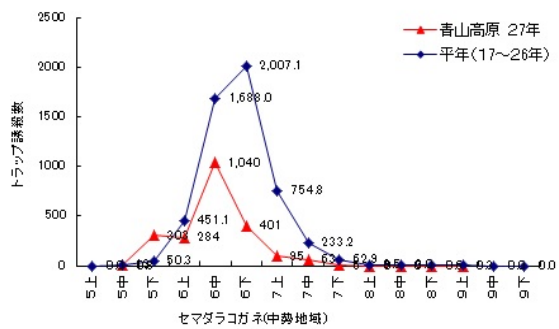
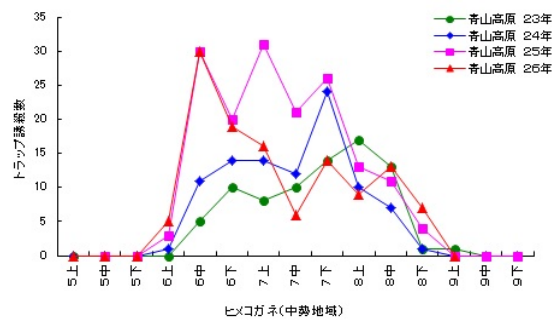
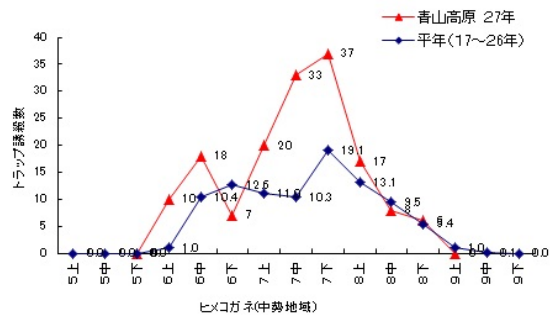
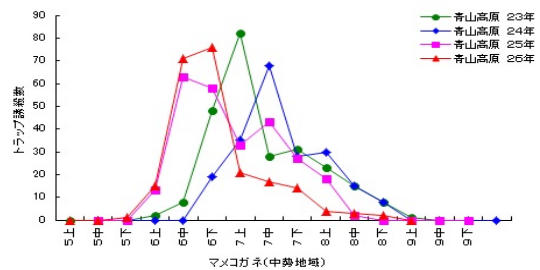
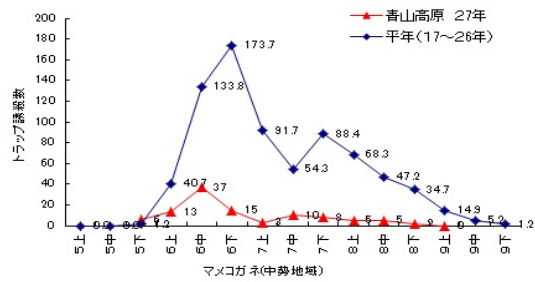
期限切の農薬が保管されたままになっているなどの若干の不備は認められたものの、概ね適正に管理されていた。

(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況

北勢地域



中勢地域



2.産業用無人ヘリコプターによる防除

防除内容	散布地域	総散布面積(ha)	
		合 計	
水稻病害虫	県下全域	前年実績	9826.3
		前年対比(%)	9879.5
			99.5
水稻雑草	北勢地域	合 計	2.0
		前年実績	11.1
		前年対比(%)	18.0
麦赤かび病	県下全域	合 計	1755.7
		前年実績	1680.2
		前年対比(%)	104.5
大豆病害虫	県下全域	合 計	624.9
		前年実績	815.1
		前年対比(%)	76.7
ゴルフ場松くい虫	北勢地域	合 計	32.0
		前年実績	32.0
		前年対比(%)	100.0
その他	北勢・南勢地域	合 計	133.2
		前年実績	0.9
		前年対比(%)	14797.8

VI 各種データ

1. トラップ等データ

(1) 予察灯

a 県予察灯・水田設置(松阪市嬉野川北町; 60ワット白熱灯)

水田 2015年	ツマ グロヨ コバイ	イナズ マヨコ バイ	ヒメト ビウン カ	セジロ ウンカ	トビイ ロウン カ	イネミ ズゾウ ムシ	ホソハ リカメ ムシ	シラホ シカメ ムシ	イネカ メムシ	イネク ロカメ ムシ	クモヘ リカメ ムシ	アカヒ ゲホソ ミドリ カスミ カメ	アカス ジカス ミカメ	ニカメ イガ	コブノ メイガ	フタオ ビコヤ ガ	アワヨ トウ	イチモ ンジカ メムシ	クサギ カメム シ	ホソヘ リカメ ムシ	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2015年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	0
15日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	12	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	3	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0
14日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0
16日	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2015年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
7月1日	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	2	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	0	2	0
11日	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
12日	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
13日	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	20	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	12	0
19日	0	0	0	0	0	22	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	19	0	22	0
20日	0	1	0	0	0	9	0	0	0	0	0	3	5	0	0	1	0	0	2	0	1	0
21日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	0	1	0
22日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	13	0	6	0
24日	1	2	2	0	0	6	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	4	0	4	0
25日	0	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0
26日	0	5	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5	0	2	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	2	0	3	0	0	0
29日	0	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	4	0	1	0
30日	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0
31日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8月1日	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	8	2	0	1	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	3	0
3日	0	1	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0
6日	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	4	0	1	0	4	0
7日	0	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0
8日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	5	2	0	0	0	0	0
11日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	3	0	0	0	0	0
12日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	2	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	4	3	0	0	0	1	0
14日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0	4
15日	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	2
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	3	0	0	0	2	0
17日	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	2	2	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	5	0	1	1	0	0	0	0	0
19日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	3	8	0	4	5	0	0	0	2	0
21日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0
26日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
30日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0
31日	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0

水田 2015年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
9月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
2日	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	4	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
4日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0
5日	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	4	0	0	0	0	0
6日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	16	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	6	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
12日	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
19日	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
20日	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
21日	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
22日	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
23日	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b 県予察灯・畑地設置(松阪市嬉野川北町: 100ワット水銀灯)

[illegible]

畑地 2015年	畑予察灯(畑)															畑予察灯(水田)															
	ア オ ク サ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	ホ ソ ヘ リ カ メ ム シ	ホ ソ ハ リ カ メ ム シ	イ チ モ ン ジ カ メ ム シ	イ ネ ク ロ カ メ ム シ	シ ラ ホ シ カ メ ム シ	ド ウ ガ ネ ブ イ ブ イ	ク ロ コ ガ ネ	ビ ロ ウ ド コ ガ ネ 類	コ フ キ コ ガ ネ	ヒ メ コ ガ ネ	ア オ ド ウ ガ ネ	ヒ メ サ ク ラ コ ガ ネ	サ ク ラ コ ガ ネ	ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ	ヒ メ ト ビ ウ ン カ	セ ジ ロ ウ ン カ	ト ビ イ ロ ウ ン カ	イ ナ ズ マ ヨ コ バ イ	イ ネ ミ ズ ン ウ ム シ	イ ネ カ メ ム シ	ア カ ヒ ゲ ホ ソ ミ ド リ カ ス ミ カ メ	ア カ ス ジ カ ス ミ カ メ	ク モ ヘ リ カ メ ム シ	ヒ メ ホ ソ ミ ド リ カ ス ミ カ メ	イ ネ ク ロ カ メ ム シ (畑と重複)	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	
6月1日	0	8	0	0	0	0	0	9	0	1	0	0	0	0	7	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	9	1	
2日	0	10	1	2	0	0	0	17	0	1	0	0	0	0	11	1	1	2	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	17	0	
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4日	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9日	0	9	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	14	0	2	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	
10日	0	188	6	4	0	0	0	1	0	8	7	1	0	2	4	1	5	31	0	0	0	0	1	0	1	3	0	0	1	0	
11日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	5	18	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
12日	0	98	14	6	0	0	0	11	7	8	0	0	0	0	13	0	5	93	3	0	0	0	0	23	8	0	0	0	11	3	
13日	0	147	41	7	0	2	0	6	3	4	4	3	0	3	14	1	8	70	5	0	0	0	0	19	3	0	0	0	6	0	
14日	0	10	6	1	0	0	0	0	0	1	3	3	1	1	12	0	4	5	12	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
15日	0	110	18	4	0	0	0	9	4	8	8	0	1	4	7	0	11	48	12	0	0	0	0	19	21	0	0	0	9	1	
16日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	8	0	6	62	2	0	0	0	0	33	8	0	0	0	0	0	
17日	0	5	1	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	30	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19日	0	7	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	
20日	0	4	0	2	0	0	0	2	0	4	2	0	1	0	3	0	3	47	0	0	0	0	0	4	7	0	0	0	2	2	
21日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	4	78	0	0	0	0	0	6	8	0	0	0	0	2	
22日	0	13	2	0	0	0	0	1	0	7	0	2	0	1	5	0	4	92	6	0	0	0	0	5	14	0	0	0	1	1	
23日	0	25	4	1	0	0	0	2	0	12	0	0	0	3	10	0	4	106	12	0	0	0	0	5	21	0	0	0	2	0	
24日	0	11	4	3	0	0	0	1	1	8	3	5	1	2	15	0	3	177	13	0	0	0	3	10	58	0	0	0	1	0	
25日	0	32	2	10	0	1	0	1	0	7	0	4	0	2	3	0	2	167	15	0	0	0	3	6	36	0	0	0	1	0	
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	9	1	2	0	0	1	0	2	4	0	0	0	0	
27日	0	4	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	2	1	1	0	2	9	1	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
29日	0	6	0	1	0	0	0	1	0	7	0	1	1	6	9	0	3	47	3	4	0	0	1	0	6	28	0	0	1	0	
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	1	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
7月1日	0	30	3	7	0	0	0	1	1	2	0	3	0	6	13	0	4	89	5	9	0	0	1	0	4	49	0	0	1	2	
2日	0	71	0	20	0	4	0	2	10	7	6	6	0	1	14	0	12	255	29	17	0	0	3	0	8	61	0	0	2	5	
3日	0	12	3	6	0	0	0	0	0	3	0	10	0	0	14	0	17	38	0	0	0	0	0	3	13	0	0	0	0	2	
4日	0	3	0	2	0	0	0	0	0	1	5	3	0	6	3	0	1	14	28	2	0	1	1	0	16	25	0	0	0	0	
5日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	11	0	10	11	0	0	0	0	0	11	7	0	0	0	0	1	
6日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	12	0	6	8	0	0	5	2	0	0	0	0	0	11	8	0	0	0	0	
7日	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	3	2	4	18	0	2	17	16	3	0	0	9	0	12	18	0	0	0	2	
8日	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	8	14	0	1	21	0	6	15	17	1	0	0	0	0	19	8	0	0	0	0	
9日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	6	0	0	23	0	6	17	5	4	0	0	9	0	8	9	0	0	0	2	
10日	3	26	1	14	2	0	0	0	1	7	9	15	2	25	29	0	15	70	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	
11日	0	118	13	44	0	6	4	0	8	14	1	15	3	0	37	0	32	134	0	0	0	4	5	0	10	9	0	0	0	2	
12日	2	79	9	49	0	0	0	2	0	15	10	11	0	0	23	0	43	84	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	2	1	
13日	0	37	5	27	0	0	0	0	0	14	1	8	3	5	31	0	16	19	26	0	0	17	46	0	9	24	0	0	0	1	
14日	0	574	0	111	0	0	0	1	1	8	9	5	1	5	19	0	17	77	8	2	0	4	52	0	20	15	0	0	1	0	
15日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	
16日	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
17日	0	94	1	58	0	0	0	2	0	1	0	16	0	6	17	0	1	103	169	123	0	25	467	0	91	51	0	0	2	0	
18日	0	155	1	104	0	2	0	3	0	4	22	16	0	13	24	0	4	165	17	11	0	14	151	0	20	0	0	0	3	0	
19日	0	335	8	231	0	1	0	0	0	20	1	16	0	19	40	0	4	200	4	1	0	1	111	0	0	8	0	0	0	0	
20日	0	168	5	132	1	1	0	1	0	21	5	21	0	21	36	1	11	116	0	1	0	2	21	0	2	19	1	0	1	0	
21日	0	74	3	92	0	0	0	0	0	14	0	6	0	15	26	0	8	27	1	3	0	14	29	1	11	26	0	0	0	1	
22日	0	74	0	44	0	1	0	0	0	3	1	4	0	0	21	3	1	93	4	2	0	13	11	0	0	0	0	0	0	0	
23日	0	210	5	286	0	0	0	3	0	4	1	12	1	26	14	0	6	85	1	0	0	1	130	0	2	7	0	0	3	0	
24日	1	282	5	191	0	2	1	1	0	11	5	11	0	27	27	0	5	159	0	0	0	3	247	0	3	4	0	0	1	0	
25日	0	474	5	246	0	3	0	1	0	16	1	6	0	44	33	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
26日	0	214	2	120	0	1	1	6	0	19	6	6	3	56	12	0	6	290	13	0	0	20	44	0	1	32	0	0	6	1	
27日	0	41	0	36	0	0	0	0	0	5	0	0	0	23	8	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0		

畑予察灯(畑)																	畑予察灯(水田)														
畑地 2015年	ア オ ク サ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	ホ ソ ヘ リ カ メ ム シ	ホ ソ ハ リ カ メ ム シ	イ チ モ ン ジ カ メ ム シ	イ ネ ク ロ カ メ ム シ	シ ラ ホ シ カ メ ム シ	ド ウ ガ ネ ブ イ ブ イ	ク ロ コ ガ ネ	ビ ロ ウ ド コ ガ ネ 類	コ フ キ コ ガ ネ	ヒ メ コ ガ ネ	ア オ ド ウ ガ ネ	ヒ メ サ ク ラ コ ガ ネ	サ ク ラ コ ガ ネ	ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ	ヒ メ ト ビ ウ ン カ	セ ジ ロ ウ ン カ	ト ビ イ ロ ウ ン カ	イ ナ ズ マ ヨ コ バ イ	イ ネ ミ ズ ブ ウ ム シ	イ ネ カ メ ム シ	ア カ ヒ ゲ ホ ソ ミ ド リ カ ス ミ カ メ	ア カ ス ジ カ ス ミ カ メ	ク モ ヘ リ カ メ ム シ	ヒ メ ホ ソ ミ ド リ カ ス ミ カ メ	イ ネ ク ロ カ メ ム シ (畑と重複)	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	
8月1日	0	181	3	67	0	3	2	4	0	11	3	0	0	67	14	0	2	880	0	1	0	6	47	0	0	57	0	0	4	0	
2日	1	147	0	67	1	2	0	10	0	14	0	1	1	82	41	0	0	773	13	5	0	6	70	0	6	26	3	0	10	0	
3日	0	170	2	36	0	7	2	4	0	7	8	2	0	74	23	0	1	401	0	1	0	3	1	0	2	49	4	1	4	0	
4日	0	12	0	24	1	1	0	2	0	5	0	1	0	74	11	0	1	76	70	0	0	8	6	0	4	30	4	0	2	0	
5日	0	31	3	14	0	0	0	0	0	9	2	2	0	100	14	0	0	49	23	1	0	8	0	0	4	58	0	0	0	0	
6日	0	38	5	14	0	1	2	1	0	5	0	2	0	86	12	0	1	93	116	0	0	23	15	0	4	37	9	0	1	2	
7日	0	103	3	24	0	11	0	1	0	6	3	2	0	71	13	0	0	74	826	70	0	38	5	0	17	126	7	0	1	3	
8日	1	23	1	5	0	1	0	1	0	3	0	0	0	76	12	0	0	26	127	0	0	21	3	0	0	59	2	0	1	2	
9日	0	12	0	4	0	1	0	0	0	3	1	0	1	66	9	0	0	36	38	16	0	30	1	0	3	59	4	0	0	0	
10日	0	10	3	3	0	3	0	0	0	8	0	0	0	76	10	0	0	35	107	1	0	56	2	0	4	55	9	0	0	0	
11日	0	35	0	8	0	11	0	0	3	6	1	0	0	41	7	0	0	30	201	16	0	79	1	0	21	148	12	0	0	0	
12日	0	81	1	7	0	12	0	0	0	6	0	1	0	66	14	0	1	97	835	8	0	200	4	0	4	205	26	0	0	3	
13日	0	15	2	0	0	3	0	0	0	1	1	0	0	60	14	0	0	18	428	2	0	63	0	0	1	88	6	0	0	0	
14日	0	56	3	2	0	5	0	0	0	3	0	1	0	53	19	0	0	11	10	0	0	24	0	0	3	31	1	0	0	0	
15日	0	20	8	2	1	1	0	3	0	5	1	1	0	69	21	0	0	29	156	0	0	83	3	0	1	87	20	0	3	0	
16日	0	18	0	1	0	3	0	0	0	2	1	0	0	44	6	0	0	26	27	0	0	30	1	0	17	22	13	0	0	3	
17日	0	16	3	2	0	3	0	0	0	2	3	4	0	33	7	0	0	27	34	8	0	21	0	0	7	105	7	0	0	2	
18日	1	35	2	10	0	60	0	9	13	9	0	1	0	51	22	0	0	36	49	1	0	10	1	0	0	43	5	0	9	9	
19日	0	18	5	4	1	40	0	0	1	1	1	1	0	52	11	0	0	56	239	10	0	33	0	1	2	193	20	0	0	11	
20日	0	25	1	6	1	36	1	2	0	4	0	3	0	38	20	0	0	117	398	52	0	46	0	0	6	202	29	0	2	41	
21日	0	55	4	1	1	58	0	0	0	3	1	2	0	43	20	0	0	47	58	7	0	4	0	0	3	84	30	0	0	41	
22日	0	22	3	2	0	21	0	4	0	6	0	1	0	30	9	0	0	71	103	0	0	28	0	0	9	118	19	0	4	19	
23日	0	7	1	1	0	14	0	0	2	5	0	1	0	23	14	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	16	
24日	0	12	0	0	0	4	0	4	0	4	0	2	0	19	14	0	0	12	1	1	0	8	0	0	0	11	6	0	4	38	
25日	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	11	
26日	0	52	0	0	0	15	0	288	0	2	0	4	0	16	11	0	12	1331	39	64	0	5	0	0	0	6	13	0	288	125	
27日	0	12	0	1	0	2	0	0	0	10	11	0	0	0	12	2	3	568	16	26	0	2	0	0	0	12	5	0	0	40	
28日	0	3	3	0	0	1	0	7	0	3	0	6	0	0	10	1	7	5000	636	845	0	454	0	0	13	160	14	0	7	5	
29日	0	10	0	0	0	1	0	0	0	2	10	0	0	6	7	0	0	3672	478	623	0	91	0	0	26	18	11	0	0	8	
30日	0	24	1	0	1	7	0	16	0	0	0	2	0	15	6	0	0	10002	141	150	0	78	0	0	12	21	27	0	16	29	
31日	0	39	0	2	0	13	0	28	0	2	4	1	0	0	8	0	9	9000	216	216	0	48	0	0	24	24	48	0	28	42	
9月1日	0	5	0	0	0	0	0	6	0	3	0	1	0	7	7	0	0	3190	124	116	0	22	2	0	8	6	10	0	6	23	
2日	0	48	13	1	1	7	3	81	0	3	3	2	0	7	10	0	0	20960	410	130	0	40	0	0	0	43	12	0	81	43	
3日	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	3	10	0	0	3028	97	37	0	7	1	0	6	16	5	0	0	4	
4日	0	13	3	1	0	3	0	38	0	3	0	0	0	0	4	0	4	4000	92	32	0	25	0	0	7	21	11	0	38	11	
5日	0	16	13	2	1	3	0	18	0	1	0	0	0	0	4	0	4	10000	30	10	0	0	0	0	10	110	15	0	18	29	
6日	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	10	0	0	3195	225	75	0	33	0	0	18	48	3	0	0	12	
7日	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	11	0	0	3082	174	48	0	4	0	0	30	110	5	0	0	22	
8日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	3	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
9日	0	6	3	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	2	0	2	9650	490	560	0	20	0	0	40	70	12	0	2	18	
10日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	27	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
11日	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	35	7	0	0	6	0	0	0	3	1	0	0	9	
12日	0	37	21	0	0	3	1	27	0	1	1	1	0	0	12	0	2	2960	70	20	0	50	0	0	10	100	6	0	27	31	
13日	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1755	30	0	0	0	0	0	0	165	1	0	4	18	
14日	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	319	13	3	0	0	0	0	1	46	1	0	0	9	
15日	0	2	11	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4	0	0	4840	200	140	0	40	0	0	0	340	13	0	1	9	
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	124	1	0	0	6	0	0	0	23	1	0	0	0	
17日	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138	1	0	0	5	0	0	0	8	1	0	0	1	
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	5	0	0	0	1	5	0	0	1	0	0	0	2	0	0	143	0	0	0	3	0	0	0	12	1	0	5	5	
20日	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	30	4	1	0	2	0	0	3	16	0	0	0	3	
21日	0	71	9	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	25	33	0	155	0	0	1	80	12	0	2	9	
22日	0	24	11	0	0	0	0	5	1	0	0	1	0	0	3	0	0	2076	108	60	0	300	0	0	0	180	15	0	5	5	
23日	0	10	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	135	13	4	0	21	0	0	2	18	3	0	0	2	
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
25日	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	254	8	43	0	45	0	0</							

畑予祭灯(畑)																		畑予祭灯(水田)												
畑地 2015年	アオクサカメムシ	チャバナ アオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	イチモンジカメムシ	イネクロカメムシ	シラホシカメムシ	ドウガネブイブイ	クロコガネ	ビロウドコガネ類	コフキコガネ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ヒメスクラコガネ	サクラコガネ													
																		ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イナズマヨコバイ	イネミズゾウムシ	イネカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	クモヘリカメムシ	ヒメホソミドリカスミカメ	イネクロカメムシ (畑と重複)	ミナミアオカメムシ
10月1日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
2日	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	2	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
3日	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	8	0	5	0	0	0	4	0	0	0	0
4日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
5日	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
10日	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	11	0	0	0	0	2	6	5	0	1	0
11日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12日	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
18日	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
20日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	10
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

c 地区予察灯(60ワット白熱灯)

地区 2015年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セ ジ ロ ウ ン カ	ト ビ イ ロ ウ ン カ	ヒ メ ト ビ ウ ン カ	ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ	セ ジ ロ ウ ン カ	ト ビ イ ロ ウ ン カ	ヒ メ ト ビ ウ ン カ	ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ	セ ジ ロ ウ ン カ	ト ビ イ ロ ウ ン カ	ヒ メ ト ビ ウ ン カ	ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ	ホ ソ ハ リ カ メ ム シ	ク モ ヘ リ カ メ ム シ	ト ゲ シ ラ ホ シ カ メ ム シ	そ の 他	ホ ソ ハ リ カ メ ム シ	ク モ ヘ リ カ メ ム シ	ト ゲ シ ラ ホ シ カ メ ム シ	そ の 他	ホ ソ ハ リ カ メ ム シ	ク モ ヘ リ カ メ ム シ	ト ゲ シ ラ ホ シ カ メ ム シ	そ の 他
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
2日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
3日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
4日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
5日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
6日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
7日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
8日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
9日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
10日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
11日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
12日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
13日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
14日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
15日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
16日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
17日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
18日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
19日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
20日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
21日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
22日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
23日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
24日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
25日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
26日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
27日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
28日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
29日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
30日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0					
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
30日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	

地区 2015年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
11日	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
12日	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
13日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
14日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
15日	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
16日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
17日	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
20日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
22日	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
23日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
24日	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
25日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
26日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
27日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
28日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
29日	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
30日	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
7月1日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
2日	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
3日	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
4日	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
5日	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
6日	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
7日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
8日	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		0	1	0		0	0	0	
9日	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
10日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
11日	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
12日	4	0	2	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0		0	1	0		0	0	0	
13日	5	0	2	5	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0		0	1	0		0	0	0	
14日	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
15日	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
16日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
17日	51	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0	0		0	0	0	
18日	4	0	1	6	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0		0	0	0		0	1	0	
19日	1	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0		0	1	0		0	1	0	
20日	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	16	0	1	0		0	3	0		0	0	0	
21日	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
22日	5	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0		0	0	0		0	1	0	
23日	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
24日	1	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
25日	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0		0	0	0		1	0	0	
26日	1	0	1	5	0	0	0	2	0	0	0	13	0	0	0		0	1	0		0	0	0	
27日	3	0	3	12	1	0	0	0	0	0	0	125	0	1	0		0	1	0		0	1	0	
28日	3	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	64	0	1	0		0	0	0		0	0	0	
29日	23	0	2	7	5	0	0	8	0	0	1	124	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
30日	37	0	0	3	12	0	0	9	0	0	0	8	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
31日	11	0	0	5	19	0	0	4	1	0	0	11	0	0	0		0	0	0		0	0	0	

地区 2015年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
8月1日	10	0	1	5	7	0	0	5	0	0	0	47	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
2日	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	44	0	1	0		0	0	0		0	0	0	
3日	0	0	3	8	0	0	0	1	0	0	0	13	0	0	0		0	0	0		1	0	0	
4日	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
5日	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
6日	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
7日	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	9	0	4	0		0	1	0		0	1	0	
8日	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0		0	2	0		0	0	0	
9日	4	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0		0	2	0		0	2	0	
10日	2	0	2	4	1	0	0	3	1	0	0	3	0	1	0		0	1	0		0	1	0	
11日	0	0	2	2	0	0	0	4	0	0	0	4	0	1	0		0	0	0		0	0	0	
12日	32	0	4	2	3	0	0	5	3	0	0	5	0	4	0		0	0	0		0	0	0	
13日	9	0	6	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0		0	0	0		0	0	0	
14日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0		0	1	0		0	1	0	
15日	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0		0	3	0		0	3	0	
16日	1	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0		0	8	0		0	2	0	
17日	3	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	4	0		0	0	0	
18日	17	0	2	0	3	0	0	0	2	0	0	2	0	4	0		0	23	0		0	1	0	
19日	13	0	1	2	2	0	0	0	2	0	0	5	0	8	0		0	11	0		0	0	0	
20日	29	0	3	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0		0	14	0		0	0	0	
21日	9	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0		0	8	0		0	0	0	
22日	3	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0		0	27	0		0	1	0	
23日	11	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0		1	15	0		0	0	0	
24日	36	0	1	2	57	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0		0	17	0		0	0	0	
25日	44	0	3	2	63	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0		0	8	0		0	0	0	
26日	119	0	4	15	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		0	9	0		0	0	0	
27日	81	0	7	8	21	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0		0	11	0		0	0	0	
28日	125	0	0	1	17	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0		0	15	0		0	0	0	
29日	144	0	1	1	7	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0		0	12	0		0	0	0	
30日	60	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
31日	153	0	1	2	25	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	3	0		0	0	0	
9月1日									4	2	0	0									0	0	0	
2日									2	0	0	0									0	0	0	
3日									0	0	0	0									0	0	0	
4日									0	0	0	0									0	0	0	
5日									0	0	0	0									0	0	0	
6日									2	1	0	0									0	0	0	
7日									0	0	0	1									0	0	0	
8日									0	1	0	1									0	0	0	
9日									0	1	0	0									0	0	0	
10日									0	0	0	0									0	0	0	
11日									0	0	0	0									0	0	0	
12日									0	0	0	11									0	0	0	
13日									0	0	0	0									0	0	0	
14日									0	0	0	0									0	0	0	
15日									0	0	0	0									0	0	0	
16日									0	0	0	0									0	0	0	
17日									0	0	0	0									0	0	0	
18日									0	0	0	0									0	0	0	
19日									0	0	0	0									0	0	0	
20日									0	0	0	0									0	0	0	
21日									0	0	0	0									0	0	0	
22日									0	0	0	0									0	0	0	
23日									0	0	0	0									0	0	0	
24日									0	0	0	0									0	0	0	
25日									0	1	0	0									0	0	0	
26日									1	0	0	0									0	0	0	
27日									0	0	0	0									0	0	0	
28日									0	0	0	0									0	0	0	
29日									0	0	0	0									0	0	0	
30日									0	0	0	0									0	0	0	

d 県予察灯・畑地設置(南牟婁郡御浜町農業研究所紀南果樹研究室; 100ワット水銀灯)

畑地 2015年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
4月1日	0	0	8	3	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	1	2	7	0	0	1	0	0
4日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	4	0	0	0	1	0	0
6日	0	0	21	19	1	0	0	0	0
7日	0	0	0	2	0	0	0	0	1
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	1	0	1	0	0	0
12日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	1	1	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
19日	0	0	13	15	0	0	0	0	0
20日	0	0	50	122	3	0	0	0	0
21日	0	0	9	8	0	0	0	0	0
22日	0	0	1	1	1	0	0	0	0
23日	0	0	7	3	0	0	0	0	0
24日	0	0	24	20	0	0	1	0	0
25日	0	0	2	3	0	0	0	0	0
26日	0	0	21	6	0	3	1	0	0
27日	0	0	279	111	0	0	1	0	0
28日	0	0	167	124	0	2	0	0	0
29日	0	0	29	28	0	0	0	0	0
30日	0	0	23	18	0	0	0	0	0
5月1日	0	0	245	34	0	0	0	0	0
2日	0	0	244	49	0	1	0	0	0
3日	0	0	115	67	0	0	0	0	0
4日	0	0	621	321	0	0	0	0	0
5日	0	0	76	45	0	0	0	0	0
6日	0	0	65	91	1	0	0	0	0
7日	0	0	22	27	0	1	3	0	0
8日	0	0	459	188	0	0	0	0	0
9日	0	0	6	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	48	19	0	0	0	0	0
11日	0	0	44	40	0	0	0	0	0
12日	0	0	248	112	0	0	0	0	0
13日	0	0	197	58	1	0	0	0	0
14日	0	0	3,019	543	9	0	0	0	0
15日	0	0	20,742	740	25	0	0	0	0
16日	0	0	2,192	45	1	0	0	0	0
17日	0	0	106	8	0	0	1	0	0
18日	0	0	68	34	0	0	0	0	0
19日	0	0	697	121	2	0	0	0	0
20日	0	0	18,626	806	5	0	0	0	0
21日	0	0	76	6	0	0	0	0	0
22日	0	0	605	24	0	0	0	0	0
23日	0	0	209	5	0	0	0	0	0
24日	0	0	62	6	0	0	1	0	0
25日	0	0	580	70	3	0	1	0	0
26日	0	0	21,023	342	20	0	0	0	0
27日	0	0	12,670	391	29	0	0	0	0
28日	0	0	805	45	1	0	0	0	0
29日	0	0	121	15	1	0	0	0	0
30日	0	0	2,088	77	8	0	0	0	0
31日	0	0	6,971	46	6	0	0	0	0

畑地 2015年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
6月1日	0	0	1,455	38	1	0	0	0	0
2日	0	0	497	8	0	0	1	0	0
3日	0	0	69	1	0	0	1	0	0
4日	0	0	650	4	0	0	0	0	0
5日	0	0	1	0	0	0	1	0	0
6日	0	0	13	1	0	0	2	0	0
7日	0	0	43	3	0	0	1	0	0
8日	0	0	37	6	0	1	2	0	0
9日	0	0	78	5	1	1	7	0	0
10日	0	0	2,120	28	7	0	1	0	0
11日	0	0	75	4	0	1	2	0	0
12日	0	0	910	17	8	0	0	0	1
13日	0	0	600	3	1	0	2	0	0
14日	0	0	40	0	0	0	0	0	1
15日	0	0	1,257	10	4	1	1	0	0
16日	0	0	39	1	0	2	1	0	0
17日	0	0	378	2	2	1	2	0	0
18日	0	0	11	0	0	1	0	0	0
19日	0	0	97	2	0	0	5	0	0
20日	0	0	144	0	0	0	4	0	0
21日	0	0	29	0	1	0	5	0	0
22日	0	0	98	2	0	0	1	0	0
23日	0	0	835	4	7	0	2	0	0
24日	0	0	336	4	2	0	5	0	0
25日	0	0	694	2	7	1	3	0	0
26日	0	0	132	0	0	2	3	0	0
27日	0	0	436	1	2	0	0	0	0
28日	0	0	592	1	7	0	0	0	0
29日	0	0	384	0	6	0	1	0	0
30日	0	0	2,541	1	27	0	0	0	0
7月1日	0	0	181	0	0	0	3	0	0
2日	0	0	1,671	0	2	0	1	0	0
3日	0	0	402	0	1	1	2	0	0
4日	0	0	150	0	1	0	3	0	0
5日	0	0	42	0	0	0	1	0	0
6日	0	0	122	0	0	0	3	0	0
7日	0	0	373	0	1	1	1	0	0
8日	0	0	507	0	5	1	0	0	0
9日	0	0	316	1	4	0	0	0	0
10日	0	0	1,442	2	14	0	2	0	1
11日	0	0	11,428	3	85	0	0	0	0
12日	0	0	20,192	7	99	0	0	0	0
13日	0	0	10,645	0	113	0	0	0	0
14日	0	0	11,237	2	124	0	0	0	0
15日	0	0	351	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	49	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	1,602	0	18	0	0	0	0
18日	0	0	4,926	0	25	0	0	0	0
19日	0	0	2,975	0	59	0	0	0	0
20日	0	0	5,050	0	66	0	0	0	0
21日	0	0	1,781	3	19	0	0	0	0
22日	0	0	1,235	0	27	0	0	0	0
23日	0	0	779	0	19	0	0	0	0
24日	0	0	1,564	3	58	0	0	0	0
25日	0	0	3,227	6	58	0	0	0	0
26日	0	0	1,730	5	63	0	0	0	0
27日	0	0	3,179	3	75	0	0	0	0
28日	0	0	2,388	5	29	0	0	0	0
29日	0	0	2,673	1	78	0	0	0	0
30日	0	0	1,750	3	54	0	0	0	0
31日	0	0	919	4	44	0	0	0	0

畑地 2015年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
8月1日	0	0	2,560	4	28	0	0	0	0
2日	0	0	1,654	4	21	0	0	0	0
3日	0	0	45	0	3	0	0	0	0
4日	0	0	287	0	16	1	1	0	0
5日	0	0	389	4	19	0	0	0	0
6日	0	0	213	1	25	0	0	0	0
7日	0	0	438	1	26	0	0	0	0
8日	0	0	416	0	16	0	0	0	0
9日	0	0	648	1	11	0	0	0	0
10日	0	0	164	0	11	0	0	0	0
11日	0	0	131	1	14	0	0	0	0
12日	0	0	293	0	10	0	0	0	0
13日	0	0	383	0	16	0	0	0	0
14日	0	0	207	0	11	0	0	0	0
15日	0	0	111	0	5	1	2	0	0
16日	0	0	68	1	0	1	2	0	0
17日	0	0	137	0	1	0	1	0	0
18日	0	0	67	2	8	2	7	0	0
19日	0	0	117	0	17	0	7	0	0
20日	0	0	264	1	10	0	4	0	0
21日	0	0	70	0	4	2	3	0	0
22日	0	1	55	1	3	0	0	0	0
23日	0	0	27	0	2	0	5	0	0
24日	0	1	24	0	0	1	1	0	0
25日	0	0	45	1	3	0	0	0	0
26日	0	2	22	1	0	0	1	0	0
27日	0	1	21	1	0	0	1	0	0
28日	0	0	3	1	0	0	0	0	0
29日	0	0	10	2	0	1	1	0	0
30日	0	0	6	0	0	0	1	0	0
31日	0	0	6	1	1	0	0	0	0
9月1日	1	0	14	1	0	0	0	0	0
2日	0	0	19	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	4	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	7	0	0	0	1	0	0
5日	0	0	3	1	0	0	0	0	0
6日	0	2	6	2	1	0	1	0	0
7日	0	1	8	3	0	0	2	0	0
8日	0	0	1	0	0	0	1	0	0
9日	0	0	8	0	2	1	0	0	0
10日	0	0	1	0	0	1	0	0	0
11日	0	0	5	3	0	0	0	0	0
12日	0	0	22	0	1	0	0	0	0
13日	0	0	10	1	0	0	0	0	0
14日	0	1	2	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	13	8	0	0	1	0	0
16日	0	1	1	1	0	0	0	0	0
17日	0	0	5	0	0	1	1	0	0
18日	0	0	6	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	2	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	7	0	0	1	0	0	0
21日	0	1	12	1	0	0	1	0	0
22日	0	1	24	15	0	3	0	0	0
23日	0	0	24	4	0	0	1	0	0
24日	0	0	11	2	0	0	0	0	0
25日	0	0	28	15	0	0	0	0	0
26日	0	0	17	20	0	3	0	0	0
27日	0	0	18	2	0	0	2	0	0
28日	0	0	3	1	0	0	0	0	0
29日	0	0	2	0	0	0	0	0	0
30日	0	1	3	2	0	0	0	0	0

畑地 2015	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
10月1日	0	0	21	4	0	0	1	0	0
2日	0	0	14	2	0	0	2	0	0
3日	0	0	4	0	0	0	1	0	0
4日	0	0	1	0	0	0	1	0	0
5日	0	0	2	4	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
9日	0	0	1	0	0	0	1	0	0
10日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	1	0	0	1
17日	0	0	0	3	0	0	1	0	0
18日	0	0	0	1	0	1	2	0	0
19日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
20日	0	0	0	2	0	1	3	0	0
21日	0	0	0	1	0	2	1	0	1
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	1	0	0	1	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
31日	0	0	0	2	0	2	0	0	0
11月1日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	1	0	0	0	1	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	1	2	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7日	0	2	0	1	0	0	1	0	0
8日	0	0	0	3	0	1	2	0	0
9日	0	2	0	1	0	0	2	0	0
10日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	2	0	2	0	0	0
13日	0	1	0	0	0	0	1	0	0
14日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	1	0	0	0	1	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
19日	0	1	0	0	0	1	1	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	1	1	0	0	0	1	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) フェロモントラップ

a ムシダスによるハスモンヨトウ

月日	菰野町	松阪市	津市
6/1	0		3
6/2	0		0
6/3	0		7
6/4	0		2
6/5	0		0
6/6	0		2
6/7	0		1
6/8	1		7
6/9	0		8
6/10	0		5
6/11	0		9
6/12	0		10
6/13	0		7
6/14	0		8
6/15	0		9
6/16	0		9
6/17	0		12
6/18	0		7
6/19	0		4
6/20	0		3
6/21	0		9
6/22	0		10
6/23	0		0
6/24	0		4
6/25	0		2
6/26	405		11
6/27	0		14
6/28	0		16
6/29	0		16
6/30	540		20
7/1	35		27
7/2	33		32
7/3	0		40
7/4	0		20
7/5	0		6
7/6	0		14
7/7	0		3
7/8	0		3
7/9	0		2
7/10	0		1
7/11	0		6
7/12	0		0
7/13	0		9
7/14	0		3
7/15	0		13
7/16	0		1
7/17	64		4
7/18	249		5
7/19	2		5
7/20	0		2
7/21	0		12
7/22	11		7
7/23	0		9
7/24	0		10
7/25	0		10
7/26	0		12
7/27	0		14
7/28	0		3
7/29	0		3
7/30	0		16
7/31	0		1

月日	菰野町	松阪市	津市
8/1	0	1	3
8/2	0	8	1
8/3	0	10	8
8/4	1	21	10
8/5	39	37	15
8/6	60	85	27
8/7	15	62	19
8/8	175	56	23
8/9	24	92	39
8/10	0	73	19
8/11	0	31	25
8/12	7	70	15
8/13	12	78	26
8/14	1	73	16
8/15	4	44	13
8/16	418	67	25
8/17	199	46	37
8/18	0	46	27
8/19	43	65	15
8/20	3	47	24
8/21	0	48	9
8/22	16	60	43
8/23	0	40	24
8/24	0	15	17
8/25	5	17	215
8/26	0	104	97
8/27	0	100	53
8/28	0	71	21
8/29	17	67	41
8/30	95	448	63
8/31	205	1394	73
9/1	182	1	102
9/2	10	575	109
9/3	183	2	195
9/4	19	782	351
9/5	1	1311	229
9/6	144	1	220
9/7	20	0	9
9/8	0	0	31
9/9	179	405	18
9/10	4	202	36
9/11	20	228	33
9/12	2	79	12
9/13	62	185	16
9/14	0	94	4
9/15	0	38	7
9/16	42	157	33
9/17	355	0	9
9/18	2	96	31
9/19	0	84	28
9/20	0	97	17
9/21	3	73	11
9/22	3	29	10
9/23	9	36	20
9/24	2	1	109
9/25	52	1	42
9/26	14	1	3
9/27		89	23
9/28		55	3
9/29		55	10
9/30		56	15

月日	菰野町	松阪市	津市
10/1		0	27
10/2		236	28
10/3		222	58
10/4		120	34
10/5		49	20
10/6		34	11
10/7		26	7
10/8		43	7
10/9		35	7
10/10		29	3
10/11		43	7
10/12		39	7
10/13		115	10
10/14		74	14
10/15	0	57	8
10/16	0	45	11
10/17	0	52	14
10/18	0	34	15
10/19	0	45	10
10/20	25	35	17
10/21	0	15	16
10/22	1	27	37
10/23	0	39	26
10/24	0	23	22
10/25	0	2	3
10/26	0	17	32
10/27	1	48	54
10/28	0	33	26
10/29	0	50	46
10/30	0	46	31
10/31	0	13	8
11/1	0	49	16
11/2	0	34	30
11/3	0	54	25
11/4	0	50	21
11/5	0	58	26
11/6	1	55	33
11/7	31	38	12
11/8	42	117	48
11/9	26	151	106
11/10	0	130	63
11/11	0	66	35
11/12	0	141	74
11/13	113	97	30
11/14	475	217	225
11/15	3	114	86
11/16	248	216	136
11/17	156	193	142
11/18	72	86	79
11/19	0	99	43
11/20	0	80	35
11/21	0	32	10
11/22	150	96	78
11/23	476	121	79
11/24	0		1
11/25	0		1
11/26	0		0
11/27	0		0
11/28	0		1
11/29	0		0
11/30	0		1

月日	菰野町	松阪市	津市
12/1	0		0
12/2	0		1
12/3	0		0
12/4	0		0
12/5	0		0
12/6	0		2
12/7	0		1
12/8	0		0
12/9	0		0
12/10	0		3
12/11	0		0
12/12	0		1
12/13	0		5
12/14	0		1
12/15	0		1
12/16	0		0
12/17	0		0
12/18	0		0
12/19	0		0
12/20	0		0
12/21	0		0
12/22			
12/23			
12/24			
12/25			
12/26			
12/27			
12/28			
12/29			
12/30			

b ガ類(フェロモントラップ) ハスモンヨトウ以外は粘着板式

月	半旬	ハスモンヨトウ (箱式)	コナガ	ネギコガ	オオタバコガ	シロイチモジ ヨトウ	チャノコカク モンハマキ	チャハマキ	ナシヒメ シンクイ
1月	1		2	1					
	2		0	0					
	3		1	0					
	4		1	0					
	5		1	0					
	6		0	2					
2月	1		0	0					
	2		0	0					
	3		0	0					
	4		0	0					
	5		0	0					
	6		0	0					
3月	1	0	0	0					0
	2	0	2	0					0
	3	1	0	0					0
	4	0	5	1					0
	5	1	4	0					1
	6	0	11	1					8
4月	1	0	14	3	0	0	9	1	21
	2	0	18	1	0	0	7	0	10
	3	1	13	1	0	0	6	1	3
	4	1	3	3	0	0	49	5	41
	5	6	3	5	1	0	114	6	14
	6	3	1	2	0	0	67	4	14
5月	1	5	0	0	0	0	29	5	15
	2	12	2	0	3	0	35	6	16
	3	10	8	0	3	0	24	6	13
	4	13	36	2	1	0	5	3	4
	5	52	52	0	0	1	5	1	4
	6	14	0	7	1	1	8	0	17
6月	1	6	16	0	1	0	15	2	37
	2	19	26	0	0	0	18	3	21
	3	24	41	1	3	0	35	3	20
	4	19	33	1	0	0	19	5	5
	5	17	23	0	4	0	16	2	9
	6	46	13	2	14	1	25	3	8
7月	1	35	2	1	10	4	12	3	7
	2	36	0	1	3	1	5	0	16
	3	32	0	0	1	0	9	1	35
	4	29	0	0	0	0	0	6	28
	5	26	4	19	6	1	15	6	32
	6	43	14	39	20	7	20	6	38
8月	1	54	3	0	3	4	7	1	24
	2	86	1	0	6	1	6	1	22
	3	104	1	1	2	2	2	1	32
	4	73	0	0	1	5	3	0	20
	5	82	0	1	4	5	2	6	23
	6	240	1	0	12	11	3	1	28
9月	1	333	0	0	0	0	1	0	29
	2	520	0	0	0	1	2	0	23
	3	495	0	0	0	0	3	2	29
	4	272	1	0	22	9	11	4	41
	5	100	0	0	5	3	15	4	38
	6	74	0	0	1	4	16	4	38
10月	1	219	1	0	0	27	20	5	1
	2	107	1	0	2	20	35	4	3
	3	85	0	1	2	9	27	5	3
	4	97	0	0	1	4	15	8	1
	5	84	0	0	14	2	19	11	0
	6	102	0	1	44	2	10	6	0
11月	1	105	0	0	24	2	10	1	0
	2	154	3	0	20	3	16	2	0
	3	194	6	0	10	2	8	0	0
	4	210	5	0	5	0	8	1	1
	5	179	20	0	5	0	7	1	1
	6	36	14	0	1	0	2	0	0
12月	1	8	18	0	0	0	2		
	2	16	22	0	0	0	4		
	3	14	21	2	0	0	4		
	4	6	4	5	0	0	6		
	5	2	5	0	0	0	2		
	6	0	3	0	0	0	0		

c コガネムシ類(フェロモントラップ)

		ヒメコガネ		マメコガネ		ドウガネブイブイ	
		2015年	平年値	2015年	平年値	2015年	平年値
5月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.6
	中旬	0	0.1	0	0.1	0	0.6
	下旬	0	0.0	7	0.3	0	2.8
6月	上旬	0	0.4	25	14.2	0	6.8
	中旬	0	0.6	34	71.0	0	9.2
	下旬	1	2.9	9	49.4	0	9.0
7月	上旬	0	4.2	11	58.8	0	3.9
	中旬	0	8.0	17	77.0	0	1.3
	下旬	12	21.3	26	107.6	0	1.3
8月	上旬	13	23.9	30	78.8	0	0.2
	中旬	19	18.2	23	69.6	0	0.0
	下旬	5	10.8	11	42.3	0	0.0
9月	上旬	0	3.7	4	28.6	0	0.0
	中旬	0	1.2	2	8.3	0	0.0
	下旬	0	0.9	0	4.3	0	0.0
10月	上旬	0	0.4	1	2.5	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		50	96.6	200	612.8	0.0	35.7

d 果樹カメムシ類(フェロモントラップ誘殺数)

チャバネアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2015年
4月.1		0
2	3.4	2
3	7.9	34
4	12.5	55
5月.1	43.9	89
2	38.0	92
3	37.9	121
4	23.2	310
6月.1	51.7	16
2	95.8	294
3	129.4	158
4	158.1	97
7月.1	231.4	242
2	292.4	1027
3	267.5	897
4	230.2	918
8月.1	231.0	1110
2	162.2	659
3	97.0	188
4	46.1	166
9月.1	55.7	142
2	57.1	125
3	54.6	197
4	41.5	156
10月.1	48.6	54
2	35.0	37
3	18.8	20
4	5.1	2
11月.1	5.1	2
2	2.1	2
3	0.2	0
4	0.1	0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2015年
4月.1		0
2	0.5	2
3	2.8	67
4	7.2	119
5月.1	60.6	255
2	57.0	234
3	108.0	219
4	80.7	491
6月.1	157.3	108
2	213.5	628
3	294.4	268
4	290.1	219
7月.1	416.1	360
2	510.4	676
3	527.1	1078
4	454.6	1514
8月.1	401.5	1992
2	348.0	1330
3	283.4	626
4	115.7	397
9月.1	96.8	139
2	65.9	78
3	36.4	68
4	15.2	50
10月.1	18.9	22
2	16.3	11
3	8.4	0
4	2.2	0
11月.1	1.3	3
2	0.4	3
3	0.1	0
4	0.0	0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2015年
4月.1		0
2	0.2	0
3	0.8	2
4	1.3	7
5月.1	9.8	118
2	17.6	303
3	43.4	414
4	19.6	117
6月.1	17.2	22
2	16.9	27
3	24.1	29
4	24.2	20
7月.1	50.4	77
2	115.8	153
3	96.9	566
4	46.7	690
8月.1	46.2	586
2	68.7	247
3	47.0	112
4	15.9	79
9月.1	16.6	40
2	18.0	9
3	8.2	5
4	3.8	4
10月.1	4.5	5
2	2.5	5
3	1.5	5
4	1.0	1
11月.1	0.8	0
2	0.3	0
3	0.0	0
4	0.0	0

ツヤアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2015年
4月.1		0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.1	0
5月.1	0.6	4
2	1.5	3
3	3.8	1
4	2.8	2
6月.1	3.3	1
2	4.8	10
3	4.8	2
4	3.2	1
7月.1	3.6	0
2	3.0	0
3	3.3	0
4	3.9	0
8月.1	2.2	1
2	1.9	1
3	1.1	1
4	1.0	3
9月.1	1.9	4
2	2.9	4
3	3.7	4
4	4.2	3
10月.1	8.5	8
2	10.7	5
3	10.6	2
4	3.6	0
11月.1	1.6	0
2	0.9	0
3	0.2	1
4	0.0	1

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2015年
4月.1		0
2	0.0	0
3	0.3	1
4	0.2	5
5月.1	3.0	5
2	1.7	11
3	5.6	9
4	6.5	17
6月.1	8.6	8
2	7.4	24
3	3.1	4
4	1.6	1
7月.1	1.3	0
2	0.9	1
3	0.6	0
4	0.4	2
8月.1	0.7	3
2	1.0	0
3	1.2	0
4	0.5	0
9月.1	1.4	0
2	1.5	1
3	2.2	2
4	2.2	2
10月.1	10.9	1
2	12.9	0
3	11.3	0
4	5.5	0
11月.1	1.2	0
2	0.8	0
3	0.2	0
4	0.1	0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2015年
4月.1		0
2	0.1	0
3	0.5	0
4	0.6	1
5月.1	3.4	7
2	2.2	11
3	3.7	11
4	1.7	1
6月.1	1.4	1
2	0.9	3
3	1.2	0
4	0.7	0
7月.1	0.5	0
2	0.5	0
3	0.7	2
4	0.7	0
8月.1	0.3	0
2	0.2	1
3	0.2	0
4	0.2	0
9月.1	0.9	2
2	1.5	1
3	3.0	1
4	3.0	1
10月.1	16.8	3
2	22.2	3
3	17.9	3
4	6.0	1
11月.1	2.8	1
2	1.6	0
3	0.4	0
4	0.0	0

クサギカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2015年
4月.1		0
2	0.0	0
3	0.1	2
4	0.4	4
5月.1	2.3	20
2	4.7	15
3	8.0	21
4	5.0	14
6月.1	8.7	6
2	10.6	50
3	9.4	7
4	6.6	4
7月.1	6.1	9
2	7.0	48
3	6.6	36
4	5.0	24
8月.1	4.7	23
2	4.2	8
3	5.6	5
4	5.6	5
9月.1	6.3	6
2	6.6	6
3	7.5	15
4	6.5	12
10月.1	15.2	14
2	16.7	10
3	5.6	6
4	2.0	1
11月.1	1.1	0
2	0.3	0
3	0.0	0
4	0.0	0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2015年
4月.1		0
2	0.0	0
3	0.0	3
4	0.2	18
5月.1	3.3	84
2	11.1	87
3	24.7	50
4	29.5	79
6月.1	55.8	26
2	59.5	196
3	38.2	74
4	19.4	21
7月.1	14.9	16
2	11.9	39
3	7.6	27
4	5.5	13
8月.1	9.0	10
2	5.7	7
3	3.8	6
4	1.8	3
9月.1	3.0	2
2	2.9	2
3	2.8	2
4	2.5	2
10月.1	3.3	0
2	3.1	0
3	0.9	0
4	0.4	0
11月.1	0.2	0
2	0.1	0
3	0.0	0
4	0.0	0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2015年
4月.1		0
2	0.0	0
3	0.2	0
4	0.0	0
5月.1	0.4	0
2	0.2	0
3	0.1	0
4	0.1	0
6月.1	0.1	0
2	0.1	1
3	0.2	1
4	0.1	0
7月.1	0.4	1
2	0.8	1
3	1.5	2
4	1.4	6
8月.1	0.8	3
2	0.2	1
3	0.1	0
4	0.0	1
9月.1	0.2	0
2	0.3	0
3	0.2	1
4	1.0	0
10月.1	1.3	1
2	0.2	0
3	0.1	0
4	0.2	0
11月.1	0.1	0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.0	0

(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査

2009 年 4 月、東京都青梅市でウメにおいて、ウメ輪紋ウイルス (以下 PPV) の感染が確認された。PPV は我が国のモモやスモモなどの果樹に重大な被害を与えるウイルスとして、これまでも特に侵入を警戒していたものである。このことから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内に産地が散在するウメおよび観光園地のウメを対象に、発生状況を把握するため、本年度も引き続き調査を実施した。

① 全国発生状況調査

a 調査方法

ウメを対象樹種とし、新葉が展開、硬化した時期である 6 月中旬～7 月下旬に、各調査地点から 5 樹を選定し、各樹の異なる主枝から 1 樹当たり 5 葉以上を検定試料として採取した。また、調査地点の樹を対象として、目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。試料は採取後、ただちに採取データとともに低温保管により移送し、検定実施を依頼するため名古屋植物防疫所へ送付した。

b 調査地点

地域等	市町	調査地点数	調査作物	調査日
中 勢	津市	2	ウメ	2015 年 7 月 28 日
南 勢	南伊勢町	6	ウメ	2015 年 7 月 14 日
紀 州	熊野市、御浜町、紀宝町	22	ウメ	2015 年 7 月 29 日
観光園地	四日市市、鈴鹿市、津市	7	ウメ	2015 年 6 月 22 日 ～7 月 1 日
計		37		

c 調査結果

目視による調査では、全ての調査区において感染と思われる症状は確認できなかった。

送付した試料を農林水産省が検定した結果、感染は確認されなかった。

② 感染植物特定調査

感染植物が確認された地域において、一定範囲の全ての宿主植物について感染の有無を調査し、感染の広がり、宿主植物の密度などを確認した。

a 調査方法

感染が確認された観光園地および感染樹から半径 1km を含む範囲において、6 月中旬～7 月中旬に調査を実施した。目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認し、ウメは病徴が認められた樹、その他の宿主植物は病徴の有無にかかわらず全ての樹から、検定試料を採取した。試料は 1 樹当たり 5 葉とし、全国発生状況調査と同様に、検定実施のため名古屋植物防疫所へ送付した。

b 調査地点

感染樹発生園地は単独で 1 調査地点とし、5 月 18 日に調査を実施した。

感染樹発生園地を除く調査地域については、当該範囲を 21 ブロックに分け、130 調査地点を設定した。

c 調査結果

感染樹発生園地では、調査対象となる宿主植物としてウメ464本、モモ11本を確認した。このうちウメ6本、モモ11本から試料を採取し、名古屋植物防疫所が検定した結果、新たにウメ6本で感染が確認された。なお、感染が確認されたウメ6本は、1月上旬までに抜根して埋設処分された。

感染樹発生園地を除く調査地域では、ウメ325本、モモ・スモモ・ユスラウメなどのその他の宿主植物75本を調査した。このうちウメ19本、その他の宿主植物75本から試料を採取し、名古屋植物防疫所が検定した結果、全て感染は確認されなかった。

(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査

キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統は、2014 年 5 月に国内で最初の発生が確認され、2016 年 3 月 31 日現在で 13 都県において発生が確認されている。

本病は、国内にまん延した場合に有用な植物に重大な損害を与えるおそれがある重要病害虫に該当することから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内のキウイフルーツ生産園地を対象に発生状況を把握するため、調査を実施した。

a 調査方法

キウイフルーツを対象樹種とし、5 月下旬に、各調査園地内の全樹を対象に目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。

b 調査地点

地域等	市町名	調査地点数	調査本数	調査日
北 勢	鈴鹿市	1	76	2015 年 5 月 29 日
中 勢	津 市	1	11	2015 年 5 月 29 日
南 勢	多気町	1	27	2015 年 5 月 29 日
計		3	114	

c 調査結果

目視等による調査では、全ての調査区において感染と思われる症状は確認できなかった。

(5)ミバエ類等侵入警戒調査

ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは、果樹、果菜類の重要害虫である。これら害虫の海外からの侵入防止に万全を期するため、都道府県と農林水産省植物防疫所では、地域を分担協力し、侵入警戒調査を実施している。三重県では、ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエを対象に、県内 6 か所にミバエ類誘引トラップを設置し、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法： スタイナー型トラップにミバエ類誘引用資材(メドフライコールあるいはユーゲルア)を装填し、2015 年 4 月 6 日に南伊勢町船越、4 月 7 日に多気町五桂、4 月 9 日に桑名市多度町小山、津市大里窪田町、4 月 10 日に紀北町紀伊長島区海野、御浜町志原に各 1 器ずつ調査地点の樹木に設置した。1 か月に 2 回(原則として第 2 週及び第 4 週)、11 月 12 日まで調査した。誘引用資材は、約 1 か月おきに交換した。

b 調査結果： 対象種の侵入は確認されなかった。

調査月日	桑名市多度町小山					津市大里窪田町					多気町五桂					南伊勢町船越					紀北町紀伊長島区海野					御浜町志原						
	ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール				
	ミカン コミバエ 群	ウリミ バエ	ミスジ ミバエ	チチュウ ウカイミ バエ	その他	ミカン コミバエ 群	ウリミ バエ	ミスジ ミバエ	チチュウ ウカイミ バエ	その他	ミカン コミバエ 群	ウリミ バエ	ミスジ ミバエ	チチュウ ウカイミ バエ	その他	ミカン コミバエ 群	ウリミ バエ	ミスジ ミバエ	チチュウ ウカイミ バエ	その他	ミカン コミバエ 群	ウリミ バエ	ミスジ ミバエ	チチュウ ウカイミ バエ	その他	ミカン コミバエ 群	ウリミ バエ	ミスジ ミバエ	チチュウ ウカイミ バエ	その他		
4月24日																						0	0	3	0	0	0					
4月27日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10	0	64	0	0	0	14	0	0	0	0	11	0	0	0					
5月12日											0	0	13	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0					
5月13日						0	0	2	0	0	0																					
5月14日	0	0	1	0	0	0																				0	0	2	0	0	0	
5月23日	0	0	0	0	0	0																										
5月24日						0	0	0	0	0	0	0	0	9	0																	
5月25日																										0	0	0	0	0	0	
5月26日																0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0					
6月8日											0	0	1	0	0	0																
6月10日	0	0	1	0	0	0																				0	0	0	0	0	0	
6月11日						0	0	1	0	0	0																					
6月12日																0	0	3	0	0	0	0	0	6	0	0	0					
6月25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7月6日											0	0	0	0	0	0																
7月7日						0	0	0	0	0	0																					
7月8日	0	0	1	0	0	0																				0	0	0	0	0	0	
7月24日	0	0	0	0	0	0															0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
7月27日						0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0											
8月4日																0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
8月5日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0																					
8月6日											0	0	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	
8月26日																										0	0	1	0	0	0	
8月27日						0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	83	0	0	0					
8月28日	0	0	2	0	0	0																										
9月7日						0	0	8	0	0	0	0	0	0	0																	
9月10日																0	0	0	0	0	0											
9月11日																					0	0	62	0	0	0	0	0	2	0	0	0
9月14日	0	0	4	0	0	0																										
9月20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0											
9月22日																					0	0	8	0	0	0						
9月30日																										0	0	1	0	0	0	
10月6日											0	0	0	0	0	0																
10月7日						0	0	0	0	0	0																					
10月8日	0	0	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0											
10月9日																						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月26日																										0	0	0	0	0	0	
11月2日	0	0	0	0	0	0															0	0	0	0	0	0						
11月4日						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
11月6日																0	0	0	0	0	0											
11月12日																										0	0	0	0	0	0	

(6) 火傷病侵入警戒調査

りんご、なしなどに被害をもたらす火傷病菌は、国内で発生・まん延した場合に農業生産に与える影響が極めて大きく、また、その宿主植物の輸入時における発見が困難であることから、植物防疫法で輸入禁止植物の対象病菌として取り扱われている重要病菌である。三重県においても、火傷病防疫指針にのっとり、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法

宿主植物のなかで、本県の果樹・花木を生産する目的で栽培される主要な植物として「日本なし」、「かなめもち」を選定し、調査対象植物とした。「日本なし」については主要な5産地にそれぞれ1～2か所ずつ調査地を設定した。また、「かなめもち」については農業研究所鈴鹿市駐在(旧花植木センター)に1か所の調査地を設定した。

火傷病の症状について、枝、葉、果実等で目視により確認した。

日本なしについては、2015年4月から9月まで、1か月に1回(第2～3週)調査した。

かなめもちについては、2015年4月から8月まで、1か月に1回(第2～3週)調査した。

b 調査樹種および地点

○日本なし(幸水、豊水)

調査圃場	調査樹数
四日市市下海老町 1	60
四日市市下海老町 2	40
津市久居小野辺町	63
津市香良洲町	60
松阪市笹川町 1	21
松阪市笹川町 2	50
玉城町富岡	60
伊賀市羽根 1	33
伊賀市羽根 2	50

○かなめもち(レッドロビン)

調査圃場: 鈴鹿市高塚町 農業研究所鈴鹿市駐在圃場

調査本数: 40本(植栽本数6本、34本の2か所)

c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

2. 巡回等データ

(1) 水稻

a ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件判定結果

- : 好適条件 (いもち病発生の好条件が全て満たされた。)
- ◎ : 準好適条件(湿潤時間の平均気温が比較的低いが湿潤時間10時間以上)
- : 準好適条件(湿潤時間の平均気温は15～25℃でないが湿潤時間10時間以上)
- ▲ : 準好適条件(前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
- △ : 準好適条件(前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
- () : 好適条件は満たされなかったが、湿潤時間が5時間以上(数値は湿潤時間)
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。

2015年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊 長島	尾鷲	熊野 新鹿	新宮 (参考)	備考
5/01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(6)	
5/04	△	△	△	△	(9)	◎	◎	△	(8)	△	△	△	△	
5/05	—	△	◎	—	—	—	—	△	—	—	—	—	—	
5/06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(9)	—	◎	◎	
5/09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/10	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	◎	
5/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/15	—	—	—	—	△	—	△	—	△	—	—	—	—	
5/16	—	—	—	(6)	—	◎	(9)	(9)	(9)	—	(9)	◎	—	
5/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/19	—	—	—	—	—	(8)	(8)	◎	△	(6)	(9)	●	(5)	
5/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/21	—	(6)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(5)	—	◎	—	
5/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/31	—	—	(5)	(6)	—	—	—	—	—	—	—	(8)	(7)	
6/01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/03	—	—	—	—	—	(7)	●	(6)	(5)	(7)	(8)	—	—	東海地方梅雨入り
6/04	—	—	—	—	—	—	—	●	◎	(9)	—	●	—	
6/05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/08	—	(9)	◎	—	—	—	(6)	—	—	—	△	△	●	
6/09	—	—	—	—	—	—	(5)	—	—	—	—	—	—	
6/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(9)	
6/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/12	(8)	—	—	—	(9)	△	(5)	△	△	△	(5)	—	—	
6/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/14	—	—	—	—	—	(7)	—	(6)	—	(6)	—	●	●	
6/15	—	—	—	—	—	●	◎	●	●	●	(5)	—	—	
6/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(8)	—	(6)	—	
6/17	—	—	—	(9)	—	—	—	●	●	●	●	●	—	
6/18	(5)	(9)	(6)	—	—	◎	(8)	●	●	—	—	—	—	
6/19	—	◎	◎	—	—	◎	—	●	(7)	—	—	—	—	
6/20	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/21	—	—	—	—	—	(8)	(8)	—	—	—	●	—	●	
6/22	—	—	—	—	●	—	—	—	◎	●	—	●	●	
6/23	(9)	●	●	●	(5)	●	—	(6)	—	(7)	(6)	(7)	●	
6/24	●	—	—	●	—	—	—	◎	●	—	●	●	—	
6/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/26	—	(5)	—	—	—	(5)	(5)	●	(5)	(5)	(6)	—	—	
6/27	—	—	—	—	—	—	(5)	●	—	—	(5)	(6)	—	
6/28	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	
6/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/30	—	(8)	●	—	—	—	—	(5)	—	—	—	—	—	

2015年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊 長島	尾鷲	熊野 新鹿	新宮 (参考)	備考
7/01	(9)	(7)	(7)	—	—	(7)	(9)	(6)	—	(9)	(5)	—	(7)	
7/02	—	—	◎	—	—	(5)	(6)	—	(5)	—	●	(7)	●	
7/03	—	—	—	—	—	(8)	(5)	(7)	(5)	(8)	(5)	(8)	(8)	
7/04	—	—	—	—	—	(8)	●	—	—	—	—	—	(5)	
7/05	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	◎	
7/06	◎	●	◎	●	(6)	●	◎	●	●	●	●	●	●	
7/07	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	
7/08	●	●	(9)	—	—	●	—	—	—	(9)	(8)	—	(6)	
7/09	●	●	(9)	—	(7)	●	—	(8)	(9)	(9)	—	(5)	●	
7/10	—	—	●	—	—	(7)	●	(6)	●	(6)	●	●	●	
7/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	
7/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(9)	(9)	
7/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/16	—	—	—	—	—	—	—	—	(6)	—	—	—	—	
7/17	—	—	—	—	—	—	—	(8)	(8)	—	—	—	—	
7/18	(9)	▲	▲	(7)	▲	▲	(5)	▲	(8)	(7)	▲	(8)	—	
7/19	—	—	—	—	—	—	—	—	(5)	—	—	—	—	
7/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/22	—	—	—	—	—	(7)	—	○	—	—	(7)	(5)	(5)	
7/23	▲	—	—	—	—	—	○	▲	▲	(8)	—	—	—	
7/24	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	東海地方梅雨明け
7/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/28	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
7/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7/31	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	
8/01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/06	—	—	(7)	—	—	—	(7)	—	○	(5)	(5)	—	—	
8/07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/09	—	—	(7)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
8/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(7)	(7)	—	—	
8/14	—	—	○	○	—	▲	○	○	○	○	—	—	—	
8/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/17	—	—	—	—	—	—	—	(5)	—	—	—	—	—	
8/18	▲	▲	▲	—	—	▲	—	—	▲	▲	▲	—	—	
8/19	—	—	—	—	(6)	○	—	—	—	—	—	—	—	
8/20	—	—	(6)	—	▲	(8)	—	(7)	—	—	—	—	—	
8/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/22	—	—	—	○	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/25	—	—	—	—	—	—	—	▲	(5)	(5)	—	—	(9)	
8/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8/27	—	▲	—	—	—	—	▲	—	—	—	—	—	—	
8/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(7)	—	—	—	
8/29	—	—	—	—	—	—	(5)	—	(5)	—	(5)	—	—	
8/30	●	—	—	—	●	●	●	—	●	▲	—	(6)	▲	
8/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

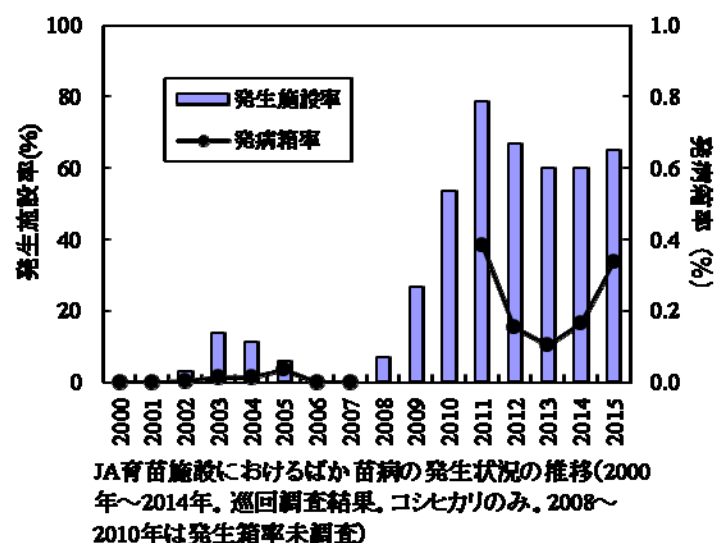
b 5月データ

水稻育苗施設巡回調査における、ばか苗病の発生状況(2015年4月)

調査 日	JA育苗施設	ばか苗病(コシヒカリ)		その他の品種			種子消毒、播種同時施用箱粒剤	培土	
		発生箱率(%)	調査箱数	発生箱数	調査箱数	品種			
4/10	三重南紀	紀宝	2.0	1,000	1	55	キヌヒカリ	温湯消毒	クリーン2号
			-	-	2	158	あきたこまち		
		御浜	0.2	1,000	1	110	かぐらもち	紀宝で実施	クリーン2号
		熊野	0.1	1,000	-	-	-	紀宝で実施	クリーン2号
	伊勢	紀北	0.0	1,000	0	100	キヌヒカリ	テクリードC・スミチオン	クリーン2号
4/14	鳥羽志摩	鵜方	参考 15.2	184	38	150	あきたこまち	温湯消毒(2台中1台調子悪し)	クリーン2号
	伊勢	度会	0.2	1,098	0	800	かぐらもち	テクリードC・スミチオン	クリーン2号
	多気郡	多気	0.6	850	-	-	-	温湯消毒	サンバイド
		機殿	0.3	2,400	-	-	-	温湯消毒	サンバイド
	松阪	大足	0.2	2,000	-	-	-	温湯消毒	サンバイド
		櫛形	0.1	1,000	1	560	みえのえみ	温湯消毒	クリーン2号
4/15	津安芸		1.4	1,000	-	-	-	温湯消毒	クリーン2号
		安濃	-	-	8	640	キヌヒカリ	エコホープDJ	クリーン2号
			-	-	6	442	あゆみもち		
	鈴鹿	西部	0.4	1,000	-	-	-	テクリードC・スミチオン	クリーン2号
		南部	0.0	2,496	0	1,248	キヌヒカリ	モミガードC・スミチオン	クリーン2号
	みえきた	大安	0.0	1,000	-	-	-	テクリードC・スミチオン	クリーン2号 覆土 三菱軽量
桑名		0.0	1,000	-	-	-	テクリードC・スミチオン	クリーン2号	
阿山		0.0	2,000	0	2,000	キヌヒカリ	温湯消毒	クリーン2号	
4/18	いがりまぐぶ		-	-	0	960	みえのえみ	6割 ツインターボ処理	一部 城南培土
		上野南	0.05	2,200	0	2,200	みえのえみ	温湯消毒 採種圃周辺 エコホープ追加 一部 ツインターボ処理	クリーン2号
		伊賀南部	名張	0.0	2,000	-	-	-	温湯消毒 一部 ルーチンアドスビノ処理
		-	-	4	40	みえのえみ	エコホープDJ	クリーン2号	
	三重中央	美杉	0.0	1,400	0	1,300	キヌヒカリ	なし	クリーン2号
	一志東部	嬉野	0.2	1,900	-	-	-		一部 ホーネンス
県全体平均(コシヒカリ)		0.33	3年平均0.20%。発生施設率65.0% 3年平均61.7%						

出荷直前の苗について、ハウス内50m2列を3回(1000箱)見歩き調査。病害発生箱数を記録。

その他の病害:苗立枯病、細菌性苗腐敗症、いもち病の発生なし。



水稲病害虫の発生状況(2015年5月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	イネミズゾウムシ									葉いもち	
			被害程度別圃場割合(%)						株当たり 成虫数 (頭)	被害 株率 (%)	被害度	本田 発生 圃場率 (%)	補植苗を 確認した 圃場の 割合(%)
			発生圃 場率(%)	甚	多	中	少	無					
桑名	5/14	36	66.7	0	3	6	58	33	0.07	18.3	5.4	0	25.0
四日市鈴鹿	5/11、13	67	50.7	0	0	3	48	49	0.01	11.9	3.2	0	35.8
津	5/13	44	65.9	0	2	7	57	34	0.05	21.6	6.2	0	31.8
松阪	5/11、12、13	56	57.1	0	0	5	52	43	0.04	17.2	4.5	0	30.4
伊勢志摩	5/12、15	44	68.2	0	0	5	64	32	0.02	18.1	4.7	0	13.6
伊賀	5/15	44	34.1	0	0	2	32	57	0.07	6.8	1.9	0	43.2
紀州	5/14	28	46.4	0	0	0	46	54	0.01	7.1	1.8	0	28.6
県全体		319	55.5	0	0.6	4.1	50.8	43.3	0.04	14.6	4.0	0	30.4
平年値(10年平均)			63.7	1.0	2.9	11.0	49.0	36.1	0.05	25.7	8.8	0.1	49.8

定点におけるイネミズゾウムシ発生状況(2015年5月)

地区	調査場所	品種	移植(予定)日	被害株率 (%)	被害度	被害 程度	株当たり 虫数(頭)
		移植時の殺虫剤・殺菌剤施用					
桑名	いなべ市北勢町	コシヒカリ	5/2	0	0	無	0
	阿下喜	なし					
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	4/24	16	4	少	0
		ルーチン粒剤					
	菰野町竹成	コシヒカリ	5/6	12	3	少	0
		なし					
	鈴鹿市矢橋町	神の穂	未定	未定植のため調査中止			
		未定					
	鈴鹿市御菌町	コシヒカリ	4/19	36	9	中	0
	ルーチンアドスピノ箱粒剤						
亀山市山下町	コシヒカリ	5/3	16	4	少	0.04	
ダントツ							
津	津市安東町	コシヒカリ	4/24	28	7	中	0
		なし					
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/26	8	2	少	0
		バリアード箱粒剤					
津市一志町井生	コシヒカリ	4/26	32	8	中	0.12	
	タチガレエース液剤						
松阪	松阪市美濃田町	聴き取り中		0	0	無	0.32
	多気町兄国	コシヒカリ	5/2	0	0	無	0
		ジャッジ箱粒剤					
	明和町坂本	コシヒカリ	5/6	8	2	少	0
		ツインターボ箱粒剤08					
伊勢 志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	4月5週目	4	1	少	0
		オリゼメートオンコル粒剤					
	玉城町蚊野	コシヒカリ	4/21	0	0	無	0
	テクリードCフロアブル、スミチオン乳剤、タチガレエース液剤						
志摩市磯部町 下之郷	コシヒカリ	4/25～26	4	1	少	0	
バリアード箱粒剤							
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/3	0	0	無	0
		嵐プリンス粒剤					
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/2	0	0	無	0
ツインターボ箱粒剤08							
紀州	紀北町紀伊長島区 赤羽	コシヒカリ	4/16～17	12	3	少	0
		ルーチン粒剤、アドマイヤー1粒剤					
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	5/2	0	0	無	0
ツインターボ箱粒剤08							
県 予察圃	農業研究所	コシヒカリ	4/23	100	46	多	0.19
		なし					
定点平均		—	—	13.8	4.7	少	0.03
平年値(10年平均)		—	—				

※イネミズゾウムシ被害度に対する被害程度:0(無)、1～20(少)、21～40(中)、41～70(多)、71以上(甚)

コムギを指標作物とした、斑点米カメムシ類の発生状況(2015年5月)

地区	調査地点	ミナミアオ カメムシ	ホソハリカ メムシ	シラホシカ メムシ類	アカスジカ スミカメ	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	—	—	—	—	
	東員町六把野新田	0	0	0	0	
四日市 鈴鹿	四日市市北野	0	0	0	0	ミナミアオカメムシ若齢幼虫(3)
	菰野町池底	0	0	0	0	
	鈴鹿市下大久保	0	0	0	0	畦畔;アカスジ(5)、路肩;ホソハリ(2)
津	津市殿村	0	0	0	0	
	津市芸濃町萩野	0	0.3	0	0	
松阪	松阪市嬉野川北町	0	0	0	0	
	松阪市藤之木	—	—	—	—	
	多気町兄国	—	—	—	—	
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	0	0	0	0	
伊賀	伊賀市西之澤	0	0	0	0	
	伊賀市畑村	0	0	0	0	
県全体	発生圃場率(%)	0	3.0	0	0	
	すくい取り成虫数	0	0.03	0	0	

すくい取り成虫数(頭/20回振)。各地点4圃場において調査(収穫済み圃場では未実施)。

c 6月データ

本田および置き苗における葉いもちの発生状況(2015年6月)

地区	調査 月日	本田調査							置き苗調査	
		発生程度別圃場割合(%)							放置率 (%)	発生圃場率 (全調査圃場に 対する割合%)
		発生有					発生無	発病度		
		計	甚	多	中	少				
桑名	6/10	0	0	0	0	0	100	0	8.3	0
四日市鈴鹿	6/9,11	0	0	0	0	0	100	0	10.3	0
津	6/11	0	0	0	0	0	100	0	2.3	0
松阪	6/8,11	0	0	0	0	0	100	0	5.4	0
伊勢志摩	6/8,9,10,12	0	0	0	0	0	100	0	0	0
伊賀	6/12	0	0	0	0	0	100	0	13.6	0
紀州	6/10,12	0	0	0	0	0	100	0	14.3	0
県全体		0	0	0	0	0	100	0	7.5	0
10年平均		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	16.0	0.4

広域病害虫防除員によるいもち病初発調査(2015年6月) 3地点10圃場について100m2条見歩き調査。

地区	調査 月日	調査場所	本田調査 発生 圃場率 (%)	置き苗調査 放置率 (%)	発生圃場率 (全調査圃場に 対する割合%)	備考
桑名	6/6	桑名市上ノ輪 桑名市長島町下坂手 いなべ市北勢町畑毛	0 0 0	0 10 30	0 0 0	田植:5月23日頃(昨年より1週間遅い)、品種:キヌヒカリ。イネミズノウムシ一部被害あり。アオミドロの多い圃場がある。 田植:4月10日頃、品種:コシヒカリ。生育良好。 田植:5月3～20日(水揚げポンプ故障のため田植日にばらつきがある)、品種:コシヒカリ、キヌヒカリ。草丈:15～25cm。
三河	6/11	四日市市場町 孤野町千草 菰野町川北	0 0 0	0 0 30	0 0 0	特に目立った病害もみられなかった。 イネミズノウムの食痕が多くみられた。イネドロオウムシが多くみられた。欠株が目立った。管理よくない。 認定農業者での置き苗がみられた。現在、中干し中で、一部下葉の赤い水田がみられたが、特に問題ないと思われる。
鈴鹿	6/6	鈴鹿市算所 鈴鹿市庄野 鈴鹿市須賀	0 0 0	0 10 40	0 0 0	
津市	6/4	一志町井生 一志町八太 白山町二本木	0 0 0	0 10 10	0 0 0	一部圃場で葉類多発。
松阪	6/10	小阿坂町野中 小阿坂町ふけ 飯多 美濃田地蔵・八田	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	調査圃場に5月末から6月初め頃の田植あり。
伊勢	6/6	磯部町恵利原A 磯部町恵利原B 磯部町恵利原C	0 0 0	10 0 0	0 0 0	下葉に赤枯症状あり。 4月植えは生育良好。 イネミズノウムの加害あり。
伊賀	6/10	猪田地区 森寺地区 比自岐地区	0 0 0	0 40 30	0 0 0	田植・品種:5月4日・コシヒカリ、5月23日・山田錦。畔草・圃場の雑草などよく管理されている。 田植:5月4～5日、5月15～16日。置苗の残っている圃場が多い。畦畔雑草の残っている圃場もあり、全般的に管理が不十分。 一部圃場でヒユ等雑草が多い。畦畔雑草の残っている圃場もあり、初期の管理が不十分。
東紀州	6/11	熊野市金山 御浜町下市木 紀宝町井内	0 0 0	0 30 0	0 0 0	スクミンゴガイ:例年より少ないが産卵あり
県全体						
平年値(10年平均)			0.2	16.1	2.4	—

水稲病害虫発生状況(2015年6月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	はらい落とし調査(虫数/10株)					イネドロオウムシ		イネ ゾウムシ	イネクロ カメムシ	フタオビコ ヤガ	イナゴ類
			セジロウンカ		ヒメトビウンカ		ツマゲロコヨバイ		発生 圃場率(%)	被害度	被害発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)
			成虫	成虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫					
桑名	6/10	36	0	0.06	0.2	0.4	0.4	0.4	2.8	0.03	16.7	5.6	0
四日市鈴鹿	6/9,11	68	0	0.01	0.09	0.3	0.3	0.3	1.5	0.01	8.8	13.2	0
津	6/11	44	0	0.02	0.09	0.2	0.6	0.6	9.1	0.8	18.2	9.1	0
松阪	6/8,11	56	0	0.04	0	0.2	0.4	0.4	5.4	0.2	8.9	5.4	1.8
伊勢志摩	6/8,9,10,12	44	0.02	0.05	0.09	0.5	0.6	0.6	4.5	0.1	38.6	4.5	0.0
伊賀	6/12	44	0.02	0.02	0.02	0.2	0.7	0.7	2.3	0.1	9.1	2.3	2.3
紀州	6/10,12	28	0	0.07	0	0.1	0.1	0.1	0	0	25.0	7.1	0
県全体		320	0.006	0.03	0.07	0.3	0.4	0.4	3.8	0.2	16.6	7.2	0.6
10年平均(※6年平均)			0.002	0.01	0.07	0.2	0.4	0.4	4.3	0.1※	31.0※	4.4	0.8

その他病害虫:ばか苗病、スクミンゴガイ

圃場周辺の雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況(2015年6月)

地区	調査 月日	調査 地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソミドリカスミカ メ成虫	
			発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数
桑名	6/10	18	27.8	0.6	0	0	16.7	0.2	66.7	1.9	27.8	0.8
四日市鈴鹿	6/9,11	34	2.9	0.1	0	0	5.9	0.06	58.8	3.9	8.8	0.1
津	6/11	22	13.6	0.3	0	0	18.2	0.3	22.7	1.9	18.2	0.4
松阪	6/8,11	28	10.7	0.1	0	0	3.6	0.1	32.1	1.4	0	0
伊勢志摩	6/8,9,10,12	22	0	0	0	0	0	0	36.4	2.5	18.2	0.4
伊賀	6/12	22	0	0	0	0	4.5	0.05	9.1	0.1	4.5	0.05
紀州	6/10,12	14	14.3	0.3	0	0	21.4	0.4	28.6	2.1	21.4	1.4
県全体		160	8.8	0.2	0	0	8.8	0.1	37.5	2.1	12.5	0.3
10年平均			9.3	0.2	0.2	0.01	6.1	0.1	32.7	1.9	7.0	0.16

※畦畔、のり面、休耕地等における20回振りすくい取り調査

定点圃場における病害虫発生状況(2015年6月)

地区	調査場所	葉いもち		はらい落とし調査(虫数/10株)					イネドロオイムシ		イネクロカメムシ		その他病害虫 (見取り調査および圃場内すくい取り虫数)
		発病度	発病 程度	セジロウン カ成虫	ヒメトビウ シカ成虫	ツマグロヨコバイ 成虫	イネミズ ゾウムシ 幼虫	イネミズ ゾウムシ	被害度	発生 程度	成虫数 (/25株)	被害株 率(%)	
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	イナゴ類1
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類11
	菰野町竹成	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	ササキリ類1
	鈴鹿市矢橋	0	無	0	0	1	0	0	0	無	0	24	イネクロカメムシ吸汁跡あり
	鈴鹿市御園町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	ザリガニ(?)穴あり
	亀山市山下町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
津	津市安東町	0	無	0	0	0	1	1	0	無	0	0	アカヒゲホソミドリカスミカメ1、ツマグロヨコバイ3、ササキリ類1
	津市安濃町草生	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	イネミズゾウムシ1、ササキリ類1
	津市一志町井生	0	無	0	0	1	1	1	0	無	0	0	ツマグロヨコバイ1
松阪	松阪市美濃田町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ5
	多気町兄国	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	明和町坂本	0	無	0	0	0	0	2	0	無	0	0	イナゴ類2
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ1
	玉城町蚊野	0	無	0	0	2	2	1	0	無	0	0	イネミズゾウムシ1、イナゴ類15
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類2、スクミンゴガイ
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	1	0	0	0	0	無	0	4	
	伊賀市甲野	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	スクミンゴガイ
紀州	紀北町紀伊長島区赤羽	0	無	0	1	0	0	0	0	無	0	0	
	熊野市飛鳥町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
県予察圃	農業研究所	0	無	0	0	2	0	0	0	無	0	0	

葉いもち発病度(発病程度):0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)。イネドロオイムシ被害度(発生程度):0(無)、1~20(少)、21~50(中)、51~70(多)、71以上(甚)

d 7月データ

水稻病害発生状況(2015年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち									紋枯病	
			程度別発生圃場率(%)						発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)
			発生有					発生 無					
			計	甚	多	中	少						
桑名	7/8	36	11.1	0	0	2.8	8.3	88.9	1.2	4.7	0	5.6	0.7
四日市	7/7,10	68	4.4	0	0	0	4.4	95.6	0.13	0.5	0	0	0
鈴鹿	7/7	44	13.6	0	0	0	13.6	86.4	0.4	1.6	11.1	0	0
津	7/6	56	16.1	0	0	0	16.1	83.9	0.9	3.6	10.0	0	0
松阪	7/9,10	44	11.4	0	0	0	11.4	88.6	0.3	1.2	7.7	2.3	0.3
伊勢志摩	7/9	44	2.3	0	0	0	2.3	97.7	0	0.2	0	2.3	0.1
伊賀	7/8,9	28	0.0	0	0	0	0	100	0	0	0	3.6	0.1
紀州													
県全体		320	8.8	0	0	0.3	8.4	91.3	0.4	1.7	6.0	1.6	0.14
平年(10年平均)			26.0	0.00	0.4	2.9	22.7	74.0	2.6	7.7	1.1	9.8	1.6

水稻害虫発生状況(2015年7月)

地区		調査 月日	調査 圃場 数	はらい落とし調査(10株当たり)												見取り調査				
				セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメトビウンカ		ツマグロヨコバイ			イネミズゾウムシ		フタオビコヤガ		イネクロカメムシ		ニカ メイガ	イネ ヨトウ
				発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	被害発生 圃場率(%)	被害 株率(%)	被害発生 圃場率(%)	被害発生 圃場率(%)
桑名	7/8	36	0	0	0	0	0	0	50.0	0.1	3.1	8.3	0.1	0	0	13.9	0.8	8.3	0	
四日市鈴鹿	7/7,10	68	2.9	0.03	0	0	4.4	0.04	29.4	0.2	0.8	7.4	0.1	4.4	0.04	5.9	0.2	0	0	
津	7/7	44	0	0	0	0	2.3	0.02	25.0	0.0	0.84	9.1	0.16	4.5	0.05	15.9	1.9	20.5	0	
松阪	7/6	56	0	0	0	0	0	0	17.9	0.21	0.1	0	0	1.8	0.02	1.8	0.1	12.5	0	
伊勢志摩	7/9,10	44	4.5	0.05	0	0	6.8	0.07	52.3	0.1	1.3	13.6	0.2	6.8	0.11	0	0	11.4	0	
伊賀	7/9	44	0	0	0	0	0	0	11.4	0.02	0.3	6.8	0.1	9.1	0.1	4.5	0.4	2.3	0	
紀州	7/8,9	28	3.6	0.04	0	0	3.6	0.04	46.4	0.3	1.3	3.6	0.04	10.7	0.1	0	0	0	0	
県全体		320	1.6	0.016	0	0	2.5	0.03	31.3	0.2	1.0	6.9	0.1	5.0	0.06	5.9	0.5	7.8	0	
平年(10年平均)			6.0	0.8	0.1	0.2	9.7	0.5	29.8	0.6	2.5	9.0	0.3	5.8	0.2	22.9	3.2	13.6	1.5	

定点圃場における水稻病害虫発生状況(2015年7月)

定水面場における水稻病害虫発生状況(平成27年度)														
地区	調査場所	葉いもち			紋枯病			すくい取り20回調査					すくい取り調査・斑点米カメムシ類 (見取り調査・その他病害虫)	
		発病 株率(%)	発病度	発病 程度	発病 株率(%)	発病度	発病 程度	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	ヒメトビ ウンカ	ツマグロヨコバイ			
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	0	無	16	4	少	0	0	1	0	0	ウンカ類幼虫1	
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	イナゴ類幼7	
	菰野町竹成	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	0	ササキリ類幼1。(イチモンジセセリ)	
	鈴鹿市矢橋町	0	0	無	0	0	無	1	0	1	2	0	ウンカ類幼1	
	鈴鹿市御菌町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	1	0		
	亀山市山下町	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	1	イナゴ類幼3	
津	津市安東町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	1		
	津市安濃町草生	4	1	少	0	0	無	0	0	0	0	0		
	津市一志町井生	0	0	無	0	0	無	0	0	0	1	0		
松阪	松阪市美濃田町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	イネミズゾウムシ9	
	多気町兄国	0	0	無	0	0	無	0	0	0	3	0	イナゴ類幼1。(ニカメイガ)	
	明和町坂本	12	3	少	0	0	無	0	0	0	3	0	イナゴ類幼4	
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0		
	玉城町蚊野	8	2	少	0	0	無	0	0	0	0	0	イナゴ類幼2。(ニカメイガ)	
	志摩市磯部町下之郷	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	0	イナゴ類幼7。(ばか・苗病)	
伊賀	伊賀市大野木	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	フタオビコヤガ幼1、イナゴ類幼2	
	伊賀市甲野	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	フタオビコヤガ幼1	
紀州	紀北町紀伊長島区赤羽	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	イナゴ類幼1	
	熊野市飛鳥町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0		
県予察圃	農業研究所(無防除)	0	0	無	0	0	無	0	0	0	2	0	イナゴ類幼3	

葉いもちおよび紋枯病発病度(発病程度):0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

出穂期の圃場および畦畔イネ科雑草における、斑点米カメムシ類の発生状況(20回振りすくい取り)(2015年7月)

地区	調査 月日	調査 地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソミドリカ スミカメ成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		その他 斑点米 カメムシ類
			発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	
桑名	7/8	18	22.2	0.8	0	0	38.9	0.7	50.0	5.2	33.3	1.1	0	0	-
四日市鈴鹿	7/7,10	34	20.6	0.3	2.9	0.03	8.8	0.1	47.1	2.3	32.4	1.2	0	0	-
津	7/7	22	13.6	0.1	4.5	0.1	0	0	18.2	1.1	13.6	0.41	0	0	-
松阪	7/6	28	14.3	0.2	3.6	0.1	10.7	0.3	42.9	4.3	0	0	0	0	-
伊勢志摩	7/9,10	22	0	0	4.5	0.1	4.5	0.1	22.7	0.7	0	0	0	0	-
伊賀	7/9	22	9.1	0.1	4.5	0.1	18.2	0.23	50.0	5.4	31.8	0.8	0	0	-
紀州	7/8,9	14	0	0	28.6	0.6	0	0	21.4	1.9	0	0	0	0	-
県全体		160	12.5	0.2	5.6	0.1	11.3	0.2	37.5	3.0	16.9	0.5	0	0	-
平年(10年平均)			25.3	0.6	6.5	0.5	11.4	0.2	27.4	3.3	9.0	0.3	3.6	0.1	-

出穂期の圃場内、畦畔、のり面、休耕地等を調査。

畦畔および圃場内における、斑点米カメムシ類(中型種成虫)の発生状況・広域病害虫防除員による調査(2015年7月)

地区	調査月日	調査場所	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	シラホシカメムシ類	備考
桑員	7/4	桑名市上ノ輪	0	0	0	アゼナが全体的に少々発生。
		桑名市長島町下坂手	0	0	0	昨年より生育が若干遅い。
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	アゼナ発生の多い圃場がある。全体的に植付時期がばらついている。
三泗	7/8	四日市市市場町	0.4	0	0.2	一部圃場でイネクロカメムシ2頭確認された。
		菰野町千草	0.8	0	0	掘り取り調査を行ったが、降雨の影響で例年より少なかった。
		菰野町川北	0.2	0	0	イナゴ多い。穂肥施用が行われていた。
鈴亀	7/12	鈴鹿市算所	0.6	0	1.6	アカヒゲ・アカスジカスミカメ1.6頭。畦畔雑草管理されている。
		鈴鹿市庄野	0.4	0	0.6	アカヒゲカスミカメ1.6頭。ヨコバイ0.2頭。一部圃場で出穂。除草剤使用多い。
		鈴鹿市須賀	0	0	0	アカヒゲカスミカメ4.8頭。ヨコバイ0.2頭。畦畔雑草管理されている。
津市	7/3	一志町井生	0	0	0	アカスジカスミカメ1.6頭。
		一志町八太	0	0	0	アカスジカスミカメ5.6頭。全区でイナゴ捕捉。
		白山町二本木	0.2	0	0	アカスジカスミカメ0.6頭。全区でイナゴ捕捉。
松阪飯多	7/8,10	小阿坂町野中	1	0.2	0.2	葉いもち発生あり。野ネズミによる被害がみられた。
		小阿坂町ふけ	2	0	1.2	-
		美濃田北蔵	0	0	0	葉いもち発生あり(少々)。
伊勢	7/5	磯部町恵利原A	0.2	0	0	コシヒカリは穂ばらみ期が多い。畦畔の除草はほとんど済まされていた。
		磯部町恵利原B	0	0	0	-
		磯部町恵利原C	0	0	0	-
伊賀	7/12	猪田地区	0	0	0	生育良好。いもちの発生等見られず。一部圃場でイナゴ類が多い。
		森寺地区	0	0	0	置苗撤去済み。畦畔管理が不十分な圃場があった。
		比自岐地区	0	0	0	置苗撤去済み。畦畔管理が不十分な圃場があった。イナゴ類が多い。
東紀州	7/9	熊野市金山	0.4	0	0.2	一部圃場で出穂を確認した。バクダ類多い。畦畔の草管理されている。
		御浜町下市木	0	0	0	一部圃場で出穂を確認した。全般的に虫少ない。
		紀宝町井内	0.2	0	0	出穂を確認した。全般的に虫少ない。畦畔の草管理されている。
県全体			0.3	0.0	0.2	-
平年値(10年平均)			0.3	0.1	0.05	-

e 8月データ

水稻病害発生状況(2015年8月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	穂いもち			葉いもち ^a			紋枯病					発病 度	発病 株率 (%)	白葉枯 病 発生圃 場率(%)	ごま葉枯 病 ^a 発生圃 場率(%)
			発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	程度別発生圃場率(%)								
									計	甚	多	中	少				
桑名	8/5	36	8.3	0.8	0.04	5.6	0.2	100.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.4	1.4	0.0	0.0
四日市鈴鹿	8/4,6	64	10.9	1.3	0.06	3.1	0.2	0.0	28.1	0.0	0.0	1.6	26.6	1.6	3.9	0.0	4.7
津	8/5	44	0.0	0.0	0.0	2.3	0.1	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0	54.5	3.5	9.9	0.0	4.6
松阪	8/5,6	56	17.9	1.0	0.04	1.8	1.3	22.2	16.1	0.0	0.0	1.8	14.3	1.4	5.2	0.0	5.4
伊勢志摩	8/4,7	44	2.3	0.1	0.00	2.3	0.5	16.7	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	0.2	0.6	0.0	0.0
伊賀	8/3	44	0.0	0.0	0.0	9.1	1.2	7.7	13.6	0.0	0.0	0.0	13.6	0.6	1.5	0.0	4.6
紀州	8/4,6	28	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	3.6	25.0	2.8	6.4	0.0	0.0
県全体		320	6.6	0.5	0.02	3.4	0.5	18.6	22.5	0.0	0.0	0.9	21.6	1.5	4.1	0.0	3.1
平年値(10年平均、 ^a 6年平均)			9.4	1.6	0.1	13.9	4.0	26.0	29.2	0.0	0.1	2.1	26.9	2.0	8.7	0.2	4.0

穂いもち発生状況・広域病害虫防除員による調査(2015年8月)

地区	調査 月日	調査場所	発病 株率(%)	発病穂率(%)			備考
				計	穂首	枝梗	
桑員	8/12	桑名市上ノ輪	0.0	0.0	0.0	0.0	葉いもち微発生であったが、穂いもちはなし。イボクサ多い。
		桑名市長島町下坂手	0.0	0.0	0.0	0.0	紋枯病中程度発生であった。ウンカ多く発生している。
		いなべ市北勢町畑毛	0.0	0.0	0.0	0.0	紋枯病多発生であった。葉いもち中程度発生であった。
三泗	8/13,14	四日市市市場町	8.0	0.4	0.1	0.3	穂首いもちが散見された。
		菰野町千草	5.6	0.3	0.0	0.3	獣害により穂先の食害が目立つ。株により紋枯病が目立つ。圃場により穂いもちが見られた。
		菰野町川北	0.8	0.0	0.0	0.0	イナゴが多く見られた。いもちはほとんど見られなかった。紋枯病が散見された。
鈴亀	8/10	鈴鹿市算所	0.0	0.0	0.0	0.0	—
		鈴鹿市庄野	10.4	0.5	0.3	0.3	—
		鈴鹿市須賀	6.4	0.2	0.1	0.2	—
津市	8/4	一志町井生	0.8	0.0	0.0	0.0	区外で穂首いもちを確認した。また、一部圃場で紋枯病が多発していた。
		一志町八太	0.0	0.0	0.0	0.0	葉いもち散見。
		白山町二本木	0.0	0.0	0.0	0.0	葉いもち、紋枯病散見。
松阪飯多	8/9	小阿坂町野中	0.0	0.0	0.0	0.0	—
		小阿坂町ふけ	0.0	0.0	0.0	0.0	鳥害あり。
		美濃田北蔵	0.0	0.0	0.0	0.0	紋枯病が見られた。
伊勢	8/7	磯部町恵利原A	0.8	0.0	0.0	0.0	各地点、目立った病害はなかった。
		磯部町恵利原B	1.6	0.1	0.1	0.0	—
		磯部町恵利原C	0.0	0.0	0.0	0.0	—
伊賀	8/11	猪田地区	0.0	0.0	0.0	0.0	7月後半～8月上旬の晴天高温のためいもち病発生少ない。
		森寺地区	0.8	0.0	0.0	0.0	半数以上の圃場で生育が進んでいる。いもち病は平年に比べて少ない。
		比自岐地区	0.0	0.0	0.0	0.0	いもち病は平年に比べて少ない。
東紀州	8/13	熊野市金山	0.0	0.0	0.0	0.0	—
		御浜町下市木	0.0	0.0	0.0	0.0	刈取り始まる。
		紀宝町井内	0.0	0.0	0.0	0.0	イナゴが多数発生している。刈取りが進んでいる。
県全体			1.5	0.1	0.02	0.0	—
平年値(10年平均)			10.2	0.6	0.3	0.3	—

水稻害虫発生状況(2015年8月)

地区	10株払い落とし調査												見取り調査による被害発生圃場率(%)									
	セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメトビウンカ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ			イネミズノウムシ		フタオビコヤガ		イネヨトウ	ニカメイガ	イチモンジセセリ	アワヨトウ	コブノメイガ	イネクロカメムシ	ササキリ類
	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数							
桑名	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.03	11.1	0.1	47.2	2.1	10.9	5.6	0.1	25.0	0.7	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	
四日市鈴鹿	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.02	12.5	0.2	48.4	1.1	4.2	6.3	0.1	26.6	0.3	1.6	12.5	0.0	6.3	0.0	9.4	
津	6.8	0.1	0.0	0.0	20.5	0.2	38.6	0.9	70.5	0.4	6.2	15.9	0.3	22.7	0.3	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	15.9	
松阪	3.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	8.9	0.1	33.9	1.0	1.3	7.1	0.1	10.7	0.1	0.0	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
伊勢志摩	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	0.1	18.2	0.2	0.2	6.8	0.1	22.7	0.6	0.0	4.5	0.0	4.5	2.3	0.0	2.3
伊賀	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.02	2.3	0.02	13.6	0.02	0.1	13.6	0.2	27.3	0.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.4	22.7
紀州	7.1	0.1	0.0	0.0	10.7	0.1	7.1	0.2	7.1	0.04	0.1	10.7	0.2	17.9	0.3	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県全体	2.5	0.03	0.0	0.0	4.7	0.0	12.8	0.2	36.3	0.9	3.2	9.1	0.1	22.2	0.4	0.9	7.5	0.3	2.2	0.3	1.6	8.4
平年値(10年平均)	8.5	0.5	0.2	0.1	21.3	0.8	52.0	3.3	34.2	1.2	5.9	12.1	0.7	21.6	1.0	1.0	14.6	0.6	6.2	12.8	5.1	12.5

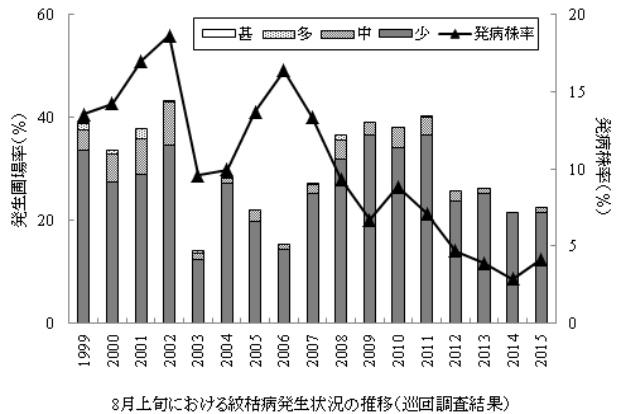
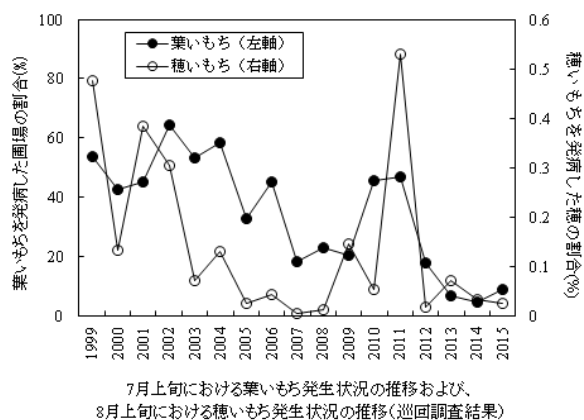
圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2015年8月、20回振りすくい取り調査)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	斑点米カメムシ類 発生程度別発生圃場率(%)					ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ 類成幼虫		アカスジカスミ カメ成虫		ミナミアオ カメムシ 成幼虫		その他 斑カメ
			計	甚	多	中	少	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	
桑名	8/5	36	61.1	0.0	5.6	11.1	44.4	16.7	0.2	13.9	0.5	8.3	0.1	44.4	1.2	8.3	0.1	アカヒゲホソドリカスミカメ
四日市鈴鹿	8/4,6,7,10	68	33.8	0.0	1.5	4.4	27.9	8.8	0.1	7.4	0.2	2.9	0.03	19.1	0.3	2.9	0.1	
津	8/5	44	63.6	0.0	2.3	6.8	54.5	4.5	0.05	22.7	0.5	15.9	0.2	25.0	0.4	15.9	0.3	
松阪	8/5,6,10	56	33.9	7.1	0.0	1.8	25.0	14.3	0.1	12.5	26.1	5.4	0.1	10.7	0.2	1.8	0.02	アカヒゲホソドリカスミカメ
伊勢志摩	8/4,7	44	54.5	0.0	6.8	13.6	34.1	31.8	0.3	22.7	1.1	6.8	0.1	13.6	0.4	4.5	0.3	
伊賀	8/3	44	47.7	0.0	2.3	9.1	36.4	34.1	0.5	13.6	0.2	11.4	0.1	18.2	0.5	0.0	0.0	
紀州	8/4,6	28	50.0	0.0	3.6	14.3	32.1	39.3	0.6	21.4	1.1	3.6	0.04	10.7	0.1	0.0	0.0	
県全体		320	47.2	1.3	2.8	7.8	35.3	19.4	0.3	15.3	5.0	7.5	0.1	19.7	0.4	4.7	0.12	
平年値(10年平均)			35.6	0.3	1.4	6.6	27.3	19.4	0.3	8.5	0.4	6.8	0.1	11.9	0.3	1.3	0.03	

発生程度別基準・すくい取り虫数(20回振)：(甚)31以上、(多)11～30、(中)4～10、(少)1～3、(無)0

定点圃場におけるイネ病害虫発生状況(2015年8月)

地区	調査場所	穂いもち		紋枯病		すくい取り虫数(20回)						斑点米カメムシ類ほか	その他病害虫 (私落し、見取り)	
		発病 穂率(%)	発病 程度	発病 度	発病 程度	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	ヒトビ ウンカ	ウンカ類 幼虫	ツマグロヨコバイ 成虫	ツマグロヨコバイ 幼虫			
四日市 鈴鹿	いなべ市北勢町阿下喜	0.0	無	0	無	0	0	1	2	10	2	ホソハリ成1、アカスジ成1	イネヨトウ	
	四日市市下海老町	0.0	無	4	少	2	0	1	1	0	0	-	フタオビコヤガ幼、アワヨトウ、イナゴ類、ササキリ類	
	菰野町竹成	0.0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	-	フタオビコヤガ幼、ササキリ類	
	鈴鹿市矢橋町	0.0	無	0	無	0	0	1	3	0	0	アカスジ成1	アカスジ成、カスミカメ類幼	
	鈴鹿市御園町	0.0	無	0	無	1	0	0	1	4	0	アカスジ成1、イネミズ成1	-	
津	亀山市山下町	0.0	無	0	無	3	0	11	17	13	3	ササキリ幼1	-	
	津市安東町	0.0	無	2	少	0	0	1	1	0	0	-	-	
	津市安濃町草生	0.0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	フタオビコヤガ幼1	-	
	津市一志町井生	0.0	無	16	中	0	0	0	0	0	0	-	ゴマ葉枯病、クモヘリ幼、イネミズ成、フタオビコヤガ幼、ササキリ類	
松阪	松阪市美濃田町	0.0	無	2	少	0	0	0	3	2	0	ホソハリ幼1、クモヘリ成1、アカスジ成3、ウンカ類幼3、ツマグロ成2	-	
	多気町兄国	0.0	無	0	無	0	0	0	0	11	0	ツマグロ成11	カスミカメ類幼	
	明和町坂本	0.2	少	0	無	0	0	0	0	0	0	イネミズ成1、ササキリ幼1	-	
	伊勢市円座町	0.0	無	0	無	0	0	0	1	1	0	ウンカ類幼1、ツマグロ成1	フタオビコヤガ幼、アワヨトウ幼	
伊勢 志摩	玉城町蚊野	0.0	無	0	無	0	0	6	21	0	0	ホソハリ幼1、トゲシラホシ成1、ヒトビ成6、ウンカ類幼21、イネミズ成1	ニカメイガ、ササキリ類	
	志摩市磯部町下之郷	0.0	無	0	無	2	0	1	2	0	0	ヒトビ成1、セジロ成2、ウンカ類幼2	イナゴ類	
	伊賀市大野木	0.0	無	0	無	1	0	0	0	0	1	セジロ成1、ツマグロ幼1	フタオビコヤガ幼	
伊賀	伊賀市甲野	0.0	無	0	無	0	0	0	0	2	0	ホソハリ成1、ツマグロ成2、ササキリ成2	アカスジ成、イナゴ類、ササキリ類	
	紀北町紀伊長島区赤羽	0.0	無	7	少	3	0	6	42	0	0	ヒトビ成6、セジロ成3、ウンカ類幼42	-	
紀州	熊野市飛鳥町	0.0	無	0	無	1	0	0	0	0	0	セジロ成1	-	
	県予察圃 農業研究所(無防除)	0.0	無	0	無	0	0	8	12	22	35	ササキリ幼5	ホソハリ幼、ミナミアオカメ成、ササキリ類	



f 9月データ

水稲(普通期)病害発生状況(2015年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	穂いもち		紋枯病			ごま葉枯病		白葉枯病	稲こうじ病
			発生 圃場率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病度	発病 株率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病度	発生 圃場率 (%)	発生 圃場率 (%)
桑名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四日市鈴鹿	9/8	4	0.0	0.0	75.0	3.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0
津	9/7	4	0.0	0.0	50.0	12.8	37.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県全体		8	0.0	0.0	62.5	7.9	24.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10年平均			19.6	0.6	40.0	3.0	7.4	45.2 (6年平均)	9.7 (3年平均)	5.4	5.3 (6年平均)

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2015年9月、20回振りすくい取り調査)

地区	調査 圃場 数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		イネカメムシ 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫	
		発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数
桑名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四日市鈴鹿	4	50.0	0.5	25.0	0.3	25.0	0.3	0.0	0.0	50.0	0.8	100.0	2.3
津	4	25.0	0.3	100.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県全体	8	37.5	0.4	62.5	3.3	12.5	0.1	0.0	0.0	25.0	0.4	50.0	1.1
10年平均		19.0	0.4	23.8	1.4	7.0	0.1	15.1	0.3	11.2	0.4	27.2 (5年平均)	1.2

水稲(普通期)害虫発生状況(2015年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	10株払い落とし調査												見取り調査による被害発生圃場率(%)							
			セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメビウンカ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ			フタオビコヤガ		イネヨト ウ	ニカメイ ガ	ササキリ 類	イナゴ 類	アワヨト ウ	イチモ ンジセ セリ	コブノメ イガ
			発生圃 場率 (%)	成虫数	発生圃 場率 (%)	成虫数	発生圃 場率 (%)	成虫数	発生圃 場率 (%)	幼虫数	発生圃 場率 (%)	成虫数	幼虫数	発生圃 場率 (%)	成虫数							
桑名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四日市鈴鹿	9/8	4	25.0	0.5	0.0	0.0	25.0	0.3	25.0	0.8	100.0	5.5	0.3	25.0	0.8	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
津	9/7	4	25.0	0.5	0.0	0.0	25.0	0.3	25.0	0.8	100.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県全体		8	25.0	0.5	0.0	0.0	25.0	0.3	25.0	0.8	100.0	3.3	0.6	12.5	0.4	0.0	75.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
10年平均			13.9	0.2	0.0	0.0	29.1	0.8	57.9	4.0	68.0	5.5	4.3	5.5	0.08	3.5	17.4	34.9	30.9	11.0	0.6	16.0

定点圃場における斑点米および斑点米カメムシ類発生状況(2015年)

地区	調査場所	品種	採取 日	斑点米発生率(%)				斑点米カメムシ類 20回振すくいとり虫数 8月巡回調査
				精玄米調査(1.85mm)				
				カメムシ 被害粒 発生率	斑紋型 変色	頂部の 黒変	くさび型 加害	
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	8/28	0.90	0.54	0.16	0.14	ホソハリ成1、アカスジ成1
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	8/17	0.23	0.13	0.06	0.00	－
	菰野町竹成	コシヒカリ	8/17	0.46	0.19	0.12	0.07	－
	鈴鹿市矢橋町	キヌヒカリ	8/28	4.20	0.98	2.78	0.40	アカスジ成1
	鈴鹿市御園町	コシヒカリ	8/10	0.51	0.25	0.03	0.03	アカスジ成1
	亀山市山下町	コシヒカリ	8/21	0.54	0.28	0.10	0.02	－
津	津市安東町	コシヒカリ	8/12	0.20	0.11	0.00	0.09	－
	津市安濃町草生	コシヒカリ	8/21	1.08	0.63	0.22	0.04	－
	津市一志町井生	コシヒカリ	8/12	0.67	0.35	0.09	0.09	－
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	8/12	1.09	0.46	0.49	0.11	ホソハリ幼1、クモヘリ成1、
	多気町兄国	コシヒカリ	8/12	0.09	0.05	0.00	0.00	－
	明和町坂本	コシヒカリ	8/12	0.33	0.18	0.06	0.06	－
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	8/17	0.79	0.51	0.09	0.04	－
	玉城町蚊野	コシヒカリ	8/17	0.74	0.38	0.06	0.18	ホソハリ幼1、トゲシラホシ成1
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	8/11	0.11	0.09	0.00	0.00	－
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	(収穫済みのため調査中止)					－
	伊賀市甲野	コシヒカリ	(収穫済みのため調査中止)					ホソハリ成1
紀州	紀北町紀伊長島区赤羽	コシヒカリ	8/12	0.63	0.34	0.05	0.24	－
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	8/24	0.35	0.17	0.05	0.02	－
県予察圃	松阪市嬉野川北町・無防除	コシヒカリ	8/19	0.66	0.20	0.43	0.03	－
定点平均		－		0.76	0.33	0.25	0.09	斑点米カメムシ類・定点平均0.7頭
平年値(10年平均)		－		0.18	0.12	0.05	0.03	同上・平年1.3頭

農産物規格規定における、水稻うるち玄米の着色粒混入の最高限度：1等 0.1%まで、2等 0.3%まで、3等 0.7%まで、規格外 0.7%を超えるもの。

定点圃場におけるいもち病菌保菌状況(2015年)

地区	調査場所	品種	採取日	籾100粒調査	
				いもち保菌率(%)	その他
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	8/28	0.0	アルタナリア
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	8/17	0.0	アルタナリア
	菰野町竹成	コシヒカリ	8/17	0.0	アルタナリア
	鈴鹿市矢橋町	キヌヒカリ	8/28	0.0	アルタナリア
	鈴鹿市御園町	コシヒカリ	8/10	0.0	アルタナリア
	亀山市山下町	コシヒカリ	8/21	0.0	アルタナリア
津	津市安東町	コシヒカリ	8/12	0.0	アルタナリア
	津市安濃町草生	コシヒカリ	8/21	0.0	アルタナリア
	津市一志町井生	コシヒカリ	8/12	0.0	アルタナリア
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	8/12	0.0	アルタナリア(少ない)
	多気町兄国	コシヒカリ	8/12	0.0	アルタナリア(少ない)
	明和町坂本	コシヒカリ	8/12	0.0	アルタナリア
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	8/17	0.0	アルタナリア
	玉城町蚊野	コシヒカリ	8/17	0.0	アルタナリア(少ない)
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	8/11	0.0	アルタナリア(少ない)
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	(収穫済みのため調査中止)		
	伊賀市甲野	コシヒカリ	(収穫済みのため調査中止)		
紀州	紀北町紀伊長島区赤羽	コシヒカリ	8/12	0.0	アルタナリア(少ない)
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	8/24	0.0	アルタナリア(少ない)、カーブラリア
県予察圃	松阪市嬉野川北町・無防除	コシヒカリ	8/19	0.0	アルタナリア(少ない)
定点平均		－		0.0	
平年値(10年平均)		－		1.78	

いもち病菌保菌調査は、籾100粒を素寒天培地に置床し、25℃環境下で3日間培養後、検鏡により行なった。

(2) 麦類

コムギ病害虫の発生状況(2015年4月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒節病 発病茎率(%)	縞萎縮病 発病茎率(%)	アブラ ムシ類 寄生程度	ハモグリ バエ類 寄生茎率(%)	品種	生育状況
桑名	いなべ市大安町片樋	4/9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	さとのそら	止葉抽出期～穂ばらみ期
	東員町六把野新田		0.0	0.0	0.0	1.0	1.5	0.0	あやひかり	止葉抽出期～穂ばらみ期～出穂期
四日市 鈴鹿	四日市市北野	4/8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	止葉抽出期～穂ばらみ期～出穂期
	菰野町池底		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	節間伸長期(一部:止葉抽出期～穂ばらみ期)
	鈴鹿市下大久保		0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	止葉抽出期～穂ばらみ期
津	津市殿村	4/9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	節間伸長期～止葉抽出期～穂ばらみ期
	津市芸濃町萩野		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	さとのそら	節間伸長期～止葉抽出期～穂ばらみ期
松阪	松阪市嬉野川北町	4/10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	出穂期
	松阪市藤之木		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	あやひかり	止葉抽出期～穂ばらみ期
	多気町兄国		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	出穂期
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	4/8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	止葉抽出期～穂ばらみ期
伊賀	伊賀市西之澤	4/7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	タマイズミ	節間伸長期
	伊賀市畑村		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	タマイズミ
県全体			0.0	0.0	0.0	0.7 0.0(伊賀タマイズミ)	0.1	0.1		—
平年(10年平均)			0.0	0.0	0.5 (8年平均)	5.2	0.3	0.9		—

各地点4圃場において、1圃場あたり25茎を調査。

コムギ病害虫の発生状況(2015年5月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒穂病 発病茎率 (%)	アブラムシ 類 寄生程度	ムギアカタ マバエ寄 生茎率(%)	赤かび病		品種	備考
								発生 圃場率(%)	発病 穂率(%)		
桑名	いなべ市大安町片樋	5/14	0	0	0	0.5	0	50.0	0.009	さとのそら	2圃場において確認し、それぞれ、1本ずつ確認した。 1圃場で、1本確認した。
	東員町六把野新田		0	0	0	0.3	0	25.0	0.005	あやひかり	
四日市 鈴鹿	四日市市北野	5/11	0	0	0	0.3	0	0	0	あやひかり	
	菰野町池底	5/13	0	0	0	0.8	0	0	0	あやひかり	
	鈴鹿市下大久保		0.3	0	0	0.0	0	0	0	ニシノカオリ	
津	津市殿村	5/13	0	0	0	2.0	0	0	0	ニシノカオリ	
	津市芸濃町萩野		0	0	0	0.5	0	0	0	さとのそら	
松阪	松阪市嬉野川北町	5/13	0	0	0	0.5	0	0	0	あやひかり	
	松阪市藤之木	5/11	0	0	0	3.3	0	0	0	あやひかり	
	多気町兄国	5/12	0	0	0	0.3	0	25.0	0.007	ニシノカオリ	1圃場で、1本確認した。
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	5/15	1.8	0	0	0.8	0	0	0	ニシノカオリ	
伊賀	伊賀市西之澤	5/15	0	0	0	0.5	0	0	0	タマイズミ	
	伊賀市畑村		0	0	0	0.3	0	0	0	タマイズミ	
県全体			0.2	0	0	0.8	0	7.7	0.001	—	—
平年値(10年平均)			0.3	0.0	0.0	0.8	0.0	32.0	1.0	—	—

各地点4圃場を調査。赤かび病:50m見取り調査。平年値は追加調査時の最終結果を示す。

1圃場あたり25茎調査。

コムギ巡回調査圃場における赤かび病の発生状況(2015年。発生穂率(%))

地区	調査地点	品種	5月第3週	5月第5週～6月第1週	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	さとのそら	0.009	—	6/5調査。4圃場収穫済み。未収穫の区外圃場では、赤かび病認められず。
	東員町六把野新田	あやひかり	0.005	0	6/5調査。2圃場収穫済み。未収穫の区外圃場では、赤かび病認められず。
四日市 鈴鹿	四日市市北野	あやひかり	0	0	6/2調査。
	菰野町池底	あやひかり	0	0	6/2調査。2圃場収穫済み。
	鈴鹿市下大久保	ニシノカオリ	0	0	6/2調査。
津	津市殿村	ニシノカオリ	0	0	6/2調査。
	津市芸濃町萩野	さとのそら	0	0	6/2調査。
松阪	松阪市嬉野川北町	あやひかり	0	0	6/4調査。3圃場収穫済み。未収穫の区外圃場では、赤かび病認められず。
	松阪市藤之木	あやひかり	0	—	6/4調査。4圃場収穫済み。未収穫の区外圃場では、赤かび病認められず。
	多気町兄国	ニシノカオリ	0.007	—	6/4調査。4圃場収穫済み。未収穫の区外圃場では、赤かび病認められず。
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	ニシノカオリ	0	0	6/4調査。
伊賀	伊賀市西之澤	タマイズミ	0	0	5/25調査。
	伊賀市畑村	タマイズミ	0	0	5/25調査。区外圃場において赤かび病 1 本認められた。
県全体			—	0	
平年値			—	1.0	

各地点4圃場において50m見取り調査(収穫済み圃場では未収穫の区外圃場を調査)。

コムギ萎縮病の発生状況(2016年3月)

地区	調査地点	調査日	被害茎率(%)	品種	草丈・備考
桑名	いなべ市大安町片樋	3/10	0.0	さとのそら	47cm
四日市	菰野町池底	3/8	0.0	あやひかり	45cm
鈴鹿	鈴鹿市下大久保		0.0	ニシノカオリ	50cm
津	津市殿村	3/11	0.0	ニシノカオリ	20cm
松阪	松阪市藤之木	3/8, 9	0.0	あやひかり	40cm
	多気町兄国		0.0	ニシノカオリ	47cm
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	3/11	0.0	ニシノカオリ	50cm
伊賀	伊賀市西之澤	3/7	0.0	タマイズミ	25cm
	伊賀市畑村		0.0	タマイズミ	23cm
県全体平均			0.0	伊賀タマイズミ・平均0.0%	
平年値(10年平均)			2.3	伊賀タマイズミ・平年値2.1%	

各地点4圃場にて、1圃場当たり25茎を調査。

(3) 大豆

ダイズ虫害発生状況(2015年8月)

地区	調査地点	調査 月日	アブラムシ類 寄生株率(%)	ハスモンヨトウ		コガネムシ類 寄生株率	カメムシ類 寄生虫数(25株)	草丈および備考
				葉食害度	白変か所数(1a)			
桑名	いなべ市大安町大井田	8/5	0.0	0.3	0.0	1.0	0.0	17～20cm
四日市	四日市市江村町	8/7	0.0	1.8	6.4	0.8	0.0	24～27cm
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	8/4	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	26～46cm
津	津市白山町川口	8/5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9cm(発芽後本葉2枚展開)
松阪	松阪市藤之木町	8/6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13cm
	松阪市保津町		0.0	2.3	1.1	5.3	0.0	22cm
伊賀	伊賀市木興	8/3	—	—	—	—	—	次回調査時に調査地点確定予定(予定地:双葉展開)
	伊賀市千戸		—	—	—	—	—	次回調査時に調査地点確定予定
県全体		—	0.0	0.6	1.3	1.5	0.0	—
平年値(10年平均)		—	0.1	0.1(9年平均)	0.5	0.4(9年平均)	0.07	—

ダイズ病害虫発生状況(2015年9月)

地区	調査地点	調査 月日	ダイズアブラムシ発生 程度	ハスモンヨトウ		コガネムシ類 葉食害度	吸害性カメムシ類			その他 病害虫
				白変か 所数 (1a)	葉 食害度		寄生株率 (%)	寄生虫数 (頭/25株)	種類	
桑名	いなべ市大安町大井田	—	荒天のため、調査中止。							
四日市	四日市市江村町	9/10	0.0	0.4	0.0	0.5	1.0	0.3	ミナミアオ(成)	マメコガネ、区外:ハスモンヨトウ
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	9/8	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0		雑草多い(ケイトウ:虫の食害跡多い)
津	津市白山町川口	9/7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
松阪	松阪市藤之木町	9/11	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.3	ミナミアオ(幼?)	
	松阪市保津町		0.0	0.4	1.8	0.0	4.0	4.8	ミナミアオ(成・幼?)	タバコガ(幼)
伊賀	伊賀市木興	9/15	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0		
	伊賀市千戸		0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0		
	県全体		0.0	0.2	2.1	0.1	0.9	0.9	—	—
	10年平均		2.7	1.9	4.0	3.0	1.9	1.3	—	—

ハスモンヨトウ発生状況・広域病害虫防除員による調査(2015年9月)

地区	調査 月日	調査場所	白変か所数 (/1a)	備考
桑員	9/5	桑名市長島町千倉	4.0	生育良好。
		桑名市多度町上ノ郷	2.2	生育良好。
	9/3	いなべ市北勢町治田外面	5.8	生育良好。
三泗	9/10	四日市市市場町	0.0	食害は見られるが、害虫は見当たらない。生育がまばらである。
		菰野町千草	0.0	生育が遅い。雑草が繁茂している。
		菰野町川北	0.0	生育良好な圃場では若莢期に至っている。播き直しの影響で生育がまばらである。
鈴亀	9/14	鈴鹿市北長太町	0.0	生育不良。草丈60～70cm。開花始。
		鈴鹿市三日市町	1.2	生育良好。
		鈴鹿市須賀	0.0	生育不良。草丈50～60cm。開花始。
津市	9/4	津市南河路	0.4	全調査区で、湿害散見。
		津市一志町庄村	0.8	一部圃場で、雑草およびコガネムシ食害散見。
		津市安濃町荒木	0.0	湿害箇所散見。
松阪 飯多	9/10	小阿坂町ふけ	53.4	ヨトウムシ(体長1.0～1.5cm)多発生。シャクトリムシ、コガネムシ食害多い。
	9/11	野村町前沖	11.2	小さなヨトウムシの発生が見受けられる。
		小阿坂町前田	0.0	
伊勢	9/5	玉城町下外城田小社A	0.0	生育差がみられた(播種時期の違いによる可能性)。 雑草は、メシバと大型の広葉が目立った。
		玉城町下外城田小社B	0.0	
		玉城町下外城田小社C	0.0	
伊賀	9/15	猪田(大東)地区	0.0	麦あと栽培で、播種時期6月下旬で草丈約80～90cmと生育良好。
		下友生地区	0.0	湿害による発芽不良で播き直し圃場多い。播種時期7月下旬から8月上旬と遅れ、 苗す約20～30cm。カメムシにトス食害多い。
		比自岐地区	0.0	雨のため播種時期7月下旬と遅れ、草丈約30cm程度。カメムシによる食害多い。
県全体			3.8	—
10年平均			1.4	—

ダイズ病害虫発生状況(2015年10月)

地区	調査地点	調査月 日	ダイズ アブラムシ 発生程度	ハスモンヨトウ		吸実性カメムシ類		
				白変か所 数(1/a)	葉食害度	寄生 株率(%)	寄生虫数 (/25株)	種類
桑名	いなべ市大安町大井田	10/8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
四日市	四日市市江村町	10/9	0.0	0.0	0.0	3.0	2.8	カメムシ類幼
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	10/5	0.0	0.0	0.0	35.0	43.3	ミナミアオ成、ホソヘリ成、イチモンジ成、カメムシ類幼
津	津市白山町川口	10/7	1.0	0.7	0.3	5.0	4.8	カメムシ類幼
松阪	松阪市藤之木町	10/6	0.0	2.9	0.3	3.0	10.8	ミナミアオ成、カメムシ類幼
	松阪市保津町		19.8	0.0	0.0	25.0	18.5	ミナミアオ幼、カメムシ類幼
伊賀	伊賀市木興	10/6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	伊賀市千戸		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
県全体			2.6	0.4	0.1	8.9	10.0	—
10年平均			7.0	3.0	6.8	8.8	5.9	—

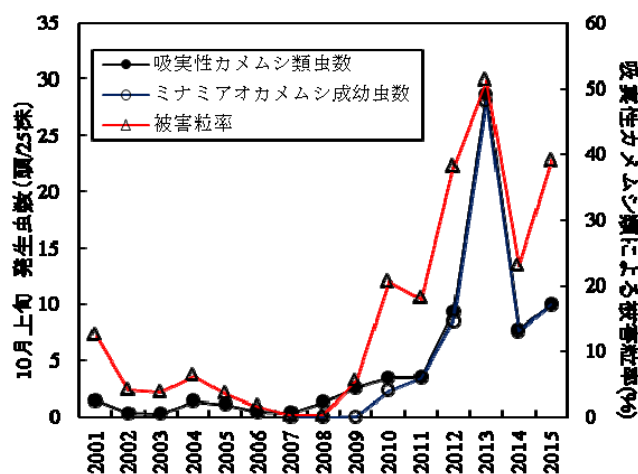
ダイズ成熟期における英および子実の被害発生状況(2015年12月)

地区	調査地点	採取 月日	英調査 被害英率(%)		被害粒調査(篩選別前の子実について調査・著しい未熟粒を除く)												その他 被害粒 (腐敗粒) (%)			
			虫害1	虫害2	紫斑 粒率 (%)	褐斑 粒率 (%)	フタスジヒメハムシ		吸実性カメムシ類											
							黒斑 粒率 (%)	腐敗 粒率 (%)	被害粒率(%)				9月					10月		
									合計	萎縮粒 (しぼみ粒)	変形粒 (へこみ粒)	変色粒 (しみ粒)	寄生株 率(%)	寄生虫数 (25株)	寄生株 率(%)	寄生虫数 (25株)				
桑名	いなべ市大安町大井田	11/6	0.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.5	68.4	9.5	17.0	41.9	荒天のため、調査中止。		0.0	0.0	3.5			
四日市 鈴鹿	四日市市江村町	11/6	0.0	0.5	2.2	0.0	0.0	0.0	23.5	0.0	1.0	22.5	1.0	0.3	3.0	2.8	0.5			
	鈴鹿市下大久保	11/6	0.0	2.8	0.0	0.0	4.6	0.5	63.0	4.1	24.9	34.1	0.0	0.0	35.0	43.3	1.4			
津	津市白山町川口	11/6	0.0	0.0	0.2	0.0	0.5	0.0	22.7	0.5	8.6	13.6	0.0	0.0	5.0	4.8	0.0			
松阪	松阪市藤之木	11/10,13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	11.0	0.0	4.4	6.6	1.0	1.3	3.0	10.8	4.6			
	松阪市保津町	11/13	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	82.9	5.0	9.9	68.1	4.0	4.8	25.0	18.5	3.2			
伊賀	伊賀市木興	11/20	0.0	2.0	0.0	0.0	1.2	0.0	22.8	0.2	1.7	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5			
	伊賀市千戸	11/20	0.5	0.0	0.0	0.0	1.7	0.2	18.5	0.5	12.4	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	県全体平均		0.2	0.7	0.3	0.0	1.4	0.2	38.9	2.4	10.0	26.5	0.9	0.9	8.9	10.0	1.8			
	10年平均		1.0	1.6	0.4	0.3	1.5	0.4	16.2	1.9	17.6	13.0	1.9	1.3	8.8	5.9	3.6			
									8年平均				6年平均				被害粒率5年平均30.1%、被害粒内訳は4年平均			

1地点あたり4圃場を調査。1圃場あたり任意の10株を選定し、それぞれ上位5英ずつを採取(200英程度)。

被害英調査・虫害1:英外部からの食害および被害、タバコガ類等。

同・虫害2:英内部における食害、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤムシガ、マメシクイガ等。



10月上旬のダイズ圃場における吸実性カメムシ類発生状況と、ダイズ被害粒発生状況の推移(2001～2015年・病害虫防除所巡回調査)

(4)果樹

県予察圃(カンキツ・紀南果樹研究室)における発生消長

そうか病発病率 葉

	初発	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平年	4月18日	1.1	8.1	29.6	42.5	54.2	57.2	60.0	61.9	64.1
2015年	4月13日	0.5	43.5	78.0	91.5	94.0	94.0	94.5	94.5	94.5

そうか病発病率 果実

	初発	5月 中	6月 上	7月 上	8月 上	9月 上	10月 上	11月 上	12月 上
平年	5月17日	0.2	25.1	59.1	73.2	78.9	80.9	86.8	89.4
2015年	5月11日	41.7	76.7	88.3	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0

黒点病発病率

	初発	6月			7月			8月			9月			10月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年果実発病度	平年	2.4	7.1	17.7	27.2	31.7	37.9	47.6	55.7	64.1	69.3	70.9	75.3	77.2	80.6	81.0
2015年果実発病度	5月26日	3.8	24.3	51.4	66.0	74.0	85.5	88.3	88.1	89.8	91.4	93.3	89.3	90.0	93.3	92.6
平年発病果率	2015年	15.2	37.7	74.8	90.4	91.7	95.9	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2015年発病果率	5月25日	26.7	93.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

かいよう病発病率 葉

	初発	5月 中	6月 下	6月 中	7月 下	7月 中	8月 上	8月 中	8月 下
平年	5月15日	0.2	1.0	2.5	3.3	3.9	4.2	4.5	4.9
2015年	-	0	0	0	0	0	0	0	0

かいよう病発病率 果実

	初発	5月	6月	7月	8月	9月	10月										
		下	上	中	下	上	中	下									
平年	6月7日	0.0	0.7	1.0	3.0	5.7	12.4	22.5	27.9	28.2	31.0	32.0	32.1	32.7	34.4	35.3	34.8
2015年	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

果実外観調査

	そうか病	黒点病	かいよう病	そうか病	黒点病	かいよう病
無防除区	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度
平年	69.2	35.8	100.0	70.6	18.8	10.0
2015年	100.0	91.7	100.0	96.7	0	0

ハダニ発生消長調査結果(無防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数) ※6月上旬調査から新葉による調査

	4月		5月		6月		7月		8月		9月							
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
平年	93.4	79.1	28.5	38.6	31.9	48.8	35.8	30.3	36.2	12.7	6.1	13.3	11.2	20.8	29.3	58.4	46.7	43.0
2015年	4.4	11.1	10.0	8.9	0.0	1.1	13.3	4.4	20.0	23.0	7.0	6.0	1.0	3.0	19.0	7.0	16.0	13.0
	10月		11月		12月		1月		2月		3月							
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	35.9	47.4	62.0	67.5	76.0	80.4	58.2	59.5	48.9	38.6	43.9	24.7	27.1	18.8	63.6	15.6	18.9	
2015年	17.0	41.0	57.0	28.0	17.0	29.0	33.3	42.2	16.7	33.3	2.2	17.8	11.1					

ハダニ発生消長調査結果(慣行防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月							
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
平年	0.4	0.3	0.6	0.3	0.8	3.0	8.2	6.7	3.0	7.8	4.5	18.0	20.1	89.0	27.9	119.8	25.9	69.2
2015年	0	0	0	0	0	0	0	2.2	3.0	1.0	3.0	4.0	19.0	62.0	13.0	20.0	36.0	11.0
	10月		11月		12月		1月		2月		3月							
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	66.1	81.3	181.7	82.8	58.9	49.9	57.5	58.7	42.3	3.6	5.7	2.1	0.6	0.4	0.2	7.8	0	0
2015年	16.0	28.0	27.0	28.0	92.0	96.0	32.2	111.1	47.8	0	0	22.2	12.2	7.8	0			

チャバネアオカメムシ発生消長調査結果 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	1.0	9.5	32.2	407.9	259.6	705.6	494.8	790.6	1804.1	2938.7	2239.0	1393.9	650.6	699.1	699.1	1039.6	1564.1	3840.1
2015年	36	64	562	1901	45939	45210	4963	3551	6077	5206	68455	21225	6814	1778	289	71	73	142
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	2331.9	228.6	30.1	2.3	0	0.1												
2015年	43	0	1	0	0	1												

ソヤアオカメムシ発生消長 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	3.4	31.2	127.5	1123.5	565.5	375.4	100.4	97.7	74.8	22.1	13.7	17.0	23.9	40.9	84.8	274.5	813.8	2636.7
2015年	31	142	322	841	2507	1027	94	39	15	3	12	33	15	5	8	7	13	62
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	3781.1	634.9	313.9	93.3	13.2	9.9												
2015年	12	6	3	6	4	0												

チャ/キイロアザミウマ発生消長調査結果 100果あたり寄生数調査

	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.3	0.4	2.1	5.3	9.8	14.0	6.1	7.9	3.0	5.7	7.5	11.5	9.7	2.2	0.4
2015年	1.7	0	0.8	0	2.8	0.0	0	0	2.1	4.4	1.1	0	1.1	2.3	0

チャ/キイロアザミウマ発生消長調査結果 黄色粘着板誘殺数

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.2	0.5	0.3	0.4	1.5	1.5	2.9	3.2	7.8	6.6	11.8	9.1	11.3	12.7	8.3	4.0	1.4	0.3
2015年	0.2	0.3	0.1	2.2	1.8	0.9	1.3	1.1	1.7	9.6	12.2	13.3	8.3	5.6	5.1	3.1	1.7	0.4

県予察圃(ナシ・農業研究所)における発生消長

ナシハミシシグイ

チャハマキ

チャノコカクモンハマキ

チャバネアオカメムシ

ツヤアオカメムシ

クサギカメムシ

トランプ勝殺数		トランプ勝殺数	
月・半旬	平年	2015年	2015年
4月・1	26.7	21	0.3
2	38.8	10	1.6
3	43.9	3	2.4
4	26.6	41	2.6
5	18.1	14	4.2
6	13.6	6	3.6
5月・1	11.3	15	12.1
2	8.1	16	5.4
3	3.9	13	4.2
4	2.5	4	3.0
5	3.5	4	0.9
6	10.0	17	0.9
6月・1	16.8	37	2.7
2	25.0	21	1.1
3	22.4	20	2.0
4	12.4	5	2.4
5	9.1	9	1.1
6	5.7	8	0.9
7月・1	14.4	7	4.1
2	25.1	16	2.5
3	43.5	35	2.1
4	38.9	28	0.8
5	29.6	32	0.4
6	30.4	38	0.6
8月・1	30.7	24	1.0
2	35.9	22	0.7
3	42.2	32	0.8
4	45.2	20	0.5
5	46.3	23	0.4
6	44.2	28	0.2
9月・1	47.3	29	1.2
2	59.7	23	1.0
3	51.0	29	1.0
4	37.6	41	0.9
5	18.0	38	1.1
6	8.9	38	0.9
10月・1	6.5	1	2.0
2	2.0	3	5.6
3	1.3	3	4.6
4	0.8	1	4.6
5	0.2	0	2.8
6	0.1	0	1.7
11月・1	0.2	0	3.3
2	0.0	0	0.9
3	0.1	0	0.5
4	0.0	1	0.5
5	0.0	1	0.1
6	0.0	0	0.2

トランプ勝殺数		トランプ勝殺数	
月・半旬	平年	2015年	2015年
4月・1	4.3	9	7.0
2	7.0	7	12.0
3	12.0	0	21.7
4	0.0	0	36.5
5	0.1	0	47.6
6	0.3	0	54.9
5月・1	10.4	25	34.7
2	30.9	177	19.9
3	107.4	3287	9.7
4	72.1	185	4.9
5	376.0	46	3.3
6	471.6	642	10.6
6月・1	192.1	37	25.0
2	119.9	198	50.0
3	48.6	366	53.9
4	342.0	17	45.7
5	110.8	82	29.8
6	77.8	10	20.8
7月・1	111.7	118	11.9
2	127.7	34	7.4
3	170.3	809	10.7
4	175.7	754	13.4
5	166.7	1114	19.8
6	125.8	685	15.1
8月・1	67.4	541	11.3
2	85.7	186	7.3
3	237.4	207	6.0
4	143.2	112	3.3
5	106.2	99	2.8
6	130.1	140	4.8
9月・1	172.0	83	11.2
2	213.6	12	15.3
3	108.2	41	21.9
4	63.0	1	21.9
5	65.1	107	15.1
6	22.7	38	18.8
10月・1	32.9	1	29.9
2	98.9	0	30.8
3	21.9	0	35.8
4	0.1	0	22.5
5	0.2	0	19.7
6	0.0	0	13.4
11月・1	15.1	10	15.1
2	12.4	16	12.4
3	5.9	8	5.9
4	3.0	8	3.0
5	1.5	7	1.5
6	3.8	2	3.8
12月・1	1.5	2	0.8
2	0.8	4	1.5
3	1.5	4	0.3
4	0.4	2	0.4
5	0.1	0	0.1

予察灯勝殺数		予察灯勝殺数	
月・半旬	平年	2015年	2015年
4月・1	0.0	0	0.0
2	0.0	0	0.0
3	0.0	0	0.0
4	0.0	0	0.1
5	0.1	2	0.2
6	0.3	0	2.9
5月・1	10.4	25	3.9
2	30.9	177	6.7
3	107.4	3287	7.6
4	72.1	185	29.0
5	376.0	46	35.7
6	471.6	642	19.9
6月・1	192.1	37	46.9
2	119.9	198	36.7
3	48.6	366	172.2
4	342.0	17	67.4
5	110.8	82	98.8
6	77.8	10	95.1
7月・1	111.7	118	24.3
2	127.7	34	28.0
3	170.3	809	19.6
4	175.7	754	13.4
5	166.7	1114	19.2
6	125.8	685	8.2
8月・1	67.4	541	10.0
2	85.7	186	16.9
3	237.4	207	12.7
4	143.2	112	7.1
5	106.2	99	12.1
6	130.1	140	18.6
9月・1	172.0	83	22.2
2	213.6	12	31.7
3	108.2	41	22.1
4	63.0	1	103.6
5	65.1	107	30.7
6	22.7	38	117.1
10月・1	32.9	1	126.9
2	98.9	0	81.4
3	21.9	0	35.0
4	0.1	0	66.0
5	0.2	0	15.9
6	0.0	0	0

予察灯勝殺数		予察灯勝殺数	
月・半旬	平年	2015年	2015年
4月・1	0.0	0	0.0
2	0.0	0	0.0
3	0.0	0	0.0
4	0.0	0	0.1
5	0.1	2	0.2
6	0.3	0	2.9
5月・1	10.4	25	3.9
2	30.9	177	6.7
3	107.4	3287	7.6
4	72.1	185	29.0
5	376.0	46	35.7
6	471.6	642	19.9
6月・1	192.1	37	46.9
2	119.9	198	36.7
3	48.6	366	172.2
4	342.0	17	67.4
5	110.8	82	98.8
6	77.8	10	95.1
7月・1	111.7	118	24.3
2	127.7	34	28.0
3	170.3	809	19.6
4	175.7	754	13.4
5	166.7	1114	19.2
6	125.8	685	8.2
8月・1	67.4	541	10.0
2	85.7	186	16.9
3	237.4	207	12.7
4	143.2	112	7.1
5	106.2	99	12.1
6	130.1	140	18.6
9月・1	172.0	83	22.2
2	213.6	12	31.7
3	108.2	41	22.1
4	63.0	1	103.6
5	65.1	107	30.7
6	22.7	38	117.1
10月・1	32.9	1	126.9
2	98.9	0	81.4
3	21.9	0	35.0
4	0.1	0	66.0
5	0.2	0	15.9
6	0.0	0	0

予察灯勝殺数		予察灯勝殺数	
月・半旬	平年	2015年	2015年
4月・1	0.0	0	0.0
2	0.0	0	0.0
3	0.0	0	0.0
4	0.0	0	0.0
5	0.0	0	0.0
6	0.0	0	0.0
5月・1	0.0	1	0.0
2	0.0	0	0.0
3	0.2	0	0.0
4	0.0	0	0.0
5	0.7	0	0.7
6	1.6	8	1.6
6月・1	0.3	2	0.3
2	1.1	4	1.1
3	0.9	18	5.6
4	5.6	3	5.1
5	5.1	14	15.1
6	15.1	2	11.0
7月・1	11.0	35	34.0
2	25.7	50	57.6
3	28.9	19	60.4
4	20.8	23	62.8
5	11.0	4	64.0
6	8.1	3	24.4
8月・1	24.4	208	25.7
2	25.7	50	28.9
3	28.9	19	20.8
4	20.8	23	11.0
5	11.0	4	8.1
6	8.1	3	4.6
9月・1	4.6	4	2.7
2	2.7	2	3.1
3	1.4	0	0.6
4	0.6	0	0.2
5	0.2	0	0.0
6	0.0	0	0.0
10月・1	0.0	0	0.0
2	0.3	0	0.3
3	0.0	0	0.0
4	0.0	0	0.0
5	0.0	0	0.0
6	0.0	0	0.0

カンキツ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	そうか病		かいよう病		ミカンハダニ		カイガラムシ類		ヤノネ	カメムシ類		種	生育状況等	調査月日
		旧葉発病度	温州(旧葉) 発病率(%)	温州(旧葉) 発病度	中晩柑(旧葉) 発病率(%)	中晩柑(旧葉) 発病度	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)		カイガラムシ 寄生率(%)	叩き落し数			
津	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	4月9日
	津市大里窪田	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	4月9日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	4月7日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	4月7日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	4月6日
	南伊勢町船越1	0	—	—	6	6.0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	4月6日
	南伊勢町五ヶ所浦	0	—	—	6	4.4	0	0	0	0	0	0	0	カラ	4月6日
	紀北町紀伊長島区海野	0	—	—	14	2.8	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	4月10日
紀州	熊野市久生屋	0	2	0.4	—	—	10	0.38	0	0	0	0	0	早生温州	4月10日
	御浜町下市木	0	—	—	6	4.4	0	0	0	0	0	0	0	カラ	4月10日
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	4月10日
	御浜町中立	0	—	—	0	0	20	0.42	0	0	0	0	0	新甘夏	4月10日
	紀宝町大里	0	—	—	4	0.8	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	4月10日
	平均	0	0.3	0.06	6.0	3.1	2.3	0.06	0	0	0	0	0		
平 年 (10年平均)		0.1	1.0	0.4	11.0	5.0	7.4	0.27	1.2	0.2	(8年平均)				

5月

地区	調査場所	そうか病		かいよう病		品 種
		旧葉 発病度	新葉 発病度	温州(旧葉) 発病率(%)	中晩柑(旧葉) 発病率(%)	
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	早生温州
	津市大里窪田	0	0	0	—	早生温州
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	—	早生温州
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	普通温州
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	2	—	普通温州
	南伊勢町船越1	0	0	—	2	セミノール
	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	—	4	カラ
	紀北町紀伊長島区海野	0	0	—	2	新甘夏
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	—	早生温州
	御浜町下市木	0	0	—	4	カラ
	御浜町阿田和	0	0	0	—	早生温州
	御浜町中立	0	0	—	0	新甘夏
	紀宝町大里	0	0	—	0	セミノール
平 均		0	0	0.3	2.0	0.9
平年 (10年平均)		0.04	0.01	0.3	9.3	3.5
		(6年平均)				

(6月続き)

地区	調 査 場 所	ミカンハダニ				ヤノネカイガラムシ		カイアシ類 叩き落とす 虫数	カイワラムシ類 寄生枝率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
		旧薬		新薬		旧薬寄生率(%)	新寄生率(%)					
		寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉							
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	新薬8cm, 花蕾1cm	5月14日
	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	1	0	早生温州	新薬8cm, 花蕾1.5cm, 開花始め, チャバネ	5月13日
	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	新薬1.7cm, アブラムシ類	5月13日
松阪	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	新薬5cm	5月13日
	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	新薬8cm	5月12日
	南伊勢町船越1	0	0	0	4	0.04	0	0	0	七ノノール	新薬5cm	5月12日
伊勢志摩	南伊勢町五カ所浦	16	0.24	16	0.16	0	0	0	0	カラ	新薬7cm	5月12日
	紀北町紀伊長島区海野	0	0	0	0	0	0	2	0	新甘夏	新薬7cm, 花蕾1cm, チャバネ	5月12日
	熊野市久生屋	56	3.00	40	0.56	0	0	0	0	早生温州	新薬8cm	5月14日
紀州	御浜町下市木	0	0	—	—	0	0	0	0	カラ	新薬4cm	5月14日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	チャバネ近縁	5月14日
	御浜町中立	4	0.04	0	0	0	0	0	0	新甘夏	新薬8cm, 区外でチャバネ	5月14日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	七ノノール	新薬10cm, 花蕾1cm	5月14日
	平 均	5.8	0.25	5.0	0.06	0	0.06	0	0.2	0		
	平年(10年平均)	12.0	1.25	6.6	0.22	0.5	0.2	0.2	1.4			(9年平均)

※ミカンハダニは、旧薬と新薬それぞれ25葉調査。ただし、新薬で調査できない場合は旧薬のみ50葉調査。

6月

地区	調 査 場 所	その病		かいよう病		ミカンハダニ(春葉)		アブラムシ類		品 種
		春葉発病度	温州(春葉)	発病度	発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数 (/葉)	新梢寄生率 (%)		
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	0	0	0	0	早生温州
	津	0	0	0	—	0	0	0	0	早生温州
	多気町五桂(定)	0	0	0	—	0	0	0	0	早生温州
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	0	0	0	0	普通温州
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	0.4	2	0.02	0	普通温州
	南伊勢町船越1	0	—	0	—	0.8	18	0.54	0	セミノール
	南伊勢町五カ所浦	0	—	—	—	0	76	3.84	0	カラ
	紀北町紀伊長島区海野	0	—	—	—	0	10	0.20	0	新甘夏
紀州	熊野市久生屋町	0	0	0	—	0	4	0.08	0	早生温州
	御浜町下市木	0	—	—	—	0	18	0.50	0	カラ
	御浜町阿田和	0	0	0	—	0	4	0.04	0	早生温州
	御浜町中立	0	—	—	—	0	14	0.20	0	新甘夏
	紀宝町大里	0	—	—	—	2	0.4	0	0	セミノール
平 均		0	0	0	0.3	0.07	0.1	11.2	0.42	1.5
平年(10年平均)		0.1	0.3	0.1	3.6	1.4	1.3	11.4	0.66	4.8

(6月続き)

地区	調 査 場 所	チャタネキイロ	ヤノネカイガラムシ	カメムシ類	アオカラムシ	カイガラムシ類	生育状況等	調査月日
		アザミウマ被害果率(%)	春葉寄生率(%)	叫き落とし虫数	新梢寄生率(%)	新梢寄生率(%)		
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	6月10日
	津	0	0	0	0	0	0	6月11日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	6月8日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	6月11日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	6月12日
	南伊勢町船越1	0	0	0	1	0	0	6月12日
紀州	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	0	6月12日
	紀北町紀伊長島区海野	0	0	0	0	0	0	6月12日
紀州	熊野市久生屋町	4	0	0	0	0	0	6月10日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	6月10日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	6月10日
	御浜町中立	4	0	0	0	0	0	6月10日
平均	紀宝町大里	0	0	0	1	0	0	6月10日
	平均	0.6	0	0	0.2	0	0	6月10日
平年(10年平均)		0.5	0	0.06	0.2	0.3	(9年平均)	

7月

地区	調 査 場 所	そうか病		かいよう病(春葉)			かいよう病(果実)			黒点病	品 種	
		果実発病度	温州 発病率(%)	温州 発病度	温州 発病率(%)	中晩柑 発病率(%)	中晩柑 発病度	温州 発病度	中晩柑 発病度			果実発病度
桑名 津	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州	
	津市大里窪田	0	0	0	—	—	0	—	0	—	早生温州	
	多気町五桂	—	0	0	—	—	—	—	—	—	早生温州	
松阪	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	—	0	—	普通温州	
	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	—	0	—	普通温州	
	南伊勢町船越1	0	—	—	0	0	—	0	0	0	セミノール	
伊勢志摩	南伊勢町五カ所浦	0	—	—	0	0	—	0	0	0	カラ	
	紀北町紀伊長島区海野	0	—	—	16	3.2	—	0	0	5.6	新甘夏	
	熊野市久生屋	0	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州	
紀州	御浜町下市木	0	—	—	0	0	—	0	0	0	カラ	
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	—	0	0.4	早生温州	
	御浜町中立	0	—	—	0	0	—	0	0	0	新甘夏	
	紀宝町大里	0	—	—	0	0	0	—	0	0	セミノール	
平 均		0	0	0	2.7	0.5	0	0	0	0	0.5	
平年(10年平均)		0.6	0.7	0.3	9.7	3.7	0.06	1.5	1.5			

(7月繰上)

(7月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ 寄生率(%)	寄生虫数/葉	チャノキイロ アザミヤマ 被害果率(%)		カメムシ類 叩き落とし 虫数	ミカンサビダニ 被害果率(%)	アカマル カイガラムシ 寄生新梢率(%)	ハマキムシ類 被害新梢率(%)		品 種	生育状況等	調査月日
				温州 発病率(%)	温州 発病度				温州 発病率(%)	温州 発病度			
津	桑名市多度町小山	4	0.04	0	0	40	0	0	0	0	早生温州	果実径2.5cm	7月8日
	津市大里窪田	0	0	0	0	10	0	0	0	0	早生温州	果実径2cm	7月7日
	多気町五桂	0	0	0	—	—	—	0	0	0	早生温州	果実極少、果実は調査せず	7月6日
松阪	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径2.5cm	7月7日
	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	12	0	0	0	0	普通温州		7月9日
	南伊勢町船越1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実径1cm	7月9日
伊勢志摩	南伊勢町五カ所浦	8	0.16	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径2cm	7月9日
	紀北町紀伊長島区海野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	新葉にかいよう病	7月10日
	熊野市久生屋	8	0.12	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径3cm	7月9日
紀州	御浜町下市木	36	0.78	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径1cm	7月8日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径2cm	7月8日
	御浜町中立	28	0.48	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径2cm	7月8日
	紀宝町大里	14	0.46	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実径1cm	7月8日
	平 均	7.5	0.16	5.2	0	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)	8.8	0.37	0.8	0.03	0	0	0.2	0.1	0.1			

※ハマキムシ類は2011年度からの調査。

8月

地区	調査場所	そうか病		かいよう病(春葉)		かいよう病(果実)		黒点病	品 種
		果実発病度	温州 発病率(%)	温州 発病度	発病率(%)	中晩柑 発病度	中晩柑 発病率(%)		
桑名 津	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	—	0.8	早生温州
	津市大里窪田町	0	0	0	—	—	—	0	早生温州
	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	—	0	早生温州
松阪	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	—	1.6	普通温州
	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	—	1.2	普通温州
	南伊勢町泉	0	—	—	0	0	0	2.8	セミノール
伊勢志摩	南伊勢町五カ所浦	0	—	—	6	1.2	4.4	0.4	カラ
	紀北町紀伊長島区海野	0	—	0	0	0	0	24.0	新甘夏
	熊野市久生屋町	0	0	0	—	—	—	3.6	早生温州
紀州	御浜町下市木	0	—	—	6	1.2	1.2	0	カラ
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	—	7.2	早生温州
	御浜町中立	0	—	—	0	0	0	3.6	新甘夏
	紀宝町大里	0	—	—	2	2.0	0.4	3.2	セミノール
平 均		0	0	0	2.3	0.7	1.0	3.7	
平年(10年平均)		0.4	0.8	0.2	8.6	3.0	4.3	6.4	

(8月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ			チャノキイロ 被害果率(%)	ミカンハモグリガ 被害新梢率 (%)	カメムシ類 叩き落とし 虫数	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	カイガラムシ類 寄生果率(%)	アカマル 寄生果率(%)	ハマキムシ類 被害果率(%)	品 種	備 考	調査月日
		寄生果率(%)	寄生虫数/葉	寄生果率(%)										
桑 名	桑名市多度町小山	0	0	0	2	—	0	0	0	0	0	早生温州	果実4cm、ハモグリガ未調査	8月5日
	津市大里窪田町	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	早生温州	果実5～6cm	8月5日
	多気町五桂(定)	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	早生温州	果実4cm	8月6日
	松阪市小阿坂町	8	0.18	0	0	70	0	0	0	0	0	普通温州	果実3cm	8月10日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	普通温州	果実4cm	8月4日
	南伊勢町泉	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	セミノール	調査地点を変更	8月4日
	南伊勢町五方所浦	0	0	0	0	74	0	0	0	0	0	カラ	果実2cm	8月4日
	紀北町紀伊長島区海野	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	新甘夏	ハモグリガ未調査	8月4日
紀 州	熊野市久生屋町	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	早生温州	果実5cm	8月6日
	御法町下市木	0	0	2	0	6	0	0	0	0	0	カラ	果実1～2cm	8月6日
	御法町阿田和	2	0.02	0	0	—	0	0	0	0	0	早生温州	果実3.5cm、ハモグリガ未調査	8月6日
	御法町中立	0	0	0	0	50	0	0	0	2	0	新甘夏	果実6cm	8月6日
	紀宝町大里	4	0.06	0	0	20	0	0	0	0	0	セミノール	果実3cm	8月6日
平 均		1.1	0.02	0.3	29.6	0	0	0.2	0	0	0			
平年(10年平均)		7.6	0.34	1.4	46.8	0.008	0.2	0.1	0	0	0			(4年平均)

9月

地区	調査場所	かいよう病(春葉)			かいよう病(果実)		黒点病	褐色腐敗病		品 種
		温州	発病率(%)	発病度	温州	発病度		発病率(%)	発病度	
桑名	津市多度町小山	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州
	津市大里窪田町	0	0	—	—	0	—	0	0	早生温州
	多気町五桂(定)	8	6.4	—	—	0.4	—	2.4	4.0	普通温州
	松阪市小阿坂町	0	0	—	—	0	—	4.0	—	普通温州
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	—	—	0	—	10.4	0	普通温州
	南伊勢町泉	—	—	0	0	—	0	6.0	0	セミノール
	南伊勢町五方所浦	—	—	2	0.4	—	1.6	1.2	0	カラ
	紀北町紀伊長島区海野	—	—	6	1.2	—	0	55.2	0	新甘夏
紀州	熊野市久生屋町	0	0	—	—	0	—	2.0	0	早生温州
	御浜町下市木	—	—	4	2.4	—	0	0.4	0	カラ
	御浜町阿田和	0	0	—	—	0	—	1.2	0	早生温州
	御浜町中立	—	—	0	0	—	0.8	1.2	0	新甘夏
	紀宝町大里	—	—	0	0	—	0	0.4	0	セミノール
	平均	1.1	0.9	2.0	0.7	0.06	0.4	6.5	0	
平年(10年平均)		0.3	0.1	14.9	8.0	0.8	6.8	12.2	0	

(9月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ			チャノキイロ アザミウマ 被害果率(%)	ミカンハモグリガ 被害新梢率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	ヤノネカイガラムシ 寄生果率(%)	アカマル カイガラムシ 寄生果率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
		寄生率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)									
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	4	0	34	0	0	0	早生温州	果実5cm、新葉にアブラムシ類寄生	9月14日
	津市大里窪田町	4	0.08	2	2	0	36	0	0	0	早生温州	果実6cm、アガハチヨウ幼虫、アブラムシ類寄生	9月7日
	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	早生温州	果実5cm、新梢にアブラムシ類寄生、コナジラミ類	9月7日
	松阪市小阿坂町	2	0.04	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実5cm	9月7日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	60	0	0	0	普通温州	果実6cm	9月10日
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	16	0	0	0	セミノール	果実4.5cm、ハモグリガは25本調査	9月10日
	南伊勢町五方所浦	2	0.02	0	0	0	44	0	0	0	カラ	果実6cm、新梢にかいよう病多い	9月10日
	紀北町紀伊長島区海野	0	0	6	0	0	22	0	0	0	新甘夏	果実6～7cm	9月11日
紀州	熊野市久生屋町	2	0.04	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実5cm、新梢にアブラムシ類寄生	9月11日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実3cm	9月11日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実5cm	9月11日
	御法町中立	0	0	0	0	0	—	0	0	0	新甘夏	果実8cm、ハモグリガは調査せず	9月11日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	8	0	0	0	セミノール	果実5cm、新梢にアブラムシ類寄生	9月11日
平均		0.8	0.01	0.9	18.5	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		6.1	0.15	3.0	43.8	0.01	0.4	0.08	0.2	0			
(9年平均)													

10月

地区	調 査 場 所	かいよう病(春葉)				かいよう病(果実)				黒点病 果実発病度	褐色腐敗病 発病果率	品 種
		温州		中晩柑		温州		中晩柑				
		発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度			
桑名 津	桑名市多度町小山	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	早生温州
	津市大里窪田	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	早生温州
	多気町五桂(定)	0	0	—	—	—	—	—	—	2.0	0	早生温州
	松阪市小河坂町	0	0	—	—	—	0.4	—	—	4.8	0	普通温州
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	—	—	—	—	—	—	40.0	0	普通温州
	南伊勢町泉	—	—	—	—	0	0	—	—	6.0	0	セミノール
	南伊勢町五ヶ所浦	—	—	—	—	4	0.8	—	—	2.4	0	カラ
	紀北町紀伊長島区海野	—	—	—	—	4	0.8	—	—	82.0	0	新甘夏
紀州	熊野市久生屋	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	早生温州
	御浜町下市木	—	—	—	—	20	13.6	—	—	6.8	0	カラ
	御浜町阿田和	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	早生温州
	御浜町中立	—	—	—	—	0	0	—	—	3.2	0	新甘夏
	紀宝町大里	—	—	—	—	4	0.8	—	—	0.4	0	セミノール
平 均		0	0	5.3	2.7	0.07	0.07	2.8	—	11.8	0	
平年(10年平均)		0.2	0.05	9.2	4.2	0.1	0.1	6.5	—	18.7	0.05	

(10月続き)

地区	調 査 場 所	ミカンハダニ		チャノキイロ アザミウマ		カイガラムシ類		カイガラムシ類		アカマル カイガラムシ 寄生果率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
		寄生果率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	吹き落とし 虫数	寄生枝率(%)	寄生果率(%)						
桑名 津	桑名市多度町小山	0	0	0	6	0	0	0	0	0	早生温州	果実径8cm	10月8日
	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径7cm	10月7日
	多気町五桂(定)	76	3.48	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径7cm	10月6日
	松阪市小河坂町	8	0.22	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径6cm	10月7日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径5cm、腐敗果が散見される	10月8日
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実径5cm	10月8日
	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	2	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径6cm	10月8日
	紀北町紀伊長島区海野	4	0.04	6	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径10cm	10月9日
紀州	熊野市久生屋	4	0.04	—	—	0	0	—	—	—	早生温州	収穫済み	10月9日
	御浜町下市木	0	0	4	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径4cm、果実にハダニ有り	10月9日
	御浜町阿田和	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径5cm	10月9日
	御浜町中立	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径12cm	10月9日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実径4cm	10月9日
平 均		7.4	0.29	1.5	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		4.4	0.09	5.6	0.2	0.9	0.2	(9年平均)		1.0			

3月

地区	調 査 場 所	そうら病		かいよう病		ミカンハダニ		カイガラムシ類		品 種	生育状況等	調査月日	
		旧薬発病度	温州(旧薬)	発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生枝率(%)				寄生率(%)
桑名 津	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州	3月10日	
	津市大里窪田	0	0	0	—	—	6	0.10	0	0	早生温州	3月11日	
	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州	3月10日	
	松阪市小河坂町	0	0	0	—	—	8	0.20	0	0	普通温州	3月10日	
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	0	普通温州	3月7日	
	南伊勢町泉	0	—	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	3月7日	
	南伊勢町五ヶ所浦	0	—	8	6.4	2	0.02	0	0	0	カラ	3月7日	
	紀北町紀伊長島区海野	0	—	2	2.0	0	0	0	0	0	新甘夏	3月9日	
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州	3月9日	
	御浜町下市木	0	—	10	6.8	0	0	0	0	0	カラ	3月9日	
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州	3月9日	
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	3月9日	
	紀宝町大里	0	—	4	2.4	0	0	0	0	0	0	セミノール	3月9日
	平 均	0	0	0	4.0	2.9	1.2	0.02	0	0	0		
平年(10年平均)		0.02	0.3	0.05	9.7	4.5	5.6	0.19	1.6	0.2	(9年平均)		

ナシ巡回調査結果

4月

地区	調 査 場 所	黒星病 発病芽率(%)	黒星病 発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	ハダニ類		アブラムシ類 寄生枝率(%)	品 種	生 育 状 況 等	調 査 月 日
					寄生葉率(%)	寄生虫数・葉				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老1	0	0	0	0	0	0	0	幸水	4月8日
	四日市市下海老2	0	0	0	0	0	0	0	幸水	4月8日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水	4月9日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水	4月9日
松阪	松阪市笹川町1	2	0	0	0	0	0	0	幸水	4月7日
	松阪市笹川町2	0	0	0	0	0	0	0	幸水	4月7日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水	4月8日
	伊賀市羽根1	0	—	—	—	—	—	—	幸水	4月7日
伊賀	伊賀市羽根2	0	—	—	—	—	—	—	幸水	4月7日
	平 均	0.2	0	0	0	0	0	0		
平 年 (10年平均)		0	0	0	0	0	0	0.3		
		(8年平均)	(6年平均)	(6年平均)	(6年平均)	(6年平均)	(8年平均)			

5月

地区	調 査 場 所	黒星病 発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	ハダニ類		アブラムシ類 寄生枚率(%)	品 種	生育状況等	調 査 月 日
				寄生葉率(%)	寄生虫数/葉				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老1	0	0	0	0	0	幸水		5月11日
	四日市市下海老2	0	0	0	0	0	幸水		5月11日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	幸水		5月13日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	幸水		5月13日
松阪	松阪市笹川町1	2	0	0	0	0	幸水	果梗に黒星病	5月12日
	松阪市笹川町2	8	0	0	0	0	幸水	果梗に黒星病	5月12日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	幸水		5月15日
伊賀	伊賀市羽根1	2	0	0	0	0	幸水	果実径2cm	5月15日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	2	幸水	果実径2cm、果実に黒星病	5月15日
平 均		1.3	0	0	0	0.4			
平年(10年平均)		0.3	0.9	0.04	0.0004	1.9			

6月

地区	調 査 場 所	黒星病 発病率(%)	赤星病 発病率(%)	ハダニ類		アブラムシ類 寄生率(%)	カメムシ類 見取り数	品 種	生育状況等	調 査 月 日
				寄生率(%)	寄生虫数(葉)					
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町1	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径3cm	6月9日
	四日市市下海老町2	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径3cm	6月9日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	6	幸水	果実径3cm	6月11日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径3cm	6月11日
松阪	松阪市笹川町1	4	0	0	0	0	0	幸水	袋掛け済み	6月8日
	松阪市笹川町2	16	0	0	0	0	0	幸水	果実径2～3cm	6月8日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径3.5cm	6月9日
伊賀	伊賀市羽根1	4	0	0	0	0	0	幸水	果実径3cm、果梗に黒星病	6月12日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	幸水	果実に黒星病	6月12日
平 均		2.7	0	0	0	0	0.7	0		
平年(10年平均)		2.0	0.8	1.0	0.05	6.4	0			

7月

地区	調査場所	黒星病 発病率(%)	うどんこ病 発病率(%)	ハダニ類 寄生率(%)	アブラムシ類 寄生枝率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	見取り虫数	品	種	生育状況等	調査月日
四日市	四日市市下海老1	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径5cm、袋掛け、果実は袋をかいていないもので調査	7月10日
鈴鹿	四日市市下海老2	0	0	0	0	0	0	0	幸水	袋掛け済み	7月10日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径5cm	7月7日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	2	0	0	0	幸水	果実径5cm	7月7日
松坂	松坂市徳川町1	2	0	0	0	0	0	0	幸水	袋掛け済み	7月6日
	松坂市徳川町2	10	0	0	0	0	0	0	幸水	袋掛け済み	7月6日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径5cm	7月10日
伊賀	伊賀市羽根1	6	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径5cm	7月9日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径5cm、区外で葉と果実に黒星病	7月9日
平均		2.0	0	0	0	0.2	0	0			
平年(10年平均)		2.3	0.3	1.2	0.05	1.3	0.04	0			
(9年平均)											

8月

地区	調査場所	黒星病 発病率(%)	うどんこ病 発病率(%)	ハダニ類 寄生率(%)	アブラムシ類 寄生枝率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	見取り虫数	品	種	生育状況等	調査月日
四日市	四日市市下海老1	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果実10cm	8月7日
鈴鹿	四日市市下海老2	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		8月7日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		8月5日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	果実10～13cm	8月5日
松坂	松坂市徳川町1	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		8月7日
	松坂市徳川町2	6	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		8月7日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0.02	0	0	幸水(有袋)		8月7日
伊賀	伊賀市羽根1	2	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)		8月3日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)		8月3日
平均		0.9	0	0	0	0.002	0	1.5	0		
平年(10年平均)		2.0	2.0	3.2	0.1	4.8	0.39	0.3	1.4		
(9年平均)											

9月

地区	調査場所	黒星病 発病率(%)	うどんこ病 発病率(%)	ハダニ類 寄生率(%)	アブラムシ類 寄生枝率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	見取り虫数	品	種	生育状況等	調査月日
四日市	四日市市下海老町1	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果実径12cm	9月10日
鈴鹿	四日市市下海老町2	0	0	6	0	0	0	0	幸水(有袋)	収穫済み	9月10日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	6	0	0	0	0	幸水(有袋)	収穫済み	9月7日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	収穫済み	9月7日
松坂	松坂市徳川町1	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	剪定後、調査中止	9月7日
	松坂市徳川町2	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	収穫済み	9月7日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	収穫済み、園内に入れず	9月8日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	調査中止	
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	調査中止	
平均		0	0	2.0	0	3.3	0.22	0	0		
9年平均(2006年～2014年)		1.5	1.4	11.6	0.02	0.04	0.13	1.4	0.4	0.02	
(8年平均)											

カキ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	炭疽病 発病枝率(%)	備考	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0		4月6日
	松阪市嬉野川北町1	0		4月6日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0		4月8日
	玉城町蚊野1	0		4月8日
平 均		0		
平 年 (10年平均)		0		
		(9年平均)		

5月

地区	調査場所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病		生育状況等	調査月日
			発病新梢率(%)	病斑数/枝		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0		5月11日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0		5月11日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0		5月15日
	玉城町蚊野1	0	0	0		5月15日
平 均		0	0	0		
平年(10年平均)		0	0.05	0.0005		

6月

地区	調査場所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	生育状況等	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0		6月9日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0		6月9日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0		6月9日
	玉城町蚊野1	16	0	0		6月9日
平 均		4.0	0	0		
平年(10年平均)		1.0	0.05	0		

7月

地区	調査場所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)	カキノヘタムシガ 被害果率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	生育状況等	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	24	0	0	0	0	0 果実にかいがラムシ類	7月10日
	松阪市嬉野川北町1	20	0	0	0	0	0	7月10日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	7月10日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	7月10日
平均		11.0	0	0	0	0	0	
平年(10年平均)		9.2	0	0	0.2	0.9	0	

8月

地区	調査場所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	カキノヘタムシガ 被害果率(%)	備考 生育状況等	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	22	0	0	6	0	0	8月7日
	松阪市嬉野川北町1	8	0	0	0	0	0 フジコナカイガラ	8月7日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	8月7日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	8月7日
平均		7.5	0	0	1.5	0	0	
平年(10年平均)		6.2	0	0	0.6	0.03	0	
		(9年平均)						

9月

地区	調査場所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	カメムシ類 見取り虫数	カキノヘタムシガ 被害果率(%)	生育状況等	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	22	0	0	2	0	0	9月9日
	松阪市嬉野川北町1	24	0	0	2	0	0	9月9日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	9月8日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	9月8日
平均		11.5	0	0	1.0	0	0	
平年(10年平均)		17.1	0	0.06	2.2	0	0.5	
		(9年平均)						

10月

地区	調査場所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	カメムシ類 見取り虫数	カキノヘタムシガ 被害果率(%)	生育状況等	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	62	0	0	12	0	0	10月5日
	松阪市嬉野川北町1	34	0	0	2	0	0	10月5日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	2	0	0	10月5日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	10月5日
平均		24.0	0	0	4.0	0	0	
平年(10年平均)		17.0	0.4	5.5	0.03	0.05	0.05	

ブドウ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	黒とう病 発病率(%)	品種	生育状況等	調査月日
津	津市久居明神町	—	安芸クイーン	未展葉のため調査未実施	4月9日
伊勢志摩	玉城町勝田	—	デラウェア	未萌芽のため調査未実施	4月8日
伊賀	伊賀市森寺(定)	—	安芸クイーン	—	—
	伊賀市森寺1	—	巨峰	—	—
	伊賀市上ノ庄(定)	—	巨峰	—	—
	伊賀市上ノ庄1	—	巨峰	—	—
	名張市下小波田1	—	デラウェア	—	—
	名張市下小波田2	—	巨峰	—	—
平均		—			
平年(6年平均)		—			

※一の圃場では萌芽未確認または未調査。2009年から調査開始。

5月

地区	調査場所	べと病 発病率(%)	黒とう病 発病率(%)	ハダニ類		品種	生育状況等	調査月日
				寄生葉率(%)	寄生虫数/葉			
津	津市久居明神町	0	0	0	0	安芸クイーン		5月13日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	デラウェア		5月15日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	安芸クイーン		5月15日
	伊賀市森寺1	0	8	0	0	巨峰	殺菌剤無散布	5月15日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰	花穂10cm	5月15日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	巨峰	花穂7cm	5月15日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	デラウェア	花穂8cm	5月15日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	巨峰	花穂15cm	5月15日
	平均	0	1.0	0	0			
平年(10年平均)		0	0.6	0.03	0.003			

6月

地区	調査場所	べと病 発病率(%)	黒とう病 発病率(%)	ハダニ類		品種	生育状況等	調査月日
				寄生葉率(%)	寄生虫数/葉			
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0 安芸クイーン	果穂10cm	6月11日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	— デラウェア	袋掛け済み	6月9日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0 安芸クイーン		6月12日
	伊賀市森寺1	0	2	0	0	巨峰	殺菌剤無散布、チヨウ目幼虫(ふ化直後)	6月12日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰	果穂17cm	6月12日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	巨峰	果穂17cm	6月12日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	— デラウェア	袋掛け済み	6月12日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0 巨峰		6月12日
平均		0	0.3	0	0			
平年(10年平均)		0.05	0.8	0.1	0.0009	0		

7月

地区	調査場所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類		品 種	生育状況等	調査月日
				寄生葉率(%)	寄生虫数/葉			
津	津市久居明神町	0	0	0	0	安芸クイーン		7月7日
	玉城町勝田	0	0	0	0	デラウェア	袋掛け済み	7月10日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	安芸クイーン		7月9日
	伊賀市森寺1	52	0	0	0	巨峰	殺菌剤散布済み(殺菌剤無散布管理から変更)	7月9日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰	袋掛け中	7月9日
	伊賀市上ノ庄 1	0	0	0	0	巨峰	袋掛け済み	7月9日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	デラウェア		7月9日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	巨峰		7月9日
	平 均	6.5	0	0	0			
平年(10年平均)		3.1	1.2	2.2	0.04			

8月

地区	調査場所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	晩腐病 発病房率(%)	ハダニ類		チャノキイロ アザミウマ 被害穂軸率(%)	品 種	備 考 生育状況等	調査月日
					寄生葉率(%)	寄生虫数/葉				
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		8月5日
	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	デラウェア	収穫済み	8月7日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	袋掛け	8月3日
	伊賀市森寺1	2	0	0	0	0	0	巨峰		8月3日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋掛け	8月3日
	伊賀市上ノ庄 1	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋掛け	8月3日
	名張市下小波田1	0	0	0	26	1.12	0	デラウェア	袋掛け、褐斑病	8月3日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋掛け、区外でハダニ	8月3日
	平 均	0.3	0	0	3.3	0.14	0	0.1		
平年(10年平均)		11.6	1.2	11.5	2.4	0.08	3.7	0.08	(8年平均) (9年平均)	

9月

地区	調査場所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	チャノキイロ アザミウマ 被害穂軸率(%)		品 種	生育状況等	調査月日
					寄生虫数/葉	被害穂軸率(%)			
津	津市久居明神町	0	0	0	0.02	0	安芸クイーン	袋掛け	9月7日
	玉城町勝田	0	0	0	0	0	デラウェア	収穫済み	9月8日
伊賀	伊賀市森寺(定)	—	—	—	—	—	安芸クイーン	調査中止	
	伊賀市森寺1	—	—	—	—	—	巨峰	調査中止	
	伊賀市上ノ庄(定)	—	—	—	—	—	巨峰	調査中止	
	伊賀市上ノ庄 1	—	—	—	—	—	巨峰	調査中止	
	名張市下小波田1	—	—	—	—	—	デラウェア	調査中止	
	名張市下小波田2	—	—	—	—	—	巨峰	調査中止	
平 均		0	0	1.0	0.01	—			
平年(10年平均)		16.2	0.8	0.7	0.01	14.1			(6年平均)

10月

地区	調査場所	べと病 発病率(%)	黒とう病 発病率(%)	ハダニ類		品 種	生育状況等	調査月 日
				寄生葉率(%)	寄生虫数(頭/葉)			
津	津市久居神明町	0	0	0	0	安芸クイーン		10月7日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	デラウェア		10月5日
	伊賀市森寺(定)	2	0	0	0	安芸クイーン		10月6日
伊 賀	伊賀市森寺1	0	0	0	0	巨峰		10月6日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰		10月6日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	巨峰		10月6日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	デラウェア		10月6日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	巨峰		10月6日
平 均		0.3	0	0	0			
平年(10年平均)		14.4	0.3	1.0	0.01			

ウメ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	黒星病 果実発病度	かいよう病 果実発病度	アブラムシ類		ウメシロ カイガラムシ 寄生枝率(%)	品 種	生育状況等	調査月 日
		果実発病度	果実発病度	葉発病度	寄生枝率(%)				
津	津市片田中町	—	0	—	0	0	白加賀	調査地点を変更、果実の調査は実施せず	4月9日
伊勢志摩	南伊勢町船越	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅	果実径1cm	4月6日
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	南高	果実径2cm	4月10日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	南高		4月10日
平 均		0	0	0	0	0			
平年(6年平均)		0	0.06	0	0	0	19.6		

※ーの圃場では、果実が微小または葉が未展開のため調査せず。2009年から調査開始。

5月

地区	調査場所	黒星病 果実発病度	かいよう病 果実発病度	アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		品 種	生育状況等	調査月 日
		果実発病度	果実発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)			
津	津市片田中町	0	0	0.3	0	0	0	6	白加賀 果実2cm	5月13日
伊勢志摩	南伊勢町船越	0	0	0	0	0	0	2	五ヶ所小梅 果実1.5cm	5月12日
紀州	御浜町中立	21.4	0	0	0	0	0	0	南高	5月15日
	紀宝町大里	45.7	0	0	0	0	0	0	南高 果実3cm	5月15日
平 均		16.8	0	0.07	0	0	0	2.0		
平年(6年平均)		0.6	0.5	0.1	0	0.4	16.6			

※ウメは平成21年(2009年)度からの調査

6月

地区	調査場所	黒星病 果実発病度	かいよう病 果実発病度	アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		品 種	生育状況等	調査月 日
		果実発病度	果実発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)			
津	津市片田中町	—	—	—	0	0	0	4	白加賀 収穫済み	6月11日
伊勢志摩	南伊勢町船越	—	—	—	0	0	0	0	五ヶ所小梅 収穫済み	6月12日
紀州	御浜町中立	60.0	0	0	0	0	0	0	南高	6月10日
	紀宝町大里	61.7	0	0	0	0	0	0	南高	6月10日
平 均		60.9	0	0	0	0	1.0			
平年(6年平均)		7.3	1.8	0.07	0.8	9.5				

*ウメは平成21年(2009年)度からの調査

果樹カメムシ類越冬個体数調査

a. チャバネアオカメムシ越冬冬量調査

a.チャパネアオカメムシ越冬量調査													単位:頭
調査地点\調査年月		2006.3	2007.2	2008.3	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	10年平均 (2006.3～2015.1)
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)		0	0	3	2	4	0	1	0	1	1	0	1.2
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)		0	0	0	1	9	0	17	1	13	9	0	5.0
松阪市大阿坂町 (広葉樹林)		0	1	1	0	0	0	4	1	27	1	0	3.5
松阪市小阿坂町 (ヒノキ林)		1	0	0	2	6	3	2	2	36	28	0	8.0
平均		0.3	0.3	1.0	1.3	4.8	0.8	6.0	1.0	19.3	9.8	0	4.4

※1地点あたり1m²範囲内の落葉を3カ所採取し(計3m²)、捕獲した数を計測。

※調査は、例年1月～3月に実施。

b. クサギカメムシ越冬冬量調査

b.クサギカメムシ越冬冬量調査														単位:頭
調査地点\調査年月		2006.2	2007.2	2008.2	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	10年平均 (2006.2～2015.1)	
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)		40	8	6	3	14	3	17	1	12	9	7	11.3	
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)		699	149	52	23	174	23	294	8	658	543	46	262.3	
南伊勢町船越 (カンキツ園)		30	1	2	1	33	0	5	0	55	5	4	13.2	
御浜町志原 (カンキツ園)		1	1	0	1	1	0	1	0	3	10	1	1.8	
平均		192.5	39.8	15.0	7.0	55.5	6.5	79.3	2.3	182.0	141.8	14.5	72.2	

※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。

※例年小屋の設置は10月上旬。1月～2月に回収調査を実施。

※2008年2月までは志摩市磯部町堀切で調査。以降は、南伊勢町船越に、設置場所を西へ約7km移動して調査。

広域病害虫防除員調査結果
カンキン 6月

地区	調査地点	品種	そうかい病				かいよう病				黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日
			発病薬数	発病薬率	発病果数	発病果率	発病薬数	発病薬率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	寄生薬率	虫数/葉		
伊勢	南伊勢町船越1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	一次落果終期、新葉緑化前、着果樹不揃い	6月6日
	南伊勢町船越2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月6日
	南伊勢町船越3	早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月6日
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月6日
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月6日
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月6日
	平均		0.3	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月6日
東紀州	過去の平均値 (データ数)		0.2	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	2.6	0.03		
	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0.60	早生温州:樹勢良、着果やや少	6月11日
	熊野市金山町2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	極早生温州:樹勢良、肥大良、着果・新梢バランス良	6月11日
	熊野市金山町3	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	1.24	不知火:樹勢やや弱、生理落下期	6月11日
	御浜町神木1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州:樹勢良、着果やや少、防除直後	6月11日
	御浜町神木2	伊予柑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.02	伊予柑:樹勢良、着果少、新梢多	6月11日
	御浜町神木3	セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0.16	セミノール:樹勢良、着果・新梢バランス良	6月11日
	御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	極早生温州:樹勢弱、着果やや多、生理落下終期、主枝先衰弱している樹目立つ	6月11日
	御浜町下市木2	セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.04	セミノール:樹勢弱、着果並	6月11日
	御浜町下市木3	カラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.04	カラ:樹勢良、着果少、新梢多、かいよう病斑よく除去されている	6月11日
	御浜町阿田和1	甘夏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0.42	甘夏:樹勢良、着果やや少	6月11日
	御浜町阿田和2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	1.02	極早生温州:樹勢良、着果やや多	6月11日
	御浜町阿田和3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.04	極早生温州:樹勢並、着果バラつき、生理落下多	6月11日
	紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	1.42	極早生温州:樹勢良、着果多、肥大良、ハダニ多い	6月11日
	紀宝町井田2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州:樹勢やや弱、着果少	6月11日
	紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	不知火:樹勢並、着果多、生理落下期	6月11日
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14.9	0.33		
	過去の平均値 (データ数)		0.2	0.3	0	0	0	0.5	1.0	0	0	0	4.8	0.14		
			10	10	3	3	10	10	3	3	4	3	10	10		

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは5月の調査結果。

地区	調査地点	品種	そうかい病				かいよう病				黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	寄生葉率	虫数/葉		
伊勢	南伊勢町船越1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12	0	0	各園共に荒摘果済み、果実径3.5～4.0cm、黒点病は局部的に発生	8月7日
	南伊勢町船越2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	0	0		8月7日
	南伊勢町船越3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月7日
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	0	0	1	2	0	0	0	0	7	14	0	0	圃場1・2は荒摘果前果実径3.5～3.8cm、圃場3は荒摘果済み果実径3.8～4.0cm	8月7日
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0		8月7日
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月7日
	平均		0.2	0.3	0.3	0.7	0	0	0	0	2.8	5.7	0	0		
	過去の平均値		0.1	0.1	0.1	0.2	0	0	0	0	0	0	1.9	0.02		
	(データ数)		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	23	46	34	1.22	早生温州：樹勢良、裏年傾向、夏芽発生、黒点病の被害程度は低い、被害果多数 不知火：樹勢並、肥大少、ハダニ多数 極早生温州：樹勢並、落葉有り、マルチ栽培	8月13日
東紀州	熊野市金山町2	不知火	0	0	0	0	0	0	4	8	6	12	52	1.98		8月13日
	熊野市金山町3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	16	32	12	0.26		8月13日
	御浜町神木1	伊予柑	0	0	0	0	0	0	0	0	35	70	4	0.04		8月13日
	御浜町神木2	セミナール	0	0	0	0	0	0	0	0	21	42	18	0.38		8月13日
	御浜町神木3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	伊予柑：樹勢良、肥大良好、黒点病多い セミナール：樹勢良、着果多、果実に傷多い 早生温州：樹勢良、半樹摘果、マルチ栽培	8月13日
	御浜町下市木1	カラ	1	2	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0		8月13日
	御浜町下市木2	セミナール	0	0	0	0	0	0	0	0	27	54	18	0.28		8月13日
	御浜町下市木3	極早生温州	3	6	0	0	0	0	0	0	8	16	0	0		8月13日
	御浜町阿田和1	甘夏	1	2	0	0	1	2	0	0	12	24	2	0.02	甘夏：樹勢良、着果やや多、果実に訪花害虫による傷多数 極早生温州：樹勢並、着果多、マルチ栽培 極早生温州：樹勢並、着果やや少、SSによる防除、葉のかめつていない部分多い	8月13日
	御浜町阿田和2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	2	0.02		8月13日
	御浜町阿田和3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	33	66	4	0.06		8月13日
	紀宝町井田1	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	不知火：樹勢良、着果多、極早生温州：樹勢良、着果多、肥大良、マルチ栽培、日焼け果の発生目立つ 早生温州：樹勢弱、着果少、マルチ栽培、夏芽発生多い	8月13日
	紀宝町井田2	極早生温州	2	4	0	0	0	0	0	0	12	24	46	1.28		8月13日
	紀宝町井田3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	12	24	0	0		8月13日
	平均		0.5	0.9	0	0	0.1	0.1	0.5	0.9	13.9	27.7	12.8	0.37		
	過去の平均値		0.1	0.2	0	0	0.9	1.9	0.5	0.9	0.5	1.0	6.0	0.34		
	(データ数)		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは7月の調査結果。

地区	調査地点	品種	そうかい病				かいよう病				黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	寄生葉率	虫数/葉		
伊勢	南伊勢町船越1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	46	92	2	0.02	着色始め、果実横径5.0～6.0cm、各園黒点病の発生は小～中程度、ハダニの発生は少ない	10月3日
	南伊勢町船越2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	48	96	0	0		10月3日
	南伊勢町船越3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	47	94	0	0		10月3日
	南伊勢町五ヶ所浦1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	45	90	0	0	着色前、摘果園果実横径5.8～6.0cm、No.1～2園は小玉果が多い、黒点病の発生はNo.1～2園で小～中程度No.3園で小程度、ハダニの発生はなかった	10月3日
	南伊勢町五ヶ所浦2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	50	100	0	0		10月3日
	南伊勢町五ヶ所浦3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0		10月3日
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	39.8	79.7	0.3	0.003		
	過去の平均値 (データ数)		0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	14.3	28.6	2.8	0.05		
	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	33	66	0	0	早生温州：樹勢良、肥大良、マルチ栽培、黒点病被害多数	10月8日
	熊野市金山町2	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	28	56	0	0	不知火：樹勢良、着果少、肥大良、夏芽発生	10月8日
東紀州	熊野市金山町3	極早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	5	10	14	0.20	極早生温州：樹勢良、肥大良、1サイズ中心、マルチ栽培	10月8日
	御浜町神木1	伊予柑	0	0	0	0	2	4	4	8	32	64	34	0.64	伊予柑：樹勢良、肥大良、コハシ症の被害果多数	10月8日
	御浜町神木2	セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	24	48	80	3.02	セミノール：樹勢良、肥大並、ハダニ多発	10月8日
	御浜町神木3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	9	18	24	0.26	早生温州：樹勢並、着色良、マルチ栽培、半樹摘果	10月8日
	御浜町下市木1	カラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ：樹勢良、着果少、傷果多数、夏芽にかいよう病斑	10月8日
	御浜町下市木2	セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	0.04	セミノール：樹勢良、着果多、肥大悪、夏芽多	10月8日
	御浜町下市木3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	21	42	0	0	極早生温州：樹勢並、着色遅、マルチ栽培、収穫中盤	10月8日
	御浜町阿田和1	甘夏	0	0	0	0	0	0	0	0	11	22	16	0.28	甘夏：樹勢良、肥大良、夏芽多、果実にかいよう病散見	10月8日
	御浜町阿田和2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.06	極早生温州：樹勢良、肥大良、マルチ栽培、収穫終盤	10月8日
	御浜町阿田和3	極早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	6	12	0	0	極早生温州：樹勢並、収穫終了	10月8日
	紀宝町井田1	不知火	3	6	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	不知火：樹勢良、着果多、肥大悪	10月8日
	紀宝町井田2	極早生温州	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4	2	0.02	極早生温州：樹勢並、マルチ栽培、収穫終了	10月8日
	紀宝町井田3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	0	0	早生温州：樹勢弱、着果多、マルチ栽培	10月8日
	平均		0.5	0.9	0	0	0.1	0.3	1.5	2.9	12.1	24.1	11.9	0.30		
	過去の平均値 (データ数)		0.1	0.2	0.0	0.0	1.0	2.0	0.7	1.4	3.2	6.4	3.9	0.09		

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは9月の調査結果。

ブドウ 7月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上ノ庄1	巨峰	0	0%	0	0%	5月の晴天に恵まれ、露地・雨よけ・ハウスとも前進傾向。着粒においても全体的に安定している。 べと病は7月調査時点では発生していないが、6～7月上旬の長雨の影響で今後の心配である。	7月13日
	伊賀市上ノ庄2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		7月13日
	伊賀市上之庄3	巨峰	0	0%	0	0%		7月13日
	伊賀市与野1	巨峰	0	0%	0	0%		7月13日
	伊賀市与野2	巨峰	0	0%	0	0%		7月13日
	平均		0.0	0.0%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		2.1 (7)	4.2% (7)	1.1 (7)	2.4% (7)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

ブドウ 8月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上ノ庄1	巨峰	0	0%	0	0%	5月は晴天に恵まれ生育は前進傾向にあったが、6月からの長雨の影響で酸抜けが悪く出荷が遅れた。 7月後半～8月上旬に晴天・高温が続いたため着色不良が目立っている。 べと病、晩腐病は発生していない。	8月8日
	伊賀市上ノ庄2	巨峰	0	0%	0	0%		8月8日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	0	0%	0	0%		8月8日
	伊賀市与野1	巨峰	0	0%	0	0%		8月8日
	伊賀市与野2	巨峰	0	0%	0	0%		8月8日
	平均		0	0%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		7.9 (7)	15.8% (7)	10.7 (7)	21.2% (7)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

ブドウ 9月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上ノ庄1	巨峰	3	6%	15	30%	梅雨明け後の晴天で高温が続いたため着色不良が目立っている。 露地では晩腐病の発生が多く、べと病についても一部圃場で発生している。	9月10日
	伊賀市上ノ庄2	巨峰	5	10%	15	30%		9月10日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	7	14%	18	36%		8月10日
	伊賀市与野1	巨峰	5	10%	13	26%		9月10日
	伊賀市与野2	巨峰	7	14%	15	30%		9月10日
	平均		5.4	10.8%	15.2	30.4%		
	過去の平均値 (データ数)		12.9 (7)	25.9% (7)	18.1 (4)	30.0% (4)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

(5)茶

茶巡回調査結果(2015年4月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザワハダニ	チャノミドリ	チャノキイロ	ハマキムシ類	クワシロカイ	チャトグコナジラミ		備考		
		発病 枚数	旧葉寄 生率(%)	旧葉寄 生虫数 ／葉	たたき落とし 虫数	たたき落とし 虫数	アザミウマ	／㎡	幼虫数 (頭／葉)	雌成虫寄生 株率(%)		寄生率 (%)	寄生度
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	2	0.04	0	0	0	0	0	30	11.3	少	4月6日 旧葉にチャトグ目の食害多い
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	0	20	6.7	少	4月6日
	四日市市水沢町2	0	2	0.02	0	0	0	0	6	26	8.7	少	4月6日
	四日市市水沢町3	0	10	0.12	0	0	0	0	0	24	8.0	少	4月6日
	四日市市水沢町4	0	0	0	0	0	0	0	18	16	5.3	少	4月6日
	四日市市堂ヶ山町	0	10	0.34	0	0	0	0	0	56	20.7	少	4月6日
	鈴鹿市山本町(定)	3	2	0.02	0	0	0	0	0	10	3.3	少	4月6日
	鈴鹿市山本町1	1	28	1.02	2	0	0	0	0	12	4.0	少	4月6日
	鈴鹿市山本町2	16	16	0.42	0	0	0	0	0	4	1.3	少	4月6日
	鈴鹿市山本町3	0	32	0.92	1	0	0	0	18	14	4.7	少	4月6日
松阪	亀山市山太森町1	0	14	0.18	0	0	5	0	0	12	4.0	少	4月6日
	亀山市山太森町2	0	8	0.12	0	0	0	0	0	24	8.0	少	4月6日
	亀山市山太森町3	0	0	0	0	0	4	0	0	14	4.7	少	4月6日
	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	74	34.0	少	4月7日
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	0	0	0	6	84	36.7	少	4月7日
	松阪市飯南町粥見3	19	6	0.06	1	0	0	0	14	54	19.3	少	4月7日
	大台町栃原(定)	0	34	1.76	0	0	0	0	2	24	8.7	少	4月7日
伊勢 志摩	大台町栃原1	0	0	0	0	0	0	0	28	90	59.3	中	4月7日
	大台町栃原2	0	2	0.40	0	0	0	0	6	20	6.7	少	4月7日
	多気町色太	0	0	0	0	0	0	0	4	18	6.0	少	4月7日
	度会町大野木	2	58	3.36	0	0	0	0	36	26	8.7	少	4月7日 旧葉にチャトグ目の食害多い
	度会町棚橋	—	0	0	0	0	—	—	0	18	6.0	少	4月7日 ならし後
	度会町牧戸	0	4	0.18	0	0	0	0	0	28	9.3	少	4月7日
	平均	1.9	9.9	0.39	0.2	0.2	0.2	0.2	0	6.0	30.3	12.4	少
前年(2014年)		2.8	1.7	0.11	0.3	0.7	0.1	0.1	25.2	46.6	16.3		
平年(10年平均)		3.0	2.5	0.09	0.3	2.7	0.4	0.2	17.1	43.6	20.2		
データ数		10	10	10	10	10	10	5	10	6	5		

※チャトグコナジラミ棉葉真幼虫寄生程度; A:51頭以上, B:26頭~50頭, C:1頭~25頭, E:0頭

寄生度= $\{(A \times 3) + (B \times 2) + (C \times 1)\} / \{3 \times (\text{調査葉数})\} \times 100$

発生程度のランク分けは右表による

チャトグコナジラミ			
寄生度	発生程度		
81以上	甚		
61~80	多		
41~60	中		
1~40	少		
0	無		

茶巡回調査結果(2015年5月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	カンザワハダニ	チャノミドリヒメコノバイ		チャノキイロアザミウマ	チャノホソガ	ハマキムシ類	クワシロカイガラムシ	チャトゲコナジラミ幼虫		調査月日	備考		
					新葉発病枝数	発病枝数／ ㎡					新葉寄生率(%)	新葉寄生虫数／葉			たたき落とし虫数	たたき落とし虫数
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	44	0.64	0	0	0	0	36	38	12.7	少	5月11日		
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	18	6.0	少	5月11日		
	四日市市水沢町2	1	0	0	0	0	12	0	0	0	20	6.7	少	5月11日	ヨコバエ成虫	
	四日市市水沢町3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月11日	被覆中	
	四日市市水沢町4	0	0	0	0	0	3	0	0	28	16	5.3	少	5月11日		
	四日市市堂ヶ山町	0	0	2	0.06	0	0	0	0	6	14	4.7	少	5月11日		
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	5月11日		
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	7	11	0	0	0	0	0	無	5月11日		
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	1	3	0	0	2	12	4.0	少	5月11日		
	鈴鹿市山本町3	0	0	2	0.02	5	4	0	0	50	2	0.7	少	5月11日		
	亀山市太森町1	2	0	0	0	7	24	0	0	0	0	0	無	5月13日	アザミウマ類被害	
	亀山市太森町2	2	0	0	0	7	18	0	0	0	0	0	無	5月13日		
	亀山市太森町3	0	0	0	0	4	7	0	0	0	0	0	無	5月13日		
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	48	16.0	少	5月11日		
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	86	28.7	少	5月11日	区外でチャノホソガ巻葉	
	松阪市飯南町粥見3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月11日	中切り	
	大台町栃原(定)	0	0	60	1.80	0	4	0	0	2	28	9.3	少	5月11日	区外でチャノホソガ巻葉	
	大台町栃原1	0	0	4	0.04	0	5	0	0	30	66	22.0	少	5月11日		
	大台町栃原2	0	0	6	0.08	0	7	0	0	6	48	16.0	少	5月11日		
	多気町色太	0	0	0	0	3	2	0	0	8	4	1.3	少	5月11日	区外でチャノホソガ巻葉・幼虫	
伊勢 志摩	度会町大野木	0	0	64	2.36	0	0	0	0	1	50	8	2.7	少	5月11日	区外でもち病、チャノホソガ巻
	度会町棚橋	0	0	0	0	1	4	0	0	0	2	0.7	少	5月11日	葉、コガネムシ類被害等	
	度会町牧戸	0	0	20	0.26	0	3	0	0	12	14	4.7	少	5月11日	有翅アブラムシ類	
	平均	0.2	0	9.6	0.25	1.7	5.1	0	0	11.4	20.2	6.7	少			
前年(2014年)		0.06	0	3.9	0.06	0.4	0.8	0	0	13.1	19.8	7.1				
平年(10年平均)		0.1	0	4.5	0.10	0.7	4.2	0.03	0	16.2	47.1	27.7				
データ数		10	10	10	10	10	10	2	10	10	6	5				

※炭疽病、もち病、ハマキムシ類、チャノホソガについては、枠調査(1/8m²×8ヶ所=1m²)による。

※チャトゲコナジラミ類葉裏幼虫発生程度:A:51頭以上、B:26頭～50頭、C:1頭～25頭、E:0頭

寄生度=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/{3×(調査葉数)}×100

発生程度のランク分けは右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生率	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶巡回調査結果(2015年6月)

地区	調査場所	炭疽病 枚数/㎡	もち病 発病枚 数/㎡	カンザワハダニ 新葉寄 生率(%)	チャノミドリ ヒメコバヤ たつき落し 虫数	チャノキイロ アザミウマ たつき落し 虫数	ハマキ ムシ類 /㎡	チャノ ホソガ 巻葉数 /㎡	ツマグロ カスミカメ 被害芽数 /㎡	クワシロ カイガラムシ 雌マユ寄 生株率(%)	雄マユ寄 生株率(%)	チャトゲコナジラミ		備考		
												福葉幼虫寄 生率(%)	寄生 度			
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	6	0.06	0	0	0	0	36	4	0	0	無	6月8日	中切り後
	四日市市水沢町1	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	無	6月8日	
	四日市市水沢町2	0	0	4	0.10	2	0	0	0	0	0	0	0	無	6月8日	
	四日市市水沢町3	0	0	10	0.30	0	3	0	0	4	4	2	0.7	少	6月8日	
	四日市市水沢町4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6月8日	
	四日市市堂ヶ山町	0	0	8	0.12	0	0	0	0	6	0	22	8.0	少	6月8日	
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	1.3	少	6月8日	
	鈴鹿市山本町1	1	0	0	0	4	5	1	0	0	0	12	4.0	少	6月8日	
	鈴鹿市山本町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6月8日	
	鈴鹿市山本町3	0	0	2	0.02	0	0	0	1	0	2	0	0	0	無	
松阪	亀山市太森町1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	無	6月9日
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	6月9日
	亀山市太森町3	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	2	0.7	少	6月9日	
	松阪市飯南町粥見1	1	0	0	0	1	4	0	0	6	4	10	3.3	少	6月8日	
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	24	9.3	少	6月8日	
	松阪市飯南町粥見3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6月8日	
	大台町栃原(定)	2	0	0	0	2	0	0	0	6	0	0	0	無	6月8日	
	大台町栃原1	0	0	2	0.02	0	0	0	0	14	2	30	11.3	少	6月8日	
	大台町栃原2	1	0	0	0	1	0	0	0	26	4	30	10.0	少	6月8日	
	多気町色太	0	0	0	0	0	6	5	1	1	6	0	0	0	無	6月8日
伊勢 志摩	度会町大野木	14	0	30	1.10	0	0	0	0	30	28	30	12.7	少	6月8日	チャノホソガ成虫
	度会町棚橋	2	0	26	0.36	0	0	0	0	24	12	36	12.0	少	6月8日	
	度会町牧戸	2	0	2	0.02	1	5	0	0	0	4	0	0	0	無	6月8日
平均		1.2	0	4.6	0.11	0.9	1.5	0.4	0.1	0.4	8.3	3.2	10.1	3.7	少	
前年(2014年)		0.1	0	5.0	0.11	0.8	2.9	0	0	6.1	21.2	6.8	53.6	19.2		
平年(10年平均)		0.2	0.01	5.1	0.18	1.5	11.5	0.4	0.3	4.2	9.0	9.4	33.1	15.7		
データ数		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	5	5	4		

※炭疽病、もち病、チャノホソガ、ハマキムシ類、ツマグロカスミカメは、柿調査(1㎡)による。

※チャトゲコナジラミ、絹葉巻幼虫 寄生程度: A: 51頭以上、B: 26頭～50頭、C: 1頭～25頭、E: 0頭

寄生度= (A×3)+(B×2)+(C×1) / (3×(調査葉数)) ×100

発生程度のランク分けは右表による。

チャトゲコナジラミ幼虫	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶 巡 回 調 査 結 果 (2015年7月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	輪斑病	カンザワハダニ	チャ/ビロ ヒメコバイ	チャ/キ/イロア ザシマ	ハマギム シ類	チャノ ボンガ	ツマグロアオ カスカメ	クワシロカイガラムシ	チャトゲコナジラミ幼虫	調査月 日			備考	
													発病枚数(当 年葉)/m ²	発病枚数(当 年葉)/m ²	寄生葉 率(%)		
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	4	8	0	0	0	26	0	48	16.7	少	7月6日	
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	5	14	0	0	0	0	2	26	9.3	少	7月6日	
	四日市市水沢町2	-	-	0	0	0	6	-	-	-	0	2	42	15.3	少	7月6日	浅刈り整枝
	四日市市水沢町3	-	-	0	0	8	7	-	-	-	0	0	38	16.0	少	7月6日	浅刈り整枝
	四日市市水沢町4	-	-	0	0	2	8	-	-	-	4	10	24	8.0	少	7月6日	浅刈り整枝
	四日市市堂ヶ山町	2	0	1	0	0	4	0	0	0	0	8	28	9.3	少	7月6日	
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	34	11.3	少	7月6日	
	鈴鹿市山本町1	-	-	0	0	10	0	-	-	-	-	-	44	15.3	少	7月6日	深刈り整枝
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	7	4	0	0	0	0	0	12	4.0	少	7月6日	
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	0	13	11	0	0	0	2	2	0	0	無	7月6日	
松阪	亀山市太森町1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	34	11.3	少	7月7日	
	亀山市太森町2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	50	16.7	少	7月7日	
	亀山市太森町3	0	0	0	120	0	0	0	0	0	6	0	38	13.3	少	7月7日	
	松阪市飯南町粥見1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	6	8	22	7.3	少	7月6日	区外カスカメ被害
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	22	36	12.0	少	7月6日	
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	5.3	少	7月6日	
	大台町栃原(定)	2	0	2	0	15	0	0	0	0	4	18	48	17.3	少	7月6日	区外チャノボンガ、カスカメ被害
伊勢 志摩	大台町栃原1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	68	72	32.0	少	7月6日	
	大台町栃原2	2	0	5	0	4	0	0	0	0	40	76	28	9.3	少	7月6日	
	多気町色太	0	0	0	0	1	2	0	5	0	4	20	24	8.0	少	7月6日	
	度会町大野木	1	0	5	4	0.08	0	0	0	10	10	100	52	18.0	少	7月6日	
	度会町棚橋	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	100	0	0	無	7月6日	
データ数	度会町牧戸	1	0	2	0	0	0	0	1	4	14	82	44	14.7	少	7月6日	
	平均	0.5	0	7.1	0.2	0.003	3.5	2.9	0	0.3	0.7	5.6	24.1	32.9	11.8	少	
	前年(2014年)	1.7	0	0.7	0	0	3.1	5.6	0	0	0.3	14.6	24.4	41.8	17.1		
平年(10年平均)		3.1	0	0.5	0.3	0.007	2.2	25.2	0.4	0.7	1.6	12.2	18.1	45.3	19.4		

※炭疽病、輪斑病、ホソガ、ハマキムシ類については、枠調査(1㎡)による。

※クワシロカイガラムシ・雄マユ寄生程度程度:A:株の1/2以上かつ1株に1頭以上、B:株の1/4以上又は枝幹の一部に環状、C:枝幹に環々、D:寄生なし、寄生率(%)=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査株数))×100

※チャトゲコナジラミ一葉当たり寄生程度:A:51頭以上、B:26～50頭、C:1～25頭(前年最終葉～前年最終葉)、寄生率(%)=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査葉数))×100

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶 巡 回 調 査 結 果 (2015年8月)

地区	調査場所	炭疽病 新葉発病 葉数/㎡	もち病 新葉発病 葉数/㎡	輪斑病 新葉発病 葉数/㎡	カンザワハダニ 寄生葉 率(%)	寄生葉 数/葉	チャノミドリ メヨコバエ たたき落とし 虫数	ハマキム シ類 巻葉数/㎡	チャノホ ソガ 被害葉数/㎡	ツマグロアオ カスミカメ 被害葉数/㎡	クワシロカイガラムシ 雌成虫寄 生株率(%)	雄マユ寄 生株率(%)	寄生葉 率(%)	寄生度 %	発生 程度	調査月日	備考	
四日市	四日市市水沢町(定)	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	34	12.7	少	8月3日	区外でチャノホソガ被害	
	四日市市水沢町1	63	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	8月3日	すそ葉で輪斑病	
	四日市市水沢町2	2	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	40	13.3	少	8月3日	すそ葉で輪斑病	
	四日市市水沢町3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	60	21.3	少	8月3日	すそ葉で輪斑病	
	四日市市水沢町4	2	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	8	2.7	少	8月3日	すそ葉で輪斑病	
	四日市市堂ヶ山町	0	0	12	0	0	0	1	0	0	0	0	14	4.7	少	8月3日		
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	10	0	0	1	4	0	0	0	0	24	8.0	少	8月3日		
	鈴鹿市山本町1	1	0	2	0	0	0	7	0	1	0	0	4	1.3	少	8月3日		
	鈴鹿市山本町2	1	0	33	0	0	0	1	0	0	0	0	26	8.7	少	8月3日		
	鈴鹿市山本町3	4	0	27	0	0	2	2	0	0	0	0	6	2.0	少	8月3日	区外でカンザワハダニ	
松阪	亀山市太森町1	7	0	1	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	無	8月4日	新梢枯死症	
	亀山市太森町2	5	0	1	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	無	8月4日		
	亀山市太森町3	1	0	5	0	0	0	3	0	0	0	0	32	10.7	少	8月4日		
	松阪市飯南町潮見1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	28	9.3	少	8月3日	区外で炭疽病、輪斑病	
	松阪市飯南町潮見2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	13.3	少	8月3日		
	松阪市飯南町潮見3	25	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	無	8月3日		
	大台町栃原(定)	5	0	47	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2.7	少	8月3日		
	大台町栃原1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	10.0	少	8月3日	葉の毛病	
	大台町栃原2	0	1	10	0	0	0	3	0	0	0	2	6	2.0	少	8月3日	新梢枯死症、 アオハハゴロモ成虫	
	多気町色太	11	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.3	少	8月3日		
伊勢 志摩	度会町大野木	0	0	43	0	0	0	6	2	0	0	2	18	7.3	少	8月3日	チョウ目幼虫被害葉	
	度会町棚橋	3	0	5	0	0	3	3	0	0	1	2	10	3.3	少	8月3日	アオハハゴロモ幼虫	
	度会町牧戸	0	0	100	0	0	0	1	0	0	0	0	30	10.0	少	8月3日		
	平均	5.7	0.04	13.3	0	0	0.6	3.6	0.09	0.04	0	0.04	0.3	18.2	6.3	少		
前年(2014年)		3.5	0.4	9.6	0.4	0.007	2.3	5.7	0.7	0	1.5	0.04	12.2	19.9	23.0	8.6		
平年(10年平均)		1.0	0.1	1.8	1.6	0.03	1.1	8.6	0.5	1.5	2.1	0.01	6.0	8.8	26.6	14.5		
データ数		10	3	10	10	10	10	10	10	4	3	10	10	5	6			

チャトゴコナジミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶巡回調査結果(2015年9月)

地区	調査場所	炭疽病	輪斑病	新葉発病葉 数/㎡	新葉発病葉 数/㎡	寄生葉 率(%)	寄生虫数 (頭/葉)	たき落と し虫数(頭)	たき落と し虫数(頭)	巻葉数 /㎡	巻葉数 /㎡	雄雌寄生 株率(%)	雌成虫寄 生株率(%)	寄生葉 率(%)	寄生度	発生程 度	備考
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町(定)	45	1	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	無	9月10日 区外でチャノミドリヒメヨコバイ、アブラムシ類寄生
	四日市市水沢町1	5	1	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	無	9月10日
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	4	1.3	少	9月10日
	四日市市水沢町3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	9月10日
	四日市市水沢町4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7	少	9月10日 区外で炭疽病
	四日市市堂ヶ山町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	58	24.7	少	9月10日
	鈴鹿市山本町(定)	2	5	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0.7	少	9月8日	区外でチャノホソガ被害、アブラムシ類寄生	
	鈴鹿市山本町1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	9月8日
	鈴鹿市山本町2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	9月8日
	鈴鹿市山本町3	1	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	9月8日 区外でチャノホソガ被害、アブラムシ類寄生
亀山市	亀山市太森町1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	24	8.0	少	9月8日 区外でハマキムシ類被害、チャノホソガ被害(幼虫有り)
	亀山市太森町2	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	10	3.3	少	9月8日
	亀山市太森町3	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	4	6	2.0	少	9月8日 区外でチャノホソガ被害、チャノコカクモシハマキ成虫	
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	24	8.0	少	9月7日 区外で輪斑病、新梢枯死症
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	48	16.0	少	9月7日 区外でチャノホソガ被害	
	松阪市飯南町粥見3	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	11.3	少	9月7日	
	大台町枋原(定)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	1.3	少	9月7日	
	大台町枋原1	0	3	0	0	1	4	0	0	0	0	0	10	3.3	少	9月7日 新梢枯死症、髪のも病	
	大台町枋原2	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4.0	少	9月7日 ツマクシアオオカミカメ被害	
	多気町色太	1	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	8	2.7	少	9月7日 ナガチャノコガネ被害、ミノガ食害	
伊勢 志摩	度会町大野木	0	21	0	0	6	0	0	0	0	0	10	14	5.3	少	9月7日	
	度会町棚橋	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7	少	9月7日		
	度会町牧戸	0	153	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3.3	少	9月7日		
平均																	
前年(2014年)																	
平年(10年平均)																	
データ数																	

チャトグコナジミ	
寄生度	寄生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶巡回調査結果(2015年10月)

地区	調査場所	炭疽病 発病枚 数/㎡	輪斑病 発病枚 数/㎡	カンザワハダニ 寄生葉 率(%)	寄生虫 数/葉	チャバネノ ヒメコハヤ 叩き落し 虫数	チャバネノ アザミウマ 叩き落し 虫数	ハマキムシ類 寄生葉 数/㎡	幼虫数 /㎡	チャノホソガ 巻き葉 数/㎡	幼虫数 /㎡	ツマグロアオ カスミカメ 被害葉数/㎡	クワシロカイガラムシ 雌成虫寄生 株率(%)	雄マユ寄生 株率(%)	寄生葉 率(%)	寄生葉 寄生度 程度	チャトグコナジラミ 幼虫 寄生度 程度	調査月日	備考
四日市	四日市市水沢町(定)	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	無	10月5日	
	四日市市水沢町1	0	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	14	4.7	少	10月5日	
	四日市市水沢町2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	8	2.7	少	10月5日	
	四日市市水沢町3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2.7	少	10月5日	
	四日市市水沢町4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	6.7	少	10月5日	
	四日市市堂ヶ山町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	10	4.0	少	10月5日	
	四日市市山本町(定)	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	4	1.3	少	10月5日	
	鈴鹿市山本町1	0	7	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	10	3.3	少	10月5日	
	鈴鹿市山本町2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	2	0.7	少	10月5日	チョウ目幼虫被害
	鈴鹿市山本町3	0	1	2	0.02	6	0	0	0	17	4	0	0	0	0	0	無	10月5日	新葉にアブラムシ類寄生
松阪	大台町太森町1	2	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	26	9.3	少	10月5日	
	亀山市太森町2	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	8	3.3	少	10月5日	
	亀山市太森町3	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3	1	4	0	6	2.0	少	10月5日	
	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	0	0	0	8	2.7	少	10月7日	
	松阪市飯南町粥見2	0	0	2	0.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	10月7日	
	松阪市飯南町粥見3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2.0	少	10月7日	
	大台町栃原(定)	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	3	6	0	8	2.7	少	10月7日	
	大台町栃原1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	10月7日	髪のも病
	大台町栃原2	0	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	8	0	8	2.7	少	10月7日	
	多気町色太	0	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	6	2.0	少	10月7日	ミノガ被害
伊勢 志摩	度会町大野木	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	5	0	34	12.0	少	10月7日	
	度会町棚橋	1	0	4	0.04	0	0	0	0	5	4	4	0	0	4	1.3	少	10月7日	
	度会町牧戸	0	13	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8	2.7	少	10月7日	
	平均	0.3	2.3	0.3	0.01	0.7	0.2	0	0	2.2	0.9	1.0	1.4	0	8.6	3.0	少		
	前年(2014年)	6.6	2.8	2.5	0.06	1.4	0	0.09	0	0	0	0	11.4	5.6	10.6	3.5			
	平年(10年平均)	2.3	1.6	1.1	0.02	1.1	4.3	0.08	0.03	4.2	2.4	1.4	16.1	4.3	21.9	11.1			
	データ数	10	10	10	10	10	10	10	6	10	10	4	10	10	7	6			
	炭疽病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノホソガについては、枠調査(1㎡)による。																		
	※チャトグコナジラミ：寄生程度：根葉当年春葉～前年最終葉一葉当たり；A：51頭以上、B：26～50頭、C：1～25頭、E：0頭、寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100																		
	寄生度：右表による。																		

チャトグコナジラミ	
寄生度	寄生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶巡回調査結果(2016年3月)

地区	調査場所	カンザワハダニ		クワシロカイ ガラムシ		チャトゴコナジラミ幼虫		調査月日	備考
		寄生葉率 (%)	寄生虫数/ 葉	雌成虫寄生 株率(%)	寄生葉 率(%)	寄生度	発生程度		
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町(定)	2	0.02	0	18	6.0	少	3月8日	
	四日市市水沢町1	2	0.02	0	84	30.7	少	3月8日	
	四日市市水沢町2	8	0.24	0	46	16.0	少	3月8日	
	鈴鹿市山本町(定)	2	0.06	8	8	2.7	少	3月8日	
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	16	5.3	少	3月8日	
	鈴鹿市山本町2	0	0	14	26	8.7	少	3月8日	
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	8	2.7	少	3月8日	
	亀山市太森町1	0	0	0	82	28.0	少	3月8日	
	亀山市太森町2	2	0.02	8	60	20.0	少	3月8日	
	亀山市太森町3	2	0.02	20	48	16.0	少	3月8日	
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	28	60	20.7	少	3月10日	
	松阪市飯南町粥見2	14	0.60	14	40	13.3	少	3月10日	
	松阪市飯南町粥見3	0	0	10	60	20.0	少	3月10日	
	大台町栃原(定)	2	0.08	2	10	3.3	少	3月10日	
	大台町栃原1	2	0.02	0	16	5.3	少	3月10日	
	大台町栃原2	0	0	8	6	2.0	少	3月10日	区外にカンザワハダニ
	伊勢 度会 志摩	6 4	0.10 0.04	2 0	8 54	2.7 18.0	少 少	3月10日 3月10日	
平均		2.6	0.07	6.3	36.1	12.3	少		
前年(2015年)		0.4	0.01	18.0	35.5	12.7			
平年(10年平均)		1.2	0.02	17.1	44.7	17.8			
データ数		10	10	10	6	5			

※チャトゴコナジラミ糖葉裏幼虫寄生程度；
A:51頭以上、B:26頭～50頭、C:1頭～25頭、E:0頭
寄生度＝ $(3 \times NA + 2 \times NB + 1 \times NC) / 3N \times 100$
発生程度のランク分けは右表による。

チャトゴコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

広域防除員報告(茶)

調査方法

1圃場あたり炭疽病は1㎡を調査(1/8㎡枠調査×10カ所)

カンザワハダニは50葉の寄生葉率、寄生頭数を調査。

新葉がない場合は、旧葉を調査する。

生育状況、特記事項等を記録する。

調査結果

調査地点:四日市市水沢

調査日	平成27年5月14日						調査日	平成27年7月8日					
対象 病害虫	カンザワハダニ					備 考	対象 病害虫	カンザワハダニ					備 考
圃場 NO.	寄生 虫数	頭数 /葉	寄生 葉数	寄生 葉率%	発病 葉数		圃場 NO.	寄生 虫数	頭数 /葉	寄生 葉数	寄生 葉率%	発病 葉数	
1	0	0	0	0	0		1	0	0	0	0	0	旧葉
2	1	0.02	1	2	5	旧葉	2	0	0	0	0	0	旧葉
3	1	0.02	1	2	0	旧葉	3	0	0	0	0	0	旧葉
4	1	0.02	1	2	0	旧葉	4	0	0	0	0	0	旧葉
5	0	0	0	0	0		5	0	0	0	0	0	旧葉
6	0	0	0	0	0		6	0	0	0	0	0	旧葉
7	0	0	0	0	0		7	0	0	0	0	0	旧葉
8	0	0	0	0	0		8	0	0	0	0	0	旧葉
9	0	0	0	0	0		9	0	0	0	0	0	旧葉
10	0	0	0	0	0		10	0	0	0	0	0	旧葉
平 均	0.3	0.01	0.3	0.6	0.5		平 均	0	0	0	0	0	
3年平均	0.4	0.01	0.3	0.7	0.5		3年平均	0	0	0	0	1.4	
生育状況等 ・ ダニの被害と思われる病状がみられたが、余り確認はできなかった。 ・ 本年は平年に比べ摘採は早いと思われる。							生育状況等 ・ チャノアザミウマが散見された。 ・ カイガラムシによる被害が随所にみられたが、ダニは確認できなかった。						

調査地点:松阪市飯南町粥見藤ヶ瀬 櫛田川左岸下流(魚瀬橋付近)10圃場

調査日	平成27年5月10日						調査日	平成27年7月8日					
対象 病害虫	カンザワハダニ					備 考	対象 病害虫	カンザワハダニ					備 考
圃場 NO.	寄生 虫数	頭数 /葉	寄生 葉数	寄生 葉率%	発病 葉数		圃場 NO.	寄生 虫数	頭数 /葉	寄生 葉数	寄生 葉率%	発病 葉数	
1	66	1.32	10	20	0		1	0	0	0	0	68	
2	12	0.24	2	4	0		2	0	0	0	0	81	
3	5	0.1	3	6	0		3	0	0	0	0	0	裾葉に炭疽病
4	0	0	0	0	0		4	0	0	0	0	0	〃
5	0	0	0	0	0		5	0	0	0	0	0	〃
6	0	0	0	0	0		6	1	0.02	1	2	0	〃
7	0	0	0	0	0		7	0	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	0		8	2	0.04	2	4	0	
9	2	0.04	2	4	0		9	0	0	0	0	57	
10	3	0.06	2	4	0		10	4	0.08	4	8	0	裾葉に炭疽病
平 均	8.8	0.18	1.9	3.8	0		平 均	0.7	0.01	0.7	1.4	20.6	
3年平均	0.1	0.00	0.1	0.2	0		3年平均	1.8	0.04	0.9	1.9	0.0	
生育状況等							生育状況等 ・ 調査圃場の多くが刈取り後(園ならし)の状態であり、横の新茶では炭疽病の発生は見受けられ確認はできるが、上部では旧葉まで刈り込んでいるため平方メートル当たりの被害枚数までは確認できず。						

(6)野菜

1. トマト

トマト 4月																
地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツ コナジラミ	タバコ コナジラミ	ハモグリ ハエ類	アブラ ムシ類	備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)	雌寄生 率率(%)	雌寄生 率率(%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	その他	
桑名	木曾岬町源緑輪中	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	9月5日	うどんこ病(葉)	
	木曾岬町小和泉	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎ピース	3月中旬		
	木曾岬町見入	4月9日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	2月21日	区外灰色かび病(果実)	
	桑名市長島町	4月9日	0	0	0	0	32	6	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月上旬	うどんこ病多い(葉)	
四日市	四日市市貝家町	4月8日	0	2	2	0	20	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月下旬		
松阪	松阪市郷野一志町	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月中旬		
	明和町佐田	4月10日	0	0	0	0	20	12	0	0	0	0	ごほうび	1月24日		
伊勢	伊勢市小保町相合	4月8日	0	20	0	0	24	0	2	6	0	0	ハウス桃太郎	8月31日	コナジラミ類成虫、収穫終期	
	平 均	0	2.8	0.3	0	12.5	2.3	0.3	0.8	0	0	0				
	平 年(10年平均)	0	6.6	0.3	1.5	12.7	1.1	0.6	0.1	0.3	0.03 (9年平均)					

トマト 5月																
地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツ コナジラミ	タバコ コナジラミ	ハモグリ ハエ類	アブラ ムシ類	備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)	雌寄生 率率(%)	雌寄生 率率(%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	その他	
桑名	木曾岬町源緑輪中	5月14日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	CFハウス桃太郎	9月5日	尻腐れ果	
	木曾岬町小和泉	5月14日	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎ピース	3月中旬	うどんこ病	
	木曾岬町見入	5月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	2月21日		
	桑名市長島町	5月14日	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月上旬	うどんこ病多発	
四日市	四日市市貝家町	5月11日	0	22	2	0	6	2	0	4	0	0	TVみそら86	9月下旬	果実ゴーストスポット	
松阪	松阪市郷野一志町	5月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月中旬		
	明和町佐田	5月12日	0	0	0	0	12	6	0	0	0	0	ごほうび	1月24日	果実ゴーストスポット	
	平 均		0	3.1	2.3	0	3.7	1.1	0	0.9	0	0				
平 年(10年平均)			0	10.2	2.0	2.5	16.6	1.0	0.3	0.9	4.4	0.03				

トマト 9月																	
地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	ハスモンヨトウ			オオタバコガ	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	雌寄生率(%)	雌寄生率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	被害株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			調査中止
	木曽岬町小和泉		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			調査中止
	木曽岬町見入		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			調査中止
	桑名市長島町		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			未定植
四日市	四日市市貝家町		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			未定植
松阪	松阪市郷野一志町		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			未定植
	明和町佐田		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			未定植
伊勢	伊勢市小保町相合	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	草丈60cm 黄色鈴嚢トラップ対象中[1]
平 均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
平 年(9年平均)			0	0	0.9	0.6	0	0	0	0.4	0	0.08	0	(2014年)			

トマト 10月																
地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	ハスモンコトウ		オオタバコガ	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	雌寄生率(%)	雌寄生率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中	10月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎はるかハウス桃太郎	9月7日	シルバーマルチ使用
	木曽岬町小和泉	10月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8月30日	黄化葉巻1うねあたり1〜2株発生(例年と比較して少ない)	
	木曽岬町見入	10月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月17日	黄化葉巻1うねあたり3〜4株発生
	桑名市長島町	10月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月5日	
四日市	四日市市貝家町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月20日	白マルチ使用、3〜4葉期
松阪	松阪市郷野一志町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	明和町佐田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
伊勢	伊勢市小保町相合	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	黄化葉巻1株発生、鈴嚢え済み、鈴嚢版:シロイデモジロク
平 均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0		
平 年(10年平均)			0	0	0.6	2.2	0	0	0.4	1.9	0	0.04	0			

トマト 11月

地区	調査場所	調査月日	疫病	薬かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ		オオタバコガ	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	薬 発病株率(%)	果実 発病株率(%)	寄生株率(%)	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	11月2日	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎はるか	9月7日	黄化葉巻うね5本程度
	木曾岬町小和泉	11月2日	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	8月30日	濃に水を流している
	木曾岬町見入	11月2日	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月17日	サンブルから灰色カビ病菌(+)
	桑名市長島町	11月2日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月5日	全株に上位葉が巻く症状あり。
四日市	四日市市貝家町	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月20日	
松阪	松阪市越野一志町		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	明和町佐田		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
伊勢	伊勢市小保町相合	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	結着板にアブラムシ有確認あり。
	平 均		0	0	0.7	2.3	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平 年(10年平均)		0	1.7	0.6	2.7	0.5	0.2	0.2	0.03	1.9	3.6	0.2(2014年)	0	0.07			

トマト 12月

地区	調査場所	調査月日	疫病	薬かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	薬 発病株率(%)	果実 発病株率(%)	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	12月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎はるか	9月7日	うどんこ病検出
	木曾岬町小和泉	12月2日	0	0	96	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	8月30日	ハウス内水漏あり、多湿
	木曾岬町見入	12月2日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月17日	うどんこ病検出
	桑名市長島町	12月2日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月5日	肥料切れによる遅緑葉あり
四日市	四日市市貝家町	12月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月20日	黄色結着板設置なし
松阪	松阪市越野一志町	12月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月2日	黄化葉巻病今年なし
	明和町佐田		—	—	—	—	—	—	—	—	—			
伊勢	伊勢市小保町相合	12月3日	0	2	0	0	0	0	0	0	2	ハウス桃太郎	9月1日	
	平 均		0	0.3	14.0	0.3	0	0	0	0	0.3			
	平 年(10年平均)		0	3.3	4.2	2.4	2.0	0	0.6	1.1	1.2			

トマト 1月

地区	調査場所	調査月日	疫病	薬かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	薬 発病株率(%)	果実 発病株率(%)	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	1月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎はるか	9月7日	
	木曾岬町小和泉	1月7日	0	0	100	0	14	2	0	0	0	ハウス桃太郎	8月30日	サンプリング、果実に疫病あり。
	木曾岬町見入	1月7日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	CFハウス桃太郎	8月17日	収穫終了
	桑名市長島町	1月7日	0	0	2	0	4	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月5日	サンプリング
四日市	四日市市貝家町	1月6日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	TVみそら86	9月20日	
松阪	松阪市越野一志町	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月2日	
	明和町佐田	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	こぼろび	1月7日	
伊勢	伊勢市小保町相合	1月6日	0	4	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	サンプリング
	平 均		0	0.6	14.6	0	3.1	0.3	0	0	0			
	平 年(10年平均)		0	8.4	6.5	1.6	5.4	0.03	0.03	2.7	1.0			

トマト 2月

地区	調査場所	調査月日	疫病	薬かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	薬 発病株率(%)	果実 発病株率(%)	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎はるか	9月7日	
	木曾岬町小和泉	2月9日	2	0	100	0	2	0	0	0	0	ハウス桃太郎	8月30日	サンプリング、疫病は果実
	木曾岬町見入	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	1月25日	黄色結着板にコナジラミ類あり
	桑名市長島町	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月5日	サンプリング、うどんこ病の発病痕あり。
四日市	四日市市貝家町	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月20日	
松阪	松阪市越野一志町	2月8日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月2日	サンプリング
	明和町佐田	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	こぼろび	1月7日	
伊勢	伊勢市小保町相合	2月10日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	サンプリング、4月初め栽培終了
	平 均		0.3	0.3	12.8	0	0.3	0	0	0	0			
	平 年(10年平均)		0	6.8	6.0	0.6	6.4	0.4	0	0.9	1.2			

トマト 3月

地区	調査場所	調査月日	疫病	薬かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	薬 発病株率(%)	果実 発病株率(%)	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	3月10日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	桃太郎はるか	9月7日	
	木曾岬町小和泉	3月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	3月1日	
	木曾岬町見入	3月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	1月25日	
	桑名市長島町	3月10日	0	0	0	0	16	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月5日	うどんこ病あり
四日市	四日市市貝家町	3月8日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	TVみそら86	9月20日	
松阪	松阪市越野一志町	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月2日	
	明和町佐田	3月9日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	こぼろび	1月7日	
伊勢	伊勢市小保町相合	3月11日	0	6	0	0	2	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	トットサビダニ(黒い葉)うどんこ病あり
	平 均		0	1	0	0	3	0	0	0	0			
	平 年(10年平均)		0.05	8.2	0.5	0.2	4.8	0.4	1.1	0.5	0.06			

2. ハクサイ

ハクサイ 9月

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白腐病		べと病	アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ	モンシロチョウ	備考			
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市貝家町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
	四日市市下海老1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
	四日市市下海老2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
	四日市市下海老3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
	菰野町池底		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
	鈴鹿市国分町1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
	鈴鹿市国分町2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
津	津市一志町日置		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
	津市一志町其村		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
	津市一志町八太		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
松阪	明和町志貴		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
	多気町丹生		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植
平 均			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
平 年(8年平均)			0	0	0	0	0	1.4	0.2	0.002	0.4	0.09	0				
定点	松阪市福野川北町(場内)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				未定植

ハクサイ 10月

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白腐病		べと病	アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ	モンシロチョウ	備考			
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市貝家町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄皇65	9月上旬	21-22葉期	結球始め、生育揃い、いい
	四日市市下海老1	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月下旬	14-15葉期	欠株、生育ムラあり、雑草や多
	四日市市下海老2	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月中下旬	17-18葉期	結球始め、生育ムラあり
	四日市市下海老3	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	大福206	9月中下旬	18-19葉期	結球始め、生育揃い、いい
	菰野町池底	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	大福206	9月下旬	8-11葉期	チョウ目食害あり
	鈴鹿市国分町1	10月5日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	苧黄	9月21日	生育期	
	鈴鹿市国分町2	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ひろ黄	9月15日	生育期	
津	津市一志町其村	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月12日	11-12葉期	しなびれる株が散見、根部長あり
	津市須ヶ瀬町1	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄85	9月14日	11-12葉期	しなびれる株が散見、根部長あり
	津市須ヶ瀬町2	10月7日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	晴黄90	9月23日	6-7葉期	
松阪	明和町志貴	10月6日	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	黄芯90	9月27日	生育期	
	多気町丹生	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月15日	15-16葉期	
平 均			0	0	0	0	0	1.2	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0.7	0.3	6.1	1.6	0.1	1.4	0.2	0.01	0.1	0.7	0				
			(2014年)														
定点	松阪市福野川北町(場内)	10月5日	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月24日	8-9葉期	ニセダイコンアブラムシハスモン散見1株

ハクサイ 11月

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白腐病		べと病	アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		モンシロチョウ	備考			
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	11月5日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	黄皇65	9月上旬	収穫始期	ニセダイコンアブラムシ
	四日市市下海老1	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月下旬	結球肥大期	ミナミアオカメンシ成虫散見。
	四日市市下海老2	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月中下旬	結球肥大期	
	四日市市下海老3	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	大福206	9月中下旬	結球肥大期	
	菰野町池底	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	大福206	9月下旬	結球初期	ミナミアオカメンシ成虫散見。
	鈴鹿市国分町1	11月5日	0	0	4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	苧黄	9月21日	収穫始期	
	鈴鹿市国分町2	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ひろ黄	9月15日	結球初期	
津	津市一志町其村	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月12日	結球肥大期	
	津市須ヶ瀬町1	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄85	9月14日	結球肥大期	
	津市須ヶ瀬町2	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄90	9月23日	未結球期	
松阪	明和町志貴	11月4日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	黄芯90	9月27日	結球肥大期	キスジノバハムシ寄生
	多気町丹生	11月4日	0	0	2	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月15日	結球肥大期	チョウ目食害あり。
平 均			0	0	0.7	0.2	0	0.3	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			3.8	1.3	19.0	4.9	0.5	5.3	0.2	0.002	0.3	0.4	0	0	0.07			
															(2014年)			
定点	松阪市福野川北町(場内)	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	黄ごころ85	9月24日	結球初期	ミナミアオカメンシ成虫散見。 アブラムシ有葉虫あり。

ハクサイ 12月

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白斑病		べと病	コナガ		ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	12月1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	黄苞65	9月上旬	収穫終期	収穫済み
	四日市市下海老1	12月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月下旬		干ばつで葉先枯れ
	四日市市下海老2	12月1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	信州大福	9月中下旬	収穫終期	収穫済み
	四日市市下海老3	12月1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大福206	9月中下旬	収穫終期	収穫済み
	菰野町池底	12月1日	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	大福206	9月下旬		チョウ目若齢幼虫あり
	鈴鹿市国分町1	12月1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	苜蓿	9月21日	収穫期	収穫済み
	鈴鹿市国分町2	12月1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ひろ黄	9月15日	収穫終期	収穫済み
津	津市一志町其村	12月2日	46	16.0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月12日		
	津市須ヶ瀬町1	12月2日	14	4.0	6	1.5	0	0	0	0	0	晴黄85	9月14日	収穫始期	生育不揃い
	津市須ヶ瀬町2	12月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄90	9月23日	収穫終期	
松阪	明和町志貴	12月1日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	黄芯90	9月27日		
	多気町丹生	12月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月15日		アブラムシ1株寄生
	平 均		8.6	2.9	2.6	0.6	0	0	0	0	0				
	平 年(10年平均)		1.6	0.4	22.6	6.2	1.6	0	0	0	0				
定点	松阪市菰野川北町(場内)	12月1日	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0.02	黄ごころ85	9月24日		無防除

3. 冬キャベツ

冬キャベツ 9月

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ	ハスモン ヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	9月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	冬の(1)F	8月下旬	草丈18cm 7～10葉期	タマナモンクワバハ1～3齢幼虫あり2株
	四日市市下海老町		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	冬の(1)F	未定植		
	菰野町池底		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	夢舞台	未定植		
	鈴鹿市国府町1	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月上旬		
	鈴鹿市国府町2	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬らん	8月下旬		
津	津市芸濃町椋本1	9月7日	0	0	20	5.0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	草丈10cm 5～6葉期	モンシロチョウ群 5株 アブラムシ有 越冬虫1株
	津市芸濃町椋本2	9月7日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	草丈10cm 4～5葉期	定植直後
	津市芸濃町椋本3	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	草丈10～ 15cm	生育には5つが現れる アブラムシ有 越冬虫3株
	津市久居野口町		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	未定植			
	津市新家村(久居)	9月7日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	草丈8cm 3～4葉期	定植直後、アブラムシ有 越冬虫1株
松阪	松阪市湯野森本町		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	未定植			
伊勢	玉城町岡出		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	未定植			
平 均			0	0	3.4	0.9	0	0	0	0	0	0.6	0.6				
平 年(9年平均)			0	0	2.1	1.0 (5年平均)	0.7	0.009	1.6	0.02	0.4	1.0	0 (2014年)				
定点	松阪市湯野川北町(場内)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	未定植			

冬キャベツ 10月

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ	ハスモン ヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	10月9日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	2	2	冬の(1)F	8月下旬	18-21葉期	結球始めのチョウ目被害あり
	四日市市下海老町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬の(1)F	10月上旬	5葉期	定植後1週間前後
	菰野町池底	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月下旬	8葉期	特になし
	鈴鹿市国府町1	10月5日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9/2定植	生育期	9/2定植、結2頭
	鈴鹿市国府町2	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬らん	8/28定植	生育期	(区外)コナガの属あり
津	津市芸濃町椋本1	10月7日	0	0	4	2.0	0	0	0	0	0	4	4	松波	9月上旬	13-14葉期	欠株あり、雑草やや多、ウツバハシ、モンシロ群
	津市芸濃町椋本2	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	13-14葉期	結球始め、欠株なし、定植後、冠水した
	津市芸濃町椋本3	10月7日	0	0	2	1.0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	14-15葉期	結球始め、欠株あり、モンシロ成虫飛来多い
	津市久居野口町	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月中旬	15-16葉期	結球始め、生育ムラあり、2回捕獲した様子、雑草多い
	津市新家村(久居)	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	11-12葉期	被害痕なし
松阪	松阪市湯野森本町	10月6日	0	0	2	0.5	4	0.04	0	0	0	0	0	松波	9/14定植	10-11葉期	チョウ目被害痕あり(下葉)
伊勢	玉城町岡出	10月5日	0	0	6	1.5	0	0	0	0	0	0	0	夢ごころも	9/5定植	12-13葉期	モモアタアブラムシ
平 均			0	0	1.3	0.6	0.5	0.003	0	0	0	0.5	0.5				
平 年(10年平均)			0.3	0.08	4.3	2.0 (7年平均)	1.5	0.02	2.2	0.03	1.2	4.8	1.5 (2014年)				
定点	松阪市湯野川北町(場内)	10月5日	0	0	8	2.0	4	0.04	0	0	0	0	0	夢ごころも	9/24定植	8-9葉期	ニセダイコンアブラムシ

冬キャベツ 11月

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病	アブラムシ類			コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率(%)	発病度		発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生度	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	冬のぼり	8月下旬	結球肥大期	チョウ目食害痕あり。
	四日市市下海老町	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬のぼり	10月上旬	未結球期	
	菰野町池底	11月5日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月下旬	結球初期	ニセダイコンアブラムシ
	鈴鹿市国府町1	11月5日	0	0	0	0	0	6	0.06	0	0	0	0	2	0	夢舞台	9/2定植	結球肥大期	
	鈴鹿市国府町2	11月5日	4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬らん	8/28定植	結球肥大期	
津	津市芸濃町椋本1	11月4日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	結球初期	ニセダイコンアブラムシ
	津市芸濃町椋本2	11月4日	0	0	0	8	2.0	0	0	6	0	0.1	0	0	0	松波	9月上旬	結球肥大期	ニセダイコンアブラムシ
	津市芸濃町椋本3	11月4日	0	0	0	14	4.5	0	0	0	0	0	4	0	0	松波	9月上旬	結球初期	ニセダイコンアブラムシ シロアブラムシあり
	津市久居野口町	11月4日	0	0	0	2	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月中旬	結球初期	アブラムシ種不明 チョウ目食害痕あり。
	津市新家町(久居)	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	結球肥大期	
伊勢	松阪市嬉野森本町	11月4日	0	0	0	2	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9/14定植	結球肥大期	チョウ目食害痕あり。
	玉城町岡出	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢ごころも	9/5定植	結球肥大期	
	平 均		0.3	0.08	0	2.5	0.8	0.5	0.005	0.5	0.01	0.3	0.2	0.2					
平 年(10年平均)			6.8	1.8	0.6	5.2	2.7 (17年平均)	1.0	0.01	1.2	0.01	1.0	1.0	0 (2014年)					
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0.3	10	0	0	夢ごころも	#REF!	9/24定植	ミナミオオカメンシ幼虫数見。

冬キャベツ 12月

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病	コナガ			根こぶ病	備考			
			発病株率(%)	発病度		寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生度		品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	12月1日	0	0	2	0	0	0	—	冬のぼり	8月下旬	収穫中期	
	四日市市下海老町	12月1日	0	0	0	0	0	0	—	冬のぼり	10月上旬	結球初期	
	菰野町池底	12月1日	0	0	0	0	0	0	—	夢舞台	9月下旬		チョウ目若齢幼虫あり
	鈴鹿市国府町1	12月1日	—	—	—	—	—	—	0	夢舞台	9/2定植	収穫中期	収穫済み
	鈴鹿市国府町2	12月1日	—	—	—	—	—	—	0	冬らん	8/28定植	収穫終期	収穫済み
津	津市芸濃町椋本1	12月2日	0	0	0	0	0	0	—	松波	9月上旬	収穫始期	
	津市芸濃町椋本2	12月2日	0	0	0	0	0	0	—	松波	9月上旬	収穫始期	コナガ雌3/50株
	津市芸濃町椋本3	12月2日	—	—	—	—	—	—	0	松波	9月上旬	収穫中期	
	津市久居野口町	12月2日	4	1.0	2	0	0	0	—	松波	9月中旬	収穫始期	生育不揃い
	津市新家町(久居)	12月2日	0	0	0	0	0	0	—	松波	9月上旬	結球肥大期	
伊勢	松阪市嬉野森本町	12月1日	0	0	0	0	0	0	—	松波	9/14定植		チョウ目若齢幼虫あり
	玉城町岡出	12月3日	0	0	0	0	0	0	—	夢ごころも	9/5定植	結球肥大期	
	平 均		0.4	0.1	0.4	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			10.1	2.9	1.5	0.5	0.007 (2014年)	0.7 (2014年)	2.1				
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	12月1日	0	0	0	0	0	0	—	夢ごころも	9/24定植		モンシロチョウ幼虫あり

冬キャベツ 1月

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	1月6日	—	冬のぼり	8月下旬	収穫終了	すき込みにより調査不能
	四日市市下海老町	1月6日	—	冬のぼり	10月上旬	収穫前	
	菰野町池底	1月6日	—	夢舞台	9月下旬	収穫前	
	鈴鹿市国府町1	12月1日	0	夢舞台	9/2定植	収穫中期	
	鈴鹿市国府町2	12月1日	0	冬らん	8/28定植	収穫終期	
津	津市芸濃町椋本1	1月8日	0	松波	9月上旬	収穫終期	
	津市芸濃町椋本2	1月8日	0	松波	9月上旬	収穫終期	
	津市芸濃町椋本3	12月2日	0	松波	9月上旬	収穫中期	
	津市久居野口町	12月28日	0	松波	9月中旬	収穫終期	
	津市新家町(久居)	12月28日	0	松波	9月上旬	収穫終期	
松阪	松阪市嬉野森本町	1月8日	0	松波	9/14定植	収穫終期	
伊勢	玉城町岡出	1月6日	—	夢ごころも	9/5定植	収穫前	
平 均			0				
平 年(10年平均)			2.1				
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	1月7日	—	夢ごころも	9/24定植	収穫前	

冬キャベツ 2月

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考			
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	1月6日	—	冬のぼり	8月下旬		すき込みにより調査できず	
	四日市市下海老町	2月8日	—	冬のぼり	10月上旬	生育期		
	菰野町池底	12月6日	—	夢舞台	9月下旬		すき込みにより調査できず	
	鈴鹿市国府町1	12月1日	0	夢舞台	9/2定植	調査終了		
	鈴鹿市国府町2	12月1日	0	冬らん	8/28定植	調査終了		
津	津市芸濃町椋本1	1月8日	0	松波	9月上旬	調査終了		
	津市芸濃町椋本2	1月8日	0	松波	9月上旬	調査終了		
	津市芸濃町椋本3	12月2日	0	松波	9月上旬	調査終了		
	津市久居野口町	12月28日	0	松波	9月中旬	調査終了		
	津市新家町(久居)	12月28日	0	松波	9月上旬	調査終了		
松阪	松阪市嬉野森本町	1月8日	0	松波	9/14定植	調査終了		
伊勢	玉城町岡出	2月10日	0	夢ごろも	9/5定植	生育期		
平 均			0					
平 年(10年平均)			2.1					
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	2月8日	0	夢ごろも	9/24定植	生育期		

冬キャベツ 3月

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	1月6日	—	冬のぼり	8月下旬	すき込みにより調査できず	
	四日市市下海老町	2月8日	0	冬のぼり	10月上旬	調査終了	
	菰野町池底	12月6日	—	夢舞台	9月下旬	すき込みにより調査できず	
	鈴鹿市国府町1	12月1日	0	夢舞台	9/2定植	調査終了	
	鈴鹿市国府町2	12月1日	0	冬らん	8/28定植	調査終了	
津	津市芸濃町椋本1	1月8日	0	松波	9月上旬	調査終了	
	津市芸濃町椋本2	1月8日	0	松波	9月上旬	調査終了	
	津市芸濃町椋本3	12月2日	0	松波	9月上旬	調査終了	
	津市久居野口町	12月28日	0	松波	9月中旬	調査終了	
	津市新家町(久居)	12月28日	0	松波	9月上旬	調査終了	
松阪	松阪市嬉野森本町	1月8日	0	松波	9/14定植	調査終了	
伊勢	玉城町岡出	3月11日	—	夢ごろも	9/5定植	すき込みにより調査できず	
平 均			0				
平 年(10年平均)			2.1				
定点	松阪市嬉野川北町(場内)		0	夢ごろも	9/24定植	調査終了	

4. 春キャベツ

春キャベツ 4月

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		備考		
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	4月8日	0	0	0	0	0	0	0	石井中早生	11月19日	生育期	
	菰野町池底	4月8日	2	0	0	0	0	0	0	金系201EX	11月5日	収穫始期	モンシロチョウ卵
津	津市川方町1(久居)	4月7日	4	0	0	0	0	0	0	味春	11月上旬	収穫始期	
	津市川方町2(久居)	4月7日	2	2	0.5	0	0	0	0	若女将	11月下旬	収穫始期	
	津市新家町1(久居)	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	味春	11月上旬	収穫始期	
	津市新家町2(久居)	4月9日	4	0	0	0	0	0	0	味春	11月上旬	収穫始期	
平 均			2.0	0.3	0.08	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			1.2	4.6	1.3 (9年平均)	0	0	0.1	0.001				
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	石井中早生	11月27日	生育期	

春キャベツ

5月

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	5月11日	—	石井中早生	11月19日	生育期	収穫前のため調査不実施
	菰野町池底	4月27日	0	金系201EX	11月5日	収穫済	
津	津市川方町1(久居)	4月24日	0	味春	11月上旬	収穫済	
	津市川方町2(久居)	4月24日	0	若女将	11月下旬	収穫済	
	津市新家町1(久居)	4月24日	0	味春	11月上旬	収穫済	
	津市新家町2(久居)	4月24日	0	味春	11月上旬	収穫済	
	平 均		0				
平 年(10年平均)			0.2 (9年平均)				
定点	松阪市嬉野川北町(場内)		—	石井中早生	11月27日	生育期	収穫前のため調査不実施

春キャベツ 6月

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	5月22日	0	石井中早生	11月19日	収穫済	
	菰野町池底	4月27日	0	金系201EX	11月5日	—	
津	津市川方町1(久居)	4月24日	0	味春	11月上旬	—	
	津市川方町2(久居)	4月24日	0	若女将	11月下旬	—	
	津市新家町1(久居)	4月24日	0	味春	11月上旬	—	
	津市新家町2(久居)	4月24日	0	味春	11月上旬	—	
	平 均		0				
平 年(10年平均)			0.2 (9年平均)				
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	6月12日	0	石井中早生	11月21日	収穫済	

春キャベツ 12月

地区	調査場所	調査月日	アブラムシ類		コナガ		備考			
			寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	12月1日	0	0	0	0	石井中早生	11月20日	5～6葉期	
	菰野町池底	12月1日	0	0	0	0	金系201EX	11月10日	8葉期	
津	津市川方町1(久居)	12月2日	6	1.5	0	0		11月下旬	7葉期	ニセダイコンアブラムシ
	津市川方町2(久居)	12月2日	0	0	0	0		定植直後		
	津市新家町1(久居)	12月2日	0	0	0	0		11月下旬	6葉期	
	津市新家町2(久居)	12月2日	0	0	0	0		11月下旬	3.5葉期	
平 均			1.0	0.3	0	0				
平 年(10年平均)			2.7	0.7	0.3	0.002				
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	12月1日	0	0	0	0	石井中早生	11月27日	5葉期	ネキリムシあり。

春キャベツ 1月

地区	調査場所	調査月日	菌核病	アブラムシ類		コナガ		備考			
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	1月6日	0	2	0.5	0	0	石井中早生	11月20日	生育期	アブラムシ有理由虫1頭
	菰野町池底	1月6日	0	0	0	0	0	金系201EX	11月10日	生育期	
津	津市川方町1(久居)	1月8日	0	0	0	0	0	味春	11月下旬	生育期	
	津市川方町2(久居)	1月8日	0	0	0	0	0	若女将	定植直後	生育期	
	津市新家町1(久居)	1月8日	0	4	1.0	0	0	味春	11月下旬	生育期	
	津市新家町2(久居)	1月8日	0	0	0	0	0	味春	11月下旬	生育期	
	平 均		0	1.0	0.3	0	0				
平 年 (10年平均)			0	2.2	0.6 (9年平均)	0.1	0.001				
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	1月7日	0	0	0	0	0	石井中早生	11月下旬	生育期	

春キャベツ 2月

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		寄生度	コナガ		品種	定植時期	生育状況	備考	その他
				寄生株率 (%)	寄生度		寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)					
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	2月8日	0	16	4.5	0	0	0	石井中早生	11月20日	生育期		
	菰野町池底	2月8日	0	0	0	0	0	0.06	金系201EX	11月10日	生育期	コナガ蛹あり	
津	津市川方町1(久居)	2月10日	0	0	0	0	0	0	味春	11月下旬	生育期		
	津市川方町2(久居)	2月10日	0	0	0	0	0	0	若女将	1月上旬	生育期		
	津市新家町1(久居)	2月10日	0	32	10.5	0	0	0	味春	11月下旬	生育期		
	津市新家町2(久居)	2月10日	0	0	0	0	0	0	味春	11月下旬	生育期		
	平 均		0	8.0	2.5	0	0	0.01					
平 年(10年平均)			0 (9年平均)	3.0	0.8 (9年平均)	0	0.04	0.0004					
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	2月8日	0	2	0.5	0	0	0	石井中早生	11月下旬	生育期		

春キャベツ 3月

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		寄生度	コナガ		品種	定植時期	生育状況	備考	その他
				寄生株率 (%)	寄生度		寄生株率 (%)	株当たり 虫数 (頭/株)					
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	3月8日	2	0	0	0	0	0	石井中早生	11月20日	生育期		
	菰野町池底	3月8日	2	0	0	0	0	0	金系201EX	11月10日	生育期		
津	津市川方町1(久居)	3月11日	12	4	1.5	0	0	0	味春	11月下旬	生育期		
	津市川方町2(久居)	3月11日	0	10	2.5	0	0	0	若女将	1月上旬	生育期		
	津市新家町1(久居)	3月11日	8	0	0	0	0	0	味春	11月下旬	生育期		
	津市新家町2(久居)	3月11日	8	0	0	0	0	0	味春	11月下旬	生育期		
	平 均		5.3	2.3	0.7	0	0	0					
平 年(10年平均)			0.6	1.3	0.4 (9年平均)	0	0.03	0.001					
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	3月8日	0	4	1.0	0	0	0	石井中早生	11月下旬	生育期	モモアカアブラムシ	

5. ネギ

ネギ 4月

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		アブラムシ類		ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)					
松阪	松阪市東黒部町1	4月10日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	収穫済のため調査不実施
	松阪市東黒部町2	4月10日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	収穫済のため調査不実施
伊勢	伊勢市東豊浜町1	4月8日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	28cm
	伊勢市東豊浜町2	4月8日	0	0	4	1.0	0	0	0	0	0	0	35cm
	伊勢市東豊浜町3	4月8日	2	0.5	2	0.5	0	0	0	0	0	0.7	34cm
	伊勢市東豊浜町4	4月8日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	40cm
	平 均		0.5	0.1	2.0	0.5	1.0	0	0	0	0	0.2	
平 年(10年平均)			1.2	0.3	6.7	2.4	0	0	0	0	0.08	6.6	
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	4月6日	0	0	8	2.5	0	0	0	0	2.7	0.7	50cm

ネギ 5月

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		アブラムシ類		ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)					
伊勢	伊勢市東豊浜町1	5月15日	0	0	12	3.0	0	0	0	0	2.0	46.7	21cm
	伊勢市東豊浜町2	5月15日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	20.7	55.3	24cm
	伊勢市東豊浜町3	5月15日	0	0	0	0	0	0	0	0	49.3	0	23cm
	伊勢市東豊浜町4	5月15日	0	0	0	0	0	0	0	0	8.0	0.7	24cm
	平 均		0	0	3.5	0.9	0	0	0	0	20.0	25.7	
平 年(10年平均)			0	0	4.0	1.1	0.3	0.1	0 (8年平均)	0	4.7	17.6	
定点	松阪市嬉野川北町(場内)	5月15日	0	0	54	22.5	32	0	0	0	11.3	38.0	66cm

ネギ 6月

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	草丈	その他
伊勢	伊勢市東豊浜町1	6月9日	0	0	86	29.5	0	0	0	14.7	63.3	31cm	
	伊勢市東豊浜町2	6月9日	0	0	0	0	0	0	0	10.7	4.0	32cm	
	伊勢市東豊浜町3	6月9日	0	0	2	0.5	0	0	0	10.0	20.7	19cm	
	伊勢市東豊浜町4	6月9日	0	0	6	1.5	0	0	0	8.0	38.0	27cm	
	平 均		0	0	23.5	7.9	0	0	0	10.8	31.5		
平 年(10年平均)			0.6	0.1	12.0	3.9	0.1	0.3	0	4.9	31.5		
定点	松阪市磯野川北町(場内)	6月9日	0	0	20	6.0	0	0	0	12.0	62.7	28cm	

ネギ 7月

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	草丈	その他
伊勢	伊勢市東豊浜町1	7月10日	6	1.5	10	2.5	0	0	0	4.0	10.0	30cm	
	伊勢市東豊浜町2	7月10日	0	0	0	0	0	0	0	22.0	33.3	20cm	
	伊勢市東豊浜町3	7月10日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	6.0	16.7	20cm	
	伊勢市東豊浜町4	7月10日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	3.3	23.3	30cm	
	平 均		1.5	0.4	2.5	0.6	0	0	0	8.8	20.8		
平 年(10年平均)			1.0	0.2	9.7	2.6	0	0.4	0.2	5.0	16.5		
定点	松阪市磯野川北町(場内)	7月9日	0	0	2	1.0	0	1.3	0	18.7	20.7	45cm	

ネギ 8月

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
伊勢	伊勢市東豊浜町1	8月7日	0	0	0	0	0	0	0	14.0	18.0	0	0	30cm	白マルチ
	伊勢市東豊浜町2	8月7日	0	0	0	0	0	0	0	17.3	25.3	0	0	35cm	白マルチ
	伊勢市東豊浜町3	8月7日	0	0	0	0	0	0	0	9.3	8.7	0	0	30cm	白マルチ
	伊勢市東豊浜町4	8月7日	0	0	0	0	0	0	0	4.7	12.0	0	0	25cm	白マルチ・チョウ目の食害あり
	平 均		0	0	0	0	0	0	0	7.6	10.7	0	0		
平 年(10年平均)			0.2	0.1	0.04	0.01	0	0.1	1.2	8.5	21.8	0	0		
												(2014年)	(2014年)		
定点	松阪市磯野川北町(場内)	8月7日	0	0	0	0	0	52.7	0	41.3	30.7	0	0	35cm	露地

ネギ 9月

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市東黒部町1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		調査中止
	松阪市東黒部町2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		調査中止
伊勢	伊勢市東豊浜町1	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	13.3	14.7	0	0	35cm	白マルチ、葉先枯れ、下葉枯れ
	伊勢市東豊浜町2	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	6.7	1.3	0	0	25cm	白マルチ、葉先枯れ、下葉枯れ
	伊勢市東豊浜町3	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	4.0	0	0	0	18cm	白マルチ
	伊勢市東豊浜町4	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	4.0	2.7	0	0	23cm	白マルチ
	平 均		0	0	0	0	0	0	0	7.0	4.7	0	0		
平 年(10年平均)			0.2	0.05	0	0	0	0.4	3.4	17.3	21.5	1.0	1.0		
												(2014年)	(2014年)		
定点	松阪市磯野川北町(場内)	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	64.0	4.0	0	0	45cm	露地

ネギ 10月

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市東黒部町1	10月14日	0	0	0	0	0	0	0	43	0	0	0	40cm	露地、浅黄九条、チョウ目食害あり。
	松阪市東黒部町2	10月14日	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	40cm	露地、浅黄九条
伊勢	伊勢市東豊浜町1	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	9	3	0	0	15cm	黒マルチ、4条植え
	伊勢市東豊浜町2	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	21	1	0	0	20cm	黒マルチ、4条植え、ハモグリ成虫散見
	伊勢市東豊浜町3	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	20cm	黒マルチ、4条植え、葉枯れ多発(原因か?)
	伊勢市東豊浜町4	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	18cm	黒マルチ、4条植え
	平 均		0	0	0	0	0	0	0	23.4	1.4	0	0		
平 年(10年平均)			0.5	0.1	0.2	0.04	0	0.07	2.9	24.1	20.4	0	0		
												(2014年)	(2014年)		
定点	松阪市磯野川北町(場内)	10月5日	0	0	0	0	0	0	1	81	3	0	0	45cm	露地、チョウ目食害あり。

ネギ 11月

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	被害率率(%)	寄生株率(%)	被害率率(%)	草丈	その他
松阪	明和町川尻1	11月4日	4	1.0	0	0	0	0	0	26.0	0	0	0	50cm	露地
	明和町川尻2	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	16.0	12.0	0	0	50cm	露地
伊勢	伊勢市東豊浜町1	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	5.3	0.7	0	0	40cm	黒マルチ
	伊勢市東豊浜町2	11月5日	0	0	0	0	0	0	8.7	1.3	0	0	35cm	黒マルチ	
	伊勢市東豊浜町3	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25cm	黒マルチ ハモグリハエ産卵痕あり。
	伊勢市東豊浜町4	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0.7	0	0	35cm	黒マルチ
平 均			0.7	0.2	0	0	0	0	0	9.6	2.4	0	0		
平 年(10年平均)			0.1	0.03	0	0	0	0.2	0.4	3.7	10.5	0	0		
			(2014年)												(2014年)
定点	松阪市雄野川北町(堀内)	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	26.7	2.0	0	0	40cm	露地・無防除

6. イチゴ

イチゴ 4月

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		アザミウマ類	コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	寄生花率(%)	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町稼本	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	かわり野	土耕	ヒメハナアザミウマ
	津市一志町石橋	4月9日	0	0	0	0	22	12.0	0	0	3	6	0	章姫	高設	ナミハダニ黄緑型、ヒメハナアザミウマ
松阪	松阪市曾原町	4月10日	10	5.5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	章姫	高設	ヒメハナアザミウマ
	松阪市穂野権現前町	4月10日	14	12.0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	章姫	高設	ヒメハナアザミウマ
	松阪市藤之木町	4月10日	4	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	章姫	土耕	ヒメハナアザミウマ
	松阪市新開町	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	かわり野	土耕	ヒメハナアザミウマ
	度会町大野木	4月8日	0	17.5	4	0	10	3.0	0	0	5	0	0	章姫	高設	ナミハダニ黄緑型、ヒメハナアザミウマ、区外うどんこ病、カブリダニ類確認
伊勢	伊勢市小俣町相合	4月8日	0	2.5	0	0	0	0	0	0	20	0	0	かわり野	高設	ヒメハナアザミウマ
	玉城町勝田	4月8日	0	0.5	0	0	2	0.5	30	7.5	32	18	4	章姫	高設	ナミハダニ黄緑型、リタアブラムシ、モモアカアブラムシ、ヒメハナアザミウマ
志摩	志摩市阿児町神明	4月6日	0	0	0	0	8	4.0	0	0	28	0	0	レッドパール	土耕	ナミハダニ黄緑型、ヒメハナアザミウマ
	志摩市聖神町	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	章姫	高設	ヒメハナアザミウマ
	志摩市磯部町栗木広	4月6日	4	0	2	0	6	2.5	0	0	0	2	0	章姫	高設	ナミハダニ黄緑型
平 均			2.7	3.2	0.5	0	4.0	1.8	2.5	0.6	11.3	2.3	0.3			
平 年(10年平均)			2.5	0.5	0.6	0.08	15.5	8.3	2.0	0.6	12.3	1.2	—			
(2014年)																

イチゴ(観株床) 6月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病		萎黄病		ハダニ類		アブラムシ類		備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	品種	生育状況	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町稼本	6月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	かわり野	観株	露地・ベンチ	ヨコバエ類成虫
	津市一志町石橋	6月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	露地・ベンチ	コナジラミ類成虫・蛹、コガネムシ類食害痕
松阪	松阪市曾原町	6月8日	0	18	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	露地・ベンチ	
	松阪市穂野権現前町	6月8日	0	2	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	露地・ベンチ	ヨコバエ被害葉？
	松阪市藤之木町	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	露地	ヨコバエ被害葉？
	松阪市新開町	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	かわり野	観株	雨上げ	
	度会町大野木	—	—	—	—	—	—	—	—	—				圃場調整中
伊勢	伊勢市小俣町元町	6月9日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	かわり野	観株	露地・ベンチ	
	玉城町勝田	6月9日	0	72	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	雨上げ・ベンチ	コナジラミ類成虫
志摩	志摩市阿児町鶴方	6月12日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	レッドパール	観株	露地・ベンチ	区外うどんこ病
	鳥羽市聖神町	6月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	露地・ベンチ	コガネムシ類食害痕
	志摩市磯部町栗木広	6月12日	0	0	0	48	19.0	0	0	0	章姫	観株	雨上げ・ナイアガラ式	ナミハダニ黄緑型
平 均			0	8.4	0	4.5	1.8	0.2	0.05					
平 年(10年平均)			0	10.0	0	8.3	3.2	4.9	1.3					
(2014年)														

イチゴ(観株床) 7月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病		うどんこ病		萎黄病		ハダニ類		アブラムシ類		備考	
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	品種	生育状況			
津	津市芸濃町稼本	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	かわり野	観株	露地高設	ダニの観計値あり。
	津市一志町石橋	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	露地高設	
松阪	松阪市曾原町	7月6日	0	10	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	施設地床	
	松阪市穂野権現前町	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	露地高設	
	松阪市藤之木町	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗	露地地床	
	松阪市新開町	7月6日	0	6	0	0	0	0	0	0	かわり野	観株	露地高設	
伊勢	玉城町岩出	7月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	かわり野	観株	露地高設	子苗で炭疽病確認。
	伊勢市小俣町相合	7月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	かわり野	観株	露地高設	子苗でうどんこ病あり。
	玉城町勝田	7月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	施設高設	
志摩	志摩市阿児町神明	7月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	レッドパール	観株	露地高設	コガネムシ類の食害痕あり。
	鳥羽市聖神町	7月9日	0	4	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	露地地床	
	志摩市磯部町栗木広	7月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	観株	施設高設	
平 均			0	1.7	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0.4	6.5	0	7.6	2.9	3.6	1.5					
(2014年)														

イチゴ(苗床) 8月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考				
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)	品種	生育状況	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町稼本	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かわり野	子苗フタナー 切り履し後	露地・ベンチ		
	津市一志町石橋	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗フタナー 切り履し前	露地・ベンチ		
松阪	松阪市曾原町	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗フタナー 切り履し後	雨上げ・ベンチ	コガネムシ食害痕あり	
	松阪市穂野権現前町	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗フタナー 切り履し前	露地・ベンチ	調査時、薬剤散布中	
	松阪市藤之木町	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗フタナー 切り履し後	露地・地床		
	松阪市新開町	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かわり野	子苗フタナー 切り履し後	雨上げ・地床		
伊勢	玉城町岩出	8月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かわり野	子苗フタナー 切り履し前	露地・ベンチ		
	伊勢市小俣町相合	8月7日	0	0	0	3	0.8	6	1.5	0	0	かわり野	子苗フタナー 切り履し後	露地・ベンチ	コガネムシ食害痕あり	
	玉城町勝田	8月7日	0	2	0	1	0.3	0	0	10	0	章姫	子苗フタナー 切り履し後	施設・ベンチ・ ブルー育苗	アブラムシ食害痕	
志摩	志摩市阿児町神明	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	レッドパール	子苗フタナー 切り履し後	露地・ベンチ		
	志摩市聖神町	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗フタナー 切り履し前	露地・地床	コガネムシ食害痕あり	
	志摩市磯部町栗木広	8月4日	0	0	0	4	1.0	0	0	0	0	章姫	子苗フタナー 切り履し後	施設・ベンチ	1週間おきに薬剤散布(ダニ剤) ダニはいても死骸が多い(観たことなし)	
	平 均		0	0.2	0	0.7	0.2	0.5	0.1	0.8	0					
平 年(10年平均)			0.6	0.1	0	6.3	2.1	3.7	1.2	0	0					
			(2014年)													

イチゴ(苗株) 9月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン ヨトウ	コナジラミ類		備考				
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)					
津	津市芸濃町椋本	9月7日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し前	9cmポット苗、 露地ベンチ 小苗ポット、露 地ベンチ	コガネ食害あり 葉の退緑株が散見される	
	津市一志町石橋	9月7日	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	章姫				
松阪	松阪市曾原町	9月11日	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	章姫	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し前	ハウスベン チ、小苗ポット 露地ベンチ、 小苗ポット	ヨリ発生し、防除済み 9月12日から定植予定 株のおおれあり、かん水むら？	
	松阪市郷野権現前町	9月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し前	露地地床、 小苗ポット	9月20日頃定植予定	
	松阪市藤之本町	9月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し前	露地地床、 12cmポット	炭そ病発生株は廃棄処分した。 (約200株)	
	松阪市新開町	9月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し後	ハウス地床、 9cmポット	輪郭が散見される。 9月25日ごろ定植予定	
伊勢	玉城町岩出	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し前	小苗ポット、露 地ベンチ	葉先地炭、肥料切れ	
	伊勢市小俣町相合	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し前	9cmポット苗、 露地ベンチ		
	玉城町藤田	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し後	小苗ポット、施 設ベンチ		
志摩	志摩市阿児町神明	9月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	レッドパール	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し前	露地ベンチ		
	志摩市聖神町	9月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し前	露地地床		
	志摩市磯部町栗木広	9月10日	0	0	0	12	6.0	0	0	0	0	0	章姫	子苗ランナー 切り離し後 子苗ランナー 切り離し後	施設ベンチ		
平 均			0	0.2	0	1.0	0.5	0.2	0.04	0.5	0	0					
平 年(10年平均)			0.4	0.04	0	5.5	1.8	0.6	0.2	0.3	0	0					
						(2年平均)											

イチゴ 10月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン ヨトウ	コナジラミ類		備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	かおり野	土耕 (マルチなし)	ハスモンヨトウ食害痕が散見される
	津市一志町石橋	10月7日	0	0	0	4	1.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ (黒マルチ)	チャウ目食害痕あり。
松阪	松阪市曾原町	10月6日	0	0	0	16	4.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	9/18定植
	松阪市郷野権現前町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	本ぼでしなびける株あり、1日15株程度
	松阪市藤之本町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕 (マルチなし)	9/10定植、本ぼでしなびける株あり、水害で過水した。
	松阪市新開町	10月6日	0	0	0	0	0	24	6.0	0	0	0	土耕 (マルチなし)	うね間が過水状態、輪刈散見される	
伊勢	玉城町岩出	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	かおり野	ベンチ	9/19-20定植、チャウ目幼虫食害痕あり、ハスモン2齢幼虫、生存虫あり、死亡虫あり
	伊勢市小俣町相合	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	ベンチ内にゼニゴケ、雑草が散見される
	玉城町藤田	10月5日	0	0	0	16	4.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	白マルチ、ナミハダニ
志摩	志摩市阿児町神明	10月8日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	レッドパール	土耕	10/1-3定植
	志摩市聖神町	10月8日	0	0	0	4	1.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	9/15-21定植、苗の時期に台風で冠水。
	志摩市磯部町栗木広	10月8日	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	定植途中
平 均			0	0	0	4.3	1.2	2.0	0.5	0.3	0	0			
平 年(10年平均)			0.4	0.3	0.1	7.5	2.7	3.5	1.1	2.2	0	0			
						(2年平均)									

イチゴ 11月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン ヨトウ	コナジラミ類		備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)			
津	津市芸濃町椋本	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	開花期
	津市一志町石橋	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ (黒マルチ)	開花期
松阪	松阪市曾原町	11月4日	2	0	0	52	29.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	チャビロバネキ/コバエ寄生
	松阪市郷野権現前町	11月4日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	しおれ株あり。
	松阪市藤之本町	11月4日	2	0	0	16	6.0	0	0	0	0	0	章姫	土耕(黒マルチ)	しおれ株あり。
	松阪市新開町	11月4日	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	かおり野	土耕(黒マルチ)	重葉類、乾の日あり。
伊勢	玉城町岩出	11月5日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	チャビロバネキ/コバエ寄生
	伊勢市小俣町相合	11月5日	0	0	0	4	2.0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	アブラムシ有 稚虫散見
	玉城町藤田	11月5日	0	0	0	8	2.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	チャウ目食害痕あり。
志摩	志摩市阿児町神明	11月6日	0	0	0	16	4.0	0	0	0	0	0	レッドパール	土耕 (黒マルチ)	ハダニ死亡虫あり。
	鳥羽市聖神町	11月6日	0	0	0	12	3.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	チャウ目食害痕あり。
	志摩市磯部町栗木広	11月6日	0	0	0	4	1.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平 均			0.5	0	0	10.3	4.2	0	0	0	0	0			
平 年(10年平均)			0.3	1.0	0.1 (2年平均)	11.1	4.4	3.0	0.9	0.3	0.3 (2014年)	0 (2014年)			

イチゴ 12月

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉 発病 株率(%)	発病果率 (%)	葉 発病 株率(%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	12月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	第1果房収穫期
	津市一志町石橋	12月2日	0	0	0	0	4	1.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ (黒マルチ)	第1果房膨大期
松阪	松阪市曾原町	12月1日	0	0	0	0	80	30.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	松阪市郷野権現前町	12月1日	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	区外-うどんこ病、ハダニ類あり
	松阪市藤之本町	12月1日	0	0	0	0	100	65.5	0	0	0	0	章姫	七條(黒マルチ)	防除直後
	松阪市新開町	12月1日	0	0	0	0	16	5.5	0	0	0	0	かおり野	七條(黒マルチ)	
伊勢	玉城町岩出	12月3日	0	0	0	0	4	1.0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	タバコガ幼虫：幼果食害あり
	伊勢市小俣町相合	12月3日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
	玉城町藤田	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	タバコガ幼虫：幼果食害あり
志摩	志摩市阿児町神明	12月3日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	レッドパール	土耕 (黒マルチ)	
	志摩市聖神町	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	12月3日	0	0	0	0	52	15.0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平 均			0	0.04	0	0	21.7	10.0	0	0	0	0			
平 年(10年平均)			0.3	0.10	0.8	0.4	15.4	6.7	3.0	0.9	0.3	0			
			(2014年)												
			(2014年)												

イチゴ 1月

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町稼本	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
	津市一志町石橋	1月8日	0	0	0	0	20	5.0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
松阪	松阪市曾原町	1月8日	0	0	0	0	6	1.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	果梗に灰色かびあり。
	松阪市穂野権現前町	1月8日	2	5.0	0	0	4	4.0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	一部にハダニの糸まが観察される
	松阪市藤之本町	1月8日	0	0	0	0	34	15.5	0	0	0	0	章姫	土耕	収穫期ではない。ハダニ類の防除直後、死がが多い
	松阪市新開町	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	防除中。草なしが例年より多かった(100株程度)。
	玉城町岩出	1月6日	0	1.0	0	0	10	5.0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
伊勢	伊勢市小保町相合	1月6日	0	0	0	0	14	7.5	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	ハダニは死がが多い
	玉城町勝田	1月6日	0	2.0	0	0	10	3.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	ハダニは死がが多い
志摩	志摩市阿児町神明	1月7日	0	0	0	0	54	17.5	0	0	0	0	レッドパール	土耕	
	志摩市蟹神町	1月7日	0	0	0	0	96	49.0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	1月7日	0	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平 均			0.2	0.7	0	0	21.5	9.3	0	0	0	0			
平 年(10年平均)			0.7	0.3	1.0	0.06	20.8	11.8	1.0	0.4	0.2 (2014年)	0.2 (2014年)			

イチゴ 2月

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町稼本	2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
	津市一志町石橋	2月10日	0	1.0	0	0	36	16.0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
松阪	松阪市曾原町	2月8日	0	0.5	0	0	12	3.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認
	松阪市穂野権現前町	2月8日	8	1.5	0	0.5	10	4.0	0	0	0	2	章姫	ベンチ	天敵確認
	松阪市藤之本町	2月8日	0	0	0	0	30	8.0	0	0	0	0	章姫	土耕	天敵確認
	松阪市新開町	2月8日	0	0	0	0	6	1.5	0	0	0	0	かおり野	土耕	天敵未確認
	玉城町岩出	2月8日	0	1.5	0	0	6	1.5	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	天敵未確認
伊勢	伊勢市小保町相合	2月8日	0	0.5	0	0	8	2.0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	天敵未確認
	玉城町勝田	2月10日	0	1.5	0	0	0	0	0	0	2	2	章姫	ベンチ	
志摩	志摩市阿児町神明	2月9日	0	0	0	0	14	4.5	2	1.0	0	0	レッドパール	土耕	天敵確認
	志摩市蟹神町	2月9日	0	0	0	0	74	23.0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認
	志摩市磯部町栗木広	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平 均			0.7	0.5	0	0.04	16.3	5.3	0.2	0.08	0.2	0.3			
平 年(10年平均)			1.3	0.5	0.8	0.07	18.1	8.4	1.0	0.3	2.0 (2014年)	0.3 (2014年)			

イチゴ 3月

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		アザミウマ類	備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	寄生花率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町稼本	3月11日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	4	0	13	かおり野	土耕	ヒラズハナアザミウマ、ハナアザミウマ
	津市一志町石橋	3月11日	0	0	0	0	84	40.0	6	3.0	0	0	9	章姫	ベンチ	ジャガイモヒナガアブラムシ、ヒラズハナアザミウマ
松阪	松阪市曾原町	3月9日	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	松阪市穂野権現前町	3月9日	2	1	0	0	18	6.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認
	松阪市藤之本町	3月9日	0	0	0	0	6	1.5	0	0	0	0	1	章姫	土耕	天敵確認
	松阪市新開町	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
伊勢	玉城町岩出	3月11日	2	0	0	0	28	9.0	0	0	0	0	1	かおり野	ベンチ	ヒラズハナアザミウマ
	伊勢市小保町相合	3月11日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	天敵未確認
志摩	玉城町勝田	3月11日	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	章姫	ベンチ	ヒラズハナアザミウマ
	志摩市阿児町神明	3月7日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	レッドパール	土耕	
	志摩市蟹神町	3月7日	0	0	0	0	4	1.0	0	0	0	0	1	章姫	ベンチ	ヒラズハナアザミウマ
	志摩市磯部町栗木広	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平 均			1.2	0.4	0	0	11.7	4.8	0.7	0.3	0.5	0	2.3			
平 年(10年平均)			3.0	0.6	0.3	0.03	17.1	8.2	0.7	0.3	1.3	0.7	2.3			

広域防除員聞き取り調査結果(野菜)

作物名:トマト

10月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況(平年比)					生育状況等
					疫病	灰色 かび病	黄化 葉巻病	ハスモン ヨトウ	アブラ ムシ類	
桑名	1	10月9日	木曽岬町 加路戸	ハウス 桃太郎 はるか	無	無	やや多 (前年比)	無	無	抑制栽培、8/22定植 開花段数:4～5段、着果果数:3～4 生育良好
	2	10月9日	木曽岬町 外平喜	CF桃太郎 はるか	無	無	並 (前年比)	無	無	促成栽培、9/10定植 2本仕立て 開花段数:2段、着果果数:3～4 生育良好、コナジラミ多い
	3	10月9日	木曽岬町 小和泉	みそら	無	無	やや少 (前年比)	無	無	抑制栽培(ロックウール)、8/6定植 開花段数:7段、収穫段数:2段 着果果数:4個 生育良好
	4	10月9日	木曽岬町 中和泉	りんか409	無	無	少 (前年比)	無	無	抑制栽培、9/1～9/9定植 2本仕立て、長段取り23段 開花段数:3段 着果果数:3～4個 生育良好
	5	10月9日	木曽岬町 源録輪中							半抑制栽培、11月上旬定植予定
四日市	1	10月9日	四日市市 上海老町		無	無	無	無	少	9月上旬定植 開花段数:1段目
	2	10月10日	四日市市 上海老町	TYみそら 86	無	無	無	無	無	9/6定植 開花段数:2段目 生育良好、コナジラミ類確認
	3	10月8日	四日市市 貝家町		無	無	無	無	無	9/7定植 開花段数:1段目 生育良好
	4	10月8日	菰野町 竹成	桃太郎	無	無	無	無	少	8/20定植 開花段数:2段目 管理不良(雑草発生)
	5	10月11日	菰野町菰 野	リンカ409	無	無	無	無	無	9/4定植 開花段数:2段 コナジラミ類、すすかび病が少発生

2月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病虫害発生状況(平年比)					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化葉巻病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	
桑名	1	2月4日	木曽岬町加路戸	はるか	無	無	無	無	無	半促成、11月上旬定植 開花段数:5段、収穫段数:1段
	2	2月4日	木曽岬町加路戸	はるか	無	無	無	無	無	促成 2本仕立て 収穫段数:6段 着果数:5果
	3	2月4日	木曽岬町小和泉	みそら	無	少 (前年比)	少 (前年比)	無	無	抑制、2月中旬定植 収穫残数:9段
	4	2月4日	木曽岬町中和泉	りんか409	無	少 (前年比)	やや少	少 (前年比)	無	抑制、 開花段数:13段、収穫段数7～8段 着果数:4～5果
	5	2月4日	木曽岬町源緑輪中	りんか409 はるか	無	並 (前年比)	無	無	無	半促成、11/5定植 2本仕立、長段取り 開花段数6段、収穫段数1段、着果数:5果 樹勢順調
四日市	1	2月8日	四日市市上海老町	TYみそら86	無	無	無	無	無	9月6日定植 10～12段開花 4～5段収穫
	2	2月10日	四日市市貝家町	桃太郎ピース	無	無	無	無	無	9月5日定植 10～12段開花 4～5段収穫
	3	2月10日	菰野町竹成	桃太郎ピース	少	少	少	少	少	8月5日定植 10～11段開花 6～7段収穫 4～5果着果
	4	2月10日	菰野町菰野	りんか409	少	やや多	少	無	無	10月3日定植 11～12段開花 3～4段収穫 4～5果着果

3. 気象データ

(1) 気象概況(津地方気象台)

月	旬	気温	降水量	日照時間	備 考
2015 1	上	△	□	△	冬型の気圧配置。強い寒気の影響で低温。
	中	□	●	□	冬型の気圧配置。15日は南岸低気圧通過による多雨。
	下	○	●	△	周期的な低気圧の通過で、晴れが少なく、雨が多かった。
2	上	△	□	○	冬型の気圧配置。晴れが多く、少雨。寒気の影響で低温。
	中	□	△	●	冬型の気圧配置や高気圧に覆われた。晴れが多く、少雨。
	下	○	○	△	数日の周期で変動。南からの暖かい空気のため、高温化。
3	上	□	●	▲	短周期で低気圧が通過。多雨、寡照となった。
	中	○	○	□	周期的な天気の変動。
	下	○	▲	●	冬型の気圧配置等のため晴れが多く、顕著な少雨、多照。
4	上	□	□	▲	曇りや雨の日が多く、寡照。前半は高温、後半は低温。
	中	□	○	△	低気圧や前線の影響で曇・雨天。多雨、寡照。
	下	●	▲	●	高気圧に覆われ晴天。少雨、多照、高温。
5	上	●	▲	○	周期的な天気の変動。高気圧に覆われ晴天。高温。
	中	●	□	○	周期的な天気の変動。低気圧等の影響で、曇・雨天。
	下	●	▲	●	高気圧に覆われ晴天・少雨。暖気による顕著な高温。
6	上	△	●	▲	3日梅雨入り。短周期で低気圧が通過。のち冷氣流入。
	中	□	□	△	前線が日本の南に停滞し、曇・雨天。
	下	△	○	○	前線等の影響で曇・雨天。寒気の影響で低温。
7	上	▲	●	▲	前線等の影響で、曇・雨天続く。寒気の影響でかなり低温。
	中	□	□	○	前半は晴天。16～17日は台風11号の影響で大雨。
	下	●	□	□	24日梅雨明け。雨天。のち高気圧に覆われ晴れて暑い日。
8	上	●	▲	○	高気圧に覆われ猛暑。亀山と上野で猛暑日が8日間。
	中	□	●	△	高気圧に覆われ晴天。のち低気圧等の影響で曇・雨天。
	下	△	●	△	高気圧に覆われ晴天。のち前線や台風の影響で曇・雨天。
9	上	▲	○	▲	曇・雨天。低温。8～9日は台風18号の影響で大雨。
	中	△	△	●	高気圧に覆われ晴天。冷氣が流れ込み低温。
	下	□	△	○	高気圧に覆われ晴天。24～25日は、紀勢・東紀州で大雨。
10	上	△	△	●	高気圧に覆われ晴天。寒気が流れ込み低温。
	中	□	△	○	高気圧に覆われ晴天。
	下	○	△	●	高気圧に覆われ晴天。暖気に覆われ高温。
11	上	○	○	□	周期的な天気の変動。のち暖気に覆われ高温。
	中	●	○	▲	前線等の影響で曇・雨天。南部を中心に豪雨。かなり高温。
	下	○	○	△	曇・雨天。暖気に覆われ高温。のち晴天。寒気により低温。
12	上	○	○	□	周期的に天気が変動。寒気の流れ込み少なく、高温。
	中	●	○	□	曇・雨天。顕著な高温。のち冬型の気圧配置で晴天。
	下	●	○	□	短周期で変動。のち冬型の気圧配置で晴天。

その他:2014 年夏に発生したエルニーニョ現象は、2015 年 11 月から 12 月にかけて最盛期となった。

気 温: ▲かなり低い △低い □平年並 ○高い ●かなり高い

降 水 量: ▲かなり少ない △少ない □平年並 ○多い ●かなり多い

日 照: ▲かなり少ない △少ない □平年並 ○多い ●かなり多い

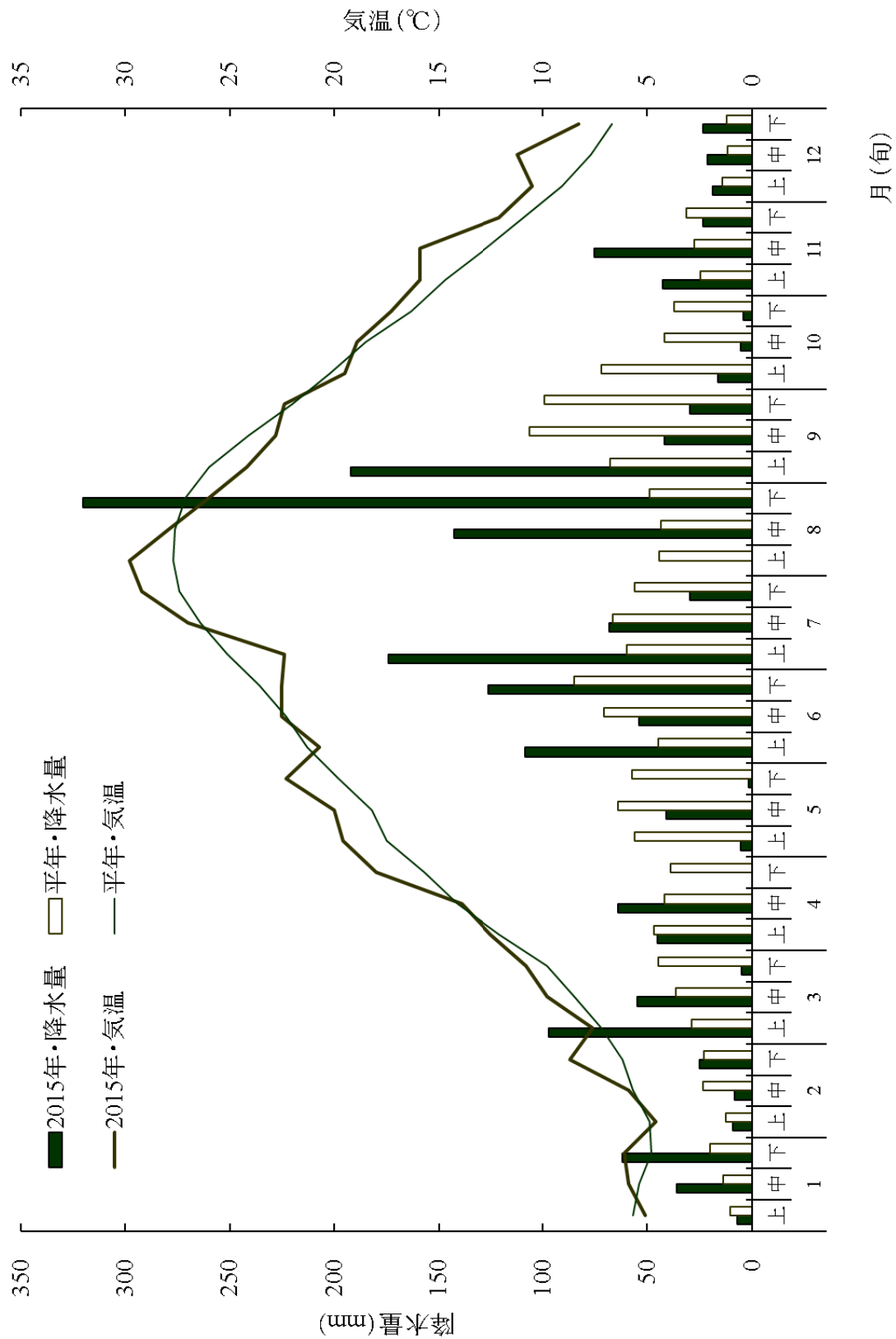
(2) 旬別気象表(津地方気象台)

月	旬	平均気温(℃)		降水量(mm)		日照時間(h)	
		2015年	平年	2015年	平年	2015年	平年
1	上	5.1	5.7	7.0	10.3	45.4	52.7
	中	5.9	5.4	36.0	13.7	49.7	52.5
	下	6.1	4.8	62.0	19.9	48.3	58.0
2	上	4.6	4.9	9.0	12.7	63.5	56.0
	中	5.9	5.7	8.5	23.5	69.2	53.7
	下	8.7	6.2	25.0	22.9	39.7	47.2
3	上	7.6	7.2	97.0	28.8	37.9	58.0
	中	9.8	8.5	55.0	36.6	51.4	58.0
	下	10.8	9.8	5.0	44.6	98.1	59.9
4	上	12.5	12.1	45.0	47.0	9.4	60.1
	中	13.9	14.1	64.0	41.9	42.4	63.2
	下	18.0	15.7	0.0	38.9	87.9	65.8
5	上	19.6	17.5	5.5	55.9	71.0	60.0
	中	20.0	18.2	41.0	64.1	71.5	56.4
	下	22.3	19.8	1.5	57.2	94.1	74.6
6	上	20.7	21.3	108.5	44.9	43.0	62.2
	中	22.5	22.3	54.0	70.8	36.3	49.6
	下	22.5	23.6	126.0	84.8	44.6	38.4
7	上	22.4	25.1	174.0	60.0	7.3	48.8
	中	27.0	26.4	68.0	66.6	67.6	50.2
	下	29.2	27.4	29.5	56.2	86.8	75.8
8	上	29.8	27.7	0.0	44.5	92.2	71.4
	中	27.9	27.6	142.5	43.4	52.2	68.2
	下	26.0	27.1	320.0	49.1	48.7	71.0
9	上	24.2	26.0	192.0	67.9	36.4	61.1
	中	22.8	24.1	42.0	106.1	69.5	50.5
	下	22.4	22.0	29.5	99.1	57.0	44.6
10	上	19.5	20.2	16.5	71.9	62.5	47.7
	中	18.9	18.5	5.5	41.7	75.8	55.0
	下	17.3	16.3	4.0	37.1	90.0	62.1
11	上	15.9	14.7	42.5	24.8	49.1	53.7
	中	15.9	12.7	75.5	27.4	33.4	51.9
	下	12.1	10.9	23.5	31.4	44.2	54.5
12	上	10.5	9.1	19.0	14.4	60.3	56.6
	中	11.2	7.7	21.5	11.9	52.6	56.1
	下	8.3	6.7	23.5	12.3	59.0	60.3

※平年値は、1981年から2010年までの30年間による地上気象観測での値。

※気象庁発表「気象統計情報」より作成。

(3) 気象グラフ



平成27年 旬別気温と降水量(津地方気象台・地上気象観測)

平成 27 年度植物防疫年報

発行 2016 年 11 月 日
三重県病虫害防除所

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町 530

Tel 0598-42-6365

Fax 0598-42-7568